

貨主ニ係ル物品ヲ代表スルモノ即船荷證券ニシテ加之貼用スベキ印税ハ貨物ニ課セラレタル收入印紙ヲ以テスルモノナレバ荷送主之ヲ負擔スルヲ至當トス尤モ獨逸ノ如キハバルチツク海北海諾威沿岸諸外國トノ交易ニ使用セラル、船荷證券ニハ十フエニツヒ其他ノ外國貿易ニハ一馬克ノ印税ヲ課セラル此印税ハ貨物輸出者ノ負擔スル所ニシテ船荷證券ノ一通ニ貼用シ之ヲ船主又ハ仲立人ノ手ニ保管ス獨逸ニ輸入セラレタル貨物ノ船荷證券ニモ亦最後ノ荷物引取人印税ヲ負擔セザルベカラズ

船荷證券ニ課セラルベキ印税ハ各國ノ印紙條例ニヨリ或ハ單ニ印紙ヲ貼附 (Embossed or adhesive) スベキモノト或ハ政府ノ印版 (Impressed) ヲ必要トスルモノトアリ例ヘバ本邦並ニ米國ノ如キハ前者ニシテ英國及ビ同殖民地ノ如キハ後者ニ屬ス而シテ數通ノ船荷證券ヲ發行シタル時ハ一通毎ニ印税ヲ要スルヤ否ヤト問フニ是亦各國ノ法律慣例ニヨリ異ナリ英國ノ如キハ前者、本邦並ニ米國ノ如キハ後者ニ屬ス而シテ一通ニノミ印税ヲ課セラル、時ハ他ノ同一效力ノ船荷證券面ニハ

本證券ト同一ノ日附アリ且同一效力アル船荷證券ノ一通ニ法律規定通り……收入印紙ヲ貼附セ

“To one Bill of Lading of this tenor and date, a……internal revenue stamp has been affixed as required by law.”

ト護謄版ニテ附記スルヲ例トス

船長控書ハ控ニ過ギズシテ固ヨリ融通スルコトヲ得ズ從テ印税負擔ノ限ニ非ズ而シテ船長控書面ニハ「融通ヲ禁ズ」(Copy not negotiable) ナル護謄版ヲ念ノ爲メ捺スコトアリ又本邦ヨリ米國ニ向ケ輸出スル通シ荷物例ヘバ横濱ヨリ紐育ニ輸送スル絹物、神戸ヨリセントポール (St. Paul) ニ運送スル製茶花籃

ノ如キハ米國西海岸ノ港ニ於テ同國稅關ニ差出ス爲メ一通餘分ニ船荷證券ヲ發行ス斯ノ如キ場合ニハ其證券ニ「稅關用ニシテ融通ヲ禁ズ」(“Not Negotiable, for Custom's Purposes only”) ナル護謄版ヲ捺シ同様融通證書ニ非ザル旨ヲ表示ス

特種ノ船荷證券ハ左ノ如シ

- 一 通シ船荷證券 (Through Bill of Lading)
- 一 赤荷證券 (Red Bill of Lading)

通シ船荷證券トハ通常海運ト陸運トヲ兼ネ發行セル船荷證券ノ名稱ニシテ船荷證券ト貨物引換證 (Railway Acknowledgement) トヲ合セタル證券ナリ例ヘバ横濱ヨリ紐育ニ向ケ貨物ヲ運送セントセバ某汽船會社ノ通シ船荷證券ニヨリ桑港、ヴァンクーバー、タコマ、シヤトル、ポートランド (San Francisco, Vancouver, Tacoma, Seattle, Portland) 等北米ノ西岸諸港迄船舶ニヨリ運送シ更ニ鐵道會社ノ線路ニヨリ紐育迄輸送スルコトヲ得ベシ以上ノ便法ニヨリ途中仲繼ノ勞費ヲ省キ又荷爲換ヲ取組ム時ハ仲繼地ニテ組直シヲ爲ス不便ヲ避クルコトヲ得ベキヲ以テ此種ノ船荷證券ハ海外ニ於テ盛ニ行ハル、所トス

海運ト陸運トヲ兼ヌルモノ、外甲汽船會社ト乙汽船會社トヲ聯絡スル通シ船荷證券アリ十數年前迄ハ本邦ニテハ邦文ヲ以テ記載セル通シ船荷證券ノ好適例トシテ僅ニ通運會社ノ貨物預リ證券アリシノミ是ハ同會社ガ貨物運送ヲ委託セラレタル時貨主ニ交付スルモノニシテ例ヘバ或貨物ヲ汽船ニテ某地迄積送リ其地ヨリ更ニ鐵道便ヲ以テ契約地ニ送附スルヲ以テ荷受主ハ出荷主ヨリ送附セル預リ證券ト引換ニ貨物ヲ受取ルコトヲ得ベシ其後漸次汽船ト鐵道トノ聯絡進歩シ例ヘバ内地ヨリ北海道又ハ臺灣ヘ向ケ送附スル貨物或ハ是等ノ地方ヨリ内地ヘ向ケ送附スル貨物ノ如キハ通シ船荷證券ノ作用ニヨリ荷主ハ至大ノ便宜ヲ受クルコト、ナレリ

通シ船荷證券ニ記入ノ要件ハ普通ノ船荷證券ト詳細ノ項ニ就キテハ相違アルベキモ其大要ニ就キテハ大同小異ナリ但海運ト陸運トヲ兼ヌルモノハ鐵道ニ關スル條項ヲ加フベキハ勿論ナリ
赤荷證券ハ赤字ヲ以テ印刷セラル、ガ故此稱アリ專ラ東洋就中上海以北ノ支那諸港朝鮮諸港及ビ浦鹽斯德、長崎ノ間ニ行ハル、所ニシテ船荷證券ト保險證券トヲ連續シタルモノナレバ船荷證券ニ記載スベキ要件及ビ條項ノ外貨物ノ保險金額、保險料ノ割合其他保險ニ關スル條項ヲモ記入ス
赤荷證券ハ支那人ノ好ム所ニシテ彼支那人ハ元來運賃稍高額ナルモ損害起ルニ際シ容易ニ辨償セラル、ヲ喜ブヨリ專行ハル、ニ至リシナリ而シテ赤荷證券ヲ發行シタル汽船會社ハ貨主ニ對シ損害ノ賠償ヲ爲ササルベカラザルガ故ニ豫メ保險會社ト特約シ自己ノ發行スル赤荷證券ヲ取纏メテ保險ヲ附スルヲ以テ實際損害ノ負擔者ハ保險會社ナリ而シテ赤荷證券ノ發行ノ場合ニ於ケル運賃ノ高額ナルハ汽船會社ヨリ保險會社ニ支拂フベキ保險料ヲ包含スルガ故ト知ルベシ歐米各國ニ於ケルガ如ク商人ハ海上ノ智識ニ富ミ如何ナル損害ハ貨主自身其責ニ任ズベキカノ觀念周キ所ニテハイザ知ラズ支那人ノ如キハ總テノ損害ヲ以テ運送者ニ責アルモノトシ保險ハ不必要ナリト誤解スルノ結果保險料トシテ別ニ出金スルヲ吝ミナガラ一方ニ高額ノ運賃ヲ支拂フヲ以テ保險料ヲ支拂ハズシテ自ラ貨物ヲ保險ニ附シタルト同一ノ結果ヲ得ルガ故大ニ歡迎セラル、ニ至リシモノトス本邦ノ如キ保險ノ思想幼稚ナル處ニテハ赤荷證券ヲ學ブモ亦一法ト謂フベキカ

赤荷證券ノ缺點
赤荷證券ノ缺點ハ保險料ノ割合高キニ在リ海上保險會社ハ孰レノ地ニテモ競爭激烈ナルガ爲メ保險料ハ常ニ高低シ一定ノ割合ヲ定ムルモ猶時々多少ノ變動アルヲ免レズ然ルニ此種ノ船荷證券ニ依ル時ハ汽船會社ガ保險會社ト貨主トノ間ニ介立シ期間ヲ定メテ保險料ヲ定ムルヲ以テ其率高キハ避クベカラズ故ニ支那人以外ノ一般貨主ニ取リテハ小口貨物ナレバ兎モ角大口ノモノニ就キテハ船荷證券外ニ保險ヲ附スルヲ利益トス

ハ船荷證券外ニ保險ヲ附スルヲ利益トス
東洋地方ニテ赤荷證券ヲ發行スル船會社ハ露國義勇艦隊、招商局、印度支那汽船會社及ビ日本郵船會社トス此他海外ニ行ハル、船荷證券ニシテ出荷主ノ請求ニヨリ保險引受ノ條項アルモノアリ例ヘバエム、エム會社、ビーオー會社等ノ發行ニ係ル船荷證券ノ如キ是ナリ然レドモ孰レモ小口ノ貨物ニ限リ大口ノモノハ保險會社ニ申込ミ保險ヲ附スル場合多シト云フ
船荷證券ハ手形ニ於ケルガ如ク偽造又ハ變造セラル、コトナキニ非ズ殊ニ海外ヨリ輸入ノ約束ニテ物品ヲ買入レ支拂ハ船荷證券ト引替ニ爲ス場合ニ之ヲ目撃スル所トス例ヘバ信用薄キ賣主ハ契約ニ定メタル物品ヨリ劣等ナルモノヲ船積シ又ハ船荷證券面ノ個數ヲ變造シ荷受主即買主ガ現金ト引換ニ船荷證券ヲ受取り始メテ此種ノ奸計ニ陥リタルコトヲ悟ルガ如キ是ナリ近年獨逸ニ於テ斯ノ如キ弊ヲ矯メンガ爲メ船積港ニ駐在スル同國領事ヲシテ一々船荷證券ト積荷運賃明細目録トヲ對照セシメ符合スル時ハ船荷證券面ニ捺印セシメ之ガ手數料トシテ荷受主ハ積荷ノ價格ニ從ヒ少許ノ金員ヲ支拂ハシメントノ議アリ其理由トスル所ハ積荷ノ取引ハ買主ガ賣主ヲ信用スルニヨリ始メテ採用セラレベキモノナリト雖モ買主ガ海外ニ於ケル賣主ノ信用如何ヲ詳知セザル時ハ動モスレバ前ニ述べタルカ如キ弊ニ陥リ易ク之ヲ自然ニ放任センカ、取引ハ漸次不振ニ終ルベシ故ニ寧ロ荷受主ヲシテ些少ノ手數料ヲ支拂ハシメ安全ナル策ヲ採ルヲ上乘トス云々然レドモ此種ノ弊ハ實際稀ニ見ル所ニシテ商業上經驗アル商人ノ容易ニ陥ラザル所ナルハ明ニシテ獨逸ニ於ケル私議ヲ實地ニ行ハンカ却テ商業上ノ不便滯滞ヲ來ス虞アリ蓋商業上時乃黃金ニ價スルモノニシテ領事ヲシテ一々船荷證券ト積荷運賃明細目録トヲ對照セシムルニハ些カラヌ時間ヲ浪費スルモノニシテ他方ニ領事ト雖モヨシ報酬ヲ受クルモ此種ノ煩雜ナル職務ヲ好マザルベシ又單ニ買主

赤荷證券ヲ發行スル船會社

變造及偽造船荷證券

F. P. Nos. 849

モノニシテ他方ニ領事ト雖モヨシ報酬ヲ受クルモ此種ノ煩雜ナル職務ヲ好マザルベシ又單ニ買主

小荷物領收證

ガ領事ヲシテ賣主ノ信用ニ就キ證明セシメ證明料ハ買主之ヲ負擔ストスルモ賣主ハ好意ヲ以テ之ヲ遇セザルベク又商業ニ政府ノ關涉ヲ請フハ好マシカラザルコトナルベシ之ヲ要スルニ偽造又ハ變造船荷證券ハ信用薄弱ナル奸商ノ事トスル所ニシテ是ガ渦中ニ投セザラント欲スル商人ハ内地ハ勿論海外ノ取引先ヲ選ビ商慣習其他一般商業上ノ經驗ニ厚カラザルベカラズ

以上船荷證券ニ就キテ其大要ヲ述ベタリ見本其他ノ小荷物ニハ特ニ小荷物領收證(Partial Receipt)ヲ發行ス記入ノ要項ハ日月船名差出人荷印又ハ宛名個數品名引渡地受取人價格運賃等トス小荷物ノ運賃ハ多ク價格ト容積又ハ重量トヲ參酌シテ定ム是價格欄ノ要アル所ナリ又小荷物領收證ニハ普通船荷證券ノ如ク詳細ナル除外例特別條項ヲ記載スルコトナク單ニ「當社發行船荷證券ノ條項通り云々」Subject to all the Conditions of the Co's B/L) ノ注意書ヲ附スルノミ (附錄雜形參照)

第七章 備船契約

備船契約ノ必要

備船契約ノ沿革

Leg. Ch. 1
Val. II, 180
Des. IV, 408

一人又ハ數人ノ貨主聯合ノ上貨物ノ積取又ハ船積ヲ爲サントスル時ハ一艘ノ船舶ヲ借切ル方計算上利益アルノミナラズ隨意ノ港ニ於テ船積又ハ陸揚ヲ爲スノ便益アリ此他船主ガ所有ノ船舶ニ故障又ハ不足ヲ生ジタル場合ニ他船ヲ備入レ自己ノ航路ニ配船スルコトアリ又貨物運送ノ目的外ニ旅客特ニ移住民ヲ輸送シ又ハ軍隊ヲ運送センガ爲メ其他難破船救助ノ目的ニテ船舶ヲ備入ル、コトアリ此等ノ場合ニ於ケル契約ヲ備船契約(Charter Party)ト稱ス

在昔貨物ノ運送ハ多ク備船契約ニヨリ一人ノ貨主船舶一艘ヲ借切ルカ又ハ數人聯合ノ上貨物ヲ一艘ノ船舶ニ船積スルコトヲ慣習トセシモ航海術並ニ造船術ノ進歩ト定期航海ノ便開ケタルガ爲メ漸ク個々ノ運送契約行ハル、ニ至リシナリ然レドモ備船契約ハ今日ト雖モ決シテ尠シトセズ

備船契約ハ古ヨリ行ハル、所ニシテCharter Partyナル語ハ羅旬語ノCharta Partiaノ轉化セシモノニテ即「分カレタル證書」ノ義ナリ蓋在昔貨物船積ノ際羊皮紙ニ契約ノ摘要ヲ認メテ之ヲ二部ニ切斷シ當事者双方ニ別チシト云フ當時ハ小船ノミナリシカバ個人ニテ一艘ノ船舶ヲ借切ル場合多ク從テ船荷證券ヲ使用スルコトナク備船契約ノ證書ヲ運送契約ノ唯一ノ證書トセリ然レドモ今日ハ備船契約ト雖モ猶船荷證券ヲ使用スルコト多シ元來船荷證券ハ船長ガ貨物ヲ船舶ニ船積シタル領收證ニシテ備船契約ノ證書ハ即貨物運送ノ契約書ナリ而シテ昔備船契約ノ場合ニ船荷證券ヲ使用セザリシハ一個人ノ貨物多ク特ニ今日ノ如ク荷爲換ノ方法行ハレシコトナク又未着商品ノ賣買等モナカリシカバ船荷證券ノ必要モ從テ感ゼラレザリシニ由ルナリ然レドモ今日ハ商業ノ進歩ト共ニ荷

貨貸借ト備船契約トノ區別

Leg. Ch. 5
Des. IV. 406
Valr. II. 192

舊商
新商
公言

貨貸借契約

爲換ノ方法盛ニ行ハレ否ラザルモ船舶ガ到達港ニ入港セザル前船荷證券ニヨリ未着貨物 (Goods arrive)ノ賣買盛ニ行ハル、ヲ以テ備船契約ノ場合ニモ船荷證券ヲ使用スルコト、ナリシナリ

備船契約ヲ類別シテ船舶ノ貸貸借ト所謂備船契約トス前者ハ船主ガ所有船舶ヲ他人ニ貸渡ス契約ニシテ恰モ貸家ノ如シ故ニ貸借人ハ借家人ノ如ク船舶ノ使用權ヲ得ルモノニシテ船長其他ノ船員ハ貸借人ノ使用人ナリ又貸借人ハ汽船ナラバ石炭其他航海ニ必要ナル諸準備ヲ爲サルベカラズ之ニ反シ所謂備船契約ニ於テハ船主ハ備船者ニ船舶ヲ使用セシムルニハアラデ貨物又ハ旅客ヲ運送スル契約ナレバ船長其他ノ船員ハ依然船主ノ使用人ニシテ船舶並ニ航海ニ必要ナル物品備付等ノ負擔ハ實ニ船主ニアリトス斯ノ如キ差別アルヲ以テ船主ノ取得スル報酬モ前者ニアリテハ船舶ノ貸貸料ニシテ後者ニアリテハ運賃ナリト知ルベシ

凡船舶ノ動産タル事ハ我法律ノ規定スル所ニシテ所謂備船契約ノ場合ニハ船舶ハ動産トシテ認メラル、モノナリ然レドモ船舶ハ往々之ヲ不動産ト同一ノ取扱ヲ爲ス必要アルコトハ事實ニシテ且沿革上殊ニ然リトス船舶貸貸借ノ場合ハ即不動産ト同一視スベキ場合ニシテ法律ノ適用上二者ノ間ニ著シキ相違アリ

我舊商法ニ於ケル船舶ノ貸貸借ハ即所謂備船契約ノ謂ニシテ名稱コソ異ナレ規定ノ實質ハ船主ガ備船者ノ貨物又ハ旅客ヲ運送スル契約ナリ

貨貸借契約ハ民法ノ規定ニ從フベキモノニシテ其手續甚簡單ナレバ爰ニ縷述スルノ要ナシ唯貸借人ガ營利ノ目的ニテ賃借シタル船舶ヲ運送ノ用ニ供スル時ハ運送契約ノ當事者ハ其實船主ニ非ズシテ賃借人ナルコト明ナレバ賃借人ハ以下章ヲ追フテ述ブルガ如キ船主ト備船者又ハ荷送主トノ權利義務ニ就キ船主ノ地位ニ立ツモノナリ又賃借人ガ賃借シタル船舶ヲ運送ノ用ニ供スル時ハ許

運送契約

運送契約書

舊商 八六七
新商 五五

全部備船及一部備船

定航海及定期備船

多ノ債權者ト先取特權者トヲ生ズベシ此場合ニ賃借人ハ船舶所有者ニ非ザルガ爲メ先取特權者ガ其權利ヲ行使セントセバ船主ニ對シテモ效力ナカルベカラズ尤モ先取特權者ニシテ賃借人ノ船舶ノ利用ガ貸貸借契約ニ違反スルコトヲ知ル以上ハ船主ニ對シテ效力ヲ及ボサルモノトス

我現行商法ニ規定セル運送契約ハ爰ニ所謂備船契約ト個々ノ運送契約トヲ指スモノナリ個々ノ運送契約ノ場合ハ通例別ニ運送契約書ヲ作成セス船荷證券ヲ以テ之ニ代フルモノナレバ後章ニ詳述スルコト、シ本章ニハ所謂備船契約締結ノ手續其他契約書ノ記載事項等ニ就キ述ベントス

備船契約ノ證書ヲ運送契約書 (Charter Party)ト云フ舊商法ノ規定ニ從ヘバ備船契約ノ締結ハ書面ニ作リテ船主及ビ備船者各自其一通ヲ所持スルコトヲ要セシト雖モ現行商法ニ於テハ商事契約ニハ形式ヲ要セザル原則ヲ採リ此場合ニモ亦運送契約書ヲ作成スルト否トハ當事者ニ一任セシメ契約書中ニ記載スベキ事項ハ慣習乃至當事者ノ契約ニ一任セシメタリ

備船契約ヲ類別シテ全部備船契約ト一部備船契約トス前者ハ俗ニ船腹借切ト稱フルモノニシテ船舶ノ全部ヲ契約ノ目的トスル場合ヲ云ヒ後者ハ船舶ノ一部分ヲ契約ノ目的トスル場合はナリ一部備船契約ハ海外ニテハ廻漕問屋ガ船艙ノ何番等トシテ借切リ一般個々ノ貨物ヲ引受タル場合ニ實見スル所ナルモ本邦ニテハ未好適例ナシ

全部備船契約ヲ再別スル時ハ左ノ如シ

第一 定期航海備船契約 (Voyage Charter)

第二 定期備船契約 (Time Charter)

定期航海備船契約トハ甲乙兩港間又ハ甲乙兩港間ヲ連結スル諸港間ノ航海等豫メ航路ヲ一定セル備船契約ニシテ定期備船契約ハ六ヶ月又ハ一ヶ年等期限ヲ定メタル備船契約ナリ定期備船契約ハ船

主ガ所有ノ船舶ニ故障又ハ不足ヲ生ジタル場合ニ他ノ船主ヨリ借入補充ヲ爲シ又一定期間内ニ貨物又ハ旅客運送ノ目的ニテ借入ル、場合等ニ行ハル、所ニシテ期限ニ重キヲ置キ右期限内ハ別段ノ契約アルニ非ズンバ孰レノ地ニ航行スルモ妨ナシト雖モ定航海備船契約ハ航路ニ重キヲ置クモノトス然レドモ二者孰レモ重要ナル點ニ就キテハ大同小異ナレバ説明ノ便宜上定航海備船契約ニ就キ概念ヲ與ヘ定期備船契約中其異ナル所ヲ併セ述ベントス

備船契約締結ノ手續

備船契約締結ノ手續ハ通常船舶周旋人(Ship Broker)ノ手ヲ經ルコト多ク定航海備船ノ場合ニハ航路積荷ノ品名船積陸揚期間(Day Days)日數超過増拂金(Demurrage)並ニ運賃ヲ定期備船契約ノ場合ニハ期限等ヲ定メザルベカラズ(民法第三編第二章第一節參照)

右船舶周旋人ノ取得スル周旋料(Brokerage)ハ普通本邦ニテハ運賃ノ五分ナルモ貨物ノ種類ニヨリ七分位ナルコトアリ

Ol. 6
新商典六

備船契約ハ船舶周旋人ノ媒介ニヨリ船主之ヲ締結スルヲ普通トスレドモ船籍港以外ニ於テハ船長之カ當事者タルコトヲ得ベシ此場合既ニ船主ノ締結セル備船契約存スル時ハ船長ハ之ガ代用トシテ別種ノ契約ヲ締結スルヲ得ザルハ勿論ナリ而シテ船主カ備船者ト備船ノ契約ヲ結ブニ當リ備船者又ハ船長ノ行爲ニヨリ責任ヲ免レントセバ船長海員ノ任免及ビ給料ノ支拂ヲ備船者ニ一任スレバ宜シ此場合ハ即前ニ述ベタル貸借ニ酷似スルモノニシテ一定ノ航海又ハ一定ノ期間船長及ビ海員ハ備船者ノ代理又ハ使用人トナルモノナリ

運賃ノ定メ方
Leg. Ch. 456
Leg. B. 257

運賃ノ定メ方ハ定航海備船契約ニ於テハ多ク引渡貨物ノ一噸ニ就キ幾許ト定ムレドモ時ニ引渡貨物ノ噸數ニヨルコトナク甲港ヨリ乙港ニ至ル運賃幾許ト定ムルコトアリ之ヲランブサム(Lump Sum)ト云ヒ斯ノ如クシテ計算セル運賃ヲランブプレイト(Lump Freight)又ハランブサムニ對スル運賃又ハ

積噸數ノ指定及算定法

ランブサム、プレイト(Lump Sum Freight)ト云フ
ランブプレイトノ契約ナル時ハ備船者ガ積噸數ヲ超エ船積スルコトノ防遏手段トシテ豫メ契約書ニ滿載吃水ノ尺度ヲ記載スルヲ可トス

定期備船契約ニ於テハ運賃ハ一ヶ月若クハ定期毎ニ總噸數一噸ニ就キ若干ト定ム

備船契約ノ締結ニ當リ船長ハ大凡船舶ニ積載シ得ラル、噸數ノ豫告ヲ備船者ニ與フルモノトス尤モ積荷ノ都合ニヨリテハ船舶ノ積噸數ヲ細密ニ知ルコトヲ得ザルモ大略ノ積噸數ハ左ノ方法ニヨリ算出スルコトヲ得ベシ

- 一 輕量品ナル時ハ登簿噸數ニ一、八ヲ乗ズベシ
- 一 重量品ナル時ハ登簿噸數ニ一、五ヲ乗ズベシ

近海航船(Coastwise)及ビ石炭運送船(Coal)ナラバ上記ノ方法ニヨリテ得タル噸數ニ一割増ヲナシ長航海ニ從事スル大船ハ一割引ヲナスベシ

原則トシテ積噸數ハ當事者ヲ拘束ス
法律上ノ容赦
佛商 三〇六
西商 七四三
Leg. Ch. 453
Car. 688
Leg. B. 257
Valr. III 301

元來運送契約書中ニ記載セラルベキ積噸數ノ重要ナル所以ハ備船者ハ之ニ據リ積荷ノ準備ヲ爲スベク若積噸數即船舶ニ積載シ得ラルベキ丈ノ積荷ヲ準備セザル時ハ滿載シタルモノト看做サレ不足分ニ對スル運賃即 Dead freight ヲ支拂ハザルベカラズ其他商法第五九七、五九八條等ノ場合ニ於ケル運賃ハ皆積噸數ヲ基礎トシテ計算セラルベキモノナレバ積噸數ノ記事ニシテ全然無責任ノモノナリトセバ當事者間ニ之ヲ決定スルノ要ナキモノト謂ハザルベカラズ然レバ原則トシテ運送契約書面ノ積噸數ハ當事者ヲ拘束スベキモノナルコトハ明ナリ尤モ事實船舶ノ積噸數ナルモノハ積荷ノ種類ニ由リ常ニ多少ノ相違アリ及其他ノ理由ニヨリ精確ヲ缺クヲ免レザレバ佛國ノ如キハ法律ヲ以テ積噸數ノ四十分ノ一ノ増減ハ差支ナキモノト規定シ瑞典ニテハ二十分ノ一、ブラジルニテハ

十分ノ一ノ容赦ヲ與フルノ規定アリ其他ノ諸國ハ多ク商慣習ニヨリ或限度(Margin)以上ノ増減アル時ハ船主ニ於テ責ヲ免レ難シ

而シテ積噸數ノ記事ノ前後ニ「大凡」(about, environ)等ノ文字ヲ附加シタル場合ニハ佛國及ビ白耳義ニ於テハ商法ノ規定ニ關セズ當事者間ニ於テ一割ノ増減ヲ容赦スルコト既ニ一般ニ認メラレタル慣習ニシテ且判決例アリ東洋諸港ニ行ハル、慣習モ亦之ニ一致セルガ如シ

英國ノ判決例ニ從ヘバ單純ナル積噸數ノ記事ハ單ニ Hint 又ハ Description ニ過ギズシテ保證 (Warrant) ニ非ズ故ニ右記事ノ相違ガ船主ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ起因セザル場合ニハ運送契約書中ノ Load full and Complete cargo ナル契約條項ハ積噸數ノ爲メニ毫モ動カサレザルモノトス (Hunter v. Fryノ判例ニヨリ)

備船者ハ運送契約書ニ積噸數ニ六一噸トアル船船ニサレバ備船者ハ自衛上ト Load full and Complete cargo of 四〇〇噸ノ貨物ヲ積載スルノ義務ヲ宣告セラレタリ) 然レバ備船者ハ自衛上ト Load full and Complete cargo ofノ次ニ Say about.....tons 等積噸數又ハ數量ヲ限定スルニ至レリ斯ノ如キ詳細ナル記事アルニモ拘ラズ争起レバ右ノ限定噸數又ハ數量ヲ標準トシ三分ノ容赦 (Morris v. Levinson) トカ一定ノ容赦 (Alcock v. Leeuw) トカ其都度々々ノ事實ニ訴ヘ當事者ノ權利義務ヲ決スルガ如シ

Leg. Ch. 179
Ab. 341
契約上ノ容赦

運送契約書ニ前以テ積噸數ノ容赦ヲ規定スルコトアリ例ヘバ某穀物運送契約書ノ如キハ
備船者ノ意ニ任セ小麥種子類穀類ヲ以テ滿船スベシ但英ノ一萬クオーターヲ限リトシ一割ノ増減ハ苦シカラズ

“Then load a full and Complete Cargo (but not exceeding 10,000 qrs, 10 % more or less of wheat and / or Seed and / or Grain at the option of freighters.”

F.P.Nos. 688

斯ノ如キ特約ハ完ク船主ノ利益ノ爲メニセラル、モノト謂ハザルベカラズ蓋新造船ヲ以テ穀物運送ノ契約ヲ締結シタル時ノ如キ船主ハ其船舶ノ積噸數ヲ備船者ニ保證スルコト困難ナルベク又穀物ノ種類ニヨリテモ大ニ積噸數ニ影響ヲ及ボスベケレバナリ

積噸數ニ就キ法律上並ニ契約上ノ容赦上述ノ如シ然ルニ船積地ノ慣習法規ニ遵ヒ全船腹ヲ利用シ難カリシコトヲ船主ニ於テ立證シ得ベキ場合ハ積噸數ノ如何ニ拘ラズ所謂 full and Complete cargo ヲ積載シタルモノナルヲ以テ船主ハ不積ニ歸因スル一切ノ責任ヲ免ルベシ

運送契約書ニ記載ノ積噸數ガ船主ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ由リ著シク誇大ニ失セルコトヲ備船者ニ於テ立證シ得ベキ場合ハ備船者ハ不積荷物ニ對スル希望利益積殘荷物ヲ他船便ニテ輸入スルモノトセバ其困難ナルコト及ビ特ニ餘分ノ費用船積港ニ船待中ノ被害等ヲ標準トシ船主ニ損害賠償ヲ請求シ得ベシ

備船者ガ積噸數ニ超過スル積荷ヲ爲シタル時ハ勿論餘分ノ運賃ヲ支拂ハザルベカラズ而シテ貨物船積後ト雖モ船舶ノ發航前ニ備船者ノ都合ニヨリ契約ヲ解除スル時ハ英國ノ如キハ運賃ノ全額ヲ支拂フベキモ佛國獨逸其他歐洲大陸諸國ノ如キハ運賃ノ半額ヲ支拂フニ止ムルモノトス此種ノ運賃モ亦デツド、ブレイトト稱スルコトアリ孰レモ備船者ガ實際船積ヲ爲サル貨物ニ對シテ猶船主ニ支拂フベキ運賃ナルガ故此名ヲ生ゼシナリ

船尾樓 (Poop) 並ニ船橋 (Bridge) ハ積噸數ノ内ニ計算セラレザルコト勿論ナリト雖モ若備船者ガ此等ノ船腹 (Space) ヲ利用セバ船主ハ契約ノ標準ニ從ヒ運賃ヲ請求シ毫モ値引ヲ爲スヲ要セズ尤モピーク (Peaks) ニ積入レタル貨物ハ通例此限ニ非ズ而シテ港ノ慣習ニ從ヒ一概ニ言ヒ難キモ備船者ガ貨物ノ積入ニ適スル場所ヲ利用セバ船主ハ運賃ヲ請求シ得ベキガ如シ

又或種ノ貨物ハ其積合セノ間ニ空隙ヲ生ズルコトアリ此空隙ヲ名ケデブロークンス、ストウエージ (Broken Stowage) ト云フ而シテ最初運送契約ニ於テ其貨物ヲ指定セズ備船者ノ都合ニヨリテ貨物ヲ船積シタル場合ニハ此空隙ノ間ニモ夫々船積シ得ベキ様取計ヲ要ス何トナレバ此手續ヲ爲サル

Valr. II. 303
294
備新舊
新商 五八一
舊商 五九八
八五八

船尾樓等ニ積
入レタル貨物
P.P.Nos. 814

ブロークンス
トウエージ

石炭其他諸費
用ノ負擔

時ハ實際ノ積量ニ相違ヲ來スヲ以テナリ

定航海備船契約ニアリテハ燃料石炭船用諸掛船員ノ給食料等ハ皆船主ノ負擔ニ屬ス又定期備船契約ニアリテハ船員ノ給食料船體保險料等ハ船主ノ負擔タルコト勿論ナレドモ石炭ノ如キハ備船者ノ負擔タル場合多ク又水先案内料港稅燈臺稅浮標使用料舢舨賃棧橋使用料其他船積陸揚諸費用等モ備船者ノ負擔タルコト多シ是等ハ特別ノ慣習アルニ非ザレハ詳細契約ヲ爲ス必要アリ

海外ニテハ船積及ビ陸揚港ニ於ケル港灣ノ諸經費及ビ船積費用ハ悉皆備船者之ヲ負擔スル代リニ比較的廉キ運賃ニテ備船契約ヲ取結ブコトアリ特ニ合衆國ヨリ輸出スル米穀ノ運送ハ多ク之ヲ Net Grain Charter ト稱ス此起因ヲ尋ヌルニ船積港ノ便宜 (Facilities) 及ビ諸掛何程要スルヤヲ確知シ難

F.P. Nos. 929

船積陸揚期間

キ場合ニ備船者ノ申込ニ從ヒ諸掛ハ先方ニテ負擔スル代リニ運賃ヲ低減セバ差引勘定ハ大差ナカラントテ之ヲ引受ケ尋テ陸揚港ニ於ケル諸掛ヲモ備船者ニテ負擔スルニ至リシナリ然レドモ往々備船者ガ契約ノ主旨ニ從ヒ諸掛ヲ支拂ハザルガ爲メ水先人荷積監督人稅關吏等ハ船主ト備船者トノ間ノ契約如何ニ拘ラズ船主ニ支拂ヲ請求スルガ爲メ船長ハ船舶ノ差押ニ遭ハンヲ恐レ已ムヲ得ズ割安ノ運賃ヨリ是等ノ費用ヲ支出セザルベカラズ結局蛇蜂取ラズノ姿トナルコトアリト云フ

Valr. II. 213
和商 四五七

定航海備船の場合ニハ常ニ船積及ビ陸揚ニ供スル猶豫日即船積陸揚期間ノ取定ヲ爲サルベカラズ船積陸揚期間ハ船積陸揚ニ要スル日子ニシテ船主ハ豫メ航海日數以外ニ相當ノ日數ヲ定メテ運賃ノ約定ヲ爲スモノナレバ備船者ニ於テモ亦船積陸揚期間ノ定メ方ニ就キ大ニ注意ヲ要スル所トス

Des. II. 474
Valr. II. 215

獨商舊 五五五
新 五五五

大祭日

Olw. 98

S.L.D. 17

法律ニ規定スル國アリ例ヘバ和蘭ノ如キハ特ニ契約ナキ時ハ十五日ヲ以テ船積陸揚期間ト爲ス旨ノ法律アリ此他某國ニテハ特約ナケレバ船舶ノ噸數ニ應ジテ船積陸揚ノ期間ヲ定ムルモノアリ例ヘバフ井ランドノ如キハ五十ラスト (Tons) 迄ハ六日其以上ハ三日ヲ加フルコトヲ規定セリ然レドモ其他ノ國ニ於テハ法律上船積又ハ陸揚地ノ慣習ニ從フコト、ナセドモ通例運送契約書ニ於テ特約ヲ爲スコト多ク其期間ハ十五日ヲ以テ普通トス而シテ船積陸揚ニ要スル日數即船積陸揚期間何日ト言フ時ハ反對ノ慣習アルニアラザレバ所謂經過スベキ日數 (Running days) ヲ以テ計算スベキモノナリ然レドモ貨物ノ船積陸揚ニ就キテハ天候不良或ハ雨天其他埠頭込ミ合ヒ荷役ノ出來ザル時アレバ特ニ荷役シ得ベキ日數何日 (So many weather working days) ト明細ニ定ムルコト多シトス又海外ニテハ日曜日、大祭日ノ如キハ労働者ノ休暇日ニシテ是等モ特ニ反對ノ慣習ナキ時又ハ豫メ契約アルニ非ザレバ船積陸揚期間中ニ數ヘラル、恐アリ此ヲ以テ海外ノ運送契約書ノ多數ニハ日曜日及ビ大祭日ハ此限ニ非ズ (Sundays and Holidays excepted) ト記入セルヲ見ルベシ尤モ港ノ慣習ニヨリテハ別ニ此種ノ契約ヲ結ハザルモ日曜日、大祭日其他天候不良又ハ雨天ノ日等ヲ計算ニ加ヘザルコトアリ例ヘバ龍動ノ如キハ單ニ船積陸揚期間何日ト言フ時ハ直ニ労働シ得ベキ日 (Working days) ノ意ナリ

大祭日ノ除外アル時ト雖モ船舶遠ク外國ニ航シ不知案内ノ港ニ於テ荷役ヲ爲ス時ハ大祭日ノ解釋ニ就キ疑ヲ生ジ該港ニ於ケル大祭日ノ意カ將又乘組員仲間ニ認メラル、大祭日ナルカ不明ナル場合アルベシ、サリナガラ大祭日除外ノコトハ備船者保護ノ爲メ設ケラレタル次第ナレバ右様ノ場合ニハ港ニ於ケル大祭日ト解釋スルヲ妥當トシ船員間ノミニ認メラル、大祭日ノ如キハ除外スルコトヲ得ザルナリ

労働シ得ベキ日トハ既ニ述べタルガ如ク當ニ天候不良其他ノ原因ノ爲メニ労働者ノ労働シ能ハザ

H. II. 49-50

ル日ヲ除ケル日ノミヲ云フニ非ズスコツトランドノ如キハ日曜日及ビ大祭日モ亦以テ労働者ノ労働シ得ザル日ト同様ニ看做シ別ニ日曜日及ビ大祭日ヲ除外スル條項ナキ時ト雖モ此等ヲ除外スルコト、ナレリ其他激浪ノ日 (Surt days) ト稱ヘ港湾ノ模様ニヨリ激浪ノ爲メ艇舟ヲ以テ貨物ノ船積又ハ陸揚ニ從事スルコト能ハザル日ヲ取除クコトアリ斯ノ如キ場合ニハ労働シ得ベキ日ヨリ特ニ此激浪ノ日ヲ控除スベキ契約ヲ結ブヲ常トス

此他海外ニ行ハル、石炭運送契約書 (Coal Charters) 中ニハ "Colliery working days" トテ鑛山ニ於テ坑夫ノ労働シ得ベキ日即普通ノ事情ノ下ニ坑夫ノ労働シ得ベキ日ヲ以テ船積期間ヲ定ムルコトアリ又某米運送契約書 (Rice charter) ノ如キハ左ノ如キ規定ヲ挿入スルモノアリ

日曜日、大祭日其他船積港ニ於ケル人夫ノ暴動同盟罷工惡疫其他備船者ノ力能ク之ヲ制止スルコトヲ得ザル理由ニヨリ空費セシ日ハ船積期間ノ内ニ算入セス

"Sundays and gazetted holidays excepted; any time lost at port of Loading through riots, strikes, or sickness of hands connected with the shipping or working of the cargo, or any other causes beyond the Charterers' control, not to be counted as Lay days"

又海外ニ於ケル鐵礦運送契約書 (Iron-ore Charters) 中ニ

貨物ハ二十四時間ノ荷役ヲ爲シ得ベキ日毎ニ若干噸ノ割合ニヨリ船積陸揚ヲ爲スベシ

"Cargo shall be loaded and discharged at a rate of so many tons per Weather working day of twenty four hours."

トノ條項アルモノアリ茲ニ所謂二十四時間トハ晝夜ノ意味ナルニモ拘ラズ備船者ハ往々日中ノ二十四時間 (Twenty-four day-light hours) ト解釋シ毎日少許ノ時間ヲ船積陸揚ニ費シ總計二十四時間トナルニ至リ始メテ一日ト計算スルモノアリ又日曜日及ビ祭日ハ船積陸揚期間中ニ加ヘザルノ契約アルニ拘ラズ備船者ハ特ニ日曜日又ハ祭日其シキハ夜中荷役ヲ爲シ得ベキ特約ヲ結ブコトアリ此等ハ

F.P. Nos. 312

F.P. Nos. 594
H.II. 49

船積陸揚期間
ノ起算
Val. II. 214
O.V. 53

獨商
新舊
英ハ

新商
同
英四
六〇五

Leg. Ch. 300
H.H. 67
F.P. Nos. 812

船主ニ取り不利益甚シキモノニシテ亦不條理ト謂ハザルベカラズ

船積陸揚期間ノ始期ニ就キテハ各國ノ法律又ハ慣習ニヨリ多少ノ相違アリ或ハ船舶ガ船積陸揚港ニ到着ノ時ヨリ之ヲ起算スルモノアリ或ハ船舶ガ船積陸揚港ニ到着シ投錨セル時ヨリ起算スルモノアリ或ハ投錨ノ時ヨリ二十四時間ヲ經テ起算スルモノアリ或ハ税關ニ入港届ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算スルモノアリ或ハ船舶ヲ備船者又ハ荷受主ノ使用ニ供シタル時ヨリ起算スルモノアリ獨逸商法ニヨル時ハ船主又ハ船長ハ貨物ヲ船積シ又ハ陸揚スルニ必要ナル準備ガ整頓シタル時ハ荷送主又ハ荷受主ニ遲滞ナク右ノ通知ヲ發スル義務アリテ船積陸揚期間ハ荷送主又ハ荷受主ガ此通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算スル旨ノ規定アリ我商法ニモ亦之ト同様ノ條文アリ又英米運送契約書中船積期間ノ起算點ニ就キ左ノ條項ヲ挿入スルモノアリ

船積港ニ於ケル船積期間ハ船舶荷數ヲ終リ荷役シ得ベキ場所ニ來リ其船艙悉ク荷役ノ準備ヲ終リタル時ヨリ二十四時間ヲ經テ起算ス準備済ノコトハ船長ヨリ備船者又ハ其代理者ニ營業時間内ニ書面ヲ以テ通知スルヲ要ス(土曜日ハ午前十時ヨリ午後五時迄)

"Lay days at port of loading... to commence 24 hours after the steamer is damaged, matted, and at her loading berth and all hatches are ready for cargo, and of the captain having given written notice (within business hours, 10 a. m. to 5 p. m., Saturday 10 a. m. to 2 p. m.) to that effect to charterers or their agents."

英國ノ判決例ニ據ル時ハ船積陸揚期間ノ起算點大凡左ノ如シ

- 一 運送契約書ニ特定ノ棧橋 (Wharf) ニテ船積及ビ陸揚ヲ爲スベキ旨ノ約束アル時ハ本船ガ該棧橋ニ横附トナル迄ハ船積陸揚期間始マラズ
- 一 特定ノ船渠 (Dock) ニテ船積及ビ陸揚ヲ爲スベキ旨ノ約束アル時ハ該船渠内ノ埠頭 (quay) ニ本船ガ横附トナリ始メテ荷役ヲ爲スコトヲ得ル時ト雖モ本船ガ船渠内ニ着シ船積陸揚ノ準備ヲ爲セシ時ヨリ船積陸揚期間ヲ起算スベシ

- 一 或港其他澳タル所ニテ船積及ビ陸揚ヲ爲スベキ旨ノ約束アル時ハ本船ヲ備船者又ハ荷受主ノ使用ニ供スル準備ヲ終リタル時ヲ以テ船積陸揚期間ノ起算點トス
- 一 孰レノ場合ヲ問ハズ船積期間ハ備船者ガ本船ニ船積ニ必要ナル準備ヲ終リタル旨ノ通知ヲ受取リタルニ非ザレバ起算スルコトヲ得ズ
- 一 特定ノ機橋又ハ船渠ニ向ケ進航セントスルモ備船者又ハ荷受主ノ行爲ノ爲メニ之ヲ妨ゲラレタル時ハ本船ガ此等ノ場所ニ進航ノ準備ヲ終リタル時ヨリ船積陸揚期間ヲ起算スベシ

日數計算ニ就キテハ孰レノ國ニ於テモ特ニ反對ノ契約ナキ限り一日ニ足ラザルモノハ一日ト看做サルベシ故ニ船積又ハ陸揚ニ着手スル其日ノ如キハ一日ト看做サル、コト明白ナリ例ヘバ船積陸揚期間ハ通ジテ九日ノ約ナリシ處船積ニ四日半、陸揚ニ五日半ヲ費シタル時ハ差引二日丈ケ約定期間ニ超過シタルコト、ナルナリ、サレバ備船者ノ立場ヨリ云フ時ハ半派ノ時間ニ受取ルコトハ好マシカラザルヲ以テ船舶入港ノ翌早朝ヨリ起算スルコトヲ各國ノ慣習トシ我商法モ之ヲ認メタルコト既ニ説ク所ノ如シ英國ノ一判決例ニ據ル時ハ船積陸揚期間ハ日曜祭日除外ノ十四日ナリシガ船積ニ七日ヲ要シ船舶ノ陸揚港ニ着シタルハ土曜日ニ當リ午前十時入港ノ手續ヲ了シ船長ヨリ受荷主ニ陸揚ノ準備成レル旨通告シタル所受荷主ハ最初ノ内ハ其日荷物ノ引取ヲナスコトハ不利益ナリトテ引渡ヲ拒ミシモ後ニ至リ引渡ヲ受クルコト、ナリ當日午後一時ヨリ四時ニ至ル三時間荷役ヲナシ全般ノ荷揚ハ翌々週ノ月曜日午前九時ニ終了セリ此場合ニハ陸揚期間ハ土曜日ヨリ起算シ翌週金曜日ノ眞夜中迄ニテ七日ト算シテ船積ニ要シタル七日ト通計十四日ヲ得ベキガ故ニ備船者ハ差引二日丈ケ船積陸揚期間以上ニ費シタル計算トナルベシ

斯ノ如ク船積陸揚期間ヲ定ムルハ船主並ニ備船者ニ肝要ナルモノトス而シテ若船積陸揚期間内ニ船積及ビ陸揚ヲ終了スル時ハ船主ハ備船者ニ對シ運賃ノ割戻ヲ爲スベシ之ヲ日數節約割戻金(Demurrage)ト稱ス

日數節約割戻金

O.L. 93

S.L.D. 8

S.L.D. 11

日數超過増拂

F.P. Nos. 357

金

(patch money) ト稱ス日數節約割戻金ヲ計算スベキ日數ニ就キ備船者ハ往々自己ニ利益アル方法ヲ主張スルコトアリ例ヘバ契約ニヨリ船積期間ハ日曜日及ビ大祭日ヲ除キ十日ナル時備船者假ニ二日ニテ船積ヲ終了セリトセバ八日ニ對スル割戻金ヲ請求シ得ベキハ勿論ナレドモ節約セラレタル八日間ノ日曜日二日大祭日一日アリトセバ備船者ハ事實十三日ノ内ニ船積ヲ終了スレバ足りシガ故ニ節約セラレタル日曜日及ビ大祭日ハ船主ガ船舶ヲ利用シ得ベキヲ插トシ此日數ヲ加ヘ都合十一日分ノ割戻金ヲ請求シ得ベシト主張スルコトアラン若斯ノ如クナレバ運送契約書中ニハ船積期間ハ日曜日及ビ大祭日ヲ除クトアルモ割戻金ノ計算ニ就キテハ特ニ此等ノ日數ヲ加算スルコト、ナリ甚不當ノ解釋ト謂ハザルベカラズ然レドモ海外ニテハ港ノ慣習上船主ニ於テ止ムヲ得ズ之ヲ支拂フコトアリ彼礦物商ガ某港ニ在ル船舶ヲ備船シ船積期間假ニ十日ナリトセンカ礦物商ハ兼テ船積セントスル礦物ヲ準備シ置キ船長ノ發航準備ノ整頓セル通知ノ到達ト同日ニ船積ヲ終了セリトセバ船積期間ハ船長ノ通知ノ翌日ヨリ起算スベキ場合ニ在リテハ船積ニハ其實一日ヲモ要セザリシ次第ナリ此場合ニ若十日間ノ内ニ日曜日二日、大祭日一日ヲ含ム時ハ礦物商ハ十三日ニ對スル割戻金ヲ取得スルコトアリ彼西班牙ノ如キ大祭日頻繁ナル國ニテハ備船者ハ船積陸揚期間ヨリモ多數ノ日ニ對スル割戻金ヲ請求スルコト稀ナラズト云フ

船積陸揚期間經過後船積及ビ陸揚ヲ爲シタル時ハ備船者ハ相當ノ報酬ヲ船主ニ支拂ハザルベカラズ之ヲ日數超過増拂金(Demurrage)ト稱ス斯ノ如クナルガ故備船者ハ貨物ノ船積ヲ終リタル時ハ荷受主ニ船積ニ要セシ時日ヲ通知スルヲ一般トス海外ニ於ケルガ如ク未着商品ノ賣買盛ニ行ハル、ニ當リテハ船積ニ要セル日數僅少ナル時ハ陸揚期間ニ餘裕ヲ生ジ荷受主ニ取リテハ都合ナルヲ以テ自然引渡ヲ受ケタル貨物モ稍高價ニ販賣スルコトヲ得ベシ彼未着品商ノ賣買ニ船積陸揚期間ノ

内餘ス所猶何日ヲ以テ一條件ト爲スハ蓋是ヲ以テナリ
 運送契約書ニ Lay days 何日トアルハ船積陸揚期間ヲ一括セルモノナリ然レドモ船積及ビ陸揚期間
 ハ別々ニ締結セラル、コトアリ我商法ノ如キモ寧ロ此場合ヲ豫想シテ規定セリ此場合ニハ日數超
 過増拂金及ビ日數節約割戻金ハ船積及ビ陸揚ニ區別シ單獨ニ計算セラル、ヲ普通トス尤モ備船者
 ノ利益ヲ計リ船積及ビ陸揚期間ハ相融通スルコトヲ得ベキ旨契約ヲ爲スコトアリ此條項ヲアヴェ
 レーシングケ、グロース (Averaging Clause) ト稱シ其文言概左ノ如シ

備船者ハ日數超過増拂金ノ支給ヲ避ケンガ爲メニ船積陸揚期間ヲ融通スルコトヲ得

Charterers to have the option of averaging day for loading and discharging in order to avoid demurrage."

故ニ例ヘバ船積陸揚期間各十日間ノ約定ナリトシ備船者ガ船積ニ付キ三日間丈節約スルコトヲ得
 バ陸揚期間ハ十三日トナリ船積ニ付キ三日間遅延セバ陸揚期間ハ七日トナルベシ斯ノ如キ特約ヲ
 爲セシニ拘ラズ備船者ガ船積期間ヲ節約シタルガ爲メ既ニ日數節約割戻金ヲ受取リタル時ハ最早
 此條項ノ恩典ニ浴スルコトヲ得ズ陸揚港ニ於テハ既定ノ陸揚期間ニヨリ陸揚ヲ爲サルベカラズ
 日數超過増拂金ハ割戻ニ比シ其率常ニ高キヲ以テ前ニ節約シタル日數ヲ後ニ融通セバ備船者ノ利
 スル所蓋些カラズトス

日數超過増拂金ハ運賃ノ一部ナリヤ將タ損害賠償金ナリヤ此點ニ就キ諸國ノ立法例區々一定セズ
 若之ヲ運賃ノ一部即運送契約ニヨル債權ナリトセバ其時効ハ一年ナリ然レドモ之ヲ損害賠償トナ
 サバ商行為ニ關スルモノナル時ハ商法ノ通則ニヨリ五年其他ハ民法ノ規定ニヨリ十年ナラザルベ
 カラズ若之ヲ運賃ノ一部ナリトセバ荷受主ノ支拂ナカリシ時船主ハ之ガ補足トシテ裁判所ノ許可
 ヲ得貨物ヲ競賣スルコトヲ得ベシ又船主ハ船長ガ法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行為又ハ船長其他

アヴェ
グロ
ス

新商
同六〇五
〇一、 8

F.P.Nos. 801

日數超過増
拂金ハ運賃
ノ一部ナリ
ヤ將タ
損害賠償
金ナ
リヤ

新商
同六〇五
〇一、 8

新商
同六〇五
〇一、 8

新商
同六〇五
〇一、 8

佛國ニ於ケル
慣例

Table II. 221

ノ船員カ職務ヲ行フニ當リ他人ニ加ヘタル損害ニ就キ委付スベキモノ、内ニ包含セラルベシ要ス
 ルニ之ヲ運賃ノ一部ト看做スト損害賠償金ト看ルトニヨリ法律ノ適用上相違些カラズ而シテ我商
 法ノ規定ニ從ヘバ一種ノ賠償ト運賃トノ間ニ在ル報酬ナリト雖モ寧ロ之ヲ運賃ノ一部ト解スルノ
 妥當ナルニ過ギス何トナレバ船積期間ハ運送契約ノ内ニ包含セラル、モノニシテ船積期間經過後
 ハ船長ハ値ニ發航ヲ爲ス權利アリ從テ船長ガ備船者ノ依頼ニヨリ特ニ出帆ヲ延期スル時ハ當事者
 ノ暗黙ノ契約ニヨリ報酬ヲ與フルモノ即増拂金トス從テ此報酬ハ船舶ヲ使用スルト同一ノ行為ニ
 原由スルモノナレバ寧ロ運賃ノ一部ト看做スノ妥當ナルニ如カズ之ヲ損害賠償トスレバ備船者ニ
 過失アルヲ要スルモ事實上備船者ニ已ムヲ得ザル事故アリ不法行為ノ存セザル場合モアラン且ヤ
 船積ハ場所ノ賃借ナレバ賃借ヲ後レタルガ爲メ支拂フ報酬ハ取リモ直サズ運賃ノ一部トスルヲ至
 當トスベシ

獨逸ニ於ケル或學者ノ說ニ從ヘバ日數超過増拂金ヲ以テ過意罰款ナリトシ佛國ニ於テハ之ヲ損害
 賠償ト看做ス論者アリト雖モ同國大審院ノ判決ニ從フ時ハ之ヲ運賃ノ一部ト看做スガ如シ

佛國並ニ佛法ニ做フ國ニ於テハ増拂金ヲ細別シテスール、スタリー (Stuarie) 及ビコントル、スール、スタ
 リー或ハコントル、スタリー (Contre Stuarie or Contrestuarie) トススール、スタリートハ特約又ハ慣習ヲ以テ
 日數超過増拂金ノ賦課ニヨリ船積及ビ陸揚ヲ遅延シ得ベキ期間ノ定マレル時船積陸揚期間以外ニ
 船積及ビ陸揚ニ要シタル期間ニ應ジ一日若干ノ割合ヲ以テ支拂フ増拂金ヲ云ヒ若日數超過増拂金
 ノ賦課ニヨリ船積及ビ陸揚ヲ遅延シ得ベキ期間定マレル時猶其期間内ニ船積及ビ陸揚ヲ結了セザ
 ル時ハ更ニ高キ割合ヲ以テ増拂金ヲ徴收スルモノヲ名ケテコントル、スタリート云フ英國ニ行ハル
 ル運送契約書中ニモ右ニ類似ノ規約ヲ看ルコトアリ尤モ日數超過増拂金ノ賦課ニヨリ船積又ハ陸

H.H. 63

増拂金ノ起ルベキ場合

揚ヲ遅延シ得ベキ期間 (Demurrage days) ノ定マレル時船積陸揚期間以外ニ船積及ビ陸揚ニ要シタル期間ニ應ジ一日若干ノ割合ヲ以テ所謂日數超過増拂金ヲ支拂フモ Demurrage days ノ間ニ船積及ビ陸揚ヲ終了セザル時備船者ノ船舶ヲ抑留 (Detain) セバ船主ノ被リタル全損失ノ賠償ヲ爲サバ爾可カラズ日數超過増拂金ノ起ルベキ場合ハ大凡左ノ如シ

- 第一 船積港ニ於テ船積ニ着手セントスルモ鐵道會社ト備船者トノ間ニ苦情ヲ生ジタルガ爲メ豫定ノ時ニ右ノ船積港ニ貨物ヲ運漕シ能ハザル時
- 第二 船舶ハ船積ヲ爲スニ必要ナル準備整頓セルモ霜其他ノ障害ノ爲メ船積ヲ完了スルコト能ハザル時
- 第三 貨物ノ輸出ニ就キ政府ノ禁止アリタル時
- 第四 貨物船積ノ爲メ特ニ備船者カ船舶ヲ修繕又ハ模様替ヲ爲ス時
- 第五 檢疫規則ニヨリ船舶ト陸地トノ交通遮断セラレタル時
- 第六 船積港ニテ貨物ヲ集ムルコト困難ナル場合
- 第七 貨物ノ内ニ輸出禁制品アリシガ爲メ故障等ヲ生セシ場合
- 第八 船渠込ミ合ヒ貨物ノ船積抄ラザル場合
- 第九 貨主ヨリ苦情ヲ申込ミ船長ガ船荷證券ニ署名スルコトヲ妨ケタル場合
- 第十 港内又ハ棧橋ニ懸ラシムルガ爲メ港外ニテ貨物ノ一物ヲ積卸シ船足ヲ輕クスル時
- 第十一 労働者ノ同盟罷工ノ爲メ貨物ノ一部ヲ船積シタルモ引續キ船積ヲ爲スコト能ハザル時又ハ到達港ニテ陸揚ヲ爲サントスルモ労働者ノ缺乏ノ爲メ之ヲ運延セル時
- 第十二 税關官吏ノ不當行爲ノ爲メ船積陸揚運延セシ時
- 第十三 船荷證券到達港ニ延着セシ時
- 第十四 陸揚ニ要スル種々ノ書類等整頓セザル時
- 第十五 荷受主カ船舶ノ到達セシコトヲ知ラザル時

O.V. 95

第十六 税關規則ニヨリ陸揚手間取リシ時

第十七 運賃ノ支拂ニ就キ船長ト荷受主トノ間ニ苦情ヲ生ジ陸揚自然抄ラザル時

H.H. 63

増拂金ヲ支拂フニ及バサル場合

右ノ外特種ノ貨物例ヘバ材木類ノ引渡ニ就キ陸揚港ニテハ船主之ヲ筏ニ組ミ荷受主之ヲ曳船ニテ引取ル慣習アル時ハ天候不良ニヨリ筏ノ取付困難ニシテ爲ニ陸揚期間經過トナル時ハ特約ナキ限り船主ハ日數超過増拂金ヲ請求シ得ベキガ如シ

- 第一 一揆暴動又ハ敵軍抑留ノ爲メ船積及ビ陸揚ヲ爲シ能ハザル時
- 第二 船主船長ノ惡意又ハ過失ニヨリ災難ヲ醸シ船積及ビ陸揚抄ラザル時
- 第三 船主ニ責任ヲ歸スベキ修繕ノ爲メ船積出帆及ビ陸揚運延セシ時
- 第四 船舶ニ災害ヲ生ジタルガ爲メ出帆運延セシ時
- 第五 貨物ノ船積終了後天候不其其他ノ原因ニヨリ出帆六ケ數キ時

此他船積又ハ陸揚ニ着手中他船ト衝突ヲ爲シタルガ爲メ船積及ビ陸揚ヲ遅延セシ時ノ如キハ其責備船者ニ非ザルガ故日數超過増拂金ヲ支拂フニ及バザルハ勿論他船ヨリ衝突ヲ受ケタル時其損害ノ賠償ヲ該船主ニ要求スルコトヲ得ベシ

日數超過増拂金ハ船積陸揚期間以外ニ要セル日又ハ時間ニ就キ計算シ其労働シ得ベキ日ナルト其日曜日又ハ大祭日ナルトヲ問ハズ換言セバ經過スベキ月又ハ時間ヲ採ラザルベカラズ又假令備船者ガ船積陸揚期間ノ内ニ荷役ヲ爲サリシ時ト雖モ猶船主ハ右期間經過後ハ船舶ノ抑留セラレタル月又ハ時間ニ就キ増拂金ヲ請求スルコトヲ得ベシ蓋若船積陸揚期間以内ニ備船者ガ荷役ヲ終了セバ船主ハ直ニ航海ヲ續行シ自己ノ船舶ヲ利用收益シ得ベカリシガ故ナリ彼日曜日及ビ大祭日ハ

日數超過増拂金ハ如何ニシテ計算スヘキ

F.P.Nos. 900

此限ニ非ズトノ條項ハ獨船積陸揚期間ニ關聯シタルコトニシテ決シテ日數超過増拂金ノ計算ニ充當スベキモノニ非ザルヲ原理トス彼石炭運送契約(Coal charter)ニ於テハ石炭坑夫往々同盟罷工ヲ企ツルコトアリ斯ノ如キ時ハ備船者ガ船積ヲ爲スコト能ハザルヲ知リ契約ノ解除ヲ爲ス迄ハ船積陸揚期間經過ノ日ヨリ數ヘ契約解除ノ日迄日數超過増拂金ヲ收メ得ベシ同盟罷工アリシ日ヨリ契約解除ノ日迄ハ所謂勞働シ得ベキ日ニ非ズトノ口實ヲ以テ備船者ハ増拂金ノ支拂ヲ拒ムコト能ハズ

(Saxton 號事件參照)

海外ニ行ハル、石炭運送契約書ヲ看ルニ石炭商ハ一方ニ礦主ト或期間何種ノ石炭若干噸買入ノ儀ヲ特約シ置キ他方ニ之ヲ轉賣シ需要地ニ運送センガ爲メ船積ヲ備船スルナリ然ルニ坑夫ハ往々同盟罷工ヲ爲ス嫌アリ斯ノ如キ時ハ石炭需要者ハ代品トシテ他ヨリ高價ナル石炭ヲ買入レ船主ハ止ムヲ得ズ廉キ運賃ニテ本船ヲ他線ニ船線セザルベカラズ從テ各關係者ノ被ムル損失ノ補填ヲ受ケンガ爲メ法庭ヲ煩ハスコト屢々アリ然ルニ運送契約書中規定セル船積陸揚期間ハ多ク礦主ヨリ石炭商ニ差出セル石炭ノ引渡シ其他ニ就テノ契約即 Colliery Guarantee ヲ引用シ所謂礦山ニ於テ勞働シ得ベキ若干日ヲ以テ船積期間ト爲スガ故ニ船積期間經過後同盟罷工起リタル時ハ石炭商ガ運送契約ノ主旨ニ基キ船積ノ困難ナルニ見込付カバ直ニ契約ヲ解除スルノ優レルニ若カズ否ラズンバ船積期間終了後ハ日數超過増拂金ヲ船主ニ支拂ヒ加之船主ガ後日契約解除ニ至リ船積ヲ他線ニ船線シタル時生ズベキ運賃ノ損失等ヲモ負擔セザルベカラズ何トナレバ坑夫同盟其他 Colliery Guarantee 除外セル事情ノ爲メ失ハレタル日數ハ船積期間ノ内ニ算入セズトノ條項ハ船積期間ニ關スルモノニシテ日數超過増拂金ノ算定ニハ與カラズ又日數超過増拂金ハ Colliery Working days ニヨリ計算スベシトノ條項アランモ Colliery Working days ハ前ニモ言ヘルガ如ク普通ノ事情ノ下ニ勞働シ得ベキ日ヲ

M.N.Q. vol. XII. 6-8

備船者カ船積ヲ爲サマシムル時ノ手段

M.N.Q. vol. XIII. 35

受荷主數人アル場合

H. H. 71

入港前ノ通知

云ヒ實際礦山ニ於テ勞働セシ日ヲ言フニ非ズ從テ船主ノ日數超過増拂金ノ請求權ヲ妨ゲザレバナリ
備船者ノ都合ニヨリ貨物船積ニ至ラザル内船積期間終了シタルトキハ船主ハ直ニ備船者ニ其旨通知シ尙若日數超過増拂金ノ賦課ニヨリ船積ヲ遅延シ得ベキ期間ノ定メアル時右期間内ニモ船積セザル時ハ備船者ノ運送契約不履行ニ就キ船長ハ宜シクプロテスト(Protest)ヲ爲スベク同時ニ備船者ニ運送契約不履行ニヨル損害賠償ノ責ニ任ズベキ旨並ニ自己及ビ船主ノ損失ヲ少カラシメンガ爲メ相應ノ運賃ヲ收入スベキ手段ニ出ヅベキ旨ノ通告ヲ發スルヲ要ス尤モ多額ノ日數超過増拂金ヲ支拂ヒテモ猶相當ノ期間内ニ備船者ハ貨物ヲ船積スルコトアルベシサレバ餘リ性急ニ他ノ方面ニ船積ヲ差向クルモ愚策トス要スルニ船長ハ備船者ヲ信用スルノ餘リ貨物船積ニ至ラザルニ碌々トシテ待ツニ及バズ然リトテ餘リ性急ニ廉キ運賃ニテ他ノ契約ヲ締結スルモ得策ニ非ズ
受荷主數人アル場合ニハ日數超過増拂金ノ支拂ニ付キ各荷受主ノ責任問題ハ往々議論ヲ起ス所ナリト雖モ英國ノ判決例ニ從フ時ハ荷受主ノ一人ガ他ノ荷受主ノ過失ノ爲メ契約ノ日限内ニ貨物ヲ引取り得ザリシ時ハ日數超過増拂金ヲ支拂ハザルベカラズ例ヘバ自己ノ貨物ハ下積トナリ居リシガ爲メ他ノ荷受主ノ上積貨物ノ引取遅延ニヨリ船荷證券ニ指定ノ日數以內ニ引渡ヲ受ケ得ザリシ時ノ如シ此ノ如キ場合ニハ毫モ自己ニ過失ナキニ拘ラズ日數超過増拂金ヲ支拂フノ責アルガ如シ
(Grader v. Kidd)

右ニ述ベシガ如ク船積陸揚期間ヲ定メ之ニ超過スル時ハ備船者ハ日數超過増拂金ヲ支拂ハザルベカラザルガ爲メ通常船積ガ船積港ニ到着ヨリ二十四時間前又ハ四十八時間前電報ヲ以テ備船者ニ船積ガ船積ヲ爲スニ差支ナキ時間ヲ豫報スルモノトス此時間ノ多少モ亦備船者ガ貨物ヲ準備スル

ニ就キ關係スル所尠ナカラザレバ注意ヲ要スル所トス又船舶ガ陸揚港ニ到達スル時ハ船長ハ荷受主ニ前同様ノ通知ヲ發スルヲ一般ノ慣習トス然ルニ外國ニ輸出スル貨物ノ船荷證券ハ所謂指圖人渡トナリ船長ガ陸揚港ニテ貨物ノ引渡ヲ爲ス迄ハ荷受主ノ何人ナリヤヲ確知スルニ苦ムコトアリ故ニ斯ノ如キ時ハ新聞紙其他引札(Express)ニヨル通知ノ外荷受主ニ入港ノ通知ヲ爲スコト能ハザルナリ

定航海備船契約ノ場合ニ別ニ船積陸揚期間ノ取定メヲ爲サズ一日ノ内ニ船積又ハ陸揚ヲ爲スベキ貨物ノ最小噸數ヲ約束スルコトアリ例ヘバ陸揚貨物ノ最小噸數ニ付キ某運送契約書ノ條項ヲ摘示セバ左ノ如シ

陸揚港ニ於ケル荷受主ハ一日六百噸ヨリ少ナカラザル割合ニテ貨物ヲ本船ノ甲板ヨリ艀舟又ハ棧橋ニ引取ルベシ否ラザレバ本船ハ隨意ニ棧橋ノ上ニ荷卸ヲ爲シ其費用ハ荷受主ノ負擔タルベシ

"To be taken delivery of from steamers deck into lighters or on the quay at the rate not less than 600 Tons per day, otherwise steamer has liberty to discharge same on the quay, Consignees paying the usual Landing charges"

又何等船積陸揚期間ノ定メヲ爲サズ唯空漠トシテ港ノ慣習ニ從ヒ船積又ハ陸揚ヲ爲スベキ旨

"With customary despatch or in accordance with the custom of the port"ノ特約ヲ爲スコトアリ是等ノ約束ハ船積陸揚港ノ組織不完全ニシテ船積陸揚ニ許多ノ時日ヲ費スコト初メヨリ明ナル時其他特種ノ貨物例ヘバ材木等ノ運送契約ニ適用セラル、所トス而シテ船主ノ位地ヨリ云フ時ハ寧ロ初メヨリ割安ノ運賃ニテ船積陸揚期間ヲ定メ日數超過増拂金ヲ徵收センヨリモ割高ナル運賃ニテ契約ヲ爲ス方經濟ナラント信ジ又備船者ノ位置ヨリ云フ時ハ過重ナル日數超過増拂金ヲ支拂ハンヨリ港ノ慣習ニ從ヒ適宜船積陸揚ヲ爲サントノ主旨ニヨリ雙方歡迎ノ上屢々契約書ニ認メラル、條項ナリ然レドモ「港ノ慣習」ナ語ハ頗曖昧ナレバ船主ハ船積陸揚港ノ便宜(Despatch)ヲ知ラザル以上ハ成ルベク此種

一日ノ内ニ船積又ハ陸揚ヲ爲スベキ貨物ノ最小噸數ヲ約束スル場合

F.P. Nos. 932
港ノ慣習ニヨリ船積又ハ陸揚ヲ爲スベキ

F.P. Nos. 892

ノ契約ヲ避ケザルベカラズ強テ船積陸揚期間ヲ契約シ得ザル時ハ一日ニ船積又ハ陸揚ヲ爲スベキ最小ノ數量(Minimum quantity)ヲ契約中ニ認メ置キ港ノ慣習ノ之ニ相違スルニ拘ラズ是ヲ斷行スベキ旨ノ但書ヲ添フルヲ可トス("any custom of the port to the contrary notwithstanding")

抑某港ノ慣習トシテ一日中ニ船積スベキ某貨物ノ數量ハ例ヘバ三百噸ナリト認メラル、ニ至リタル時ハ既ニ遠キ過去ノ事情ニ屬シ必シモ該港現在ノ慣習ト認ムルコト能ハズ假令港ノ改善ナクトモ船舶ハ日新ノ勢ニテ改良セラル、ガ故數年前ニ或船舶ノ要セシ船積陸揚期間ハ今日ノ船舶ニ適用スルコト能ハズ故ニ某港ニ於ケル某貨物一日ノ陸揚數量ハ三百噸ナリトアレドモ實際ハ五百噸乃至七百噸ハ容易ニ陸揚シ得ラル、コト普通看ル所トス要スルニ船主ハ此種ノ空漠タル約束ニ代フルニ船積陸揚期間ヲ一定シ且運送契約書中ニ船積陸揚ノ慣習ヲ否認スルノ條項ヲ挿入スルハ實ニ焦眉ノ急務ト謂ハザルベカラズ

港ノ慣習ニ就キ爭議起リタルトキハ裁判官ハ港ニ於ケル商業會議所(Chamber of Commerce)ノ定メタル標準(Scale)其他各種ノ事實ヲ參酌シ判決ヲ下スモノトス

又船積陸揚ハ成ルベク快速ニ(Possibility)又ハ相當ニ(Reasonableness)爲スベキ約束ヲ爲スコトアルモ斯ノ如キ空漠タル約束ハ増拂金ノ問題ニ就キ爭議ヲ醸ス虞アリ例ヘバ安土阿府ニ於ケル某材木運送契約書(Timber Charter)ノ條項ニ「出來得ベキ丈早ク陸揚スベシ」("as fast as steamer can deliver")トアレドモ同港ノ法律ニヨル時ハ船長ガ荷役ノ途斷レタル時又ハ遲延シタル時毎ニプロテスト(Promise)ヲ爲サレバ増拂金ヲ請求スルコト能ハザルガ故ニ船主ハ運送契約ニヨル自己ノ權利ヲ拋棄スルコト多シト云フ

船積陸揚期間並ニ日數超過増拂金ヲ定ムルコトハ定航海備船契約ニハ必要ナルモ定期備船契約ニ

ハ是等ノ取極メヲ要セズ何トナレバ船舶ノ運送期間ヲ定ムル以上ハ其間船舶ノ航海ヲ爲スト否ト又船積陸揚ニ幾許ノ時日ヲ要スルトハ船主ニ於テ毫モ問ハザル所ナレバナリ
畢竟定期運送契約ノ場合ニハ備船者ハ其實船主ノ位置ニ在ル者ナレバ船積陸揚モ成ルベク早ク之ヲ完了シ契約期間中成ルベク船舶ヲ利用セントスル傾アルガ爲メ比較的備船者ノ好ンデ締結スル所トナルコト争フベカラザル事實ナリ

定期運送契約ノ場合ハ特約ナキ限り船長ハ備船者ノ仕向ケタル貨物ハ本船ニ損害ヲ與ヘザルモノナラバ如何ナルモノヲモ運送セザルベカラズ又其數量モ船舶ノ積噸數以内ナレバ拒ムコトヲ得ズ之ガ爲メ船舶ニ保險ヲ附シアル場合ニ保險證券ノ條項トシテ或ハ冬季ニ限り某航路ヲ擔保セズ又ハ特種ノ貨物ノ積載ヲ禁ズル時ハ備船者ノ行爲ニヨリ保險契約往々無効トナルコトアリ

港ノ慣習ニヨリ船足ヲ輕クスル必要アル時ハ船足ヲ輕クセンガ爲メ或場所ニ至レル時ヨリ陸揚期間ヲ起算シ反對ノ慣習ナキ時ハ陸揚期間ハ爾後引續キ繼續シ本船ヲ特定ノ船渠又ハ棧橋ニ移ス時間ヲモ包含ス而シテ船足ヲ輕クスル費用 (Lightening Expenses) ハ何人ガ負擔スベキヤハ運送契約書ノ規定並ニ港ノ慣習ニ一任セザルベカラズ尤モ特定ノ場所ニ繫留セシメントスルモ一時ノ障礙物ノ爲メ進行シ得ザルニ當リ船主ガ其障礙物ノ撤去セラレン迄本船ノ抑留セラレンコトヲ恐レ貨物ノ全部又ハ一部ヲ解舟ニ移シタル時ノ如キハ其費用ハ勿論船主ノ負擔スル所ナラザルベカラズ又潮加減ニテ荷卸ノ必要アル場合ニ荷卸ノ爲メ本船ニ危険ナキ時又受荷主ガ積卸貨物ノ引取ノ準備ヲ爲セル時ハ船主ハ直ニ船足ヲ輕クシ指定ノ場所ニ進航セザルベカラズ

海外ニ於ケル定航海備船契約ヲ締結スルニ當リ陸揚港ノ水深疑ハシキ時ハ豫メ契約書ニ「船舶陸揚港ニ到達スレバ必要ニ應ジ貨主ノ費用ト危險トナリテ船足ヲ輕クシ安全ニ港内ニ繫留セシムベシ」或ハ

船足ヲ輕クスル費用
O.V. 17

H.H. 53-55

O.V. 10-11

陸揚場所

「船積陸揚期間ハ船舶ガ船積陸揚港ノ港口ニ到達シタル時ヲ以テ起算スル等ノ條項ヲ挿入スルコトアリ蓋遠淺ノ港ニ於テハ干潮ノ際入港シ得ザルガ爲メ船舶ヲ徒ラニ港外ニ止メ船主ハ日數超過増拂金ヲ請求シ得ザル虞アルヲ以テナリ

陸揚ノ場所ハ港ノ名ヲ普通トスレドモ日數超過増拂金ノ負擔ヲ免レンガ爲メ近年漸ク陸揚ノ場所ヲ詳細ニ運送契約書ニ指定スルニ至レリ例ヘバ何々船渠又ハ棧橋等是ナリ斯ノ如キ詳細ナル陸揚場所ヲ指定セル時ハ本船ガ其船渠又ハ棧橋等ニ到着セル時ヲ以テ船積陸揚期間ノ起算點ト爲スベキコト論ヲ待タズ尤モ「十分ノ水アラバ」(「if sufficient water」)トノ條件ヲ挿入シ船主ノ利益ヲ計ルコトナキニ非ズ此他備船者ノ指定セル場所ニ於テ陸揚ヲ爲ス (to deliver as ordered) 約束ナル時ハ備船者ハ必シモ本船ノ爲メ直チニ使用シ得ベキ場所ヲ周旋スルニ及バズ又船渠會社其他港務局ガ本船ノ爲メ特ニ碇泊所ヲ指定スルニ盡力スベキコトヲ保證スルノ要ナシ

單ニ港ノ名ヲ以テ陸揚ノ場所ト爲シタル時ハ其港ノ慣習ニ從ヒ貨物ノ種類ニ準ジ備船者ハ便宜陸揚ノ場所ヲ指定シテ苦カラズ然レドモ指定ヲ遅延シタルガ爲メ本船ガ既ニ普通貨物ノ陸揚場所ニ繫リ居ル時更ニ他ノ場所ニ移サシムル時ハ備船者ニ於テ之ガ費用ヲ支辨セザルベカラズ又備船者ノ指定シタル場所ニ達スルニハ他ノ場所ニ比シ著シク時間ト費用トヲ要スル場合ニハ船主ハ備船者ニ損害賠償ヲ請求シ得ベシ

海外ノ備船契約書ニハ指定セラレタル船積又ハ陸揚港ノ後ニ「又ハ安全ニ繫船シ得ベキ其附近ノ所」(as near thereto as she can safely get) ナル數語ヲ附記スルコトアリ是ハ相當ノ時日內ニ船主ノアラユル盡力ヲ爲セシニ拘ラズ指定港ニ入港シ難キ時ヲ豫想セル船主保護ノ條項ト看ルベシ但指定港ニ入港シ難キ原由トナルベキ障害ハ久シキニ渡ルヲ要シ一時的ノ障害ノ如キハ免責ノ理由トスベカラズ其

H.H. 53-56

S.L.D. 23

陸揚港ニ入港ノ困難ナル原由ガ吃水即船脚ノ關係ナル時ハ船長ハ該港口又ハ其近傍ニ於テ荷主ト謀リ船舶ヲ危険ニ曝スコトナク積付ノ都合上容易ニ解取ヲナシ得ベキ時ノ如キハ船長ハ依然指定港ニ入港ノ義務アリ海外ノ備船契約ニハ船積陸揚港共甚シク廣義ナル場合アリ例ヘバ "on the contingent between Havre and Hamburg as ordered" ノ如シ斯ノ如キ場合ニ指定セラレタル港ガ運河ヲ經由シテ始メテ入港シ得ベキ場合モアルベク又其港口ニ淺瀬ヲ控ユルモノアリ斯ノ如キ場合ニ船足ヲ輕クスル費用ノ負擔者ハ既ニ曩ニ説キタルガ如ク船主備船者孰レカニ在レバ從テ日數超過増拂金ノ負擔者モ容易ニ決シ得ベシ

"So near thereto as she can safely get" ハ船積港ニ入港ノ場合ノミナラズ出港ノ場合ニモ關係アルコトニシテ例ヘバ船主ト備船者トガ港口ニ淺瀬ヲ控ユル港ニ於テ船積ヲ爲スベキ場合ニ内港ニ於テハ滿載ノ荷役ヲ爲スコト不可能ナルヲ熟知セル場合ニ某船其内港ニ於テ出來可キ丈積荷ヲ爲シ更ニ淺瀬ヲ超エ外港ニ於テ餘積ヲ充タサントセバ備船者ハ之ヲ甘諾セザルベカラズ又斯ノ如キ場合ニハ船長ハ必シモ内港ニ入港スルヲ要セザルナリ

運賃ノ一部ヲ前貸トシテ船長ニ拂渡ス時ハ此金高モ亦豫メ運送契約書ニ取定メ置カザルベカラズ從前ハ前貸トシテ拂渡セル運賃ハ焚料石炭ノ買入其他ノ諸費用ニ就キ必要ナル財源ノ一部ト爲スニ在リシガ今日ハ右等ノ必要ナキ場合ト雖モ大會社所屬ノ船舶ヲ備入ル、時ハ動モスレバ運賃ノ一部ハ豫メ現金ヲ以テ拂渡スベキモノタルコトアリ既ニ運賃ノ章ニ述ベシガ如ク英國ニ於テハ運賃ノ前借ト船長ヘノ貸金トヲ區別シ前者ニ在リテハ船舶遭難セルトキハ之ヲ收ムルコト能ハザレバ備船者ハ立替拂運賃ニ就キ豫メ保險ヲ附セザルベカラズ然レドモ後者ニ在リテハ貸金ノ性質ヲ帶ブルガ故假令船舶遭難スルモ之ヲ取戻シ得ベク若亦船舶無事ニ到着港ニ着スレバ契約ノ運賃ヨ

前拂運賃及船長ヘノ貸金

リ差引キ支拂フモノトス此ノ如キ相違アルヲ以テ多數ノ運送契約書特ニ定航海運送契約書ニハ後者ノ如キ取定メヲ爲シ其文句多クハ左ノ如シ

船舶發航準備ノ爲メ必要ナル時ハ船長ノ請求ニヨリ當時ノ爲替相場ニヨリ金何程ヲ限リ備船者ヨリ前貸スヘシ船長ハ右金子受取ト同時ニ備船者ニ何分ノ手數料ヲ合算セル受取證ヲ交附シ加之右金額ヲ船荷證券ニ裏書シ備船者ノ支拂フベキ運賃ト差引計算スベシ

"Sufficient cash for vessels' necessary disbursement at port of loading advanced to the Master if required at the current rate of exchange and not exceeding... for which he will give his receipt including... % Commission. The amount to be enclosed on B/L, and to be on 'age of and deducted from freight on settlement thereof."

句中「當時ノ爲替相場」(Current rate of exchange)トハ一覽拂ノ爲替手形ノ相場ヲ言フ

備船契約ノ締結ニ當リアドレ、ス、コン、ミ、シ、ョ、ン、(Address Commission)ヲ定ムルコトアリ是ハ海外ニ於ケル例ニシテ本邦ニハ多ク見ザル所トス

アドレ、ス、コン、ミ、シ、ョ、ン

アドレ、ス、コン、ミ、シ、ョ、ントハ陸揚港ニ於ケル荷受主又ハ備船者ノ代理店ガ船舶ノ歸リ荷ヲ周旋スル時之ニ對シテ收ムル手數料ヲ云ヒ其割合ハ運賃ノ二分、二分五厘乃至五分ナルコトアリ英國ノ如キハ運送契約書中ニ反對ノ契約ナキ時ハ船主ハ荷受主ヨリアドレ、ス、コン、ミ、シ、ョ、ンヲ請求セラル、虞アリ例ヘバ龍動ヨリ桑港ニ至ル定航海備船ヲ爲シタルニ船舶ガ桑港到着前船主ニ於テ墨西哥ノ某港ヨリ漢堡ニ至ル歸リ荷ノ運送契約ヲ取結ビシ處桑港ニ於ケル荷受主ハ斯ノ如キ契約ノ成立セシヲ知ラズシテ別ニ桑港ヨリ歐洲ニ至ル歸リ荷ヲ周旋セシモ荷主ハ既ニ是ヨリ先運送契約ヲ締結セシヲ以テ荷受主ノ周旋ニ應ズルコトヲ得ズ從テ荷受主ハアドレ、ス、コン、ミ、シ、ョ、ンヲ失フニ至リタルガ爲メ訴訟ヲ起セシ處荷受主ノ勝訴トナリシト云フ

陸揚港ニ於ケル備船者ノ代理店ガ船主ニ代ハリ輸出地ニ於ケル日數超過増拂金ノ取立ヲ爲シタル

Ldg. Ch. 302
Cmt. 135

M.N.Q. vol. 3
XII, 3

時ハ又若干ノ手數料ヲ收入シ得ベキ旨運送契約書中ニ記載シ通俗之ヲモアドレックス、コンミッショント稱ス然レドモ何等契約書ニ記載ナキ時ハ右ノ手數料ヲ收入シ得ザルヲ普通トス
アドレックス、コンミッションハ英國並ニ其殖民地ニ行ハル、所ニシテ自餘ノ諸國ニハ餘リ多ク聞カザル所ナリ尤モ今日ニテハ英國ニテモ特ニアドレックス、コンミッションナル名稱ヲ附セズ運賃ヨリ一種ノ割引ヲ爲スコトアリ例ヘバアドレックス、コンミッション云々ト記載スルニ代ヘ「運賃ハ陸揚港ニ於テ貨物引渡後二分五厘ヲ差引キ支拂ハルベシ」(Freight payable at port of discharge after deducting 2 1/2 % usual Commission)ト運送契約書ニ記載スルガ如シ

損害賠償金

民 四〇〇

アドレックス、コンミッションハ定航海備船契約ニ多ク行ハル、所ニシテ定期備船契約ニハ甚稀ナリ
備船契約ノ締結ニ當リ契約不履行ノ際支拂フベキ損害賠償金ヲ定ムルヲ普通トス若此條項ナキ時ハ契約不履行者ニ損害金ヲ要求スルニハ之ガ證明ヲ爲サルベカラズ而シテ此證明ハ至難ノ事ナルガ故ニ通例備船契約ニ於テハ契約不履行ノ際一方ヨリ賠償金トシテ金若干ヲ支拂フベキ旨ヲ定ムルナリ

セツサー、ク
ロース

Leg. ch. 399
H. L. 43-44

運送契約書ニハ亦船主ニ對スル備船者ノ責任解除ニ就キテノ條項ヲ記入スルコトアリ此條項ヲセツサー、クロース又ハセツサー、オフ、ライアビリチ、クロース (Cesser Clause or Cesser of Liability Clause)ト稱ス
若此條項ナキ時ハ貨物陸揚港ニ到着ノ上荷受主ガ運賃ヲ支拂フ迄ハ船主ニ對スル備船者ノ責任ハ依然存續スベシ然レドモ貨物ノ種類ニヨリテハ備船者ノ貨物船積後船荷證券ヲ以テ他ニ轉賣セラレ陸揚港ニ於ケル最終ノ船荷證券所有者者即荷受主ハ備船者ト完ク無關係ノ人タルコトアルベシ斯ノ如キ時ニ際シ備船者猶責ヲ負フニ於テハ迷惑蓋渺カラズ此ヲ以テ運賃其他ノ支拂ニ就キ船長ニ貨物ノ留置權ヲ與フルト同時ニ他方ニ備船者ノ責任解除ノ契約ヲ取結ブ事ヲ得ベキハ蓋至當ナリ

以上ハ備船契約ヲ締結スルニ至リ定ムベキ要項トス其他ハ孰レモ印刷セル一定ノ書式ニ記入セバ可ナリ

商慣習

Olv. 16-17

商事契約ノ大部ハ商慣習 (Usage of Trade)ニヨリ支配セラル、モノ多キニ居ルガ故備船契約ノ場合トテモ當事者ガ特ニ契約書ヲ以テ特約セザリシ事項ハ一切商慣習ニ據ルモノト解釋スルコトヲ得ベシ
凡商人ハ世界ニ普通ノ慣習ヲ會得スルモノト推測セラル、モノナレドモ一他方ノ慣習 (Local Custom)ハ當事者ヲ拘束スルコト能ハズ例ヘバ或特種ノ港ノ慣習ノ如キハ相手方ガ外國人ニシテ之ヲ知ラザル時アラン又商慣習ガ有效タランニハ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反セザルヲ要スルハ言フ迄モナシ(法例第二條)

新商 一
H. H. 170-172
航路ニヨル運
送契約書

運送契約書ノ書式ハ國ニヨリ異ナリ又同一國ニテモ航路ト積荷トニヨリ一様ナラズ例ヘバ英國ニ於ケル運送契約書ノ名稱ハ其航路ニヨリテ區別スレバ左ノ如シ

- ダニユーブ河運送契約書 (Danube charter)
- 黒海運送契約書 (Black Sea charter)
- バルチック海運送契約書 (Baltic charter)
- アソフ海運送契約書 (Azov Charter)
- 地中海運送契約書 (Mediterranean charter)
- 東方貿易運送契約書 (Eastern Trade charter)
- 南米運送契約書 (South American charter)
- 又積荷ニヨリテ區別スレバ
 - 石炭運送契約書 (Coal charter)
 - 鐵礦運送契約書 (Iron-ore charter)
 - 木材運送契約書 (Lumber charter)

穀類運送契約書
製茶運送契約書

(Grain charter)
(Tea charter)

等アリ孰レモ其目的ニヨリ多少ノ相違アレドモ要點ニ至リテハ大同小異ナリ

備船契約ノ場合ニモ亦多クハ船荷證券ヲ發行スルモノトス然レドモ此種ノ船荷證券ハ單ニ貨物ノ領收證ニシテ極メテ簡單ナルモノヲ使用スル場合多キニ居ル何トナレバ船主ト備船者トノ間ノ運送契約ハ運送契約書ニヨリ支配セラル、ガ故ナリ此ヲ以テ船荷證券ノ條項ハ運送契約書ノ條項ト相矛盾スル時ハ運送契約書ニヨリ決セラルベキコト固ヨリ當然ナリ然ルニ第三者ニ對シテハ船荷證券ハ運送契約ノ證明トナルガ故船荷證券ニ從フベキコト亦勿論ナリ之ガ爲メ備船契約ノ場合ト雖モ積荷ヲ他人ニ賣却スルカ又ハ備船者ニ於テ他人ノ貨物ヲ運送スル時ハ普通ノ書式ノ船荷證券ヲ使用ス

新商
三言
六元

備船契約ノ場
合ニ於ケル船
荷證券及其効
力及運送契約
書トノ關係

コンクルーシ
アエグイテン
スグロース

海外ノ運送契約書ニハ「船荷證券ニ記載ノ貨物ノ數量ハ貨物所有者ニ對シ其船積セラレタル唯一ノ證據タルベシ」(“B/L should be conclusive evidence against the owners of the quantity of cargo shipped on board as stated therein”)トノ條項ヲ觀ルベシ之ヲ Conclusive evidence clause ト稱ス斯ノ如キ條項アル時ハ假令船積港ニテ天候險惡其他ノ理由ニヨリ貨物ノ一部不積トナリシコト當事者間ニ明白ニシテ且船長ガ Protest ヲナシタリト雖モ若船荷證券無故障ニテ恰モ船積シタルガ如キ記載アル時ハ事ヲ法庭ニ争フニ至レバ船主ノ敗訴トナルベシ之ニ反シ船荷證券面ノ數量ハ不積ノ分ヲ包含スルモ「内若干個ハ天候險惡ノ爲メ紛失シ不積トナリタルコトハ何地ニ於ケル何年何月何日ノ Protest ナラズモ……Lost through bad weather as per protest dated……19……」等ノ特別除外例アル時ハ假令運送契約書ニ Conclusive evidence clause アリト雖モ船主ハ不足分ニ對シ引渡ノ責ヲ免ル、コトヲ得ベキナリ (“*Spitham*” 及 “*J. Lohden & Co. v. Charles Cadeler & Co.*” 參照)

Lohden & Co. v. Charles Cadeler & Co. 參照)

運賃ノ支拂其他船主ト備船者トノ權利義務ニ就キテハ法律ノ規定命令的ニ非ザレバ契約ニヨリテ屢之ヲ變更スルコトアリ故ニ例ヘバ共同海損ノ精算ニ際シテハ先運送契約書又ハ船荷證券ノ條項ヲ精算者ニ示サルベカラズ蓋此等條項ノ如何ニヨリ共同海損ノ精算ニ消長ヲ及ボスコト些少ニ非ザレバナリ一例ヲ舉ゲンカ船舶航海中遭難シ共同海損起リタル時ニ際シ之ヲ負擔スベキモノハ通常船舶貨物及ビ運賃ノ三者ナリ然ルニ運賃ニ就キテハ運送契約書ニハ船荷證券ニ於テ如何ナル場合ト雖モ之ヲ收入スル規定アリテ假ニ法律亦之ヲ是認セル場合ニ於テハ運賃其物ハ毫モ共同海損タル犠牲ニ就キ恩惠ヲ蒙ルコトナシ何トナレバ船舶喪失シ貨物皆無トナルモ前拂運賃ハ之ヲ返却スルニ及バズ又向拂運賃ハ之ヲ取立ツコトヲ得トセンカ共同海損ノ行爲ハ運賃ノ點ヨリ言フ時ハ毫モ恩惠ヲ受ケザルナリ從テ亦共同海損ノ負擔ヲ免カルベシ斯ノ如キ例枚舉ニ違アラズ特ニ運送契約書ヲ以テ備船契約ヲ爲シタル時ハ備船者ガ運賃ニ就キ共同海損ノ負擔ヲ免カルベキヤ否ヤハ多ク運送契約書ノ條項ニヨリ支配セラル、モノトス之カ爲メ共同海損ノ精算ニ當リテハ普通ノ原則ヲ變更スルコト屢アリト云フ

備船契約ノ場合ニハ船長ハ運送契約書ニ記載セル運賃ヨリモ低キ割合ノ運賃ヲ以テ船積ヲ爲スコト能ハザルハ勿論ナリ何トナレバ船主ト備船者トノ間ノ運送契約ハ假令運送契約書ヲ以テ立證トナスモ船荷證券ガ既ニ善意ノ第三者ニ渡レバ陸揚港ニ於テ船荷證券面記載ノ運賃ヲ船長ニ於テ受取りタル以上ハ積荷ノ引渡ヲ爲サルベカラズ此ヲ以テ運送契約書ニ記載セル運賃ヨリモ低キ割合ノ運賃ヲ以テ船積ヲ爲サントスル時ハ船長ハ船荷證券ニ署名スルコトヲ拒絶スベシトノ條項アルモノアリ而シテ若契約ニヨリ船長カ隨意ニ運賃ヲ定ムルコトヲ得ベキ場合ニ運送契約書ニ記載

船長ハ運送契
約書面ノ運賃
ヨリモ低キ割
合ヲ以テ船積
ヲ爲スコトヲ
得ス

Leg. ch.
408

ノ運賃ガ船荷證券面記載ノ運賃ヨリモ多額ナル時ハ船積港ニ於テ船荷證券署名前備船者ヨリ右ノ差額ヲ船主ニ支拂フヲ至當トス是陸揚港ノ荷受主ハ間々支拂停止其他ノ事故ノ爲メ引渡ヲ受クルコト能ハザルコトヲ好マザル場合モアラン其他荷受主ガ外國人ニシテ船積港ノ法律ノ適用ヲ受ケザル場合モアルベケレバナリ

船長ガ運送契約書面運賃ヨリモ高キ割合ニテ船積港ヲ爲セシ時

然ラバ船長ガ運送契約書ニ記載セル運賃ヨリモ高キ割合ニテ船荷證券ヲ發行セシ時ハ如何ト釋ヌルニ佛國等ニテハ法律ヲ以テ之ヲ禁ジタルコトアリキ其精神ハ備船者ガ第三者ノ貨物ヲ運送スル時ニ船主ト契約セル運賃ヨリモ高キ割合ヲ以テスル時ハ一般公安ヲ害スルノ虞アリ而シテ若斯ノ如キコトヲ默許ニ附センカ有力ナル船主ハ他ノ船主ノ船積ヲ借切リ船積ノ獨占ヲ爲シ運賃ヲ引上ゲテ貨主ヲ苦ムルノ弊害ヲ醸スベケレバナリト云フニ在リ然レドモ現今ニテハ此種ノ制限消滅セシガ爲メ備船者ハ豫メ船主ト契約セル率ヨリモ高額ノ運賃ヲ以テ第三者ノ貨物ヲ運送スルコトアルモノト知ルベシ

E. P. Nos. 939

船長ハ運送契約書面貨物ト異ナリタルモノハ船積港ニ拒絶スルコト能ハザル原則トス何トナレバ積荷ノ變更ハ運賃ニ非常ノ影響ヲ及ボスモノニシテ一噸若干

海外ニテハ内地ノ鐵道又ハ沿岸諸港ヨリ輸出セラレタル貨物ニ對シ船長ハ所謂通シ船荷證券ヲ發行スルコトアリ斯ノ如キ場合ニ運送契約書面ノ運賃ハ假ニ一噸五圓トシ通シ運賃ハ七圓五十錢ナリトセバ陸揚港ニ於テ船長ハ荷受主ヨリ船荷證券面ノ通り一噸七圓五十錢ノ割合ニテ運賃ヲ收入シ得ベシト雖モ其實船主ノ收益シ得ベキ金高ハ一噸五圓丈クナレバ差引二圓五十錢ハ船主支拂備船者受取ノ爲替手形ヲ振出シ勘定ノ始末ヲ爲スヲ常トス

運送契約書ニ記載セル貨物ト異ナリタルモノヲ備船者ガ船積セントスル時ハ船長ハ之ヲ拒絶スルコトヲ得ベキヤト釋ヌルニ要ハ貨物ニ就キ格段ノ記載ヲ爲シタル時ハ備船者ハ安ニ之ヲ變更スルコト能ハザル原則トス何トナレバ積荷ノ變更ハ運賃ニ非常ノ影響ヲ及ボスモノニシテ一噸若干

備船契約ノ消滅法律ノ規定ニヨル解除

新商六三

ト定ムルモ嵩張リタル貨物ト否ラザルモノトノ如キハ實際運賃ノ計算上非常ノ相違ヲ來スベシ又危險ノ點ニ於テモ積荷ノ如何ニヨリ大ニ相違ヲ生ズベシ故ニ船長ハ豫約ノ積荷ト異ナリタルモノ、船積ニ就キテハ之ヲ拒絶シ得ベキハ蓋當ヲ得タルモノト謂フベシ

備船契約ハ契約期間内ト雖モ自然ニ消滅スルコトアリ是等ノ消滅事項ニ就キ豫メ運送契約書中ニ特約ヲ爲シタル時ハ問題外ナリト雖モ特約ナキ時ニテモ我法律ノ規定ニ從ヘバ左ノ場合ニハ備船契約ハ當然解除セラレベシ

- 一 船船ガ沈没シタル時
- 二 船船ガ修繕スルコト能ハザルニ至リタル時
- 三 船船ガ捕獲セラレタル時
- 四 運送品ガ不可抗力ニヨリ滅失シタル時

船船ガ沈没シタル時トハ船船ガ水中ニ沈ミ引揚ニ困難ナル時ヲ指スモノナリ斯ノ如キ場合ニ當リテハ最早航海ヲ續行スルコト能ハザルガ故契約ハ解除セラレ船主ハ他船ヲ以テ貨物ヲ陸揚港ニ送り届クル義務ナシ又船船ガ修繕スルコト能ハザルニ至リタルモノト看做サルベキ場合ハ法律ノ規定ニ從ヘバ左ノ如シ

新商五三

- 一 船船其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハズ且其修繕ヲ爲スベキ地ニ至ルコト能ハザル時
 - 二 修繕費ガ船船ノ價格ノ四分ノ三ヲ超ユル時
- 但航海中毀損セル時ハ發航當時ノ價格ヲ及其他ノ場合ニハ毀損前ニ有セシ價格ヲ船船ノ價格トス

又備船契約ハ當事者之ヲ解除スルコトヲ得ベシ解除ノ場合及ビ其効果等ニ就キ豫メ契約アル時ハ之ニ從ヒ若何等ノ契約ナキ時ハ法律ノ規定スル所ニ從ハザルベカラズ契約解除ノ場合及ビ其效力等ノ規定ハ既ニ運賃ノ章ニ述ベタルバ茲ニ省略ス

F.P.Nos. 621
解除條項
F.P.Nos. 800

海外ニテハ労働者ノ同盟罷工、船渠又ハ鐵道ノ同盟休業其他ノ理由ニヨリ船舶積港ニ入港セルモ備船者ガ船積ニ着手スルコト能ハズ從テ船主ハ數週乃至數ヶ月徒ラニ船舶ヲ抑留セラレ從テ生スベキ損失蓋尠カラズ尤モ日數超過増拂金ヲ請求シ得ベシト雖モ斯ノ如キ際ニハ寧ロ契約ヲ解除シ割善キ運賃ニテ他ニ備船スルニ若カズ故ニ運送契約書ニハ「範圍ノ廣狭ヲ問ハズ同盟罷工ノ爲メ何日間船積ニ着手シ難キ時ハ船主ハ本契約ヲ解除スルヲ得」(Should a strike, whether general or partial, prevent the loading of the ship for more than...days, owners to have the option of cancelling this charter) 等船主ニ有益ナル條項ヲ挿入スルコトアリ又某石炭運送契約者ノ如キハ入港後備船者ガ八日間船積ヲ爲サル時ハ船主ハ契約ヲ解除スルコトヲ得ベキ旨ノ條項アルモノアリ若此種ノ特約ナクシテ終ニ積荷ヲ得ル望ナキガ爲メ備船者ノ申込ニ應ジ契約ヲ解除シタル時ハ更ニ他ニ備船セシ時運賃ノ相場下落ノ爲メ被ルベキ損失ハ前備船者當然賠償ノ責アリ ("Sixton" 事件参照)

又天候險惡其他船體ニ故障ヲ生シ修繕ヲ要セシガ爲メ其他難破船救助ノ爲メ豫定ノ日ニ船舶ガ船積港ニ入港シ得ザルコトアルベシ依テ運送契約書ニハ豫メ本船ガ指定ノ日ニ船積港ニ入港セザル時ハ備船者ハ任意ニ該契約ヲ解除スルコトヲ得ベキ條項ヲ挿入スルコトアリ之ヲ解除條項 (Cancelling Clause) ト稱シ其指定ノ日ヲ Cancelling date ト稱ス解除條項ハ主ニ備船者ノ利益ヲ主トシタルモノナレバ本船ガ指定ノ日ニ船積港ニ入港シ得ザルコト明白ナルモ猶船長ハ船積港ニ赴キ備船者ノ命ヲ待タザルベカラズ決シテ本船ガ該港ニ入港シ得ザル事實ヲ以テ解除ノ條件ト看ルベカラズ換言

F.P.Nos. 921
11/7/901

スレバ此條項ハ雙方ノ主張シ得ベキ所ニアラズ凡備船者ガ船舶ヲ輸入ル、トキハ特種ノ貨物ノ運送ヲ爲サンガ爲メ又ハ口數多キ貨物ノ運送即共用船舶トシテ使用センガ爲メナレバ假令本船ノ入港ガ指定ノ日ヨリ後ル、コト數日乃至數週ナリト雖モ本船入港後ナラデハ運送契約ヲ取消スベキヤ否ヤヲ決スルコト能ハズ之ニ反シ本船ガ指定ノ日ニ船積港ニ入港シ得ザルガ故多分備船者ハ契約ヲ取消スナラント憶惻スルハ少シク早計タルヲ免レズ蓋船舶遲延ノ爲メ運賃ノ相場下落シタル時ハ通例備船者ハ右ノ條項ヲ利用シ解除ヲ爲サンモ之ニ反シ運賃ノ相場上騰センカ運送契約ヲ利用セザルモノト限ラズ此場合ニ船長ガ指定ノ日ニ船積港ニ入港シ得ザルコト明白ナルノ理由ヲ以テ多分契約ハ解除セラル、ナラント斷定シ船積港ニ本船ヲ廻漕セザル時ハ備船者ニ於テ該船ニ代フルニ他船ヲ以テセザルベカラズ此ニ於テカ始メテ代船ニ支拂フベキ運賃ト本船ニ支拂フベカリシ運賃トノ差額ヲ損害賠償トシテ船主ニ請求シ得ベキナリ要スルニ解除條項アル時ハ備船者ハ豫メ自己ノ意思ヲ洩スノ要ナク亦好デ解除セントノ早計ヲ爲スノ要ナシ否ラザレバ船主ハ機ニ乗ジ契約ノ履行ヲ爲サルコトアルベシ例ヘバ備船者ガ指定ノ日ヨリ後レテ船積港ニ入港スルモ尙船積ヲ爲スベキヤトノ船主ノ問ニ對シ若運賃ヲ値引セバ船積ヲ爲スヤモ知レズ等ノ答ヲ以テスル時其他指定日繰下ノ請求ヲ拒絕シタル時ノ如キ是ナリ ("Tally Law's" 事件参照)

11.H. 46
條項ノ變更

尤モ斯ノ如キ解除條項ナキ時ト雖モ本船ガ船積港ヘ入港ノ時日不當ニ遲延シ爲メニ備船者ガ契約ヲ爲シタル目的ヲ達シ得ザル時ハ該契約ヲ破棄シ船主ニ損害賠償ヲ要求シ得ベキコト勿論ナリ然レドモ是ハ多ク事實問題ニ屬シ單ニ船長ノ過失怠慢ノ爲メ遲延シタルモノナリヤ將又備船者ガ該契約ヲ破棄シ損害賠償ヲ要求シ得ベキヲ決スルハ裁判官ノ判定ニ據ラザルベカラズ運送契約書ニ署名ノ後ハ當事者雙方ノ合意アルニ非ザレバ妄ニ其條項ヲ變更スルコト能ハズ故ニ

署名後船舶周旋人ガ契約書ノ欄外ニ重要ナル事項ヲ記載シタル時ノ如キハ勿論契約書トシテ存スルコトヲ得ザルハ至當ナリ又運送契約書署名後各當事者之ヲ分有スルニ當リ一方ノ者ガ其條項ヲ變更シタル時ハ無効ナルコトハ勿論舊條項ニヨル利益ヲ失ヒ他ノ一方ハ依然契約ヲ履行シ其利益ヲ收メ得ベシ若又契約書作製セラル、時ハ當事者ハ口頭ヲ以テ其條項ヲ變更スルコト能ハズ之ヲ爲サンニハ必別ニ書面ニ記載シ署名調印スルカ或ハ舊契約書ハ全然口頭ヲ以テ之ヲ破棄シ更ニ新契約書ヲ作制セザル可カラズ

運送契約書ノ
印紙

契約不履行ノ
船舶周旋人ノ手
數料

F. P. Nos. 928
929
937
Leg. Ch. 282
312

運送契約書及ビ船舶貸借契約書ニ貼用スベキ印税ハ船荷證券ト同ク各國夫々規定ヲ異ニス本邦ニテハ一通ニ付キ金三錢ノ印紙ヲ貼用シ英國ニテハ一通毎ニ六片ノ印税ヲ要ス

船舶積港ニ到着ノ前難破シ又ハ契約書ノ指定前ニ入港シ得ザリシガ爲メ備船者ガ解除條項ヲ利用シ契約ヲ解除シタル時其他合意上又ハ法律上契約解除ノ爲メ履行ニ至ラザルトキハ船舶周旋人ハ尙船主ヨリ手數料ヲ收入シ得ベキヤ如何ト云フニ契約書ニハ手數料ハ契約書調印濟ノ上支拂ハルベシ ("due... upon signing hereof" or "Commission is due on the execution of this c/p, ship lost or not lost") 等ノ條項アラバ勿論假令手數料支拂ニ就キ此種ノ契約ナキ時ト雖モ周旋人ガ備船者ト船主トノ間ニ立チ備船契約ノ條件ニ付キ雙方ノ折合ヲ付ケ調印ヲ終リタル時ハ周旋人ノ職務ハ爰ニ終ラ告ゲタルモノニシテ該契約ノ履行不履行ハズ相當ノ勞力ニ對スル報酬トシテ手數料ヲ請求シ得ベキハ當然ナリ尤モ船主ノ位置ヨリ言フ時ハ完ク運賃ヲ收入セザルニ尙手數料ヲ支拂フハ酷ナルガ如シ故ニ周旋人ハ法律上ヨリ云フ時ハ至當ノ權利アルニ拘ラズ營業上得意先ヲ失ハザランガ爲メ不履行トナリタル備船契約ニ就キテハ手數料ヲ放棄スルコトナキニ非ズ又某定期運送契約書ニハ「運賃ヲ收入シタル時ハ手數料ヲ支拂フベシ」 ("due on the freight as and when earned") 又某石炭運送契約書ニハ「貨物船

M. N. Q.
vol. XIV, 12-13

積ノ後手數料ヲ支拂フベシ」 ("due to... on the cargo being loaded") 等ノ條項ヲ看ルコトアリ是等ハ寧ロ例外ナリ又船主ノ懷合上契約書ノ條項ニ從ヒ契約不履行ノ時ト雖モ尙手數料ヲ支拂ハザルベカラザルヲ恐レ時々之ヲ保險ニ附シ萬一ノ損失ニ備フルコトアリ

又定期運送契約ノ場合ニ備船者ガ期間満了後尙若干ノ期間丈任意ニ本船ヲ使用シ得ベキ條項アリタル時備船契約不履行トナリタル場合ニハ周旋人ハ最初ノ契約期間ニ對スル運賃ヲ標準トシ周旋料ヲ請求シ得ベキモ右期間經過後第二ノ期間ニ對スル手數料ヲ請求シ得ザルハ勿論ニシテ船主モ亦之ヲ保險ニ附スルコト能ハザルナリ

第八章 貨物ノ船積及ビ引渡手續

第一節 船積ノ手續

共用船積ノ貨物ヲ集ムル手續
船積前貨主ノ着手スベキコト

運賃ノ懸引

荷造

荷印

定期船又ハ郵便船ハ一定ノ日ヲ以テ出帆ス其他一般船舶ハ貨物ヲ十分搭載シタル後出帆スルモノナレバ貨物船積前船舶ノ出帆日ヲ豫定シテ貨物ノ募集ニ着手セザルヘカラズ貨物ヲ募集スルニハ各國孰レモ廻漕問屋即周旋人 (Shipping Agent or Broker) ノ手ヲ經ル場合多シトス尤モ此場合トテモ公衆ニ知ラシムルニハ新聞紙ニ廣告シ又貨主ニハ夫々引札 (Circular) ヲ配付スルコトアリ斯ノ如クシテ概略幾許ノ貨物ヲ募集シ得ラルベキカノ豫算ヲ立テ始メテ船積ニ着手スルモノナリ

貨物ヲ船積セントスル貨主ハ自己ノ貨物ニ就キ豫メ運送者ト運賃率ヲ協議スルコトヲ要ス抑貨物ノ運賃ハ既ニ述べタルガ如ク旅客運賃ノ如ク定率ノ存ズルモノナク貨物集散ノ如何其他船舶供給ノ多少等ニヨリ常ニ變動スルガ故ニ貨主モ是等ノ點ヲ參酌シテ成ルベク廉キ運賃ニテ船積ヲ爲サントスルハ人情ナルガ故運賃ノ懸引ハ之ヲ等閑ニ附スベカラズ之ガ爲メ廻漕問屋ヲ經テ貨物ノ船積ヲ爲ス場合ノ如キモ競争盛ニ行ハル、ト云フ

貨物ノ荷造ハ農産物ナル時ハ生産地又製造品ナル時ハ製造所ニ於テ之ヲ爲スモノトス本邦ニ於ケル荷造ハ甚不完全ニシテ多ク大和船時代ノ慣習ヲ襲用スル結果航海中船舶動搖ノ爲メ貨物ニ損傷ヲ來シ船積陸揚ノ際中味ノ損害ヲ被ルコト多シ故ニ荷造ノ改良ニ就キテハ世間之ヲ唱フルモノアリト雖モ未周ク之ヲ實行スルニ至ラズ

既ニ荷造ヲ終了スル時ハ荷印 (Mark) ヲ附セザルベカラズ荷印ノ一例ヲ示セバ左ノ如シ

H.J.K.
Yokohama 56

SLC
Hongkong No.31

B&Co.
GH&Co.
Kobe

8501
W.K.M.
Shanghai 156

M&C
Nagasaki 3

W
H
3 London 1

KM
250
Kobe
Osaka 116

D
S
B
W S
Marseilles 18

H
C
L
S
Singapore No.101

O
I
N
B
3
CoLombo 13


Tokio 26

本邦ノ慣習上日本郵船會社大阪商船會社ノ如キ荷印ニ就キ嚴ナルモ所謂社外船ニ在リテハ之ヲ等閑ニ附シ僅ニ荷札出印、行印等ヲ以テ満足スルモノナキニ非ズ然レドモ荷印ハ最肝要ナルモノニシテ遭難等ノ場合ニ往々荷印不明ノ爲メ不測ノ損害ヲ被ルコトアレバ貨主ニ於テ之ヲ附スルコトヲ怠ルベカラズ

カウンタ、マーク

ポート、マーク

揚地毛判

主タル荷印ニ附屬セル荷印ヲカウンタ、マーク (Counter-mark) ト稱ス即  ノMKハカウンタ、マークナリ

荷印ノ下部ニハ前掲ノ如ク陸揚港ノ港名ヲ附記スルヲ要スポート、マーク (Port-mark) 即是ナリ若之ヲ附セザル時ハ數港ニ寄港スル船舶ハ往々持越 (Over-carrying) 又ハ揚違 (Mislanding) ヲ爲スコトアリ商人ノ不利益蓋尠カラズ

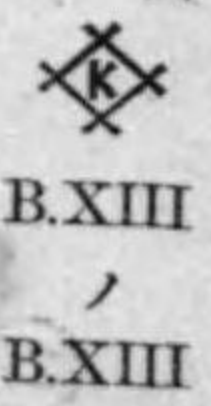
内地ノ慣習上揚地毛判トテ揚地ヲ一目瞭然タラシメンガ爲メ荷札若クハ荷印ニ接近シタル部分ニ特別ノ判ヲ捺スルノ方法アリ例ヘバ左ノ如シ

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 東京 | ② 横濱 | ③ 神戸 | ④ 大阪 |
| △ 長崎 | △ 釜山 | △ 元山 | △ 仁川 |
| □ 函館 | □ 青森 | □ 小樽 | □ 根室 |

又揚達ヲ防グ手段トシテ荷物ノ角ニ揚地毎ニ色ヲ變ヘ畫線スル法アリ

クオリチー、
マーク

クオリチー、マーク (Quality mark) トハ貨物ノ品質ヲ示セル荷印ニシテ例ヘバ



ハ是ナリ

員數

荷印ノ外海外ニテハ貨物ノ員數 (Number) ヲ附記スル慣習アリ本邦ニテモ間々行ハル、所トス例ヘバ「何個ノ内」何包ノ内等ト記スルモノ是ナリ員數ヲ附セザレバ貨物ニ不足又ハ損傷ヲ生ジタル時不便尠カラズ

之ヲ要スルニ荷印、カウンター、マーク、ポートマーク及ビクオリチーマーク、員數等ヲ附スルハ貨物ノ混交ヲ豫防スルヲ第一ノ目的トスルモノナレバ明瞭正確ニ且均一ナルヲ要ス一般ニ使用セラル、方法ハステンシルドマーク (Stencilled Mark) トテ金屬、皮又ハ紙類ニ豫メ文字ヲ切り抜キタル上ニ墨汁又ハペイント (Paint) ヲ塗抹スルノ簡便法ナリ尤モ散荷 (Cargo in bulk) ニ在リテハ此等ヲ附スルコト能ハズ又鐵物 (束鐵 Bundle Iron 棒鐵 Bar Iron 板鐵 Plate Iron 等ノ總稱) ニ荷印等ヲ附スルハ至難ニシテ多クハ剥抹シ易シ

本邦ニ於ケル
船積手續
出荷申込書

本邦ニ於ケル船積手續ヲ述ベンニ上記ノ手順ヲ踏ミタル時ハ荷送主ハ出荷申込書ニ船名、陸揚港、荷印、品名、個數、原價及ビ荷受主ノ氏名等ヲ記入シ之ヲ貨物ニ添ヘ送り狀ト共ニ運送者ニ差出スベシ尤モ此手續ハ多ク廻漕問屋ノ業務ニ屬スルモノナレバ廻漕問屋ヲ經テ貨物ノ船積ヲ爲ス時ハ荷送主ハ右ノ手續ヲ省略シ得ベシ

船積川送書

運送者ハ出荷申込書「問屋」場合ハ之ヲ貨物副狀ト稱スニヨリ出荷主ト立合ノ上貨物ヲ取調べ其重量又ハ容積ヲ検査シ且運賃ノ計算ヲ爲シ同時ニ船積川送書ヲ作り貨物ノ重量又ハ容積、運賃ノ前拂又ハ向拂等夫々記入ヲ爲シ之ヲ貨物ニ添ヘテ本船ニ送り届クルモノナリ而シテ船積川送書ハ本書

一通副書ニ通テ作製シ内副書一通ヲ手許ニ控トシテ留メ本書一通及ビ副書一通ハ解船ノ船頭之ヲ本船ニ持參スルモノトス斯テ船積ノ際本船ニ於テ貨物ノ損傷ヲ發見スル時ハ之ヲ摘要欄内ニ記入ス然レバ先ニ船積川送書作製ノ際此記事ナク船積ノ際貨物ノ損傷ヲ發見スル時ハ解船々頭ノ責任ニ歸スベキモノナリ而シテ船積川送書ニ重量又ハ容積ノ記入ナキモノハ本船ニ船積ノ際運轉士又ハ事務員立會ノ上一々其重量又ハ容積ヲ測定シ船積濟ノ上副書ニ捺印シ本書ハ本船ニ留ムルモノトス尤モ別ニ積荷受取證ヲ發行スルコトナキニ非ズ而シテ解船々頭ガ右副書又ハ受取證ヲ運送者ニ交付スルニ及ビ始メテ船荷證券ヲ發行ス

變則ノ手續

以上ハ正則ノ手續ナレドモ本船出帆ノ時間ニモ定限アリ殊ニ東京大阪ノ如キ船積港ヲ隔ツル所ニテハ一々正則ノ順序ヲ踏ム時ハ手數甚煩ハシク加之出荷主ガ銀行ト荷爲替ノ取引ヲ爲ス時ハ一刻モ早ク船荷證券ノ發行ヲ望ムガ故ニ本邦ノ慣習トシテ出荷申込書ニ現品ヲ突合セ直ニ船荷證券ヲ發行シ川送書ハ單ニ運送者内部ノ效用ニ過ギザルモノアリ斯ノ如ク船積前ニ船荷證券ヲ發行スルガ爲メ時々船腹ノ都合ニヨリ約束貨物ヲ積殘シ (Shut out) 他船ニテ運送スルコトアリ此場合ニハ運送者ハ其船荷證券ノ特別條項ニヨリ責ヲ免レ慣習上別ニ船荷證券ノ書換ヲ爲サズ唯荷送主ガ豫メ貨物ニ海上保險ヲ附シアル時ハ船舶ノ變更ヲ保險者ニ通知スルニ止マルガ如シ斯ノ如キハ法律ノ規定ニ反スルモノニシテ變則ノ手續ト稱セザルベカラズ

新商六〇

貨物船積前船
荷證券發行ニ
關スル問題

貨物ガ本船ノ船側 (Alongside) ニ在リタル時ハマダシモ尙未本船ニ到着セザル前即河上、倉庫又ハ鐵道ニ在ルニ早クモ船荷證券ヲ發行スル時ハ種々ノ問題ヲ生ズ大凡左ノ如シ

一 若本船ニ間ニ合ハザリシ時船荷證券記載ノ船舶ガ陸揚港ニ到達以前全損トナリタル時ハ事實ヲ知ラザル船荷證券所持人ハ保險會社ニ填補ヲ請求スルニ至ラン勿論保險會社ニ於テ事實ヲ

【第八章】貨物ノ船積及ビ引渡手續 ● 第一節 船積ノ手續

知レル時ハ填補ヲ爲サバ、ルコト明白ニシテ又情ヲ知レル船荷證券所持人が填補ヲ請求スルニ至リテハ詐欺的行爲タルコト明ナリ

二 若貨物が豫期セシ甲船積ニ間ニ合ハザリシ爲メ乙船積ニ船積セラレタリトセバ甲船積ニ對シテ發行セラレシ船荷證券ハ全額乙船積ニ對シテ無効ナルガ故新ニ乙船積ノ船荷證券ヲ受ケ加之貨物ニ對スル保險モ甲ヨリ乙ニ移サバ、ルベカラズ又舢舨ノ危險ニ對シテ割増保險料ヲ支拂ハザルベカラズ

三 乙船積全損トナレバ新保險證券ニヨリ保險會社ヨリ填補ヲ受クベシ

四 若乙船積船積港ニ到達前貨物が某倉庫内ニテ火災ニ罹リタリトセンカ火災保險會社ハ甲船積ニ對スル船荷證券ヲ抵トシ甲船積船積ノ保險證券署名者即海上保險會社ニ責アリトシ之ガ填補ヲ拒絕シ海上保險會社モ亦支拂ヲ引受ケザルベシ

五 荷爲替ヲ取組ミタル銀行ハ受荷主ニ爲替手形ノ引受ヲ請求スルモ實際貨物が甲船積ニテ到達セザリシガ爲メ受荷主ハ多分引受ヲ拒絕スベシ

本船積

出荷主ノ都合ニヨリ直接本船ニ船積ヲ爲サントスル時ハ出荷申込書ニ貨物ノ摘要其他必要事項ヲ認メ運送者ニ申込ヲ爲ス時ハ運送者ハ船積指圖書(半面ハ積荷受取書)ニ其事項ヲ轉記シ出荷主ニ交付スルガ故出荷主ハ之ヲ貨物ニ添ヘ本船ニ船積ヲ了シ船長ノ署名アル積荷受取書ヲ受取り更ニ之ヲ運送者ニ交付シ始メテ船荷證券ヲ入手スルナリ

現行商法ノ規定ニ從ヘバ船荷證券ハ荷送主ノ請求アル時ニ限り船長ノ發行スル指圖書ナルガ故ニ船主ハ爰ニ一計ヲ案出シ特ニ荷送主ノ依頼ナキ時ハ船荷證券ニ代フルニ荷物受取證ナルモノヲ交付スルニ至レリ其目的概左ノ如シ

新商六三

同商六三

一 船荷證券ハ荷送主ノ請求アル時ハ數通發行セザルヲ得ズト雖モ受取證ナレバ一通ヲ以テ足り手數簡單ナリ

二 船荷證券ハ船長ノ發行スルヲ原則トシ船主ハ船長以外ノ者ニ船長ニ代ハリテ船荷證券ヲ發行

スルコトヲ委任シ得ベキモ孰レノ場合ヲ問ハズ船長又ハ之ニ代ハル者一通毎ニ署名スル必要アリ是船主ニ取り非常ノ煩勞ナルニ拘ラズ受取證ナラバ船主ノ代人即支店長等ノ名ニテ發行スルコトヲ得ベシ

新商六三

三 又法律ノ規定上船荷證券ハ運送品ノ船積後始メテ發行スルコトヲ得ルモノナレドモ受取證ハ荷送主ヨリ船主代人ガ運送品ヲ受取りタル領收證ニ過ギザルガ故ニ必シモ船積後發行スルニ及バズ輸出地ガ本船ヲ去ルコト稍遠キ所ニテハ特ニ之ヲ便法トス

附録ニ示セル乙號荷物受取證ハ出荷主及ビ荷受主共同一ナルニ拘ラズ品目數口アル時ハ便宜運送品目録ノ欄ニ之ヲ認メ一口毎ニ受取證ヲ發行スル手續ヲ省略スル場合ニ使用ス

貨物故障ノ記

新商五五

又ハ積荷受取證ニ記載スル例ヘバ「雨中積込」元地濡「元地調」又ハ「濡アリ」等ノ記事ハ屢々見ル所ナリ海外ニ於テモ運轉士受取證(Mates Receipt)ニ「wet」、「loose」、「torn」、「broken」、「dented」、「stained」、「old cases」、「repaired」、「rotted」、「leaking」、「insecurely packed」、「hook-holed」、「Contents exposed」等ノ記事ヲ掲グルコトアリ尤モ船積ノ際荷造ノ不良又ハ貨物ニ損傷アル時ハ船主ニ於テ其運送ヲ謝絶スルコトナキニシラモアラズ何トナレバ陸揚港ニ於テ引渡ヲ爲スニ際シ貨物ニ損傷アラバ船長ハ自己ノ注意ヲ怠ザリシ十分ノ證明ヲ擧ゲザルベカラズ斯テハ船長ニ於テモ迷惑ヲ蒙ルコト尠カラザレハナリ然レドモ荷送主ノ請求ニヨリ此等ノ貨物ヲ船積シタル時ハ前述ノ積荷受取證又ハ運轉士受取證ニヨリ船荷證券ニモ同様ノ記事ヲ掲グルヲ通例トス本邦船荷證券ノ摘要欄ハ此等ノ記事ノ爲メ設ケラレタルモノトス

無故障船荷證券

海外ニテハ無故障船荷證券(Clean Bill of Lading)ヲ得ンガ爲メ荷送主ハ船積指圖書ニ「貨物ニ損傷アリテ無故障受取證ヲ交附スルコト能ハザル時ハ舢舨ニ返送セラレタリ」(Any damaged goods for which you can not

grant clean receipt to be returned to the same party) トノ護謄印ヲ押捺スルコトアリ若斯ノ如キ特別扱ヲ依頼セザル時ニ當リ損傷貨物ヲ船積シタル時ハ其故障ヲ船荷證券ニ記入スルヲ通例トスレドモ或ハ荷送主ニ於テ荷爲替ノ取組其他ノ都合上船荷證券面ニ此種ノ記事ナカラシムコトヲ懇望スルコトアリ本邦内地ニ於テハ斯ノ如キ場合ニ通常之ヲ明記シテ毫モ假借スル所ナシト雖モ海外ニテハ荷送主ヨリ別ニ附録ニ示スガ如キ無故障船荷證券返リ證 (Letter of Indemnity) ヲ差出サシメ無條件附ノ船荷證券即 Clean Bill of Lading ヲ發行スルコトアリ而シテ船主ガ此手續ヲ履ミタル上ハ直ニ該證書又ハ其寫シヲ貨物仕向地ノ支店又ハ代理店ニ送り他日荷物辨金ノ申出アリタル時ハ船主其責ヲ免ル又荷受主ガ苦情ヲ申出テタルガ爲メ船主ノ支拂ヒタル辨金アラバ此金額ハ荷送主ヨリ賠償ヲ受クルコトヲ得ベシ要スルニ此便法ハ荷送主ニ十分ノ信用アルニ非ザレハ行ハレザルハ勿論特ニ船長自ラ船荷證券ニ署名シタル時ハ一層危険ナリ今其一例ヲ舉グレバ或程度迄損傷シタル貨物ヲ英國ヨリ日本ニ輸入シ日本ニ於テ鑑定ノ結果損害ノ程度金百圓トシ船主ハ船荷證券ノ無故障ナルヲ以テ荷受主ニ右辨金額百圓也支拂ヒタリトセヨ船主ハ英國ノ荷送主ニ返リ證、鑑定書及ビ辨金受取證ヲ送附シ百圓丈ノ送金ノ依頼ヲ爲ス時ハ惡意アル荷送主ナラバ自分ハ船長ニ斯ノ如キ證書ヲ差出シタル覺ナシトモ言ヒ得ベク又知ラザル真似シテ事ヲ等閑ニ附スルコトナキニ非ズ然リトテ船主ハ荷送主ノ送金ヲ待チ始メテ辨金ノ始末ヲ附ケンニハ非常ノ日月ヲ要シ自己ノ信用上面白カラズ況ヤ荷送主ヲ相手取り曲直ヲ法庭ニ争フニ於テヤ一歩ヲ進メ若又船主ガ輸出地ノ代理店ヲ有スル場合ニ必要ナル證書類ヲ取纏メ代理店ニ送附シ曲直ヲ法庭ニ争ハントスルモ荷送主ハ貨物船積ノ時ハ貨物ノ損害程度僅ニ二十圓ニシテ其他ノ損害即八十圓丈ハ航海中起リタルモノナリト主張セバモト一荷送主ヨリ返リ證ヲ徴シ無故障船荷證券ヲ發行スル折ハ詳細ニ貨物ヲ検査セザルヲ普通

P. P. N. nos. 940

船積陸揚費用
 船積費用
 船積陸揚費用

トスルガ故ニ船主ハ之ガ反證ヲ舉グルコト頗困難ナリ又銀行ガ荷爲替貨ヲ爲シタル時ハ船荷證券無故障ナルガ爲メ結局貸過ギ (over advance) ヲ爲シタル形ナレバ右ノ貨物ニ對シ十分質權 (lien) ヲ執行センニハ船主ノ被ル損害亦些カラズ孰レノ方面ヨリ觀ルモ返リ證ニヨリ無故障船荷證券ヲ發行スルハ危険千萬ナリ故ニ船長ハ宜シク損傷貨物ニ對シ損傷ノ種類及ビ程度ヲ明記スベク若荷送主ニシテ斯ノ如キ故障附ノ船荷證券ヲ好マザル時ハ船積ヲ拒絶スルニ如クハナシ
 荷送主ノ位置ヨリ言フ時ハ以上述べルガ如ク出荷申込書ニヨリ貨物ト送狀トヲ運送者ニ差出セバ(本船積ノ場合ハ例外) 其餘ノ事務ハ運送者ニ於テ整理ヲ爲ス場合多シ何トナレバ船積ノ上運賃ヲ定ムル慣習ニ包含シ船主持トナルコト多クレバナリ然ルニ地方ニヨリテハ本船ニ船積ノ上運賃ヲ定ムル慣習アリ斯ノ如キ場合ノ船積ハ荷送主ニ於テ負擔スルモノニシテ所謂川送り書ヲ以テ貨物ヲ本船ニ運ぶ場合はナリ今少シク船積其他ノ諸費用ニ就キ述ベンニ船積ハ東京横濱間大阪神戸間ハ通例船主之ヲ負擔シ其他ノ諸港ニ於ケル船積ハ貨主之ヲ負擔スルガ如シ又貨物ノ船積陸揚費用ハ貨物ノ種類ニ依リ相違アリ石炭材木類ノ船積陸揚費用ハ通常貨主ノ負擔タルガ故ニ船主ハ此種ノ貨物ノ船積陸揚ニ就キテハ毫モ費用ヲ支拂フニ及バズ尤モ材木類ハ中人足ト稱シ積付ヲ爲ス時船内ニテ積荷ノ位置ヲ定ムル人足賃ハ船主之ヲ負擔スル慣習アリ此他米穀肥料ノ他ノ貨物ノ船積陸揚諸費用ハ船主ノ負擔タルコト多シ尤モ本邦船主同盟會ノ決議ニヨレバ東京及ビ大阪ヲ除クノ外貨主ノ負擔タルベキ管ナレドモ實際ハ船主ニ於テ此等ノ費用ヲ支辨スルガ如シ斯ノ如ク貨物ノ種類ト港ノ慣習トニヨリ船主ハ自己ノ受取ルベキ運賃ノ一部分ハ船積其他船積陸揚諸費用ニ差引カル、コトヲ覺悟セザルベカラズ特ニ本邦諸港ノ不完全ナルガ爲メ船積ノ如キハ割合ニ高キコトアリ例ヘバ東京ニ輸入スル米穀ノ如キハ横濱ニテ船積ニ積移シ之ヲ東京ニ輸送スル時ハ其船

舟賃ハ船積港ヨリ横濱ニ至ル運賃ニ比スレバ或ハ其三四割ニモ達スルコトアリ其他人足賃等ヲ計算ニ加フレバ船主ガ貨主ヨリ受取ルベキ運賃ノ大部ハ此等ノ費用ノ爲メニ引去ラル、場合アリトス

大和船等ニ船積ヲ爲ス手續

大和船合ノ子船又ハ小形ノ汽船ニテハ貨物ニ送状ヲ添ヘ船主又ハ船頭ニ差出ス時ハ船主又ハ船頭ハ特別ノ請求アル時ニ限り貨物ノ受取證ヲ作ルモノトス斯ノ如ク手續甚簡單ナル結果相互ノ責任ニ就キテハ毫モ規律ナキカノ觀アレドモ數百年來ノ慣習ニ據リサシテ苦情ヲ生セザルハ寧ろ奇ト謂フベキカ

以上述ブル所ハ本邦ニ於ケル貨物船積ノ手續ナリ海外ニ於ケル手續ハ稍之ニ類スルモ多少其間ニ規律ノ存スルモノアリ左ニ其大畧ヲ述ブベシ

海外ニ於ケル船積手續

先荷送主ハ自己又ハ廻漕問屋ヲ經テ船主ニ船積セントスル貨物ノ品名個數陸揚地等ヲ申込ミ運賃率ヲ定メ協議成ル時ハ三通又ハ四通ノ船荷證券ニ種々ノ要件ヲ記入シ唯運賃ト日附ノ部トヲ殘シ之ヲ船主ニ差出スモノトス海外重要ノ港ニ於テハ夫々船荷證券ニ一定ノ様式アリ印刷ノ上文房具店ニテ販賣シ又屈指ノ汽船會社ニテハ自用ノ船荷證券ヲ豫メ印刷セルヲ以テ此場合ニハ其書式ヲ貰受ケ之ニ記入ヲ爲スベシ

船積指圖書及運轉士受取證

船主ハ荷送主ノ申込ニ對シ船積指圖書(Shipping order or Permit)ヲ交付スベシ船積指圖書ハ二葉ヨリ成リ右面ハ之ヲ運轉士受取證(Mates receipt)ト云フ荷送主ハ船積指圖書ヲ本船ニ持參シ掛リノ者(普通一等運轉士)ノ許可ヲ得テ船積ヲ終了シ船積指圖書ハ本船ニ留メ運轉士受取證ヲ入手ス荷送主ハ右運轉士受取證ヲ船主ノ手許ニ持參シ之ト引換ニ調印セラレタル船荷證券ヲ受取ルコトヲ得ベシ而シテ運賃前拂ノ約定ナレバ運賃ト引換ニ船荷證券ヲ交付セラレレ既ニ述ベタルガ如ク向拂運賃ノ場合

船荷證券

變則ナル船荷證券發行法

ト區別センガ爲メ通例 Bill of Lading ナル文字ヲ謄印ニテ捺シ向拂ノ時ニハ Consular Seal ナル印ヲ捺ス然レバ船荷證券面ノ船名ト實際船積ヲ爲セル船名トハ相違スル場合少シ尤モ米國ヨリ棉花ヲ英國ニ輸送スル時ノ如キハ最初幾許俵船積シ得ベキカノ見込立タバ船積指圖書ヲ省キ直ニ船荷證券ヲ交付スルコトアリ此他沿岸小航海ヲ爲ス船舶ニ貨物ヲ積入ル、時其他銀行乃至郵便船ノ都合ニヨリ荷送主ノ依頼アル時ハ運轉士受取證ヲ受領セザルモ猶船荷證券ニ署名スルコトナキニ非ズ斯カル變則法ヲ採リタル時ニハ荷送主ヨリ保證狀ヲ徵收スベシ若之ヲ徵收セザル時ハ Subject to production of and conditions on/M/R 等ノ條項ヲ船荷證券ニ挿入スルヲ要ス

カーヴァー(Carver)氏論ジテ曰ク船荷證券ハ貨物ヲ船舶ニ積入レタル後發行スベキモノナレバ船荷セラレタル貨物ノ數量ハ寧ろ法律ニテ唯一ノ證明(Conclusive evidence)ト規定シ證券ニ記載船主ヲ拘束スルニ如カズ若斯ノ如ク規定センカ船主ハ當然船中ニ受取リタル貨物ニ非ザレバ船荷證券ノ發行ヲ拒絕スベク荷送主、荷受主及ビ銀行者ハ安ジテ取引ヲ爲スコトヲ得ベシ云々然レドモ例ヘバニユー、オルレアンズ輸出リヴァプール輸入ノ棉花ノ場合ニ船荷證券面記載ノ數量ニ比較シ假ニ百俵ノ荷不足(Shortage)アリタリトセンカ慣習上ニユー、オルレアンズ等ニ於ケル棉花ハ船中ニテ綿密ニ壓縮法ヲ行フガ故船積ヲ終了セル時ハ最早艙口ヨリ一俵ダモ積取リ得ザルナリ從テ陸揚港ニテ百俵ノ荷不足アリタル時ハ之ハ勿論船積ヲ爲サマリシコト明白ナリ依テカーヴァー氏ノ言フガ如ク船荷證券ノ數量ヲ唯一ノ證明ト爲スハ稍船主ニ酷ナリト謂ハザルヲ得ズ、ソハ扨措キ總ベテ船積前ニ船荷證券ヲ發行スルノ船主ニ不利ナルハ重ニ左ノ諸點ニ在ルガ如シ

F.P. Nos. 660

- 一 船荷證券面ニ記載セラレタル特定物ハ船長ガ船中ニ積取ルヤ否ヤハ未定ニ屬ス
- 二 又或一定量ヲ船積シ得ベキ船舶ニ餘裕アリヤ否ヤモ未定ナリ

船積前發行セ
ル船荷證券ニ
任付キ船主ノ責

- 三 若之ヲ船内ニ積入レ得ザル時ハ止ムヲ得ズ契約ノ主旨ニ反シ甲板積ト爲サザルベカラズ
- 四 船主ハ自己ノ手許ニ貨物ノ到達スル以前ヨリ契約以外ノ危険例ヘバ陸上ノ危険等ヲモ負擔セザルベカラズ

【第八章】貨物ノ船積及ビ引渡手續 ● 第一節 船積ノ手續

而シテ船長自身ガ不積荷物ニ對シ船荷證券ニ署名セル場合ニ於ケル船主ノ責任如何ト問フニ元來船長ガ未船積ヲ了セザル荷物ニ對シ船荷證券ニ署名スルコトノ不當ナルハ明白ニシテ船主ハ斯ノ如キ船荷證券所持人ニ對シ責ヲ負フコト能ハザルハ勿論荷物ノ損失損害ニ就キテモ問ハザル所トス尤モ船主使用人ノ出張セル棧橋等ニ荷物ヲ引渡シタル上船長ヲシテ船荷證券ニ署名セシメタル時ハ船主其責ヲ負フベキナリ凡船長ノ權限ノ至大ニシテ船主ヨリ委任セラレタル船舶ノ使用管理ニ就キ普通且有益ナルコトハ一切行ヒ得ベキモ亦其間ニ何人モ知レル種々ノ制限アリ例ヘバ運送契約ヲ締結シ得ベキモ無貨ニテ貨物ノ運送ヲ爲スコト能ハザルガ如シ又船積ヲ了シタル貨物ニ對シテハ出荷主ノ依頼ニヨリ貨物ノ品質狀態數量等ノ摘要ヲ船荷證券ニ記載シ署名シ得ベキモ未船積ヲ了セザル貨物ニ對シ船荷證券ヲ發行スル權ハ全然船主ヨリ與ヘラレザル所トス蓋船荷證券ニハ其第一行ニ表面ノ貨物ハ船積セラレタル旨記載シアルガ故ニ證券所持人ハ證券面ノ貨物ハ本船ニ積入レラレタルヤ否ヤニ就キ毫末モ疑フ餘地ナケレバナリ又船長ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコト能ハザルモ船長ガ不積貨物ニ對シ船荷證券ヲ發行スルコト能ハザル制限ハ一般世人ノ知レルモノト推定シ得ベキガ故ニ斯ノ如キ船長ノ不當ナル處置ニ對シ船主其責ヲ負ハザルハ勿論船主ト出荷主トノ間ニ於テハ船荷證券ハ無効ノモノト視テ差支ナシトスロードエツシヤ (Load Estry) 論ジテ曰ク大體ニ於テ船荷證券ハ貨物ノ領收證ニシテ運送契約ノ證書ニ非ズ而シテ不積貨物ニ對スル船荷證券ハ領收證ニモ非ズ何トナレバ未領收セザル貨物ノ領收證

運轉士受取證
紛失ノ場合

遠淺ノ港ニ於
ケル船積

Oliv. 33
貨物ノ積入
數取リ

ナレバナリ又之ヲ運送契約書トモ謂フベカラズ何トナレバ船長ハ船主ヨリ不積荷物ノ運送契約ヲ締結スル權限ヲ付與セラレザレバナリ而シテ既ニ船積セラレタル荷物ノ船荷證券ハ即貨物ノ領收證ニシテ亦之ヲ運送契約ノ證書ト言フモ過言ニ非ズト

海外ニ於テ貨物船積後出荷主ガ運轉士受取證ヲ紛失又ハ置キ忘レ發見シ難キ時ハ保證狀ヲ徵シ船荷證券ヲ發行スルコトアリ元來商人ハ商品轉賣ノ爲メ又ハ荷爲替取引ノ爲メ成ルベク早く船荷證券ヲ要スルモノニシテ假令出荷主ガ商人ナラザル場合ニモ船荷證券ヲ送附スル必要アルガ故ニ斯ノ如キ場合ニ船長又ハ船主代人ハ相當ノ理由ナク署名ヲ拒ムコト能ハズ之ヲ拒ミ又ハ船主ノ費用ニテ貨物ヲ陸揚セザリシガ爲メ出荷主ノ被リタル損失ノ一切ヲ負擔セシ判決例アリ

船舶遠淺ノ港ニ碇泊シテ船積ヲ爲ス時ハ船長ハ吃水ニ就キ篤ト熱慮シ出港ニ不都合アリト認ムル時ハ沖合ニ出テ殘餘ノ貨物ヲ船積シ得ベシ然レドモ船長ガ何等故障ヲモ申立テズ船積過重ノ爲メ出港シ難ク貨物ノ一部ヲ積出サシメタル時ハ積卸費用及ビ再船積費用ハ船主ノ負擔ニ屬ス

貨物ヲ本船ニ積入ル、ニハ揚貨機 (Winch) ヲ以テ艙口 (Hatch) ヲリシ又ハ直ニ船窓 (Port) ヲリ取入ル、コトアリ孰レノ場合ヲ問ハズ荷物方 (Tallyman) 其他海員中熟練ノ者船主代人ト立會ヒ數取リ (Tally) ヲ爲サザルベカラズ貨物ノ品名荷造荷印ノ如何ニ拘ラズ單ニ竹棒ニテ個數ノミヲ當ルモノ之ヲ Beam Book Tallyト云ヒ初メヨリ揚貨機一懸ケニ付キ何個ト定メ其回数ニ個數ヲ乘ジ全數ヲ得ルガ故ニ甚簡單ナリト雖モ數種ノ貨物アリテ荷印荷造等區々ナル時ハ往々誤謬紛雜ヲ生ジ易キガ故ニ成ルベク之ヲ避ケ一々帳簿ニ荷印品名荷造個數ヲ記載スル Book Tallyヲ採ルベシ此帳簿ハ運轉士受取證ノ臺帳トモ言フベキモノナレバ貨物ニ損傷アラバ詳細ナル記事ヲ若亦貨物ノ容積又ハ重量ヲ要スル時ハ一個當リノ容積又ハ重量ヲ明了ナル數字ニテ記載セザルベカラズ諸港ノ慣習ヲ通ジ船主ハ多ク

【第八章】貨物ノ船積及ビ引渡手續 ● 第一節 船積ノ手續

設議

出帆ノ間際ニ貨物ヲ本船ニ仕向クルモノナルガ故ニ船主ハ往々海員以外ノ者ヲ雇入レ數取リヲ爲サシムルコトアレドモ此等ノ者ニハ間々無責任ナルモノアリテ揚不足ヲ生ズルコトアリ然レバ船主ハ平日ヨリ十分經驗アリ且信用アル荷物方ヲ養成シ置クヲ良策トス

荷物方ノ當タリタル個數ト荷主代人ノ當タリタル個數ト不突合ナル場合ハ不足詮議又ハ過剩詮議トシテ處分スルノ外ナシ例ヘバ前者九十八個後者百個ナリトセバ百個ニ對スル運轉士受取證ニ二個不足詮議(Two less in dispute, if on board to be delivered)ノ旨ヲ記シ置クベシ然スレバ陸揚地ニ於テ九十八個陸揚セバ船主ハ二個ニ對スル運賃ヲ拂戻シ別ニ不足辨金ノ責ナカルベシ過剩詮議ノ場合亦是ニ準ズ尤二個所又ハ三個所ニテ別人ガ數取リヲ爲シ互ニ相對照スル時ハ詮議ヲ未然ニ防グコトヲ得ベシ右ニ述ベタルハ陸揚港ニ於テ引渡ヲ爲ス場合ニモ適用セラルベキコトニシテ陸揚港ニ於テハ特ニ船中人足ノ竊盜ニ注意セザルベカラズ食料品酒類煙草類ノ如キハ下等勞働者ノ好ム所ニシテ積付方法完全ニ航海中左程ノ暴風雨ニ遭遇セズ且寄港地ニ於テ別ニ荷物ノ繰替(Shifting)ヲ爲サザリシニ陸揚後始メテ此等ノ貨物破損シ中味不足スルコト實際看ル所ナリ又外見毫モ故障ナキガ故荷受主モ異議ナク引取り後初テ中味ノ不足ヲ發見スルコトアリ此等巧ナル竊盜ハ各港ヲ通ジ恒ニ經驗スル所トス戒メザルベカラズ

押石減才

積付ノ緊要ナル所以

貨物ノ重量又ハ容積ヲ正確ニ測定スルコトハ荷物方ノ重大ナル責務トス然レドモ船主ノ營業競爭上商略トシテ所謂押石減才ヲ大目ニ見ルモノアリト雖モ貨主ノ爲スガ儘容赦ヲ爲ス時ハ押石減才ノ弊ヤ延テ運賃收入ノ點ニ莫大ノ影響ヲ來スノミナラズ各船々腹見積上尠カラズ關係ヲ生ズルガ故慎マザルベカラズ貨物ノ積付ニ就キテハ船長ハ十分注意セザルベカラズ若積付ノ方法ヲ誤リタルガ爲メ貨物ニ損害ヲ被ラシメタル時ハ船主ハ出帆主ニ對シ責ヲ免ルベカラザルハ明瞭ナリ而シテ積付方法ニ就キテ注意ヲ要スルハ船舶動搖ノ爲メ貨物ガ一方ニ集合スルコトヲ防グコト是ナリ一般ニ貨物ハ船艙一杯ニ積付クルヲ通例トスレドモ散荷ノ如キハ船舶ノ動搖ニ由リ一方ニ集合シ其甚シキニ至レバ船舶ノ顛覆ヲ醸スコト往々アリトス宜シク慎マザルベカラズ彼失踪船ノ多數ハ散荷ヲ積取リシガ爲メ顛覆ノ不幸ニ罹レルモノニシテ英國ニ於テハ是ガ爲メ穀物其他散荷ノ積付ハ特ニ注意スベキ旨ノ法令アリ

Walt. 166

プロフエサー、エルガー(Prof. Elgar)ガ一八八六年インスチテユート、オフ、ナイヴアル、プーキテクト(Institute of Naval Architects)ニ於テ朗讀セル論文「海難」(Losses at Sea)中ニ曰ク一八八一年ヨリ一八八三年ニ至ル三年間英國及ビ同殖民地ノ三百噸以上ノ船舶ニシテ沈没若クハ失踪セル船舶合計一、二六四艘ノ内其四分ノ一ハ石炭、其六分ノ一ハ穀物其他ハ散荷積ノ船舶ニシテ此等ハ皆積付ノ方法ヲ誤リタルガ爲メ沈没ノ不幸ニ陥レルモノナリト

抑貨物ヲ適當ニ船艙(Hold)内ニ積入レ餘分ノ積ヲ餘スコトナク壞レ易キ物ハ鄭重ニ保管シ流動物ハ之ニ嗜好ニ積合ハシ陸揚又ハ接續(Transshipment)ノ便宜ヲ圖リ其種類、記號及ビ陸揚港ニ注意シテ積付ヲ爲スハ熟練ヲ要スルコトニシテ若之ヲ誤ラバ適當ニ配合スレバ船積シ得ベカリシ分ヲモ積殘シ運賃收入高ヲ減シ且貨物ニ損害ヲ生ゼシメ辨金高運賃ヲ超過スルコトアリ例ヘバ酒、酢、油ハ漏レ、食鹽生魚、鹽魚ハ汁ヲ出シ、黑砂糖ハ流出シ、夏期ニ際セバ野菜、菓物類ハ腐敗シ、醬油、味噌、漬物類ハ自然ニ沸騰スルガ如シ貨物ニヨリテハ平積ノ出來ザル物(硝子板ノ如シ)上積ノ出來ザル物(重量品及ビ腐敗又ハ毀損ノ爲メ中品漏洩ノ虞レアル品物)下積ノ出來ザル物(ホヤ、鐵瓶、鍋、釜、荷造粗器ノ瀬戸物)艙内積ノ困難ナル物(劇薬、皮ノ類)アリ此他甲板積荷物危害品、高價品等ハ特別ノ取扱ヲ爲サルベカラズ又最初荷物ノ積付方宜シカラザリシガ爲メ往々荷物ノ繰替ヲ要シ其爲メ折角印分ケ又ハ揚地分ケニナ

ストウエー
Leg. Ch. 340

シタル荷物モ自然混合シテ揚遠ヒ、品違ヒヲ生シ徒ニ荷物ニ損傷ヲ生ジ人足賃ト確泊時間トヲ徒費
スル等損失些カラザルベシ斯ノ如ク積付ハ頗難事ニ屬スルガ爲メ外國ニテハ積付ノ方法ニ就キ特
別ノ法令存スルモノアリ又積付ニ就キ其監督ヲ専門トスル者アリ之ヲ積付監督人 (Stowage) ト云ヒ
積付ノ方法ヲストウエーヂ (Stowage) 積付ノ手續ヲストウエーヂ (Stowage) ト云フ
積付監督人ニ支拂フ報酬ヲジテヴエドオアレージ (Stowage) ト稱シ一噸若干ト定ムルヲ普通トス
レドモ時々總計若干ト所謂 Lump Sum ヲ以テ契約スルコトナキニ非ズ
海外ニ於ケル積付監督人ニ關スル要項ヲ摘示セバ左ノ如シ

S. T. 601

- 一 特約アル場合ヲ除キ積付監督人ハ船長ノ指揮ニ從ハザルベカラズ面シテ多數ノ船舶ニテハ船
長ハ一等運轉士 (Chief officer) ニ貨物ニ關スル一切ノ職務ヲ委任スルヲ常トス然レドモ時ニヨリ船
長ハ積付ノ方法ニ付キ一切萬端之ヲ積付監督人ニ一任シ毫モ容喙セザルコトアレドモステヂ
エドオアレージ (Stowage) 積付ノ手續ニテ契約スル時ハ積付ノ如何ヲ問ハズ成ルベク之ヲ早ク終了セン
トスルハ積付監督人ノ人情ナルガ故船長ト監督人トノ利害ハ必シモ符合スルヲ得ズ故ニ斯ノ
如キ特約ナキ以上ハ船長又ハ一等運轉士ハ絶エズ監督人ヲ監理スベシ通常二等運轉士 (Second
officer) ハ船積内ニ在リテ荷數 (Dunnage) ノ不足ナキヤ又拔荷 (Prilings) ノ弊ナキヤヲ検査スルモノトス
拔荷トハ船中人足ガ食料品、酒、煙草ノ類ヲ竊取スルコトヲ云ヒ船積陸揚ヲ問ハズ孰レノ港ニテ
モ多少行ハル、弊害ナリ
- 一 特約又ハ港ノ慣習ノ相違アルニ非ザレバステヂエドオアレージハ船主ノ負擔トス
- 一 積付監督人ノ使用ハ必シモ強制的ナラズ
- 一 監督人ハ自己ノ職責ヲ盡サハレベカラズ從テ自己ノ使用人ノ爲シタル損害ヲ負擔スベキコト
勿論ナリ
- 一 監督人ガ若荷送主ノ使用人ニシテ其選擇ニ付キ船長ガ何等相談ヲ受ケザリシ時ハ運送契約書
ニ何等ノ規定ナキ以上其者ノ行爲ニ就キ船主責ニ任ズル所ナシ

一 監督人ガ若荷船者又ハ其代理人ノ選擇ニ係リ積付不良ノ爲メ貨物ニ損害ヲ生セシメタル時ハ
無故障船荷證券所持者ハ船主ニ對シ損害賠償ヲ請求シ得ベシ

ブローケン、
ストウエーヂ

HI. 16

本邦ニ於ケル荷役ハ運轉士又ハ事務員之ヲ掌ルモ海外ニ於ケルガ如ク積付ノ方法ニ重キヲ置カザ
ルモノ、如シ
ブローケン、ストウエーヂ (Broken Stowage) トハ貨物積合ハセノ間ニ生ズル空隙ヲ言ヒ備船ノ場合ニハ
積付監督人又ハ運轉士ハ特ニ此空隙ニ積入ルベキ貨物ヲ撰定スルコト必要ナルハ既ニ述ベタルガ
如シ通常此空隙ヲ十分ニ充タス爲メニ使用スル貨物ハ劣等ノ種類ニ屬シ豫メ契約ヲ爲シ斯ノ如キ
目的ニ供センガ爲メ格安ノ運賃ニテ積入ヲ爲スコトアリ
普通貨物船ニテハブローケンストウエーヂヲ巧ニ利用セバ五六分多量ニ積載スルコトヲ得ベシト
云フ

仕切板

HI. 153
154

荷敷

Leg. Ch. 323

船舶航海中積荷ノ動搖ヲ防クガ爲メ艙内ニ仕切ヲ設ケテ以テ一方ノ積荷ガ他方ニ片寄ルヲ防グ目
的ニ供ス之ヲ仕切板 (Shifting board or shifting plank) ト云フ彼散積穀物 (Bulk Grain) ノ如キハ陸上ニ在リテ
ハ其靜止ノ角度 (Angle of repose) 三十度ナリト雖モ之ヲ船積スル時ハ船舶ノ Rolling ト Pitching ノ爲メ其
角度僅ニ十五度トナルガ故從テ船舶ガ十五度以上傾斜スル時ハ散積穀物ハ恰モ半流動體ノ如ク動
搖シ初ムベシ是海外各要港ノ規則トシテ特ニ散積穀物ノ仕切板ニ就キ嚴重ナル制裁アル所以ナリ
穀物ノ如キハ之ヲ船舶ニ滿載スル時ハ素ヨリ其動搖ヲ防止シ得ベシト雖モ之ハ常ニ望ムベカラザ
ル所ナレバ丈夫ナル仕切板ヲ選ビ成ルベク數多ク船積ヲ仕切ルコト必要ナリ
仕切板ノ外一般貨物ノ動搖ヲ防グガ爲メ大ナル貨物ト小ナル貨物トヲ入レ合セ又場合ニヨリテハ
鉋屑 (Saw dust) コ、ア、クルミ等ノ皮又ハ吳坐、蓆等ヲ詰メ合セ積荷ト積荷トノ密着ヲ防ギ又特ニ珈琲

穀物等ノ風通ヲ善クスル爲メ以上述べルガ如キ詰合セヲ爲スコトアリ其他船底ニ重キ荷物ヲ積荷スル時ノ如キ又浸水ノ貨物ヲ損傷スル虞アル時ハ孰レモ適當ナル木ヲ敷キ重ヌルコトアリ此等ヲ總括シテ荷敷(Dunnage)ト稱ス若適當ノ荷敷ヲ爲サバリシガ爲メ貨物ニ損害ヲ與ヘシ時ハ其責船主ノ負擔スル所ナリ故ニ船積着手前運轉士其他係員ハ船艙ニ十分ナル荷敷ノ供給アリヤ否ヤヲ觀察セザルベカラズ

荷敷ノ材料ハ船積港ニ於テ買入ル、ヲ普通トスレドモ特約ニヨリ此用ニ供センガ爲メ船積セラレタル蘆、棒、籐其他ノ貨物ヲ使用スルコトナキニ非ズ此場合ニ於ケル運賃ハ非常ニ廉價ニシテ港ノ慣習ニヨリテハ往々無賃ナルコトアリ

左ニ荷敷ニ就キ留意スベキ要項ヲ列示セン

- 一 生木又ハ濕氣アル木ヲ荷敷ノ用ニ供スル時ハ船舶並ニ貨物ヲ害スルコトアレバ宜シク之ヲ避クベシ完ク乾燥セルガ如ク見ユルモノト雖モ船艙内ニテ蒸サル、時ハ氣體ヲ發シ或種ノ貨物ハ之カ爲メ損害ヲ受クベシ
- 一 荷敷ニ使用スル木ハ成ルベク重キヲ佳トス又薪柴ノ如キ緊リナキ(Loose)モノハ避クベシ
- 一 船艙ハ常ニ唧筒ノ作用ニヨリ水分ヲ留メザル様注意スベシ飽層モ亦決シテ艙内ニ殘存セシメザル様留意スベシ
- 一 綠竹、石炭、角材、骨ノ類ハ成ルベク荷敷ト爲スベカラズ
- 一 藤、竹、蘆ノ類ハ輕量品ノ荷敷ニ適スレドモ重要品ノ荷敷ト爲サンニハ之ヲ多量ニ使用セザレバ壓縮モラル、虞アリ
- 一 前ニ油、脂肪等ノ積付ニ使用セシ木ヲ再ビ乾キタル貨物ノ荷敷ニ使用スベカラズ

十分貨物ヲ積載セザル船舶ハ船脚ヲ深クスルガ爲メニ鐵、石礫其ノ他ノ重量物ヲ餘分ニ積入レザルベカラズ之ヲ底荷又ハ壓艙物(Dunnage)ト云フ又帆ヲ使用スル船舶ニ在リテハ帆ヲ壓スル風力ノ爲メ

ZI.184-189

HI. 4546

底荷

新商 英一

壓艙水函

顛覆ノ危險ナキニ非ズ此場合ニモ亦底荷ヲ使用スルコトアリ而シテ十分ナル底荷ヲ積入レタリヤ否ヤヲ觀ルハ即發航ノ際ニ於ケル船長ノ至大義務ノ一トス然レドモ之ハ經驗ノ問題ニシテ別ニ規則ノ如キモノ存セズ

近年大汽船ハ多ク底荷トシテ水ヲ使用シ是ガ爲ニ船底ニ壓艙水函(Water ballast tank)ヲ設ク然レドモ壓艙水函ニ貨物ヲ積入ル、時ハ危險甚シトス此他普通使用セラル、底荷ノ内、石ハ砂又ハ石屑(Chips)ヨリモ安全ナリ硬クシテ大ナル石ハ道路用材トシテ陸揚港ニ於テ賣捌クコトヲ得ベシ若石多量ニ存在セザル時ハ先石ヲ敷列ベ其上ニ砂ヲ積ムモ亦可ナリ然レドモ若砂ノミヲ使用スル時ハ左ノ諸點ニ注意セザルベカラズ

- 一 唧筒ニ注入スルコトヲ防ガザルベカラズ
- 一 濕レル砂ノ比重ハ約一、九ニシテ乾ケルモノハ一、四ニナルガ故ニ一立方呎ノ重量ハ前者ニ在リテハ百十八英斤ナレドモ後者ニ在リテハ僅ニ八十八英斤、六ニ過ギズ故ニ濕レル砂ヲ積入レタル時ハ其目耗ヲ計算セザルベカラズ又濕レル砂ノ上ニ砂糖、燐寸其他乾燥質ノ貨物ヲ積付クルベカラズ
- 一 仕切板等ニテ動搖ヲ防ガザルベカラズ

水ニ融解シ易キ石材、發熱シ易キ石材及ビ粘土等ハ底荷ニ適セズ

之ヲ要スルニ船長ハ底荷トスベキ物ノ數量ハ勿論其品質(Quality)ニモ十分注意シ海外ニ於テ底荷ヲ買入ル、ニ當リテハ船主ヨリ其價格ニ制限ヲ加ヘラレタル時ハ成ルベク適當ナル材料ヲ選擇セザル可カラズ故ニ道路用材ト爲スベキ良石材ノ供給アリシニ拘ラズ廉價ナルガ故ニ石屑又ハ建物用ノ古石ヲ買入レ之ガ爲メ船舶遭難シタル時ハ其責船長ニアルコト勿論ナリ

今左ニロイド常務委員ノ裁定ニ係ル混合貨物ノ積付法ヲ錄セントス尤モ造船術並ニ航海術ノ進歩

SP. 75-77
HI. 10-11
ロイド積付法

セル今日ハ各船必シモ此法ニ則ルトニハ非ザレドモ一朝船舶海難ニ罹リ其損害ガ不注意ナル積付ニ歸因セル時ハ船主其責ニ任ゼザルベカラズ從テ爰ニ之ヲ譯載スル亦蛇足ニ非ザルベキカ

一 法律上船主、船長及ビ運轉士ハ孰レモ一般運送業者ト同視セララル、ガ故ニ貨物ノ積入、積付及ビ引渡ニ付キテハ細心之ニ從事セザルベカラズ又船主ハ完全ニ然カモ合法ナル貨物ヲ委托セラ

ル、時ハ之ヲ保管シ船荷證券持參者ニ之ガ引渡ヲ爲ス責アリ
船長ガ船荷證券持參者ニ貨物ヲ引渡スコト能ハザル時ハ倉庫營業者其他法律上權限アルモノ

ニ之ヲ引渡シ船長ノ手許ニ在ル船荷證券ノ寫シニ受取ノ旨記載セシムベシ
貨物ニ損傷アリタル時ハ往々荷送主ノ依頼ニヨリテ所謂無故障船荷證券返リ證ヲ差出サシメ
(Clean B/L)ヲ發行セラル、コトアレドモ之ハ殆ド詐欺ニ近キモノナレバ避クルチ宜シトス

高價品ハ往々船内ニテ積付人足(Lumpers)ガ棉花用手鉤ヲ使用スルガ爲メ損傷ヲ受クルコトアリ
一般積荷ノ船積ハ船積港ノ慣習ニ從ハザルベカラズ船長、船主ノ責任ガ何時始マルヤモ之ニ據
リテ決ス

二 大蕨、亞蕨、羊毛及ビ棉花ハ船舶ノ平底部(Floor)ヨリ上部船底彎曲部(upper part of the bilge)迄ハ九吋、船側
(Stile)ニハ二吋半ノ荷數ヲ要スルモ二重木目ノ隅ニ在ルモノハ船側ヲ去ルコト六吋ニテ足レリ
砂又ハ濕レル礫ヲ底荷ト爲ス時ハ板ヲ以テ之ヲ掩ハザルベカラズ

時々淫水ヲ測量シ必要アル時ハ唧筒ヲ以テ之ヲ汲ミ出スヲ要ス
船底銳キ船舶ハ平底部及ビ船底彎曲部ニ於テハ扁平ナル船舶ニ比シ淫水ノ量少ナキガ故三分
ノ一荷數ノ高サヲ減ジテヨシ
カルカツタ等ニテハコツバ(Horn-slaving)ヲ荷數トスルコトアレドモ水ヲ吸收スル虞アルガ故避
クベシ

三 穀類、小麥、米、豌豆、蠶豆等ヲ散積ト爲ス時ハ船底ノ上ニ良好ナル敷板(platform)ヲ作ルカ又ハ十吋
ヨリ些カラザル荷數ヲ爲シ船底彎曲部ニハ十四吋ノ荷數ヲ用意セザルベカラズ此場合ニハ唧
筒、帆檣ニハ板圍(Crushing)ヲ施シ丈夫ナル支壁(Ribbing)ヲ強壯ナル仕切板及ビ漏斗(Funels)ヲ通風

機(Ventilators)ヲ具備セザルベカラズ又他ノ貨物ト混交スルヲ許サズ
船底部扁平ニシテ船側垂直ナル船舶ニハ特ニ彎曲部ニ唧筒ヲ仕懸ケ加之梁ヲ支フル支柱(Trans-
oms)ヲ決シテ取去ルベカラズ

四 油、酒精、糖蜜、松根油(Tar)等ノ樽物ハ口ヲ上ニ向ケ兩端四分ノ一程ノ所ニ枕(Cross beds)ヲ設ケ、ヨク
クサビニテ留メパイプ(pipe)ニ二六ガロン入(ハ三重ネパンチヨンGimcheon)ハ四ガロン入(ハ四重ネ
ホツクスヘッド(Hoghead)六三ガロン入)ハ六重ネ迄ヲ限トス鹽ニ滴セル獸豚、豚肉、脂肪
(Grease)、ヒマシ油(Castor oil)等ニ接近シ濕氣ヲ吸收スル乾燥貨物ヲ積入ル、ベカラズ糖蜜ノ如キ

ハ中間ニ板張ヲ爲サルカ又ハ中甲板(Twixt or Tween deck)ヲ備ヘザル時數層積重ネタルガ爲メ船
主ノ負擔スベキ損害ヲ醸セシ實例夥カラズベンゴール(Banegal)輸出ノヒマシ油モ亦他ノ貨物ヲ
害スルコトアリ

五 バレルス(Barrels)一、五ガロン入)諸入ノ茶、麥粉、テールス(Tires)四二ガロン入)諸ノ亞蕨、ウマゴヤシ、
亞蕨仁、米糞入ノ珈琲及ビココア等ハ船底部ニ些クモ九吋上部船底彎曲部ニ十四吋、船側部ニ二
吋半ノ荷數ヲ施シバレルスハ八重ネ、テールスハ六重ネ迄ヲ限リトス

六百噸以上ノ船舶ハ壓力ヲ削クガ爲メ中甲板又ハ板張ヲ要スルハ以上述べタル要ニ供スルモ
ノニシテ中甲板ニ所々空隙ヲ存セバクサビ又ハマキハダヲ施シ船側ニハ水拔(needle)ヲ設ケ糞
物ナレバ二吋半、樽又ハ函物ナレバ一時ノ荷數ヲ孰レモ横ニ作ルベシカルカツタ輸出ノ米ハ往
々積付不注意ナルガ爲メ洋藍(Indigo)ノ爲メ損害ヲ被ルコトアリト言フ

六 砂糖、硝石、グアノ(Guano)等ハ他ノ貨物ニ準シ荷數ヲ施シ特ニ赤砂糖ハ白砂糖ト區別シ兩者共硝
石ニ觸レザル様注意スベシ單ニ材木ノミナ積載スル船舶ハ中甲板ヲ具ヘザルチ佳トス

七 ワラ灰、燐灰、煙紳、幾那、洋藍、茜、護謨等ハ函物ナルト依物ナルトヲ問ハズ船底及ビ船底彎曲部ニ九
吋、船側部ニ二吋半ノ荷數ヲ要ス

八 乾酪、豚肉等ノ小雜貨ハブロークストウエージニ適セズ他ノ貨物ト離隔シ適宜ニ荷數ヲ施ス
ベシ

九 食料品、獸脂(Tallow)等ノ樽物ハ六重ネヲ限リトシ諸種ノ金屬ハ成ルベク下部ニ積付ケ之ト接觸
ベシ

【第八章】貨物ノ船積及ビ引渡手續 ● 第一節 船積ノ手續

シテ損害ヲ受クベキ貨物ト區別セザルベカラズ

十 各種ノ製造品、乾皮、絹、其他ノ貴重品ハ水道ヲ設ケルガ爲メ特ニ船側ニ二吋半ノ荷敷ヲ施スベシ又鐵葉、鐵條ノ束物、鉄鐵、鉄鋼等粗ニシテ堅キモノハ儀物其他之ニ觸レ損害ヲ受クベキ貨物ト共ニ積付ヲ爲スベカラズ間席ハ絹茶等ノ荷敷トシテ船側ニ用井テ效アリ

十一 松根油、ターペンタイ、(Tarpentine) 松脂 (Rosin) 等ハ厚サ一時ノ扁平ナル枕ヲ荷敷トシテ六重ネテ限リトス

十二 ターペンタイ、イン、其他香高キモノハ特ニ上部ニ積付ケタル穀類、小麥等ヲ害スルコト稀ナラズ斯ノ如キ場合ニ荷送主ガ船積前訊問ヲ爲サザリシガ爲メ船主其責ヲ免ル、慣習アリ

十三 石炭ヲ滿載セル船舶ガケーブホーン又ハ喜望峰ヲ迂廻スル時ハ通風機ヲ具ヘ石炭瓦斯ノ爆發ヲ豫防スベシ

十四 遠洋航船ハ常ニ船舶ノ中央部ニ於テ其傾斜セル場合ニ輪深一呎ニ付キ三吋ノ割合ニテ船側ニ於ケル甲板ノ高サヨリ水面迄測定シ之ヲ沈水點ト名ケ沈水點以上荷積ヲ爲スベカラズ

然リ而シテ造船術ノ進歩ニヨリ各船浮部 (Freeboard) ノ割合異ナルニ至リシヲ以テ浮部ノ測度ニ長ジタル者ニシテ浮部表ニヨリ之ヲ測度スルニ非ザレバ到底正確ナル割合ヲ得ルコト困難ナリ是既ニ第二章ニ於テ述ベタルガ如ク極度ノ載貨吃水線 (Load Line) ノ制度ヲ設クルノ必用ナル所以ナリ

荷送主ハ貨物ヲ船積シ終リタル時ハ運送ニ必要ナル書類ヲ船長ニ交付ス運送ニ必要ナル書類ハ場合ニヨリ種々アリ例ヘバ輸出免狀、關稅受取證、關稅明細書及ビ送狀等是ナリ

貨物船積濟ノ上船主又ハ其代人ハ積荷運賃明細目録 (Manifest) ヲ作ラザルベカラズ本邦俗ニ之ヲ手板ト稱ス

積荷運賃明細目録ハ本船ニ船積シタル全貨物ノ明細目録ニシテ之ニ掲ゲザルモノハ本船ニ船積シタルモノト看做サズ又稅關ニテ右ノ目録ニ記載セラレザル貨物ノ陸揚ヲ爲ス時ハ特ニ重稅ヲ課セラル、コトアリ

荷送主ガ船長ニ交付スベキ書類
新商六〇四
積荷運賃明細目録

積荷運賃明細目録ハ大凡二通又ハ三通ヲ作製シ一通ハ本船ニ留メ一通ハ手許ニ留メ他ノ一通ハ貨物陸揚港ノ代理店ニ送附スルモノトス此他或ハ船主ニ送附センガ爲メ餘分ニ作製スルコトアリ又海外ニ向ケ出帆スルモノハ仕向地稅關ニ差出スガ爲メ更ニ一通ヲ作製スル必要アリ

積荷運賃明細目録ハ陸揚港毎ニ作製スベキモノナレバ陸揚港ヲ異ニスル貨物十種アレバ明細目録モ夫々別ニ作ラザルベカラズ目録ニ記載スベキ要項ハ貨物ノ陸揚港其他船荷證券ニ記載スル要件及ビ運賃向拂ナル時ハ此金額ヲモ記入ス本邦ニテ廻漕問屋ニ元扱ヲ委任セル所謂社外船ノ場合ニハ右ノ外附爲替ナル欄アリ此欄ニハ運賃ノ章ニ於テ述ベシガ如ク陸揚港ニ於テ荷受主ヨリ運賃以外ニ支拂ヲ要求スル諸掛ヲ記載スルモノトス(關稅法參照)

本節ヲ終ルニ先チ特別ノ取扱ヲ要スル高價品及ビ危害品ニ就キ少シク述ブル所アラントス
高價品 (Valuable cargo) ハ取扱上左ノ二種ニ區分ス

一 金銀貨、紙幣、金銀塊、貴金屬、珠玉、有價證券、印紙類

二 白銅貨、銅貨、銅錢、美術品、精巧ナル機械、生糸、絹糸、織物、針、金銀箔其他商慣習上價格ニヨリ運賃ヲ定ムル物品又一才ニ付キ五十圓以上ノ價格ヲ有スルモノ

高價品ハ荷受ノ際荷送人ヲシテ其種類及ビ價格ヲ明告セシメ船積ニ關スル書類ハ普通貨物ト區別シテ調製シ其包裝ノ外部ニ特殊ノ記號ヲ施シ船内ニテハ特ニ設ケタル倉庫又ハ金庫ニ積入ル、等火災、水害、盜難、毀損其他ノ事故ニ對シ注意ヲ施スベシ殊ニ第一種高價品ニ在リテハ其取扱ヲ鄭重ニシ冲荷役ノ場合ニ舢舨ヲ用ユル時ハ高價品ニ浮標ヲ附シ萬一ニ備フルヲ可トス

何ヲ以テ危害品 (Dangerous Goods) ト爲スカ及ビ其船積規則ハ各國相同シカラズ今本邦並ニ重要ナル海外諸國ニ於ケル危害品船積規則ノ要領ヲ左ニ摘載セントス

【第八章】貨物ノ船積及ビ引渡手續 ● 第一節 船積ノ手續

危害品

高價品

本邦ニ於ケル危害品船積規則(明治六年八月九日第二九二號布告)ノ綱領ハ左ノ如シ

- 一 火藥、硝石、硫磺類及ビ發火シ易キ製藥品、其他油脂、醬液並ニ腐敗シ易キ性質ニシテ他物ヲ損害スベキ物品ヲ船積スル時ハ荷送主ハ其品名ヲ荷造ノ外部ニ記シ或ハ其送狀ニ記入シ船主、船長又ハ船會社、保險會社等ノ承諾ヲ得タル後差出スベシ
- 若右ノ手續ヲ爲サズ通常ノ貨物ト爲リテ船積シ又ハ船積セントスル者ハ金五百圓以下ノ罰金ニ處スベシ
- 一 普通ノ貨物トシテ差出セルモノ、内ニ前項ノ如キ危害品アリト疑フ時ハ船主、船長、船會社、保險會社ハ何時ニ限ラズ何地ヲ論セズ直ニ發包シテ之ヲ視查スルコトヲ得ベシ但視查ノ爲メ發包シタル貨物ノ内ニ危害品ナキ時ハ船主、會社等ノ費用ヲ以テ從前ノ如ク荷造ヲ爲スベシ然レドモ若果シテ危害品アル時ハ是等ノ費用ハ一切貨主ノ負擔タルベシ
- 一 危害品ヲ船積セザル前、船會社又ハ保險會社ノ倉庫等ニ於テ之ヲ發見スル時ハ安全ノ場所ニ移シ置キ直ニ其管轄廳或ハ裁判所ニ届出ベシ但安全ノ場所ニ移ス費用ハ貨主ノ負擔タルベシ
- 一 船積後危害品ヲ發見セル時之ヲ安全ノ場所ニ移シ難キ時ハ船中ニ於テ三人以上ノ保證人ヲ立テ、之ヲ海中ニ投棄シ着港ノ上直ニ右ノ旨及ビ貨主ノ姓名ヲ其地ノ管轄廳或ハ裁判所ニ届出ベシ
- 一 船長及ビ船會社等ガ貨主ト申合セ危害品ヲ普通ノ貨物トシテ船積シ或ハ船積セント謀ル時ハ金五百圓以下又之ヲ發見スルモ官ニ訴へ出テザル時ハ金二百圓以下ノ罰金ニ處スベシ

又開港々則ノ規定ニ從ヘバ船船ノ常用以外ノ爆發物又ハ容易ニ燃燒スベキ貨物ハ港長 (Harbor master) 指定ノ場所ニ非ズンバ船積陸揚ヲ爲スコト能ハズ而シテ所謂爆發物ト稱スルハ

プラスチック、セラチン、彈藥包、爆發管、ダイナマイト、煙火、導火管、セリグナイト、ナイトログリリン、火藥、縮火藥、無煙火藥、雷管等

ヲ云ヒ容易ニ燃燒スベキ貨物トハ

生石油(ピルマ油、ラングリン油、ロツク油)ヲ包含ス、石油、ナフタ、的列並底油、依的兒、福蘇爾、石油、福蘇アセチン、酒精及ビ硫化炭素ノ類其他華氏九十五度以下ノ熱度ニヨリ發火スベキ氣體ヲ發スルモノヲ云

フ(開港々則及ビ同施行細則參照)

英國ニ於ケル一八九四年公布ノ商船法 (Merchant Shipping Act) 中ニ規定セル危害品船積規則(四四六—四四七)ノ要領ハ左ニ示スガ如シ

- 一 船主又ハ船長ニ非ズシテ硝酸、硫酸、ナフサ(Naphtha)、ベンジン(Benzine)、火藥、黃燐々寸、ナイトログリシリ(Nitro Glycerine)、石油、其他爆發物 (Explosive) 及ビ危險物ヲ英國船又ハ外國船ニ船積シ又ハ船積ニ着手セントスル者ハ荷造ノ外部ニ貨物ノ性質ヲ明記シ船主又ハ船長ニ右貨物ノ性質並ニ荷送主ノ氏名住所ヲ船積ノ時迄ニ書面ニテ通知スベシ若前項ノ手續ヲ怠ル時ハ百磅ノ罰金ニ處スベシ
- 荷送主ガ單ニ代人ニシテ右貨物ノ危害品タルコトヲ知ラザリシコト又疑ハザリシコトノ舉證ヲ爲シ得ル時ハ十磅以下ノ罰金ニ處スベシ
- 一 危害品ヲ普通品ト爲リタル者又ハ偽稱ノ上船積セル荷送主ハ五百磅ノ罰金ニ處スベシ
- 一 英國船又ハ外國船ノ船長ハ危害品ヲ包藏セリトノ疑アル貨物ノ船積ヲ拒絕シ得ベシ又發包ノ上之ヲ視查スルコトヲ得
- 特ニ指定ナクシテ船積シタル危害品ハ何時ニテモ海中ニ投棄スルコトヲ得ベク投棄シタル貨物及ビ是ニ由リ生セル損害ハ貨主ノ負擔タルベキコト勿論ナリ
- 一 正式ノ手續ヲ履マザリシ危害品及ビ偽稱セシ危害品ハ其貨主ニ通知ヲ爲サズ又上記ノ規定ニ違反セシ證明ヲ與フルコトヲクシテ海事裁判所ニ沒收セラレ且裁判所ノ命令ニヨリ賣却セラレ、コトアルベシ
- 一 以上ノ規定ハ此種ノ法律ノ代用ニ非ズシテ附加スベキモノナリ然レドモ何人ト雖モ同一事件ニ付キ再告訴又ハ罰金ニ處セラレザルベシ

佛國ニ於ケル一八七〇年六月十八日並ニ一八七四年八月十二日ノ法令ニ規定セル所ニヨレバ危險物ヲ區別シテ二種トシ第一種ハ爆發シ易キモノ又ハ危險最甚シキモノニシテ從テ運送ニ最大ノ注意ヲ要スル物品ナリ第二種ハ燃燒シ易キモノ又ハ比較的危險少キモノ猶特別ノ注意ヲ要スル物品ト

Des. II. 337

ス第一種ニ屬スル品ハナイトロケリスリン、ダイナマイト、ピクレート(Picrate)、縮火藥、コロデイラン用線煙硝純粹及ビ混合雷藥、火藥、格魯子及ビ爆發シ易キ混合物、軍用獵用及ビ鑛山用火藥及ビ雷管、煙火鑛山用火繩ニシテ第二種ニ屬スル物品ハ磷燐寸、硫化炭素依的兒、コロデイラン液、原油、燈火用昔斯脫、バラフ井ン、樹脂、石油、ベンジン並ニトリユエン又(Toluene)次亞硝酸是ナリ

海運ト陸運トヲ問ハズ危害品ヲ運送セントスル荷送主ハ其旨ヲ船長又ハ荷物取扱人ニ明告セザル時ハ十六法以上三千法以下ノ罰金ニ處セラルベシ又第一種ニ屬スベキ危害品ニハ赤字ヲ以テ第二種ニ屬スベキ危害品ニハ青字ヲ以テ荷造ノ總テノ方面ニ荷印ヲ附スベシ尤モ一デシメートル立方以下ノ荷造ナル時ハ一面ニ記載スルノミニテ可ナリ

第二節 引渡ノ手續

習一般引渡ノ慣

船荷證券ヲ使用セザリシ往古並ニ今日ト雖モ之ヲ發行セザル船舶ニ船積シタル貨物ハ船主ヨリ荷受主ニ送り届ケ又ハ荷受主ニ船舶ノ到着ヲ通知スル時ハ荷受主ハ其引渡ヲ受クル等甚簡單ナリ然ルニ今日ハ交通機關錯雜ニシテ船荷證券ヲ發行セル積荷ハ證券ト引換ニ引渡スコト、ナレリ尤モ本邦内地ノ航海ニ於テハ船舶ノ出帆ト同時ニ積荷運賃明細目録ヲ作り之ヲ船積港ノ本支店若クハ代理店ヨリ陸揚港ノ代理店若クハ本支店ニ送附スルガ故右目録ノ到達後荷受主ニ注意ヲ與フル場合多シ而シテ荷捌ヲ業トスル者アル土地ニテハ積荷運賃明細目録到達ノ上船會社ヨリ之ヲ荷捌人ニ示ス時ハ荷捌ヲ業トスル者ハ荷印出所行所ヲ一見シテ荷受主ノ誰ナルカヲ知ルガ故ニ豫メ荷受主ニ通知シ積荷到達ノ上貨主ハ船荷證券ト引換ニ引渡ヲ受クルナリ海外諸港ニテモ荷捌ヲ業トスル者アリテ船會社ハ荷捌人ニ托シテ荷捌ヲ爲スコトアリ例ヘバ倉庫會社ト特約シ積荷ノ解移、陸揚、

法變則ノ引渡方

M.N.Q. Vol. XIII. 47-49

荷受主貨物ヲ引取ラザル時ノ手續

管引渡方ヲ委託スルガ如キ是ナリ或ハ新聞紙ヲ利用シテ何船便陸揚貨物ノ荷受主ハ船荷證券ヲ持參シテ何月何日本船ニ來ラルベシトノ廣告ヲ爲スモノアリ

積荷ノ引渡ハ本船ニテ爲スヲ原則トスレドモ船荷證券ノ特約條項ニヨリ棧橋、河岸又ハ埠頭等ニ於テ之ヲ爲スコトアリ又本邦ニ於テハ俗ニ「廻シ」ト唱ヘ貨物ヲ直接ニ荷受主ノ倉庫ニ送附スコトアリ彼東京ニ於テ深川ノ米商或ハ肥料商ガ貨物ヲ引取ル場合ノ如キハ孰レモ此方法ニ依ル慣習アリ又船會社ガ自ラ荷捌所ヲ設ケ此處ニテ貨物ノ引渡ヲ爲スコトアリ

海外ニテモ船荷證券其他運送契約書ニ貨物ノ引渡ハ本船ニ於テ之ヲ爲スノ規定アリト雖モ是ハ概則ヲ示スニ止マリ實際ハ港ノ慣習ニ左右セラル、コト多シトス例ヘバテムス川(Thames)ニ於テハ材木ノ引渡方法ハ荷主ノ解舟ニ之ヲ積卸スノミニテハ船主其責ヲ完ウシタルモノト看做サズ人足ヲ備用シ之ヲ解舟ノ内ニ積付ケザルベカラズ是等ノ變則引渡ノ慣習アルガ故ニ船荷證券又ハ運送契約書中ニ港ノ慣習如何ヲ問ハザル條項("any custom of the port notwithstanding")ヲ挿入スルニ非ザレバ船主ノ不利益蓋尠カラザルコトアリ

貨物ノ到着後相當ノ期限内ニ荷受主ガ引取ヲ爲サル時ハ通常之ヲ船主又ハ荷受主ノ危險ト費用トヲ以テ倉庫會社ニ庫入ヲ爲シ尙相當ノ期間内ニ引取ラザル時ハ之ヲ競賣ニ附スルモノトス本邦ニテ使用セル船荷證券ノ規定スル所ニ從ヘバ

- 一 當會社ハ本船積運送品ト雖モ便宜荷送人又ハ荷受人ノ危險及ビ費用ヲ以テ解舟、庫船、當會社指定ノ倉庫又ハ稅關倉庫ニ於テ其引渡ヲ爲スコトアルベシ
- 一 荷受人ガ運送品ヲ受取ルコトヲ怠リ若クハ之ヲ拒ミタル時又ハ荷受人ヲ確知スルコト能ハザル時ハ當會社ハ荷送人又ハ荷受人ノ危險及ビ費用ヲ以テ之ヲ當會社指定ノ倉庫ニ保管シ又ハ供托スルコトアルベシ

船長ノ貨物供

新商
同
六
三
七

船主ノ留置權

前項ノ場合ニ於テ運送品ヲ當會社所屬ノ倉庫ニ保管スル時ハ當會社ノ定ムル保管料ヲ申受クベシ
運送品ノ性質現狀等ニ因リ必要ト認ムル時又ハ陸揚後二個月ヲ經過スルモ猶受取ラザル時ハ當會社ニ於テ該運送品ヲ競賣スベシ

現行商法ノ規定スル所ニ從ヘバ備船契約ノ場合ニハ陸揚ノ準備整頓セル時船長ハ運滞ナク荷受主ニ右ノ通知ヲ發スル義務アルモノトシ陸揚期間ハ右通知ガ荷受主ノ許ニ達シタル日ノ翌日ヨリ起算スベキモノトシ普通運送契約ノ場合ニハ荷受主ハ船長ノ指圖ニ從ヒ運滞ナク貨物ノ陸揚ニ着手スベキ義務アルモノトセリ而シテ若一般ニ荷受主ガ引取ヲ爲サル時ハ之ヲ拒絕シタルモノト看做シ船長ハ貨物ヲ供托スルコトヲ得ベシ但供托ヲ爲シタル時ハ荷受主ニ右ノ旨ヲ通知セザルベカラズ而シテ若荷受主ヲ確知スルコトヲ得ルモ引取ヲ拒ミタル時ハ船長ニ供托ノ義務アルモノトシ且供托ノ通知ヲ備船者又ハ荷受主ニ發セザルベカラズ

船長ハ運賃其他諸費用ノ支拂ト引換ニ非スンバ貨物ヲ荷受主ニ引渡スヲ要セズ是即船主ニ満足ヲ與フル強制ノ方便ニシテ法律上所謂留置權是ナリ然レバ若荷受主ニ於テ運賃ヲ支拂ハザル時ハ貨物ヲ裁判所ニ供托シ又ハ之ヲ賣却シ其賣得金ヲ以テ運賃ニ充ツルコトヲ得ベシ當ニ運賃充當ノ爲メニ斯ノ如キ手段ヲ取り得ルノミナラズ航海ニ附隨ノ費用立替金碇泊料共同海損並ニ救助費用ノ分擔額等ニモ充當スルコトヲ得ベシ要スルニ船長ハ荷受主ニ於テ運賃其他ノ諸費用ヲ支拂ハザレバ貨物ノ引渡ヲ拒ムコトヲ得

航海ニ附隨ノ費用及ビ立替金トハ例ヘバ船積陸揚等ノ費用ニシテ船主ノ負擔スベキモノアル時若クハ船主ガ貨主ニ代リテ保險ヲ付スベキ特約ヲ爲シ其保險料ヲ立替支拂タル時又ハ損傷貨物ノ手入保管費用又鑑定人ノ鑑定ヲ受ケタル時ハ其費用及ビ第三章ニ於テ述ベタルガ如ク本邦ニ於テ行

Car
680,681
682
702
H.H.71-73

英國ノ慣習

Leg. B. 291

ハル、所謂附爲替ノ内ニ包含セラレベキ諸立替費用等ヲ云フ而シテ英國ノ如キハ運賃及ビ共同海損ト救助費用トノ外船長ハ貨物ノ上ニ留置權ナキモノトセリ然レドモデツドフレイト及ビ日數超過増拂金等ニ對シテモ猶貨物ノ上ニ留置權ヲ行フベキ特約ヲ爲スコト多シ但其他ノ國ニ於テ此等ハ何レモ或ハ運賃ノ一部ト看做サレ或ハ運賃ノ附隨ノ費用ト看做サレ從テ此等ノ支拂ニ對シ當然留置權ヲ行ヒ得ルコト、ナレリ本邦法典モ之ト同様ニ英國ノ所謂デツドフレイト及ビ日數超過増拂金等ヲ運賃ノ内ニ包含スルコトヲ認ムルガ故ニ何等特約ナキ時ト雖モ猶斯ノ如キ金額ニ對シ留置權ヲ行フコトヲ得ベシ

英國ノ慣習ニ據レバ運賃ノ支拂ニ付キ船荷證券又ハ運送契約書ニ特殊ノ定メアル時船主又ハ船長ハ留置權ヲ失フベシ例ヘバ

- 一 貨物引渡後運賃ヲ支拂フベキ時
 - 二 貨物ガ陸揚港ニ到着前運賃ヲ支拂フベキ時
 - 三 本船出帆後一定期限内ニ運賃ヲ支拂フベキ時
 - 四 本船某地點ヲ通過シタル報告受領後一定期間ニ運賃ヲ支拂フベキ時
- 一例ヲ舉ゲンカ某運送契約書ニ備船者ハ船荷證券署名後運賃ノ半額ヲ三ヶ月拂ノ約束手形ニテ船主ニ支拂フベク殘半額ハ貨物引渡ノ上支拂フベシトノ條項アリ若貨物引渡前備船者破産ノ爲メ手形金額ヲ支拂フコト能ハザル場合ニハ此手形面金額即運賃ノ半額ニ對シテハ船主留置權ヲ行フコトヲ得ザルナリ又例ヘバ龍動ヨリ志度尼マテ茶船一航海備船契約ヲ爲シ備船者ハ備船料トシテ本船龍動ニテ出港届チ爲シタル日以後二ヶ月ノ内ニ金一、六〇〇磅ヲ船主ニ支拂フ約束ニテ賣主ト商品ノ賣買契約ヲ取結ビ賣主ハ悉皆貨物ヲ船積セシモ備船者ガ貨物ノ代金ヲ支拂フコト能ハザリシヲ以テ直接船長ニ荷物ノ取戻シ (Redelivery) ヲ請求セシニ船長之ヲ拒絕セシガ爲メ備船者ト相談ノ上備船者ノ名義ニテ取戻シヲ強請セシモ依然頑トシテ之ニ應セザリシガ爲メ訴訟トナリタリ其判決ニ曰ク此場合ノ備船料ハ貨物ノ引渡ニ何等ノ關係ナキガ故ニ船主ハ貨物ヲ留置スルコト能ハズ而

シテ備船者ト船長トノ間ニ於テハ備船者ハ備船料支拂期日迄ハ相當ノ費用ヲ支拂ヒ貨物ヲ取戻スコトヲ得ベシト

佛國法ノ規定

佛商 三六
白商 三六
伊商 三六
其他略之 三六

Des. II, 687

船長ガ積荷ノ上ニ留置權ヲ有スルコトハ多クノ國ニ於テ法典ノ認ムル所ナリ然ルニ佛國並ニ佛國法ニ倣ヘル國ノ法典ハ之ヲ認メズ抑船長ノ留置權ハ古既ニ海上ノ規則ノ規定スル所ニシテ古代ノ學者ノ如キ貨物ハ運賃支拂ノ爲メニ恰モ船長ニ買入ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得ベシト云ヘリ然ルニクワイラツク (Kraib) 氏出テ船長ハ本船ニ於テ積荷ヲ留置スルコトヲ得ズ然レドモ之ヲ解船ニ積移シタル後ハ運賃ノ支拂ニ對シ之ヲ留置スルコトヲ得ベシト云ヒ一六八一年ノ法令ハ此說ヲ採用シ船長ハ積荷ノ猶船中ニ在ル間ハ運賃支拂ノ爲メニ留置權ヲ行フコトヲ得ズト雖モ之ヲ解船ニ積移シタル後ハ他ニ運搬スルヲ差止ムルコトヲ得ベシト規定セリ蓋積荷ノ本船ニ在ル間ニ留置權ノ行使ヲ許サル精神ハ海上ニ於テハ危險多キヲ以テナリ其後佛國商法ハ一六八一年ノ法令ニ則リ貨物ノ本船ニ在ル間ハ船長ノ留置權ヲ認メズ唯運賃ノ支拂アルマデハ貨物ヲ第三者ノ手ニ供托スルコトヲ得ベキ旨規定セリ尤モ佛國其他ニ於テ上述ノ如ク本船ニ於テ船長ノ留置權ヲ否認スルハ前世紀ノ舊慣ヲ襲用シタルニ過ギズ然カモ之ガ爲メニ實際上不便ヲ感ズルコト多クレバ此等諸國ニ於テモ豫メ特約ヲ爲サバ船長ハ本船ニ於テ留置權ヲ行使シ得ベキハ勿論ニシテ實際斯ノ如キ特約ヲ爲スコト多シト聞ク

此他英國ニ於テハ船荷證券ノ轉帳ニヨリ貨物ノ賣買ヲ爲シタル場合ニ其引渡ニ先チ買主ガ破産セルニ當リ賣主ハ船長ニ對シ貨物引渡ノ差止方ヲ請求スルコトヲ得斯ノ如キ場合ニハ貨物ノ代價ヲ受取ラザル賣主ハ其代價ニ對シ貨物ノ上ニ留置權ヲ有スルモノト看做サル之ヲ名ケテストツブページイン、ツランシチユー (Stoppage in transit) ト云フ

Val. II, 397

英國ニ於テ認メラル、一種ノ留置權

船主ノ實權

獨商 三六
佛商 三六
白商 三六
伊商 三六
其他略之 三六

同英民商 三六
同 三六

葡商 三六
西商 三六
獨商 三六
佛商 三六
白商 三六
新商 三六

船長ノ留置權ニ關シ各國ノ慣例ハ右ニ述ベタル所ノ如シ而シテ貨物ヲ留置スルニ就キテハ船長ガザル費用ヲ要スルノミナラズ留置スル間ニ貨物ノ價格ガ下落シ又港ノ規則ニヨリ留置權ヲ許サバルコトモアルベケレバ孰レノ國ノ法律モ船主ニ貨物ノ質權ヲ與ヘ裁判所ノ許可ヲ得テ該貨物ヲ競賣ニ付スルコトヲ得セシム (法訴事件手續)

船長ハ貨物ヲ適宜ニ賣却スルコトヲ得ズ必ヤ之ヲ競賣ニ附セザルベカラズ何トナレバ船長ノ隨意ニ任ゼンカ極メテ危險ナルコトアレバナリ又競賣ハ裁判所ノ許可ヲ得ザルベカラズ蓋荷受主ガ運賃其他ノ費用ヲ支拂ハザルハ多クハ何かノ故障アル時ナレバ裁判所ニ請求シテ之ガ認定ヲ爲サシメザルベカラザルガ故ナリ而シテ所謂動産ノ質權ナルモノハ占有ヲ必要トスルハ民法ノ原則上明瞭ニシテ船主ノ質權モ亦貨物ノ占有ヲ必要トスルハ勿論ナレドモ貨物ヲ船内ニ留置スルハ危險ニシテ又實際稅關等ニテ貨物ノ検査ヲ要スルガ爲メ事實占有シ得ザル時アリ然レドモ之ヲ陸揚シタル上倉庫内ニ留置スルガ如キハ不便ニ堪ヘズ是ヲ以テ各國ノ法律ハ運賃其他ノ支拂ナキ貨物ト雖モ一旦荷受主ニ引渡スコトヲ得セシメ其引渡後モ葡萄牙ノ如キハ十日、西班牙及ビ和蘭ハ二十日、獨逸ハ三十日、佛蘭西、白耳義、伊太利諸國ハ二週間ト夫々日限ニハ相違アレドモ之ヲ要スルニ猶一定ノ期間内ハ船主ニ前述ノ權利ヲ行フコトヲ得セシムル旨ノ規定アリ是船主並ニ荷受主双方ノ便宜ヨリ來リシ規定ニ外ナラズ我商法ノ規定ニ從ヘバ船長ガ荷受主ニ貨物ヲ引渡シタル後ト雖モ船主ガ貨物ノ上ニ權利ヲ行使スルニハ貨物引渡ノ日ヨリ二週間ナルコト及ビ第三者ガ荷物ヲ取得セザルコトヲ以テ條件トセリ

以上述ブルガ如ク船主ハ裁判所ノ許可ヲ得テ貨物ヲ競賣ニ附シ以テ運賃其他ノ支拂ニ充ツルコトヲ得ベシ而シテ其賣上高ガ運賃其他ノ諸費用ニ足ラザル時ハ固ヨリ備船者又ハ荷送主ニ差金ヲ請

新商
六二
獨商
六三

一部引渡

荷受主貨物ヲ
引取リシ時ノ
手續

船荷證券ノ裏
書及其交付

新商
四三
獨商
八元

求スルコトヲ得ベキハ運賃ノ章ニ述ベタル所ナリ然レドモ船主ニ與ヘラレタル右ノ權利ヲ行使セザル時ハ是即船主ノ過失ナルガ故從テ猶此上ニ備船者又ハ荷送主ニ運賃ヲ請求スルハ不當ナリト謂フベシ尤モ備船者又ハ荷送主ガ運送契約ノ結果トシテ運賃ヲ支拂ハザリシガ爲メニ利益ヲ受ケタル時ハ所謂不當利得ナルガ故固ヨリ其限度ニ於テ船主ニ償還セザルベカラズ

船荷證券ニ記載セラレタル貨物ハ一口ノモノト看做サル、ガ故貨物が分割シ得ベキモノナラバ兎モ角否ラザルモノニ就キ一部ノ引渡ヲ請求セラレタル時ハ船長ハ之ヲ拒絶スルコトヲ得ベシ其分割シ得ベキ場合トハ例ヘバ米ト雜貨トヲ一枚ノ船荷證券ニテ船積シタル時ノ如キヲ云ヒ此場合ニハ運賃ノ割合モ自然異ナルガ故荷受主ノ望ニ任セ別々ニ引渡スコトヲ得ベシ

以上述べタルハ荷受主ガ引渡ヲ受ケザル時ノ手續並ニ法律ノ規定ナリ而シテ荷受主ガ船荷證券ト引換ニ貨物ヲ受取リタル時ハ船荷證券ニ裏書ヲ爲サルベカラズ今日多ク行ハル、ハ略式裏書(Blank Endorsement)トテ單ニ署名スレバヨシ而シテ記名式裏書ハ左ノ如シ

表記ノ貨物正ニ受取候也

年月日

住所

姓名

Received the within (or received)

Date

Signature

右ノ如ク船荷證券ニ貨物受取ノ旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルハ船主ノ權利ニシテ若記名式又ハ略式裏書ヲ爲サズシテ貨物ヲ引渡シタル後船荷證券ヲ紛失シ又ハ盜難ニ罹リテ第三者ノ手ニ渡ランカ善意ノ所持人ガ再引渡ヲ請求スル時ハ船主ニ於テ之ヲ拒ムコト能ハザルベシ又船主ハ船荷證券ト引換ニ非ザレバ貨物ノ引渡ヲ爲スコトヲ要セザルハ一般手形ノ原理ヲ準用スルモノナリ

向拂運賃ハ一般ノ慣習ニヨレバ貨物引渡ノ前支拂フヲ原則トスルガ如シ故ニ若運賃ノ支拂アリタル時ハ船荷證券面ニ運賃受取済ノ旨記載ス海外ニテハ

Please deliver upon endorsement.

.....Manager or Agent.....

(裏書ノ上貨物御引渡可被成候 支配人又ハ代理店)

カウンタ、
サイン

變則ノ引渡

陸揚地ニテハ
一通過ノ船荷證
券ト引換テ爲
ス物ノ引渡ヲ爲
獨商
六四
新商
六五

等記入ス之ヲ船荷證券ノカウンタ、サイン (Counter-sign)ト稱ス

斯ノ如クシテ荷受主ハ始メテ貨物ノ引渡ヲ受クベキナリ尤モ往々船長ト荷受主トノ交渉ノ結果貨物ノ一部ノ引渡ヲ爲シタル後運賃ノ支拂ヲ受クルコトアリトス金融逼迫ノ際ニハ現金取引盛ニ行ハル、ガ故ニ荷受主ニ於テ荷爲替ヲ支拂ハザル以前内金ト稱シ銀行ニ一部ノ荷爲替金ヲ支拂ヒ別ニ證書ヲ添ヘテ銀行ニ差出シ數日間銀行ヨリ船荷證券ヲ借受ケ船主ヨリ貨物ヲ引取リ賣却ノ上該貨物ニ對スル運賃ヲ支拂フコトアリ又本船ハ既ニ陸揚港ニ着セルモ荷爲替手形未着ノ爲メ荷受主ハ荷爲替金ヲ支拂ヒ船荷證券ヲ入手スルコト能ハザルコトアリ又貨物ノ引渡ヲ受ケントスルモ荷爲替手形支拂期限ノ到ラザルコトアリ又ヨク荷爲替附貨物ニ非ザル時ニテモ郵便ノ都合ニヨリ荷受主船荷證券ヲ入手セザルコトモアルベク此等ノ場合ニ荷受主ガ得意先ノ銀行又ハ信用アル商人ノ裏書アル保證狀ヲ船主ニ差出シ引渡指圖書 (Delivery Order)ノ交付ヲ請求スル便法アリ而シテ後日船荷證券入手セバ裏書ノ上右ノ保證狀ト引換フルコト勿論ナリ

本邦ニテ現今行ハル、船荷證券ハ記名式ナルガ故ニ指定セラル荷受主又ハ其委任狀ヲ受ケタル者船荷證券ニ署名スルモ海外ニテハ多ク指圖書ナルガ故ニ船荷證券ノ所持人即荷受主ナレバ指圖書署名スベキコト明ナリ而シテ船荷證券ハ豫メ數通發行スルコトヲ得ルガ故ニ陸揚地ニテハ右數通

新商 六四
陸揚地外ニテ
ハ全船荷證券
ト引換ニ爲ス
ノ引渡ヲ爲ス
舊 六六一
新 六六二
新商 六六三
二人以上引渡
ノ請求ヲナシ
タル時
新商 六六四

新商 六六五
Lye 1481
獨商 六六六
新商 六六七

原所持人カ悉
意ヲ以テ船積
證券ヲ使用セ
シ時

新商 六六八

サブ、ビル、ホ
フ、レー、テイ
ン

ノ船荷證券ノ内一通ノ所持人ガ引渡ヲ請求スル時ト雖モ船長ハ之ガ引渡ヲ拒ムコト能ハザルハ明
ナリ然レドモ陸揚地以外ニ於テ引渡ヲ爲ス時ハ發行セル全船荷證券ト引換ニ非ザレバ引渡ヲ爲ス
コトヲ得ズ否ラザレバ陸揚地ニ於テ殘餘ノ船荷證券所持人ヨリ引渡ヲ請求セラル、危險アリ又數
人ガ船荷證券ヲ呈示シテ貨物ノ引渡ヲ請求セル時ハ船長ハ孰レノ所持人ガ果シテ正確ナル荷受主
ナルカヲ判定スルニ苦ムベシ然リトテ眞ノ荷受主ノ定マル迄徒ラニ貨物ヲ保管スル時ハ船主ノ被
ルベキ損害亦少カラズ依テ斯ノ如キ場合ニハ船長ハ貨物ヲ供托シ引渡ノ請求ヲ爲シタル各所持人
ニ右ノ通知ヲ發セザルベカラズ又陸揚地ニ於テ既ニ一通ノ船荷證券ヲ呈示シタル者ニ一部ノ貨物
ヲ引渡シタル後他ノ所持人ガ復引渡ヲ請求スル時ハ未引渡ヲ了ラザル貨物ハ同様供托ノ上引渡ノ
請求ヲナシタル各所持人ニ通知セザルベカラズ而シテ既ニ一通ノ所持人ガ貨物全部ノ引渡ヲ受ケ
タル時ハ殘餘ノ船荷證券ハ悉皆無効タルベキハ船荷證券ノ性質上當然タルベキコト、ス海外ニ行
ハル、船荷證券ニ所謂一通ニテ引渡セバ他通ハ無効タルベシ ("One of which being accomplished the others
to stand void") トノ旨ヲ豫メ船荷證券ニ記載スル必要亦爰ニ在リ

又數通ノ船荷證券ノ孰レニモ未貨物ヲ引渡サル場合ニ原所持人ガ既ニ一通ノ船荷證券ヲ他人ニ
賣却或ハ讓渡シ又ハ質權ノ目的物トナシ從テ船荷證券ヲ代表セラレタル貨物ニ就キ最早權利ナキ
ニ拘ラズ再他ノ數通ノ船荷證券ヲ賣却讓渡又ハ質權ノ目的物ト爲スニ於テハ法律上無効タルコト
明ナリ斯ノ如キ場合ニハ原所持人ガ最初ニ發送又ハ引渡シタル船荷證券所持人ハ正當ノ荷受主ナ
ルガ故ニ之ト引換ニ貨物ヲ受取ルコトヲ得ベキモノニシテ他ノ數通ハ當然無効ナリトス
海外ニテハ特種ノ貨物例ヘバ果物ノ如キモノニ對シテハ貨主ノ船積セシ數口又ハ數十百口ノモノ
全量ニ就キ船荷證券一通ヲ發行シ別ニ各口ノ荷印員數等ヲ明記セズ唯漠然ト種々ノ荷印 (Various

M.N.O.
vol. XIV,
37-38

引渡ノ際ニ
於ケル船長
ノ立證

新商 三三
同商 三三

(Marks) 若干個ト認メ之ヲ積荷主ニ交付スルコトアリ斯ノ如キ場合ニ積荷主ハ口數毎ニ詳細ノ荷印
員數等ヲ記載セル數通又ハ數十百通ノ分割船荷證券即 Sub-B/L ヲ發行シ之ヲ船主ノ發行セシ船荷
證券ト共ニ荷受主ニ送附スベシ荷受主ハ積荷主ノ發行セル船荷證券トニテ未着商品ヲ轉賣シ彌本
船到着ノ上船主ノ發行セル船荷證券ニ就キ唯個數ヲ吟味シテ引渡ヲ受ケ更ニ荷印員數ヲ撰り分ケ
(Sort out mark by mark) Sub-B/L 所持者ニ引渡ヲ爲ス慣習アリ蓋數口又ハ數十百口ノモノニ對シ一々
船荷證券ヲ發行スベキ場合ニハ本船ニテハ船積及ビ引渡ノ場合ニ一々原品ノ荷印員數ノ取調ヲ爲
ササルベカラズ斯テハ貴重ノ時間ヲ空費スル虞アルガ故ニ右様便利ナル慣習ヲ生ジタルモノナラ
ン

荷受主ガ未着商品ヲ轉賣スルニ當リ時々一船荷證券記載ノ貨物ヲ數口ニ分チ數人ニ轉賣ノ契約ヲ
爲スコトアリ斯ノ如キ場合ニハ荷受主ハ向拂運賃アラバ之ヲ船主ニ支拂ヒ船荷證券ニ裏書ノ上引
換ニ數枚ノ引渡指圖書 (Delivery Order) ヲ受取り之ニ裏書ノ上數人ノ買主ニ分配スルコトアリ而シテ引
渡ノ際貨物ニ損傷不足アラバ荷受主船主ト談判シ其責任ヲ定ムベシ此他石炭ノ如キ特種ノ貨物ハ
荷受主ノ發行セル引渡指圖書ニ就キ引渡ヲ爲ス慣習アリ

斯ノ如クシテ彌貨物ノ引渡ヲ爲スニハ船積ノ場合ト同様船主代人立會ヲ爲スモノトス然レドモ貨
物ノ損害又ハ荷不足ヲ生ズル時ハ往々苦情ヲ生ズベシ尤モ特約條項ニヨリ船主ハ此等ノ責任ヲ免
ル、コトアルベキモ船長ハ引渡ノ際十分損害ノ原因ニ就キ立證セザルベカラズ立證ノ項目ハ大略
左ノ如シ

- 一 損害ガ不可抗力ニ因リシコト
- 二 自己若クハ海員ガ貨物ノ受取、保管及ビ運送ニ關シ注意ヲ怠ラザリシコト

三 損害ガ荷作ノ不良等備船者又ハ荷送主ノ過失ニ因リシコト
四 損害ガ貨物自身ノ瑕瑾ニ因リシコト

損害ガ不可抗力ニ原因セシコトヲ立證スルニ重要ナルモノハ「海難報告」(Protect)トス抑船舶海難ニ罹リタル時其他變事ヲ生ゼシ時ハ船長ハ管海官廳(海外ニ在テハNotary Public)ニ海難報告ノ手續ヲ爲サザルベカラズ從テ報告書ナキ時ハ所謂海難ト看做サレザルモノニシテ保險者モ亦通常此種ノ危險ヲ擔保セザルガ故ニ荷受主ハ船長ガ果シテ右ノ手續ヲ爲シタリヤ否ヤヲ看届ケ若之ヲ怠リタル時ハ損害及ビ荷不足ニ付キ船主ニ賠償ヲ要求スルコトヲ得ベシ
貨物ヲ積載セル船舶ガ暴風雨ニ遭遇シタルガ爲メ船體又ハ貨物ニ故障アラントラ慮リ船長ガ避難港又ハ到達港ニテ所謂海難證明書ノ交付ヲ受クルハ普通ノ場合ナリト雖モ亦左ノ場合ニモプロテストヲ爲スコトアリ

H.H.33-36

- 一 天候險惡ナリシガ爲メ腐敗又ハ變性シ易キ貨物ノ爲メニ適當ノ通風法ヲ施ス事能ハザリシ時
- 一 貨物ノ全部又ハ一部ノ積付當時ノ狀態ニ照ラシ後日損害ヲ醸スコト明カナリシ時
- 一 備船者カ著シク運送契約ノ主旨ニ違反シタル時其他不當ニ船積ヲ運延シタル時

歐洲大陸ニ於ケル法庭ニテハプロテストヲ以テ有力ナル證據物件ト認ムレドモ英國ニテハ當事者雙方ニテ之ヲ認メザル以上ハ訴訟上效力ナシ其主タル用途ハ保險者ニ損害填補ノ要求ヲ爲ス場合ノ參考トスルニ止ム

海難報告書ノ記事ハ甚簡單ナルモノトス而シテ彌貨物ニ豫想通り不足又ハ損傷アリ船主其責ヲ免レント欲スル時ハ六ヶ月以内ニ之ヲ布行セザル可カラズ之ヲ海難證書(Extended Protest)ト稱ス其記載事項ハ多ク航海日誌ヨリ拔萃スル所ニシテ本件ノ眞想ヲ詳記シ船長、一等運轉士、機關長其他有

ナル證人ノ署名ヲ要ス尤モ船積當時既ニ貨物ニ不足又ハ損傷アリタル時ハ船主ハ船荷證券ニ一々是等ノ摘要ヲ明記シ自家ヲ防衛スルコトヲ忘ルベカラズ世間往々重キヲ海難報告ニ置キ彼ヲ等閑ニ附スルモノアリ愚ノ至リト謂フベシ
プロテストヲ布行スルハ多ク船主ガ自家ヲ防衛センガ爲メ之ヲ爲スモノナリト雖モ荷受主ノ依頼ニヨリ間々之ヲ爲ス事ナキニ非ズ此場合ニハ布行費用ハ荷受主ニ於テ負擔スベキコト言フ俟タズ今日ノ慣習上海難報告ハ一旦布行スレバ執レノ地ニ於テモ有效ナルガ如シ
海難報告ヲ爲ス時ハ同時ニ鑑定人(Surveyor)ノ面前ニテ始メテ船口ヲ開キターポーリン(Tarpaulin)ノ用法、海水ノ浸入セルコトナキヤ否ヤ、並ニ積付ノ方法等ノ鑑定ヲ請ハザルベカラズ之ヲ船口検査(Hatch Survey)ト稱ス若船口ノ防護十分ニテ積付荷敷等ニ遺憾ナキ時ハ船主ハ鑑定報告書(Survey Report)ト海難證書トヲ桶トシ不足、濡荷、破損貨物ノ填補ヲ保險者ニ移スコトヲ得ベシ船口検査ニ船主ノ代表者ヲ立會ハシムルコトヲ得バ一層便宜アリ而シテ第一ノ港ニテ船口検査ヲ爲シタル時ハ第二第三ノ港ニテハ積付検査(Stowage survey)トテ單ニ積付ノ善惡ノ鑑定ヲ請フニ止マルモノトスエム、エム會社船荷證券ニハ特ニ左ノ條項アリ

船長ハ必要ト認ムル時ハ船積地、寄港地、陸揚地ニテ貨主ノ立會フト否トナ問ハズ任意ニ積付ノ検査ヲ爲スコトヲ得ベシ

"The Captain is dispensed by the shippers with inspection of stowage either at the port of delivery, or shipment or of call, and in case an inspection of stowage should be deemed necessary, it will take place in or out of the presence of the shippers, owners or consignees, and without any legal proceedings."

船舶航海ノ途次坐礁其他ノ事變ノ爲メ貨物ヲ一旦陸揚ノ上修繕ヲ加ヘ再ビ積入レ(reloading) 到達港ニ向フ時ハ検査人ノ検査ヲ受ク航海ニ堪フルコトノ證明ヲ受クルヲ便トス

船長ノ證明
シ能ハサル
損害
新商 五六

之ヲ要スルニ船長ニ於テ十分證明シ能ハザル損害ハ畢竟スルニ積付ノ方法ヲ誤リタルカ船積陸揚ノ際ニ注意ヲ怠リタルカ等ニ原因スルモノニシテ所謂船長ガ職務ヲ行フニ就キ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明シ得ザルモノナレバ荷受主ハ當然損害賠償ノ要求ヲ爲シ得ベシ此種ノ損害ハ本邦海運社界ニ多ク見ル所ニシテ特ニ食鹽ノ運送ニハ最甚シク通例船主モ運賃ノ内ニ若干ノ辨金ヲ見込ムガ如シ

本邦海運社會ノ慣習ニ據レバ荷物故障ノ種類ハ大略左ノ三ツトス

荷物故障ノ種類

- 過不足ノ故障
 - (一) 不足
 - (二) 不足詮議
 - (三) 過剩
 - (四) 過剩詮議
 - (五) 積殘、不積又ハ積戻シ
 - (六) 揚殘
- 毀損ノ故障
 - (七) 揚殘
 - (八) 沈没
 - (九) 流失
 - (十) 紛失
 - (十一) 品違ヒ
 - (一) 傷
 - (二) 函傷
 - (三) 荷造不真
 - (四) 釘放レ
 - (五) 釘付仕直
 - (六) 口切、運切又ハ繩切
 - (七) 中味減少又ハ減量
 - (八) 刺又ハ刺直シ
 - (九) 中鳴リ
 - (十) 磨損
 - (十一) 濕損
 - (十二) 錆
 - (十三) 蟲又ハ鼠喰ヒ
 - (十四) モメ、カル又ハ鼠儀

故障輕減策

船主ノ位地ヨリ是等ノ故障ヲ輕減セントセバ積付ニ十分ノ注意ヲ要スルハ勿論船積當時故障貨物ノ取扱等ニ付キ左ノ手段ヲ講ズベシ

- 濡傷ノ故障
 - (一) 澤手
 - (二) 汗濡
 - (三) 雨濡
 - (四) 海水浸入濡
 - (五) 色付若クハ古濡
 - (六) 以上ヨリ他ノ濡傷
- 一 酒、醬油、油等水物ニシテ傷ミ又ハ刺シアリテ航海中相當ノ保護ヲ爲スモ陸揚港ニ達スル迄ニ過半漏泄ノ虞レアルモノハ其理由ヲ附シ積戻スベシ
- 一 煙草、洋酒類、砂糖、蠟節、蜜柑其他之ニ類スル荷物積入ノ節損傷アル時ハ斤量若クハ中品員數等其品質ニ應ジテ之ヲ検査シ封印又ハ其他便宜ノ手段ニ依リ中品紛失ノ害ヲ豫防シ置クベシ但船中ニ於テ持運ビ中其傷口ヨリ漏泄ヲ爲シ且人足共ニ竊取セラル、虞レアルモノ

ハ其理由ヲ附シ積戻スベシ

又本船渡ノ場合ヲ除キ損傷荷物ヲ陸揚スルニ當リ封印ヲ施スハ却テ人足等ノ不良心ヲ誘フ虞アルヲ以テ斤量ヲ検査シ中品ヲ改ムルニ如カズ例ヘバ砂糖菓子類、丸釘等ハ何印、何品、何斤入ト、瓶詰酒、反物、罐詰等員數ヲ調べ得ベキモノハ何印、何品、何個、又ハ幾包ト、小間物類ノ如キ斤量個數等ニ據リ難キモノハ止ムヲ得ズ封印ヲ施シ荷姿ヲ書類ニ明記スベシ人足等ノ竊盜即拔荷 (Pillering) ハ多ク煙草、蠟節、罐詰、洋酒、砂糖等口近キ物ニ多ク間々反物、綿糸等ニモアリ、之ヲ矯正セントセバ使用人足ノ精選、探偵ノ使用、密告者ヲ賞スルノ手段、ダンプロマンノ雇用等ニ依ラザルベカラズ

故障中船主負擔ノ最大ナルハ不足ニシテ揚不足ナカラシメンニハ荷物方ヲ精選セザルベカラズ夜中荷役ヲ爲シ又ハ日中一時ニ數艙ニ於テ荷役ヲ爲シ係人員ノ不足ヲ告グル時ハ自然監視ノ不行屆ヨリ荷物ヲ紛失セシムル場合些シトセズ斯ノ如キ場合ハ止ムヲ得ズ信用スベキ水夫ヲシテ必要場所ニ立番ヲ爲サシムル等便宜ノ手段ヲ採ルベシ

品違、揚殘ノ故障ハ個數ニ重キヲ置キ荷印等ノ相違ニ注意セザルノ結果ナレバ船積陸揚共ニ荷印、出印、行印、又ハ揚地毛判等ニ注目シテ荷物ヲ仕譯ケ彼是混淆スベカラズ此點ニ就キ接續荷物ノ取扱ニハ特別ノ注意ヲ要ス

釘放レ、函傷ノ荷物ヲ受取リタル時ハ乗組ノ大工ヲシテ釘ヲ打タシメ又ハ其他ノ方法ヲ以テ荷物ノ紛失脱漏ヲ防ギ其保管ヲ全フスベシ

雨濡ハ雨中荷役ヲ爲スガ爲メ生ズル濡傷ナレバ止ムヲ得ズ雨中荷役ヲ爲ス場合ニハ十分豫防手當ヲ施サバベカラズ

本船ノ老朽又ハ構造ノ如何ニヨリ海水、水、蒸汽等ノ爲メ往々荷物ニ濡傷ヲ及ボスコトアルヲ以テ揚

荷濟ノ上ハ艙内ヲ見廻リ修繕ヲ施スコト肝要ナリ荷役中本船ノ汚水排出口ヨリ流出スル汚水ノ爲メ舷側ニ繫留中ノ解荷物ニ往々不測ノ濡損ヲ醸スコトナキニ非ズ故ニ荷役中ハ各漏水口ヲ密栓シ甲板洗拭(Washing deck)甲板ニ放水スルコトヲ禁ジ乗組員ヲシテ便所ヲ使用セシメザル様注意スベシ

汗濡ハ米穀並ニ穀粕ニ多クシテ數日ノ航海中艙口ヲ密閉スルヨリ起ルモノナレバ積荷ノ模様ニヨリ汗ヲ生ズル虞レアル場合ハ天候ヲ見計ヒ時々船窓若クハ艙口ヲ開放シ空氣ノ流通ヲ良クスル事ニ注意スベシ

本邦ニ於ケル懸引

被服、木綿類、青筵、紙類其他容易ニ中品ノ損傷シ易キ物品ヲ取扱フニハ人足ヲシテ一切手鉤ヲ使用セシムベカラズ又荷役中ハ人足船員ヲシテ艙内ハ勿論荷役場所ノ近傍ニ於テ一切喫煙ヲ嚴禁スベシ從前海上保險會社ガ未ダ本邦ニ起ラザルヤ多數ノ損害ハ船主其責ニ任ゼザルベカラザル慣習存シタリ是ガ爲メニ船荷證券ノ摘要欄内ニ「元地損傷」兩天積込又ハ「何品ト積込」等記入シ辨金ニ際シ豫メ貨主ノ苦情ヲ防グノ手段ヲ探ルニ至レリ凡積付ノ方法ヲ誤リタリヤ否ヤニ就キテハ屢々紛擾ノ起ル所ニシテ船主ハ之ヲ荷造ノ不完全ニ歸シ貨主ハ之ヲ船主ノ不注意ニ歸スルモノトシ其結果訴訟トナルハ海外ニ多ク見ル所トス

損害賠償額

而シテ彌損害ガ船主ノ負擔スベキモノト定マル時ハ示談又ハ検査人ノ評價ニヨリ決スルヲ常トス船主ノ損害賠償額ハ豫メ船荷證券ニ於テ其範圍ヲ特約スルモノアリ本邦ニ行ハル、船荷證券ノ規定スル所左ノ如シ

船荷證券ノ條項

運送品ノ滅失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル損害賠償額ハ本證券記載ノ價格ニヨリテ之ヲ定ムベシ但本證券記載ノ價格ガ輸入ノ地及ビ時ニ於ケル運送品ノ價格ニ超過スル時ハ其價格ニ據ル

即從來ノ慣習上船荷證券ニ記載ノ價格ヲ標準トシ損害賠償額ヲ定ムルナリ是ハ至極便利ナル取定メナレドモ狡猾ナル出荷主ハ貨物ノ時價以上ニ價格ヲ誇張スル弊ナキニシモアラズ然レバ船主ハ船荷證券發行ノ際精細ニ吟味ヲ要ス又郵船會社使用船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

運送品ノ不足又ハ損傷辨金ハ貨物ノ引渡ヲ受クル時其地ノ本會社、支店、代理店ニ書面ニテ申出テアルベシ否ラザレバ當會社之ガ責ニ任セズ

損害賠償額ハ引渡地ニ於ケル同様ノ貨物ノ市價ヲ標準トス但支拂フコトヲ要セザリシ運賃及ビ諸掛ヲ控除セザルベカラズ若市價ナキ時ハ原價ニ實際支拂ヒタル諸掛ヲ加算シタル金額ヲ以テ當會社ノ責任トス

“Any claim for loss, short delivery or damage, and all other claims whatsoever, must be preferred in writing at the place of delivery to the Co's agent on taking delivery of the goods, otherwise the Co. shall not be liable. All admitted claims shall be adjusted and settled on the money basis of the marketable sound value of similar goods at the port of destination less such freight and all other charges as avel, and where such value cannot be readily ascertained, on the proved cost price together with all charges actually paid thereon.”

ビー、オー、汽船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

貨物ニ對スル辨金ノ始末ハ引渡港ニ於テ爲スベシ

“Any claim that may arise in respect of goods shipped by the Co's steamers must be made at the port of delivery.”

又エム、エム汽船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

貨物ノ喪失損害賠償額ハ貨物ノ真正ノ原價ヲ限リトス但船荷證券記載ノ價格ガ真正ノ原價ヨリ少ナキ時ハ船荷證券記載ノ價格ヲ以テ船主責任ノ限度トス船長ノ過失ニヨリ貨物引渡遅延ノ爲メ貨主ノ損害ヲ被リシコトヲ立證シ得ベキ時ハ特ニ辨金ヲ爲スベシ

“The Captain when answerable for a loss, will be bound to reimburse but the intrinsic value of merchandises, samples, specie or valuable heat, without damages and in case the value declared on the B/L is inferior to the real value of the goods, it will nevertheless be considered as the only true and valid one. When a delay in the delivery of good is chargeable to the Captain, he will be liable to damages only when prejudice is fully ascertained.”

又北獨逸汽船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

不足貨物ノ辨金額ハ陸揚港ノ税關ニ入港届チ爲シタル日ノ市價ヨリ支拂フコトヲ要セザリシ運賃
及ビ諸掛チ控除シタル金額高ナリテ標準トス揚違又ハ引渡運延シタル貨物ニ對スル市價ノ下落ニ就
キテハ當社其實ニ任セズ

"In the event of claims for short-delivery when the ship reaches her destination, the price to be the market price at the port of destination on
the day of the ships entry at the Custom-house, less freight and all charges saved. Ship not to be responsible for loss in market value caused
by misarrange or false delivery of the good."

若右ノ如キ特約ヲ爲サザリシ時ハ法律ノ規定ニ依ルノ外途ナシ現行商法ハ結果ノ如何ニヨリ船主
ノ賠償額ヲ種々ニ規定スルコト左ノ如シ

(一) 貨物全部滅失ノ場合

貨物悉皆喪失シタル時ハ孰レノ地ノ價格ニヨリ賠償額ヲ定ムベキカト釋スルニ貨物が若モ喪失
スルコトナク普通ニ陸揚港ニ到着セシナラバ得ラルベキ價格即市價 (Market value) ヲ以テ賠償額ト
爲スヲ妥當トス尤モ貨物喪失ノ爲メ荷受主ノ支拂フコトヲ要セザル運賃其他陸揚費用關稅等ハ
控除セザルベカラズ若之ヲ控除セザル時ハ船主ハ過當ノ賠償額ヲ負擔シ荷受主ハ不當ノ利得ヲ
得ルガ故ナリ

(二) 貨物一部滅失又ハ毀損ノ場合

貨物ノ一部ガ喪失シ又ハ毀損セル場合ニハ該貨物ハ陸揚港ニ着セルモノナレバ引渡ヲ爲シタル
日ノ陸揚港ノ價格ニヨリ定ムベキナリ尤モ一部滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セザル運賃
其他ノ諸費用ヲ控除スベキコト第一ノ場合ト同ジ

(三) 貨物延着ノ場合

貨物延着ノ場合ノ賠償額ハ普通ニ到達スベカリシ日ノ陸揚港ノ價格ニ依ルヲ至當トス

(四) 貨物ガ船主ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失又ハ毀損セル場合

此場合ハ船主ノ故意又ハ重大ナル過失ニ重キヲ置キ第一第二ノ場合ニ準ジ計算セル損害賠償ノ
外備船者荷送主等ノ失ヒタル利益一切ヲ賠償セザルベカラズ

新商 三〇〇
同 六九
船主ノ惡意又
ハ重大ナル過
失ニヨリ滅失
又ハ毀損シタ
ル時
新商 三〇一
同 六九
英國ノ慣習

英國ノ判決ニ據レバ貨物全部滅失ノ場合ニ荷送主(賣主)荷受主(買主)間ノ賣買契約金高ガ貨物ノ到着
スベカリシ日ノ市場相場ヨリ低カリシ場合ト雖モ荷受主ハ船主ニ對シ後者ヲ要求シ得ベシ然レド
モ陸揚港ニ於ケル市價ヲ見出スコト困難ナル場合ハ製造地ノ價格ニ運送費用並ニ相當ノ利益ヲ見
込ミタル合計金額高ヲ以テ辨金額ト爲スハ最條理ニ適合セルモノナランカ但此場合トテモ向拂運賃
其他支拂フコトヲ要セザル諸費用ヲ控除スベキハ勿論ナリ又同國ノ慣習ニ從ヘバ特殊ノ機械類ニ
在リテハ機械ノ一部分不足スル時ハ機械全部ノ据付ヲ爲スコトヲ得ズ又輸入地ニテ不足分ヲ製造
スルコト能ハザル時ハ更ニ輸出地ニ注文シ之ヲ取寄スルニハ随分時日ヲ要シ其間器械ノ運轉ヲ爲
スコトヲ得ザルガ故ニ荷受主ノ損害甚少カラズト雖モ船主ハ貨物ノ一部分不足セバ全部使用ニ堪
ヘザルコト並ニ不足部分ハ更ニ輸出地ニ非ザレバ製造シ難キコトヲ知ラザリシモノト認定セラレ
其損害賠償額ハ不足部分ノ價格(運賃)及ビ延着ノ爲メ右價格ニ對スル年五分ノ金利ニ止マルモ
ノトセリ又長航海ノ運送ニ在リテハ假令本船延着スルモ荷受主又ハ未着商品買受人ハ市場相場ノ
下落ヨリ生ズル損害賠償ヲ船主ニ要求スルコト能ハザルモノトセリ蓋海運ハ鐵道運送ト異ナリ後
者ニ在リテハ貨主ノ位地ヨリ云ヘバ貨物ハ一定ノ日又ハ一定ノ市場ニ着スベキ筈ニテ運送ヲ委托
シタルモノト推定シ運送者ノ位地ヨリ云フモ貨物ハ直ニ轉賣 (Immediate sale) センガ爲メニ送附セラ
ルルモノタルヲ知レルモノト認ムルガ故ニ運送者ガ契約ノ主旨ニ反シ之ヲ延着セシメタル時ハ市

Leg. B
73

【第八章】 貨物ノ船積及ビ引渡手續 ● 第二節 引渡ノ手續

場相場ノ損失ハ運送者ノ負擔タルコト勿論ナリト雖モ海上運送契約ニ在リテハ之ト完ク事情ヲ異ニシ商品未着ノ場合ト雖モ船荷證券ノ轉賣ニヨリ未着商品 (Goods to arrive) ハ盛ニ賣買セラル、モノニシテ若貨物延着ノ爲メ船主ガ市場相場ノ下落ヲ負擔スルコト、ナラバ此損害賠償タルヤ投機的 (Speculative) ニ流ル、弊アリ故ニ貨物ガ陸揚港ニ到着スル迄之ヲ轉賣スルコト能ハザルカ又ハ到着後始メテ直ニ販賣セラル、モノナルコト明ニシテ船荷證券署名ニ際シ運送者ガ此事情ヲ知レル場合ニ非ザレバ普通ニ到着スベカリシ日ノ市價ト實際延着セシ日ノ市價トノ差額ヲ船主ニ負擔セシムルハ酷ナリト謂ハザルベカラズ故ニ此場合ノ船主ノ損害賠償額ハ延着期間送狀價格ニ對スル年五分ノ割合ニテ計算セル金額ニ止マルモノトセリ

船主ノ責任
程度
民 七五

凡使用者ハ被用者ノ過失ニ因リ讓セル損害ニ就キテハ其責ヲ免ル、コト能ハザルヲ原則トス是孰レノ國ニテモ民法ニ規定ノ存スル所ニシテ本邦ノ如キモ被用者ガ其事業ノ施行ニ就キ第三者ニ加ヘタル損害ハ使用者其賠償ノ責ニ任ズルコトヲ要シ唯使用者ガ被用者ノ選任及ビ事業ノ監督ニ就キ相當ノ注意ヲ爲シタル時又ハ相當ノ注意ヲ爲スモ猶損害ノ生ズベカリシ時ハ此限ニ非ズトノ除外例ヲ設ケタルモ使用者ニ於テ實際是等ノ反證ヲ舉グルコトハ至難ノ場合多キヲ以テ事實其責ニ任ゼザルベカラザルコト多カルベシ然ラバ斯ノ如キ場合ニ當リ使用者ハ被用者ノ行爲ニ就キテハ無限ノ責任ヲ有スルヲ以テ當然トス然レドモ海上ノ事ニ關シテハ例外ノ取扱ヲ爲シ我現行商法中ニモ規定ヲ設ケテ船員ノ行爲ニ對スル船主ノ責任ヲ制限セリ蓋船長ノ行爲ニ就キテハ船主終始監督スルコトヲ得ザルト船長ノ權限ノ廣大ナルニモ拘ラズ船主ハ全財産ヲ擧ゲテ其行爲ニ就キ責任ヲ負フコト、ナラバ海運ノ進歩ヲ妨グル虞アルトニ依リ斯ノ如キ規定ヲ設クルニ至リシモノナリ我商法ノ精神ハ船主ガ船長ニ特別ノ委任又ハ指圖ヲ爲シタル場合其他船主ニ過失アル場合及ビ船

新商
同 五五

數人ノ船主
カ運送ヲ爲
ス時

新商 三元
同 六元

備船契約ノ
場合

新商 六三

損害賠償ヲ
爲スト委付
ナリトハ
船主ノ同意
ナリ

新商 五二
委付ヲ受ケ
タル貨主ハ

主ガ債權者ノ同意ヲ得ズシテ更ニ航海ヲ爲サシメタル時ヲ除キ船長ガ法律上當然有スル權限内ニテ爲シタル行爲及ビ船長海員ガ職務施行上他人ニ損害ヲ加ヘタル時ハ航海ノ終ニ於テ船舶運賃其他船主ガ該船舶ニ就キ有スル損害賠償又ハ報酬請求權例ヘバ救助費共同海員分擔額等ノ請求權ヲ債權者ニ委付 (Abandon) シテ責ヲ免ル、コトヲ得ベキニ在リ

運送契約ヲ履行スルニハ或場合ニ數多ノ船主相次テ之ヲ爲スコトアリ此場合ニ備船者又ハ荷送主ハ何人ニ向ヒ損害賠償ヲ請求スベキカト釋スルニ若一般ノ原則ニ從ヒ損害ヲ讓シタル者ニ請求スベキモノトスレバ實際賠償ノ請求ヲ爲スニ由ナキ結果ヲ生ズベシ故ニ斯ノ如キ場合ニハ數人ノ船主ハ連帶シテ賠償ニ應ゼザルベカラズ

船舶ノ全部又ハ一部ヲ備船シタル場合ニ備船者ガ更ニ貨物ノ運送ヲ請負フ時ハ船長ハ無論備船者ノ任免スル所ニ非ズシテ依然船主ノ代理人ナリ然ラバ船長ノ義務ニ屬スル範圍内ニテハ船主ノミ責任ヲ負ヒ備船者之ニ任ゼザルコト明ナリ此場合ニテモ船主ハ船長ノ行爲ニ對シ海產ヲ委付シテ責ヲ免ル、コトヲ得ベシ

以上述べタルガ如ク法律ノ規定ニヨリ船主ノ責任ハ大ニ制限セラレタルガ故船舶ノ被レル損害少キ時ハ船長ノ行爲ニヨリ貨物ノ被リタル損害ノ責ヲ負ヒ從テ貨主ハ船主ヨリ賠償金ヲ收メ得ベキモ船舶ガ非常ノ損害ヲ被レル時ハ船主ハ法律ノ規定ニ從ヒ船舶其他ヲ被害者ニ委付スベキガ故ニ貨主ハ實際上賠償ヲ受ケザルト同様ノコトアラン例ヘバ船長ノ故意又ハ重大ナル過失ノ爲メ船舶沈没シ救助ノ價值ナキニ至レリトセバ船主ハ如何ナル契約ヲ以テスルモ此種ノ責ヲ免ルベカラザルハ明白ナレバ甘ジテ賠償ノ責ニ任ズベキモ他方ニ於テハ船舶運賃及ビ債權ヲ委付シテ責ヲ免カ
ル、コトヲ得ルガ故ニ貨主ハ其責賠償ヲ受ケザルト毫モ選ム所ナシ然ルニ若船舶ニ保險ヲ附シタ

船舶ノ保險
金ヲ取得ス
舊商八六
新商六八
民商三〇

海外ニ於ケ
ル船主ノ責
任程度其他

英商 五〇
Ham. 673
Oliv. 58, 59
獨商 新四三
舊四六
H.G.L. 131
佛商 二六
伊商 四六
白商 三三
葡商 三七
葡商 四七
H.G.L. 151, 23

【第八章】貨物ノ船積及ビ引渡手續 ● 第二節 引渡ノ手續

ル時ハ我舊商法ノ規定ニ據レバ貨主ハ保險金ノ上ニモ先取特權ヲ有スルモ現行商法ニハ何等規定
スル所ナシ然レドモ民法ノ先取特權ノ條ニヨリテ支配セラル、ガ故船舶ノ先取特權ハ保險金ニ移
ルモノト解釋ヲ下スコトヲ得ベシ尤モ先取特權者ハ拂渡又ハ引渡前ニ差押ヲ爲スコトヲ要スル規
定アルガ故ニ現行商法ニ從ヘバ被害者ノ差押前ニ加害船主ガ保險金ヲ受取リタル時ハ最早先取特
權ヲ失ヒタルモノト謂フベシ

今是等ノ諸點並ニ廣ク衝突其他ノ事件ニ就キ船主ノ責任ヲ制限スル海外諸國ノ規定ヲ窺フニ英國
ノ如キハ加害船舶ノ噸數ニ應ジ主トシテ生命ヲ損シ又ハ負傷者ヲ出サシメタル時ハ之ト同時ニ船
舶貨物等ヲ滅失又ハ毀損セシメタルト否トヲ問ハズ一噸ニ付キ十五磅又主トシテ船舶貨物ヲ滅失
又ハ毀損セシメタル時ハ同時ニ生命ヲ損シ又ハ負傷者ヲ生ゼシメタルト否トニ論ナク一噸ニ付キ
八磅ヲ支拂フ時ハ加害船主ハ其責ヲ免ル、コトヲ得ベシ尤モ右ノ噸數トハ帆船ニ在リテハ其登簿
噸數汽船ニ在リテハ總噸數ヲ指スモノトス其他獨逸ノ如キハ船主ノ責任ハ航海ノ終ニ於ケル船舶
及ビ運賃其他船舶ニ付キ有スル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ヲ限度トシ米國ノ一八八一年ノ條例並
ニ瑞典ノ一八九一年海上法第七條ノ精神ハ均シク此法ニ依ルモノ、如シ之ニ反シ佛蘭西、伊太利、白
耳義、和蘭、西班牙、葡萄牙諸國ノ法律ノ精神ハ船主ノ責任ハ依然無限トスルモ唯航海ノ終ニ於ケル船
舶及ビ運賃等ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免ル、事ヲ得ベキ主意ナリ埃及海商法第三十條並ニ本邦
現行及ビ舊商法ノ如キモ亦此法ヲ採用セリ而シテ委付主義ヲ採ル國ニ於テハ船舶ヲ海上保險ニ附
シアリシ時ハ其保險金ハ委付セラレタル被害者ニ移ルヤ否ヤニ付キ歐洲各國學者間ニ議論アル所
ニシテ獨逸ノ如キハ本邦ノ如キ委付主義ヲ採ラザルガ故ニ被害者ハ勿論保險金ノ上ニ先取特權ヲ
有セザルモノトシフィンランドノ如キハ商法中ニ保險金ノ上ニ移ラザル明文サヘアリ(フィンラン

Lye II.
392

ト商法第十七條)又佛蘭西ノ如キハ學者ノ多數ハ保險金ノ上ニ移ラズトノ說ヲ唱フルモノ、如シ其理
由トスル所ハ元來保險契約ナルモノハ船主ガ自己ノ利益ノ爲ニ陸上財産ヲ以テ之ニ充テ海上ノ事
ヲ生ズル責任トハ全然別箇ノ問題タリト爲スニ在リ又米國ノ如キモ *Placer, Norwich & New York*
Transp. Co. ノ判決例ニ據ル時ハ明ニ保險金ノ上ニ移ルコトヲ否認セリ其理由トスル所ニ曰ク米國
ニ於テハ既ニ一八八一年ノ條例ニヨリ加害船主ノ責任ハ航海ノ終ニ於ケル船舶及ビ運賃ヲ限度ト
爲スガ故ニ若被害者ノ先取特權ガ保險金ノ上ニ移ルトセバ船舶全損ニ至レル時ノ如キハ被害者ハ
船舶ノ全價ニ對シ債權ヲ有スル結果ヲ生ジ大ニ移ルトセバ船舶全損ニ至レル時ノ如キハ被害者ハ
所ニシテ例ヘバ十萬圓ノ保險ヲ附シタル某船ガ二十萬圓ノ價格アル船舶ニ衝突シ之ヲ沈没セシメ
タル時ハ加害船主若無限ノ責任ヲ有スル者トセバ二十萬圓ニ對スル責ヲ負フベキハ勿論ナリ然ル
ニ加害船モ亦痛ク損害ヲ受ケ航海ノ終ニ於ケル船舶ノ價格及ビ向拂運賃等ハ僅カニ一萬圓ナリト
セバ委付主義並ニ航海ノ終ニ於ケル船價ト運賃トヲ責任ノ限度トスル國ニ在リテハ被害者ハ僅ニ
一萬圓ノ賠償ヲ受クルニ止マルナリ然カモ被害者ガ保險金ノ上ニ先取特權ヲ有ストセンカ十萬圓
ヲ收ムルコト、ナリ法律ノ精神ト撞着スル場合ヲ生ゼン

衝突其他ノ事件ニ付キ船主ノ責任ヲ制限スル規定ハ既ニ詳述セルガ如ク各國區々一様ナラズト雖
モ英國ヲ除キ其他諸國ノ法律ノ精神ハ船主ハ海上財産ノ他ニ與ヘタル損害ニ就キテハ陸上財産ヲ
以テ辨償スルニ及バズト云フニ一致セリ故ニ加害船舶沈没シタル時ハ其船主ハ毫モ損害賠償ノ責
ニ任ズルコトナシ然ルニ英國法ニ據ル時ハ加害船舶ノ沈没シタルト否トヲ問ハズ加害船主ハ噸數
ニ應ジ苛重ナル責ヲ負ハザルベカラズ加之英國以外ノ諸國ノ法律ニ據レバ某船舶一航海中例ヘバ
數回他船ト衝突シ過失該船主ニ在リトセバ船主ハ航海ノ終ニ於ケル船舶及ビ運賃其他船舶ニ付キ

有スル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ヲ限ルカ又ハ是等ノモノヲ委付セバ責ヲ免ル、コトヲ得ベシト雖モ英國法ニ從ヘバ每衝突事件ニ付キ船主ノ責任ヲ定メラル、ガ故ニ結局其負擔ハ他ノ諸國ニ比シ過大ナルベシ從テ今英國船ト歐洲大陸諸國ノ船舶トノ間ニ衝突アリ加害船假ニ沈没ノ不幸ヲ見ルニ至リタリトセンカ若加害船英國船ナラバ歐洲大陸諸國ノ船舶ハ加害船ノ一噸ニ付キ八磅乃至十五磅ノ割合ニテ辨償金ヲ受クベキモ之ト反對ニ加害船ガ歐洲大陸諸國ノ船舶ナル時ハ英國船主ハ毫モ辨金ヲ受クルコト能ハザルベシ又加害船ガ沈没ニ至ラザルモ其損害ノ程度著シク假ニ一噸四磅ノ價格ナリトセンカ過失ガ英國船ニ在ラバ英國船主ハ矢張一噸八磅乃至十五磅ノ割合ニテ辨償金支拂ノ責ヲ負フモ過失ガ歐洲大陸諸國ノ船舶ニ在ル時ハ其船主ハ必ヤ其船舶ヲ委付シ一噸四磅ノ損失ニ止ムベシ又英國船ト歐洲大陸諸國船舶トノ間ノ衝突事件ニ付キ黑白ヲ歐洲大陸ノ法廷ニ争フ時ト雖モ加害船ニシテ英國船ナラバ所謂國旗ノ法律(Law of Flag)ニ從ヒ該法廷所在國ノ法律ニ均霑シ航海ノ終リニ於ケル船舶及ビ運賃等ヲ委付スルカ或ハ右ノ限度ニ於テ責任ヲ減ズルコトヲ許サズ斯ノ如キ法律上ノ相違ハ英國船主ノ不利トスル所明ナルガ故ニ多年同國船主ノ間ニ法律ノ改正ヲ主張スルモノアリ一九〇〇年同國下院ニチャールズ・マツカーサー(Charles MacCarthy)ノ議案ヲ看ルニ至レリ該議案ノ主旨ハ外國船主ニ負フベキ英國船主ノ責任ハ船舶ノ價格又ハ一噸ニ付キ八磅乃至十五磅ヲ以テ限度トスベシ又外國船舶ト雖モ英國ノ法庭ニ於テハ英國船同様ノ權利ヲ有スト云フニ在リ然レドモ政府並ニ反對黨ニ異論アリテ議案不通過ニ終レリ

衝突其他ノ事件ニ付キ船主ノ責任ヲ制限スル各國ノ規定區々一定セザルヲ憂ヒ一八九九年ニハ龍動ニ一九〇〇年ニハ巴里ニ國際海上法會議(International Maritime Conference)ヲ開キ熟議スル所アリ一九〇〇年ノ會議ニ於テハサー・ジョン・グロバー(Sir John Glover)ハ英國船ト英國以外ノ船舶トノ間ニ衝突

P. I. Nos. 300

起リタル時ハ英國船主ハ船價ト運賃トヲ責任ノ限度ト爲シ英國船ノ間ニ衝突起リタル時ハ英國法ニ據リ一噸八磅乃至十五磅ノ割合ニテ加害船主其責ヲ負フベシトノ議案出デシモ可決ニ至ラズ結局左ノ通りニ修正案ヲ議決セリ

不正ノ航海(Improper navigation)ニヨリ海上又ハ陸上財産ヲ喪失又ハ損傷セシメタル時ハ加害船主ハ船舶並ニ運賃ヲ委付スルカ又ハ船舶ノ噸數ニ依リ計算セル一定ノ金額ヲ支拂ヒ其責ヲ免カル、コトヲ得ベシ

貨物ニ損害アルモ契約運賃ノ値引ヲ爲サバコトハ既ニ第三章ニ述べタル所ナリ然レドモ個數ニ不足アル時ハ是ヲ荷不足(Short Delivery)ト稱シ向拂運賃ノ契約ナラバ不足貨物ニ對スル運賃ヲ免除スルモノトス又不足貨物ニ就キテハ契約條項ニ規定スルモノ、外船主ニ於テ辨金ヲ爲スベキコト勿論ナリ抑荷不足トハ船荷證券面ニ記載セル貨物ノ個數ノ不足ヲ言フモノニシテ個數不足セザレバ假令中味ニ不足アルモ之ヲ荷不足ト稱スルコトヲ得ズ故ニ荷受主ハ注意シテ貨物ノ引渡前船主ニ交渉スルヲ要ス既ニ荷受シタル後不足ヲ發見スルモ慣習上船主其責ニ任ゼザルモノトス本邦ニテ使用セラル、船荷證券ノ條項中

H. W. 84

當會社ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲ス者ハ引渡地ニ於ケル當會社ノ支店、出張所又ハ代理店ニ申出テラルベシ運送品引渡後ニ於テハ當會社ハ如何ナル事由アリト雖モ損害賠償ノ請求ニ應ゼズ

海外ニ行ハル、船荷證券ニモ同意味ノ條項ヲ具フルモノアリ例ヘバ

“The shipowner is not to be liable for any claims notice of which is not given before removal of the goods.”

若船荷證券ニ特約條項ナキ時ハ元來一部ノ喪失又ハ損害ニシテ事實上容易ニ見分クルコト能ハザル種類即 Latent Damage ノモノアルガ故ニ我法律ノ規定ニ從ヘバ荷受主ハ引渡ヲ受ケタル日ヨリ二

荷不足

新商
法
三六九

散荷ノ不足

週間以内ニ船主ニ右ノ通知ヲ發シ得ベキヲ以テ右ノ通知ヲ發シタル場合ハ船主ニ於テ未責任ヲ免除セラレタルモノト言フベカラズ尤モ引渡後損傷又ハ中味不足ノ辨金ヲ船主ニ請求センニハ荷受主ハ右ノ損傷又ハ中味不足ガ船主又ハ被雇者ノ責ニ原因スルコトノ確證ヲ舉ゲザルベカラズ是頗難事ニ屬ス而シテ又船主ガ貨物引渡ノ際詐欺ノ手段ヲ以テ損害ヲ發見スルニ難カラシメタルガ如キ所謂船主ノ惡意ニ出デタル時ハ勿論船主ハ責任ヲ免除セラルベキニ非ズ、石炭等ノ散荷ニ在リテハ船荷證券面ノ重量ト引渡重量トノ差ヲ以テ荷不足トス尤モ船主ハ往々船荷證券又ハ運送契約書ニ自家防衛ノ爲メ左ノ如キ條項ヲ挿入スルコトアリ

引渡ノ重量ガ船荷證券ノ重量ヨリ少キ時ハ運賃ノ値引ヲ爲スベキモ荷不足ニ就キ船主其責ニ任ズルコトナシ尤モ利害關係者ノ請求アル時ハ船長其他ノ船員ヲシテ船積貨物ハ悉皆引渡濟ナルコトヲ證明セザルベシ

"Shon'd any deficiency be alleged on the authority of such weighing, it shall affect the freight only, from which no deduction shall be made for alleged shortage of cargo.....but the owner shall furnish, if required, a statutory declaration by the master and other officers that all the cargo received on board has been delivered."

荷受主ガ積荷主ヨリ石炭若干噸買入レタル場合ニ引渡ノ上荷不足アル時ハ左ノ理由ヲ以テ往々荷不足ニ對スル辨金ヲ請求スルコトヲ得

一 契約噸數相違ナク船積セラレタリトセバ船主ニ對シ不足分ノ請求ヲ爲シ得ベシ但船荷證券又ハ運送契約書ニ特別條項アリテ船主其責ニ任セザル時ハ積荷主即運送契約締結ノ當事者ニ辨償ヲ請求シ得ベシ

一 契約噸數全量船積セラレザリシトセバ當然契約ノ主旨ニ基キ積荷主ニ辨償ヲ請求シ得ベシ

MNO.
Vol. XIV.
15-17

辨金ヲ受付ク
ベキ期間ノ指
定

而シテ契約ノ自由ヲ尊重スル國ニテハ船荷證券又ハ運送契約書ニ前掲ノ如キ條項アル時ハ船積セラレタル全量ガ悉皆引渡濟ナルコトヲ船主立證セバ毫モ不足分ニ對スル辨償ノ責ニ任ゼザルヲ原則トスレドモ彼伊太利ノ如キハ斯ノ如キ條項ヲ度外視シ積荷主又ハ荷受主ニ於テ船積陸揚ノ重量ヲ立證スル時ハ荷不足ニ對シ船主其責ヲ免ルコトヲ得ズ (Treichmann Bros. v. Figi Charvet) ".....tons more or less")ト記載シ陸揚港ニ於ケル荷不足ニ對シ自家防衛ノ手段トスルコトアリ

「船舶入港ヨリ算ヘ一週間(又ハ十日後)ヲ辨金ノ請求ニ應ゼズ」
"No claim will be recognized after 7 days (or 10 days) from date of steamers' arrival."

トノ護謄版ヲ捺シ又新聞紙ニモ同様ノ廣告ヲ掲グルモノアリ然レドモ船荷證券ノ本文中ニ認メラレタル條項ハ當事者雙方合意ノ上契約セルモノト認メラルベキモカウンタ―サインノ時ニ前述ノ新條件ヲ船主ガ提出スレバトテ荷受主ハ唯々之ヲ認定スルニ及バズ尤モ英國ノ如ク習慣ノ發達セル國ニ在リテハ法庭ニ於テ荷受主ガ慣習上之ヲ認定セルモノト推斷シ得ル場合アランカナレドモ本邦ニ於テハ斯ノ如キ新條項ハ畢竟強迫的ノモノトシテ完ク效力ヲ生ゼザルベシ
前記ノ場合ニ期限經過後辨金ノ請求ヲ爲サバ隨分問題ヲ生ズベシ又海外某船荷證券ニハ
"No claim will be admitted unless made within one month from date of arrival of ship at port of delivery."

A.W. 83

トアリ是等ハ寧ロ至當ニシテ相當ノ時日内ニ辨金ノ請求アラバ專横ナル記事ヲ楯トシテ之ヲ拒絕スレバ船主モ商略上面白カラズ從テ隨分大目ニ見ルガ如シ

Ol.v. 87

荷不足ノ爲メ船主ノ負擔スベキ損害賠償金ハ向拂運賃ト相殺シテ可ナリヤ否ヤト釋スルニ英國從前ノ慣習ハ先向拂運賃ヲ支拂ヒ然ル後荷不足ニ對スル賠償金ヲ受取リシモ近年ニ至リ向拂運賃ト賠償金トハ相殺ヲ爲スコトナレリ是固ヨリ當然ナリ

新商
三六
六元

前拂運賃ノ場合ニハ船主ニ惡意ナキ場合ニ限り荷受主ガ貨物ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ經過セバ船主ノ責任ハ時効ニヨリテ消滅スベシ若貨物ガ悉皆喪失セル時ハ時効期限ノ起算點ハ引渡アルベカリシ日トス

秤量費用

貨物ノ引渡ハ本船ニ於テ爲スヲ原則ト爲スガ故ニ其容積又ハ重量ヲ測定スル費用ハ即船卸(Discharging)

F.P.Nos 882
705
899
870

ing)ノ費用ノ一部ト認メ貨物引取人ニ於テ負擔スルヲ各國ノ慣習トシ所ニ因リ船主ト荷受主ト折半シテ負擔スルコトナキニ非ズト雖モ之ハ甚稀ナリ尤モ運賃向拂ノ約束ニテ貨物ノ容積又ハ重量ヲ測定シ始メテ運賃ヲ計算スル場合ハ船主ノ利益ノ爲メニスルモノナレバ船主ニ於テ負擔スルヲ當然トシ各國判決例亦一致スルガ如シ是ニ於テカ船主ハ豫メ船荷證券又ハ運送契約書ニ左ノ如キ條項ヲ挿入スルニ至レリ

陸揚港ノ慣習如何ヲ問ハズ運賃計算ノ爲メ貨物ヲ秤量シタル時ハ其費用ハ荷受主ニ於テ負擔シ船主ハ其支拂ニ付キ貨物ヲ留置スルコトヲ得

“If the goods are weighed or measured at port of destination to ascertain freight, the charges for weighing etc. to be borne by consignees and ship to have a lien on cargo for such charges, any Custom of the port of discharge to the contrary notwithstanding.”

揚荷ノ容積又ハ重量ヲ測定スル費用ハ港ノ慣習ニヨリ一様ナラズ例ヘバ彼ノブラジル砂糖運送契約書(Brazil sugar charter)ノ如キハ左ノ條項ヲ有ス

船主ハ陸揚港ニ於ケル貨物秤量費用ノ半額ヲ備船者又ハ其代理店ニ支拂フベシ
“Ship to pay to charterers or their agents half the cost of weighing at port of discharge.”

第九章 運送契約—船荷證券及ビ備船契約ノ特別條項

第一節 運送契約ニ關スル國際會議

運送契約ニ關スル各國法律慣習ノ不同

運送契約ニ關スル世界各國ノ法律慣習ハ區々ニシテ一定セズ特ニ近來ニ至リテハ船荷證券及ビ運送契約書ノ特別條項ハ大ニ錯雜シ其甚シキニ至リテハ船主又ハ運送者ハ運賃ヲ收ムル權利アルノミニシテ其義務ノ如キハ毫モ之ナキガ如ク見ユルモノアルニ至レリ斯ノ如ク運送契約ノ區々一定セザルハ海運ニ從事スル者ノ常ニ不便ヲ感ズル所トス元來運送契約ハ共同海損等ト同ジク國際的ノ性質ヲ有スルモノニシテ國ニヨリ法律慣習ヲ異ニスルハ非常ニ不便ナリ是ニ於テカ識者ノ間ニハ運送契約ノ均一ヲ計ラントスル企畫ヲ生ズルニ至レリ

英國ニ於ケル社會學振興協會(National Association for the Promotion of Social Science)ノ催ニヨリ一八六四年ヨーク(York)ニ於テ國際會議ヲ開キ共同海損ニ關スル規定ヲ作りシモノ頗良結果ヲ得タルヲ以テ其席ニ列セシ白耳義ノ委員テオドル、エンゲル(Theodor Engel)エドワード、ヴァン、ペボルグ(Edward Van Peborgh)ノ兩氏ハ運送契約ニ就キテモ萬國劃一ノ法規ヲ制定センコトヲ希望シ自己ノ意見ヲ該協會ニ提出セリ此ヲ以テ翌年シエツ、フ、井、ル、ド(Sheffield)ノ會議ニハ右兩氏ノ建議ヲ議題トシ討論ノ末運送契約ニ關スル規定ヲ議決セリ之ヲシエツ、フ、井、ル、ド規定(Sheffield Rule)ト云フ此規定ハ共同海損ニ關スルヨーク、ル、ド(York Rule)ニ比スレバ稍不完全ナル所アルヲ免レズ加之運送契約ノ如キハ關係スル所甚廣キガ故一般採用ノ運ニ至ラザリキ降テ一八七九年ニ至リ運送契約ニ關スル國際會議ハ之ヲ共同

國際會議ノ概要

Wdt. 295

シエツ、フ、井、ル、ド規定

Wdt. 309

東洋貿易船荷證券

Wdt. 309

Wdt. 311

Wdt. 326

Wdt. 329

Wdt. 356

R.G. 86

リヴァプール様式

プロテニスエツキスチエン船荷證券

ハンブルグ様式

Wdt. 407

H.L.S. 6

ロンドン、フオーム

國際商法會議ノ議決

國際會議ニ於ケル討論ノ要點

海損ノ規定ト共ニ國際法修正編纂協會(Association for Reform and Codification of the Law of Nations)ノ手ニ移セリ是ヨリ先彼ノ蘇士運河ノ開通以來英國ニ於テ東洋ニ關係ヲ有スル者會合ノ上所謂東洋貿易船荷證券(Eastern Trade B/L)ヲ作りシヨリ運送契約ノ規定ト船荷證券ノ修正トヲ混同シテ研究問題ト爲スニ至リ同年ニ開キシ龍動會議ニ於テモ船荷證券ニ關スル議題表ハレ一八八〇年ノベルン(Berne)會議ニ於テモ船荷證券ニ關スル議題再發シ委員ヲ設ケテ調査セシメ一八八一年ノコロン(Cologne)會議ニ於テモ猶引續キ問題トナリ終ニ一八八二年ノリヴァプール會議ニ於テハ船荷證券ノ様式ヲ議決スルニ至レリ之ヲ名ケテリヴァプール又ハコンフェレンス様式(Liverpool form or Conference form)ト稱ス然ルニ此會議ニ於テハ多少ノ異論アリシカバ一八八三年ノミラン(Milan)會議ニ於テモ種々ノ異論ヲ見ルニ至レリ

一八八四年紐育ニ於テプロテニス、エツキスチエンチ船荷證券(Produce Exchange B/L)ヲ制定シ又翌年初メニ於テ龍動、リヴァプール、グラスゴウ等ノ保險者集合シ船荷證券ニ就キ協議スル所アリ同年漢堡ニ再會シテ漢堡様式(Hamburg form)ヲ制定セリ然ルニ此様式ニ就キ英國ノ實業家ハ反對ノ意見ヲ採リ當時英國ヨリ實業家ヲ代表セル委員ノ出席ナキヲ口實トシ一八八七年龍動ニ開會セシ時ハ一八八五年ノ議決ヲ棄テ、一八八二年ノリヴァプール様式ニ復活セリ越エテ一八九二年ジエノアニ開會シ翌年龍動ニ討論シタル上ロンドン、フオーム、オフ、ゴントラクト、ヲ、フ、ア、フ、レイトメント(London form of Contract of Affreightment)ヲ議決セリ

此他國際商法會議(Congres International de Droit Commercial)ニ於テモ運送契約ニ就キ議論ヲ開ハシ一八八五年ニ於ケル安土阿府、一八八八年ニ於ケルブラツセルス會議ニ於テハ種々重要ナル議決ヲ爲セリ之ヲ要スルニ國際會議ニ於テ議論ヲ開ハシメタル要點ハ共同海損ニ於ケルガ如ク各國法律慣習ノ

異レル點ノ調合ト運送者ハ特約ヲ以テスレバ如何ナル責ヲモ免ル、コトヲ得ベキヤ否ヤノ問題是ナリ例ヘバ Pro rata freight ノ如キハ某國ニ於テハ之ヲ是認シ他國ニ於テハ之ヲ否認スルガ故之ヲ一定スルハ海運上ノ不便ヲ除去スルモノナリ又航路外航行條項 (Deviation Clause) ノ如キモ一問題タリシナリ然レドモ議論最多ク未十分ニ纏ラザル問題ハ船主又ハ運送者ガ責ヲ負フベキ條項即除外例 (Exemption Clause) ナリトス今少シク除外例ニ就キ左ニ述ブルアラントス

除外例ノ沿革
R.G. 100
H.L. 113

熟々古昔行ハレシ船荷證券ヲ觀ルニ其條項頗簡單ニシテ運送者ハ所謂不可抗力其他船長海員ノ過失怠慢ニ原因スル損害ニ就キテハ責ヲ免ル、習慣アリキ而シテ他ノ一方ニ於テ船長海員ノ過失怠慢ノ爲メ海難ヲ招キ積荷損害ヲ被ル時ハ保險者之ヲ填補セシガ故貨主ハ毫モ痛痒ヲ感ゼズ保險者モ亦之ヲ天災視シテ別ニ船主ニモ轉價ノ要求ヲ爲サザリキ然ルニ一八六〇年ノ頃ハ英國ニ於ケル保險者ガ財政上漸ク困難ヲ極メタル時代トシテ勢成ルベク自己ノ負擔ヲ減ゼンコトヲ企テタリ恰モヨシ當時有名ナルブラツクプリンス號 (Black Prince) 事件アリ其判決ニ從ヘバ運送契約中ニ海難其他ノ出來事ニ就キテハ假令船主其責ヲ免ルベキ特約ヲ爲シタル時ト雖モ航海中船長又ハ海員ノ過失怠慢ニヨリ損害ヲ醸セル時ハ船主其責ニ任ズベキコト、ナリシカバ大ニ貨主、保險者並ニ船主ノ注意ヲ惹起セリ此ニ於テカ爾後船主ハ自己使用人ノ過失怠慢ニ就キ責ヲ免ルベキ除外例ヲ船荷證券中ニ挿入スルニ至リ降テ判決例アル毎ニ益之ヲ細密ニシ終ニハ其極端ニ奔リテ船主ハ運賃ヲ取得スルノ權利ハアレドモ荷物ノ損害ニ就キテハ更ニ責任ナキガ如キ條項ヲ見ルニ至リシヨリ斯ノ如ク船主ガ責ヲ免ルベキ除外例ハ公安上果シテ如何ナル影響アルカハ漸次世人ノ注目ニ値スル所トナレリ

除外例ハ英米ニ於テ使用セラル、船荷證券ニ多ク見ル所ニシテ歐洲大陸諸國ニハ孰レモ商法ノ規

ブラツクプリ
ンス號事件

R.G. 92

定アリ此種ノ詳細ナル條項ヲ要セザルナリ
除外例ノ起原ハ前述ノ如ク一八六六年ブラツクプリンス號事件以後ニシテ爾來各所ノ會議ニ於ケル最重要ナル問題トハナレリ

除外例ニ付キ
各國ノ判決
R.G. 60
H.L. 79
モンタナ號事
件
R.G. 66
H.H. 113-115
H.L. 203-209

海外各國ノ判決例ヲ觀ルニ多數ノ國ハ契約ノ自由ヲ尊崇スルガ故ニ如何ナル種類ノ條項ヲモ是認スル傾アリ英國ノ如キハ現ニ除外例ヲ法律上有效ナルモノトス獨逸亦然リ佛蘭西、白耳義ノ如キハ下級裁判所ニテハ之ヲ否認セシ例アルモ大審院ノ判決ハ孰レモ之ヲ是認セリ然ルニ一八八〇年米國ニ於テモンタナ號 (Montana) 事件アリシヨリ更ニ除外例ニ就キ一新面目ヲ開ケリ抑モンタナ號事件ハ紐育ヨリリヴァプールニ向ヘル汽船モンタナ號紐育ノ港口ナルホーリー、ヘツド灣 (Holy Head Bay) ニ於テ船長ノ過失ニ因リ坐礁シ積荷全損ニ歸シタルヲ以テ保險者ハ貨主ニ右積荷ノ損害額ヲ支拂ヒ貨主ニ代リテ船主ニ損害賠償ノ請求ヲ爲セシモ船主ハ船荷證券ノ除外例ヲ主張シテ之ヲ拒絶セシカバ竟ニ上等裁判所ノ判決ヲ請ヒ船主ノ敗訴トナレリ其判決ニ曰ク人力ノ及バザル航海上ノ危險ノ爲メ損害ヲ生ズル時ハ船主ハ其責ヲ免ル、コトトヲ得ベシト雖モ船長海員ノ過失怠慢ニ歸因セル損害ニ就キ船主其責ヲ免ル、トセンカ公安ヲ妨害スル虞アリ斯ノ如キ契約ハ全然無効ノモノタルベシ而シテ當事者ガ何等特約ヲ爲サザリシ時ハ契約締結地ノ法律ニ從ヒ當事者ノ責任ヲ決スベク又米國商人ガ米國ノ港ニ於テ營業セル英國汽船會社ト貨物運送ノ契約ヲ結ビ運賃ハ英國ノ貨幣ニテ支拂ハルベキ時ハ航海中船員ノ過失怠慢ニ歸因スル損害ニ就キテハ米國ノ法律ニ準據シテ之ヲ決スベシト

モンタナ號事
件
R.G. 107

モンタナ事件ハ船主ノ敗訴ニ歸セリト雖モ米國ニ於ケル輿論ハ却テ之ニ反シ契約ノ自由ヲ認メザルハ不都合ナリトセリ此事件アリテ以後米國ニ航行スル外國船ハ其船荷證券ニ特ニ船籍所屬國ノ

法律ニ從フ旨ノ條項ヲ挿入スルニ至レリ ("The contract shall be governed by the law of the flag of the ship carrying the goods, with reference to which law this contract is made.")之ヲモンタナ條項(Montana Clause)ト云フ又同國ニ於テ
ハ一八九三年ニハーター法(Harlar Act)議會ヲ通過セシカバ船荷證券ニハーター法ニ據リ契約ヲ
結ブコトヲ記入スルニ至レリ ("It is mutually agreed that this Shipment is subject to all the terms and provisions of and
to all the exemptions from Liability contained in the act of Congress of the United States, approved on the 12th day of February,
1893.")

ハーター法ノ精神ハ大凡左ノ如シ

- 第一條 合衆國內又ハ合衆國ト外國間ニ貨物ノ運送契約ヲ締結スル時ハ船荷證券其他ノ書類ニ貨物ノ船積、積付、保管、引渡ニ就キ船員ノ過失怠慢ヨリ生ズル損失損害ニ就キ船主其責ヲ免ルベキ條項ヲ挿入スル時ト雖モ全然無効ノモノタルベシ
- 第二條 合衆國內又ハ合衆國ト外國間ニ貨物ノ運送ヲ爲ス船積ノ船主ハ該船積ガ航海ニ堪フル保證其他船員ガ貨物ノ取扱、積荷ノ引渡等ニ就キ有スル責務ヲ輕減又ハ免除スル條項ヲ船荷證券其他ノ書類ニ挿入スルコト能ハズ
- 第三條 合衆國諸港ニ又ハ合衆國ヨリ貨物ノ運送ヲ爲ス船積ノ船主ニシテ該船積ガ航海ニ堪フル相當ノ手續ヲ盡シタル時ハ航運上ノ過失ヨリ生ズル損失、損害、其他海上ノ危險、不可抗力、公敵、貨物ニ潜在セル欠缺、物品固有ノ性質、荷造ノ不真ヨリ生ズル損失、損害、貨物所有者其他自身ノ行爲又ハ手落ヨリ生ズル損害、生命財産ノ救助ヲ爲サンガ爲メ航路外ニ航行ヲ爲シタルニ因リ生ズル損失損害ノ責ニ任セズ (以下略之)

濠洲政府ハ貨物海上運送法"Sea Carriage of Goods Act"ヲ公布シ一九〇五年ヨリ實施スルコト、ナリタリ其實質亦ハーター法ニ酷似シ大約左ノ如シ

一 濠洲ヨリ外國ニ向ケ又ハ一洲ヨリ他洲ニ向ケ船積ヲ以テ貨物ヲ運送スル場合ニ船荷證券又ハ

類似ノ證書ニ

- 一 船積其他荷物積入場所不恰好ナルガ爲メ又ハ貨物ノ積込、積付、保管、注意、引渡上手落、過失、怠慢ヨリ運送貨物ニ生ゼシメタル損失、損害ニ就キ船主、備船者、船長又ハ代理人其責ヲ免カルベキ條項ヲ挿入シタル時
 - 二 乗組員、艙裝品、食料、需用品ヲ充實ニシ船積ヲシテ常ニ航海ニ堪ヘシメ船積、冷水室其他ノ貨物積入場所ヲ貨物ノ船積、運送、保管ニ恰好安全ニ爲スベキ船主、備船者ノ責務ヲ輕減又ハ免除スル條項ヲ挿入スル時
 - 三 貨物ヲ注意シテ取扱積付クルコト並ニ之ヲ適當ニ保管、引渡スベキ船長、運轉士其他ノ使用人、代理人ノ責務ヲ輕減又ハ免除スル條項ヲ挿入スル時
- 是等ハ孰レモ違法ニシテ無効タルベシ
- 一 濠洲ヨリ外國ニ向ケ貨物ヲ運送スル場合ニハ契約當事者ハ船積地ノ法律ニ從ヒ契約シタルモノト認定ス之ニ反スル契約又ハ濠洲政府ノ裁判管轄權以外ニ立タントスル當事者ノ契約ハ全然無効ノモノタルベシ
 - 一 船主、備船者、船長又ハ代理人ハ此法律ニヨリ違法タルベキ條項ヲ船荷證券ニ挿入シ又ハ署名發行スベカラズ犯スモノハ百磅ノ罰金ニ處セラレベシ
 - 一 船荷證券ニハ發航當初船積ガ航海ニ堪フルコト並ニ乗組員、艙裝品、食料、需用品ノ充實セルコトノ保證ヲ包含セルモノト認ム
 - 一 反對ノ意思表示ナキ以上船積ガ發航當初航海ニ堪ヘ乗組員、艙裝品、食料、需用品ノ充實セシナラバ左記ノ原由ヨリ生ゼシメタル損失損害ニ就キ船主、船長、代理人、備船者其責ニ任セザルノ條項ヲ各船荷證券ニ包含スルモノト認ム
 - A 航海上ノ過失 B 海上其他水上ノ危險 C 不可抗力 D 貨物ニ潜在セル欠缺及ビ固有ノ性質 E 荷造不真 F 法律執行ノ爲メ貨物ノ掠奪 G 貨主代理人積荷主ノ手拔 H 海上ニ於ケル生命救助 生命又ハ財産ノ救助ノ爲メ航路外航行
- 此法令出テヨリ船主、船員一切ノ行爲ニ就キ責務ヲ負フコト、ナリタレバ割増運賃ヲ徵收シ保險

者ニ右特別ノ危險ヲ擔保セシメ自家ヲ保護スルコト、ナリタリ

上述ノ如ク除外例ハ船主ノ好遇スル所トナリ法律家ハ法理ニヨリ契約自由說ヲ以テ盛ニ之ヲ辯護シタルガ爲メ其範圍益廣ク勢力ヲ占ムルニ至レリ然レドモ他方ニ於テハ除外例ハ船主ノ專横ヲ極ムル條項ナルヲ以テ漸ク識者ノ攻撃ヲ受ケ一八八二年リヴァプール會議ニ於テ議決セシ除外例ニモ

H.L.S. 5

汽船ト帆船トヲ問ハズ積付ノ方法積荷ノ引渡及ビ此等ニ類スル普通海上ノ出來事ガ其使用人

ノ過失ニ原因スル時ハ船主其責ヲ負フベシ然レドモ損害ガ使用人ノ過失怠慢ニ間接ニ原因スル時ニシテ所謂海難ニ罹ルモノハ船主其責ヲ免ル、コトヲ得ベシ

Wdt. 401

ナル句アリ此議決ハ一時保險者間ニ異論ヲ生ジ爲メニ濠洲ノ十八龍動ノ十三保險會社ハ反對ノ意見書ヲ國際法修正編纂協會ニ提出セリ然レドモ此議決ハ他方ニ於テ船主ニハ好都合ナルガ故船荷證券中ニ之ヲ引用スルモノ多シ

漢堡會議ノ議決

一八八五年ノ漢堡會議ニ於テハ右ノ條項ヲ修正シテ船長海員ノ判斷ノ過失 (Errors in judgement) ニ原因スル時ノミ船主其責ヲ免ルベキモノトセリ此修正ハ實ニ當ヲ得タルモノニシテ海運ハ陸運ト異ナリ船主ハ船長及ビ海員ノ行爲ニ付キ無限ノ責ヲ負フモノトスルハ酷ニ失スル嫌アリサリトテ船長海員ノ過失怠慢ニ原因スル一切ノ損害ハ船主其責ニ任セズトセバ公安ヲ害スル虞アリ凡人ト雖モ過失ハ免ルベキモノニ非ズ彼ノ判斷ノ過失例ヘバ船長海員ガ速力ノ測定ヲ誤リシガ爲メ船舶ノ暗礁ニ觸ル、ニ至リタル等ノ技術上ノ過失ニ付キテハ船主其損害ノ責任ヲ負フニ及バザルハ至當トス然レドモ事苟クモ船員ノ怠慢ニ原由スル時ノ如キハ其損害ヤ固ヨリ船主責ニ任ズルヲ至當トス彼漢堡會議ニハ英國ヨリモドクトルウエント (Dr. Wendt) 其他有名ナル海上法ノ專門家出席セシニ

安土阿府會議ノ議決

C.I.A. 169-172

Lyon. I. 505 509

拘ラズ此議決ヲ見ルニ至リシハ固ヨリ當然ノ事トス而シテ英國ニ於ケル船主同盟會 (Shipowners' Association) 其他有力ナル人士ハ漢堡ノ議決ニ反對シ一八八七年ノ龍動會議ニ於テハ一八八二年ノリヴァプール會議ノ議決ヲ復活セシコト前ニ既ニ述ベシガ如シ斯ノ如ク漢堡會議ノ議決ハ船主ニ不利益ナルヲ以テ船荷證券ニ之ヲ使用スルモノ比較的僅少ナリ

一八八五年安土阿府ニ國際商法會議ヲ開クヤ除外例ニ就キ議論沸騰シタリ當時佛國ノ有名ナル商法學者リオン・カン (Lyon-Caen) ハ絕對的認說ヲ採リ獨逸ノ海上法大家ドクトルレウ井ズ (Dr. L. Weis) ハ絕對的否認說ヲ主張セリ絕對的認說ニ曰ク船主ヲシテ船長海員ノ過失怠慢ニ付キ責ヲ負ハシメズトセバ公安ヲ害スル虞アリトハ反對者ノ第一ノ理由トスル處ナレドモ然カモ今日ノ情態ニ於テハ海上保險者ハ船長海員ノ過失怠慢ニ原因スル損害ヲモ引受クルガ故ニ假ニ法律ヲ以テ除外例ヲ否認スルモ船主ハ他方ニ保險者ト契約ヲ結ビ是等ノ損害ニ就キ保險者ヲシテ填補セシメ以テ貨主ニ辨償セバ結局公安ヲ害スルコトヲ矯正シ得ベシ加之若之ヲ否認センカ船主ハ保險者ニ支拂フベキ保險料ヲ充タスガ爲ニ運賃ヲ高メザルベカラズ故ニ今日ノ儘ニ是認スル時ハ船主ハ自己ノ手ニテ保險ヲ契約スルガ故ニ毫モ痛痒ヲ感セザルナリ唯之ヲ感ズル者ハ即保險者トス保險者ハハ一方ニ船主ヨリ保險ヲ引受クルカ將又他方ニ於テ船主ヨリ引受クルカノ相違コソアレ保險料ヲ收メテ損害ヲ負擔スル點ニ於テハ同一ナリトス夫レ然ラバ特ニ法律ヲ以テ除外例ヲ禁ズルノ必要アラシヤ況ヤ法律ハ契約ノ自由ヲ保護スベキモノナルニ於テヤト

リオン・カン氏ノ所說固ヨリ一理アリ今日歐洲ニ於ケル海上保險業ハ一八六〇年ノ頃トハ稍趣ヲ異ニシ保險者ハ船長海員ノ過失怠慢ニ原因スル損害ト雖モ之ヲ填補スルガ故船主ニ取リテハ毫モ痛痒ヲ感セザルナリ然ルニ本邦ノ如キハ保險證券ニ於テ是等ノ制限ヲ設クルガ故ニ同氏ノ所說ハ

C.I.A.
161-166

本邦ノ如キ場合ニハ適用ニ苦ムモノトス
絶對的否認說ハ條理ニ基ケルモノニシテ曰ク運送者ノ責任ニ就キ陸運ト海運トヲ區別スルハ不當
ナリ船主ニ於テ證明シ得ベキ不可抗力ノ場合ヲ除キ貨物引渡ニ就キテハ運送契約ノ原理ニ基キ船
主ノ負擔スベキ責任ヲ或ハ寛大ニシ或ハ完ク免除セシムルガ如キ特約ハ一切無効タルベシ尤モ出
來得ベキ注意 (Best possible means) ヲ以テ豫メ知ルコトヲ得ザリシ船舶ノ缺點ヨリ起ル損失損害ハ之ヲ
不可抗力ニ歸因スルモノト看做スコトヲ得ベシト

C.I.A.
165-168

本邦舊商法草案起稿者ヘルマン・ロエスラー (Hermann Roessler) ハ偶々此會議ニ列シドクトル、レヴ井スノ
所說ヲ辯護シ契約ヲ以テ船主ガ其用人ノ過失怠慢ニ就キ責ヲ免ルベキコトノ不條理ヲ辨明セリ
ロエスラーノ所說ハ延テ本邦舊商法ニ及ボシ其第九〇一條末項ノ規定ノ如キハ蓋此精神ニ基クモ
ノ、如シ而シテアントウアーブ會議ニ於テハ結局上述ノ兩絶對說ハ否決トナリ折衷說勝ヲ占ムル
ニ至レリ今其議決ヲ示セバ左ノ如シ

C.I.A. 178
C.I.A. 203

船主ハ備船者又ハ荷送主ニ對シ其損害ガ不可抗力ニ原因スルコトヲ證明スルニ非ザレバ積荷ニ關
スル船長又ハ其他ノ用人ノ行為ニ就キ民法上ノ責ヲ負フ
特約アル時ハ左ノ場合ヲ除キ船主其責ヲ免ル、コトヲ得ベシ

- 一 船主ハ運送契約書、船荷證券其他一切ノ契約ニ於テ左ノ場合ニ責ヲ免ルベキ特約ヲ爲スコトヲ得ズ
- 一 船舶ガ航海ニ堪フルコトニ就キ船長及ビ其他ノ用人ノ行為
- 二 積付ノ方法ヲ誤リ又ハ注意ヲ缺キ或ハ積荷引渡ノ不足ニ就キ損害ヲ釀セル時
- 三 惡意又ハ重大ナル過失ニ歸因スル時

ブラッセル
會議ノ議決

一八八八年ノブラッセル會議ニ於テハ前項ニ稍修正ヲ施セル左ノ議決ヲ爲セリ
左ノ場合ニハ船主ハ其用人ノ行為ニ就キ特約ヲ以テスル時ト雖モ備船者又ハ荷送主ニ對シ責ヲ

免ル、コトヲ得ズ

- 一 船舶ノ航海ニ堪ヘザルニヨリテ生ジタル損害
- 二 積付保管引渡ニ就キ生ジタル損害
- 三 惡意又ハ重大ナル過失ニ因ル損害

G.I.B. 319

龍動會議ノ議決

損害ガ輕過失ニ因リ生ジタルコトノ立證ノ責任ハ船主之ヲ負擔ス
船主自身ニ任命セザル船長又ハ該船長ガ任命セル船員ノ行為ニ就キテハ特約ニヨリテ其責ヲ免ル
ルコトヲ得ベシ但其行為又ハ任命前人選ニ就キ與リ知ラザル時ニ限ル

一八九三年龍動會議ニ於テ議決セル所左ノ如シ

第一左ノ場合ニハ船主其責ニ任セザルベシ

- 一 不可抗力、海上河上其他ノ水上ニ於ケル遭難、船長又ハ海員ノ惡行、敵兵、海賊、内亂、強盜、君主政府若
クハ人民ノ強留、抑止、一擧又ハ同盟罷工、國ノ處分ニ出テタル捕獲、差押、檢束等ヨリ生ズル損失損
害
- 二 水先案内、船長又ハ海員其他船主使用人ノ過失怠慢又ハ錯誤ニ出テタル時ト雖モ本船解舟又ハ
海岸ニ於ケル火災、衝突、坐礁、破裂、機關器具ノ破損ニ因リ或ハ海上河上其他ノ水上航行中又ハ港
内碇泊中ニ起リタル災難ニ因リ生ズル損失損害
- 三 受熱、減量、腐敗、汗錆、變質、乾燥、漏洩、毀滅其他貨物ノ性質又ハ荷造ノ不完全ニ歸因スル損失損害或
ハ蟲害、鼠害等
- 四 陸上ニ於ケル損害
- 五 荷印、負數、番號、宛名其他貨物ニ關スル明細記事ノ摩滅、誤記、欠缺又ハ不完全ニ因リ生ズル損失損
害
- 六 解舟積込又ハ貨物積換ヨリ生ズル損失損害

第二左ノ場合ニハ船主其責ニ任ズルコトヲ要ス

- 一 船舶ガ貨物積込ニ不適當ナル爲メ又ハ航海ニ際シ船舶ノ航海不適ナルガ爲メニ生ズル損失損
害但船體機關又ハ屬具ニ潜在セル欠缺 (Latent defect) ハ之ガ發見ニ付キ船主又ハ代人ガ相當ノ注

- 意ヲ忘ラザリシ場合ニ限リ船舶ノ不適當又ハ航海不適ト看做サレザルベシ
- 第三 左ノ場合ニモ船主ハ其責ニ任ズルコトヲ要ス
 - 貨物ノ積込配置又ハ積卸ニ付キ相當ノ熟練及ビ注意ヲ缺キシ爲メ生ズル損失損害但船主ノ責任ハ貨物ガ船舶ノ揚貨機(Lift, Tackle)ヲ離レタル時ヲ以テ終了スルモノトス
- 第四 船舶ハ時宜ニヨリ任意ノ地ニ寄港シ或ハ水先案内ヲ使用セズシテ航海シ及ビ難破船ヲ曳船シ又ハ救護シ其他人命財産ヲ救護センガ爲メ航路外ニ航行スルコトヲ得ベシ
- 第五 共同海損ハヨーク、アントウアイブ規定ニヨリ支拂ハルベシ

龍動商業會議所ノ決議

以上ハ運送契約ニ關スル國際會議ノ議決ノ大要ナリ此他英國ニ於ケル商業會議所ニ於テハ船荷證券ノ修正ニ努ムル所アリ一八九〇年龍動商業會議所ノ議決ノ要領ハ左ノ如シ

- 第一 除外例ヲ否認スルコト
- 第二 船舶ガ航海ニ堪ヘザルコトニヨリ船主ガ責ヲ負ハザル特約ヲ否認スルコト
- 第三 船荷證券ハ之ニ記載セル積荷ニ關シテハ船主ニ對スル唯一ノ證據タルベキコト
- 第四 積荷ガ陸揚港ヲ超エテ運送セラレタル時ハ其港迄返送セラル、間ハ船主其責ヲ負フベキコト

E.G. 107

右ノ修正ヲ爲スニ當リ商業會議所ハ船主同盟會ニ協議セシ所同會ハ異議ヲ申立テ代表者ヲ出席セシメズ且其議決ニ付キテハ之ヲ非難シテ曰ク各國ノ商業會議所ニテハ船主以外ノ人即商人銀行保險者等大部ヲ占メ船主ノ勢力毫モ代表セラレザリシ故議決ニ重キヲ置クニ足ラズト

一八九六年龍動商業會議所ハ復船荷證券ノ修正ニ就キ議決シ大ニ見ルベキモノアリ然レドモ是等ハ船主ノ利益ニ反スルガ故不幸ニモ未實行セラレズト云フ

第二節 除外例

本邦ニ行ハルル船荷證券ノ除外例

W.H. 312

古昔ノ習慣ハ甚單純ニシテ船舶遭難ノ際ニハ船主ハ船舶及ビ運賃ヲ失ヒ貨主ハ貨物ヲ失ヒ其損害ハ各自之ヲ分擔セシト雖モ其後漸ク趣ヲ異ニスルニ至レリ是畢竟保險者漸ク責任ヲ免レンコトヲ努メ裁判官ノ意向モ特約ナキ限りハ船主ヲシテ損害ヲ負擔セシムル傾ヲ生ジタルガ故ニシテ其結果船主モ自家ヲ防衛セントシ漸次除外例ノ範圍ヲ増スニ至レリ

本邦ニ行ハル、船荷證券ニ記載セル除外例ヲ原因ニヨリ類別スル時ハ左ノ如クナルベシ

- 一 不可抗力ニ歸因スルモノ
- 二 戰爭又ハ官ノ處分ニ因ルモノ
- 三 自然ノ消耗又ハ其物ノ性質若クハ瑕瑾ニ因ルモノ
- 四 船體機關又ハ屬具ニ潜在スル欠缺
- 五 第三者ノ行爲ニ因ルモノ
- 六 船員ノ行爲ニ因ルモノ

第一 不可抗力ニ歸因スルモノ

不可抗力ナル用語ハ輒近本邦ニ於テ各種ノ法文中ニ使用シ來リ殆普通語トナリシカノ如クナレドモ完ク泰西法律輸入以後ノ新熟語ニ外ナラズ而シテ古來慣用語ノ稍之ニ匹敵セルモノハ天災又ハ災難等ノ文字ナルベシ然レドモ天災又ハ災難等ノ文字ハ意義狹キニ反シ不可抗力ナル新用語ハ天災又ハ災難ヲ網羅シ其意義一層廣汎ナリ然ラバ泰西諸國ニ於テ不可抗力ニ該當スル文字及ビ其意義如何ト釋スルニ先佛國ニ於テハ羅馬法ノ Vis Major 及 Vis Casus Fortuitus ヲ採用シ兩様ノ用語ヲ具ヘ一

不可抗力ノ字

ハ之ヲ Force Majeure ト云ヒ他ハ之ヲ Cas Fortuit ト云フ前者ハ異常激甚ナル自然作用ニシテ人力ノ能ク之ニ抵抗シ得ザルモノヲ云ヒ後者ハ絕對ニ之ヲ避ケ得ザルニ非ルモ其當局者ニ於テ避ケ得ザリシモノ即相對的不可抗力ヲ意味スルモノ、如シ尤モ法文中ニハ多ク Force Majeure et Cas Fortuit ト連續シテ之ヲ規定セルヲ以テ寧ロ異字同意ノ用語視セラレ、傾向ナキニシモアラズ然ルニ獨逸ニ於テハ不可抗力ニ相當スベキ用語ハ Höhere Gewalt ト云ヒ相對的ニ避ケ得ザリシ災害ニ就キテハ Unwiderstehliche Gewalt ナル文字アレドモ外國語ヲ翻譯セル場合ニ使用セラレ、ガ如シ又英米兩國ニ於テモ Act of God & King's Enemies 即天災及ビ國敵ニ限リテ不可抗力ニ該當セシムルガ如ク狹義ニシテ然カモ客觀的ノ解釋ヲ採レリ但相對的不可抗力ニ當ル場合ニ就キ Inevitable Case 又ハ Forcible Interference 等ノ用語アレドモ獨逸ニ於ケルガ如ク外國語ノ翻譯ニ止マリ天災及ビ國敵ノ外ハ何等特約ナケレバ運送者ニ於テ其責ヲ免ル、コト能ハザルモノトセリ

不可抗力ニ關スル學說上ノ解釋ニ客觀主義 (Objective) ト主觀主義 (Subjective) トアリ主觀主義ニモ廣狹兩說アリ是等ノ異說ハヤガテ我輸入字ナル不可抗力ニ該當スベキ外國語ノ字義ヲシテ一致セシメザルナリ

客觀主義ニ從フ時ハ事變其モノ、性質ヨリ客觀的ニ觀察シテ其不可抗力ナリヤ否ヤヲ決定シ換言セバ人力ノ能ク之ヲ豫想シ又ハ對抗スルコトヲ得ザル客觀的外界ノ事變ノミ即天災及ビ戰爭ニ限リ不可抗力ト認メ相對的ニ其局ニ當ル者ノ避ケ得ザリシモノハ之ヲ不可抗力ト唱ヘズシテ當局者ノ責任ニ歸スベキモノトス而シテ此主義ハ今日猶英米兩國ニ於テ一般ニ是認セラレ十九世紀ノ中頃迄ハ獨逸多數學者モ亦之ヲ稱ヘシガ事變其モノ、客觀的觀察ニヨリテ不可抗力ナリヤ否ヤヲ判斷スル時ハ往々事實ノ真相ヲ誤リ免責ノ場合ニ不公平ノ結果ヲ來スノミナラズエクスナー教授ノ

不可抗力ノ學說上ノ解釋

批難セルガ如ク何故ニ免責セラレベキカニ付キ理由ヲ附セズ唯客觀的ニ不可抗力ニ因ルモノナリト云フハ不條理ナルヲ以テ十九世紀中葉以後主觀主義漸ク用キラレ殊ニ商法大家ゴールドシュミツトノ主觀論ヲ唱フルヤ獨逸ニ於ケル判決例モ彼ヲ捨テ之ヲ採ルニ至レリ

主觀主義ハ事變其モノ、性質ヨリ之ヲ觀察セズ其局ニ當ル者ノ主觀的地位ヨリ果シテ不可抗力ナリヤ否ヤヲ決スルガ故ニ合理的ト謂フベシ但主觀主義中狹義ノ解釋ヲ下ス者ハ損害ノ原因ガ故意又ハ過失ニ因ラズシテ生ジタル場合ノミヲ限リ其適用ニ於テハ Vis Major ト Casus Fortuitus トノ間ニ區別ヲ設ケズ後者モ寧ロ前者ト等シク狹義解釋ノ中ニ於テ解決スルモノ、如ク佛國學者中ノ唱フル者些カラズ然ルニ廣義說ニ從ヘバ其局ニ當ル者ヨリ觀察シ相當ノ設備ヲ爲スモ發生及ビ有害ナル結果ヲ防止シ得ザルモノヲ不可抗力ニ因ルモノトシ其範圍甚廣ク又之ガ適用ニ就キテハ Vis Major 又 Casus Fortuitus トノ間ニ區別ヲ設ケザル點ハ狹義說ト同ジキモ其範圍ハ擴張セラレテ相對的不可抗力ニモ及ボスガ如シ

主觀主義ノ内廣狹二說アルコト前述ノ如シ此他不可抗力ヲ決定スルニ當リテハ善良ナル管理者ノ注意ヲ前提トシソレニモ不拘生ジタル損害ノ原因ハ始メテ不可抗力ニ因ルモノナリトノゴールドシュミツトノ說ト過失ノ存在セザルハ勿論事變其モノ、性質ガ外部ヨリ來レルコト並ニ尋常程度ヲ超エタルモノナルコトヲ必要條件トスルエクスナー教授ノ極端ナル狹義說アリ而シテ本邦ニ於ケル大審院ノ判決例ニヨレバ不可抗力トハ或事變ニシテ之ニ遭遇スル者ガ其地位ニ應ズルノ施設ヲ爲スモ其發生及ビ有害ナル結果ヲ防止スルヲ得ザルモノヲ不可抗力ニ歸因スルモノトシ主觀主義中ノ廣義說ヲ採リ天災即絕對的不可抗力ト相對的不可抗力兩者ヲ包含シテ之ヲ不可抗力ト解釋スルモノ、如シ(明治四十三年十一月廿五日大審院判決ザアキニムカイル會社對ダンブシツプス、レテライ共同株式會社事件參照)

海上固有ノ危

險

A.W. 32

暴風雨

不可抗力ヲ主觀主義ノ廣義說ニヨリ解釋ストセバ不可抗力ト過失トノ關係ニモ論及ノ要アリ蓋極端ニ言ハル損害ノ起ル場合ニハ過失ノ伴ハザルコトナシト言ヒ得ベケレバナリ然レドモ過失ヲ具體的ニ言フ時ハ其有無ニ付キ疑ヲ存スル場合ニ於テモ抽象的ニ論ズレバ明瞭ナリ即當局者ノ格段ナル智識ヲ標準トセズ一般ノ判斷ヲ以テ過失ガ損害ノ直接ノ原因ニ非ザル場合ニハ之ヲ不可抗力ト看做スコトヲ得之ヲ要スルニ不可抗力ハ事實問題ニ屬シ遭難ノ場合ハ悉ク之ヲ不可抗力ニ歸因セルモノト斷言セバ大ナル誤ヲ生ズベシ尤モ極端ニ言ヘバ故意ニ釀シタル損害ノ外ハ不可抗力ニ因ルモノナリト言フヲ得ベキカノ觀アレドモ是即不可抗力ノ濫用ニシテ不可抗力ニ因ル損害ハ當局者ニ於テ相當ノ注意ヲ怠ラズシテ自然ニ生ズル損害ヲ云フモノナレバ損害ヲ釀セル場合ニハ其不可抗力ニ歸因セリヤ否ヤヲ判別センニハ事實ニ照ラシ細カニ研究セザルベカラズ

天災ト海上固有ノ危險 (Perils of the Sea) トハ同視スベカラズ天災ハ獨其災害海上ニ於ケルモノ、ミヲ稱セズ其範圍海難ニ比シ一層廣大ナリ又天災ハ自然ノ作用ニ由ル災害ナレドモ海上固有ノ危險ハ自然ノ作用ハ勿論人力ニ由ル災害例ヘバ海賊等ノ難ヲモ包含ス

ⅴ 暴風雨

コハ船舶航海中暴風雨ニ遭遇シ爲メニ船體ノ一部ヲ破壊セラレ或ハ船内ニ浸水ヲ來シ積荷ニ損害ヲ及ボスガ如キ場合ヲ云フ最普通ニ起ルハ澤手ナリ從前ノ學說ニ依レバ船舶ガ發航セントスルニ當リ天候不穩ノ兆候ヲ現ハシタルニモ拘ラズ故ラニ危險ヲ冒シテ出港シタル後果シテ暴風雨ニ遭遇シタリトセバ普通ノ暴風雨ノ危險ト區別スル必要アリト唱ヘラレシモ今日ハ帆船漸ク其數ヲ減シタレバ此等ノ學說ハ勢力ヲ失フニ至レリ故ニ暴風雨ナル文字ハ之ヲ廣義ニ解釋スルコトヲ要ス彼澤手ノ如キハ風波激烈ニ非ザルモ猶生ズルコト一般ニシテ本邦沿岸航行ノ小形船ニ於テ屢々日

Des. IV, 201

沈没

破船

擊スル所ナリ但此危險ヨリ生ズル損害ハ孰レモ比較的少數ニシテ船體又ハ積荷全部ノ損失トナルコト稀ナリ又暴風雨ニヨリ船舶ノ出帆又ハ到着延引シ爲メニ損害ヲ生ズルコトアレドモ是所謂暴風雨ニ因ル損害ニ非ズ

ろ 沈没及ビ破船

沈没トハ船舶ガ海中ニ沈ミタル時ヲ云フ沈没ニハ水底深キ海洋ニ於テ沈没シ救助ノ見込覺束ナキモノ (Foundering) ト水底淺キ海洋ニ於テ沈没シ救助ノ見込アルモノ (Submerision) トノ二種アリ破船トハ之ヲ狹義ニ解スル時ハ所謂難破即船舶ガ破壊シ最早船舶トシテ形體ヲ留メザル時ヲ指スモノナレドモ之ヲ廣義ニ解スル時ハ猶沈没及ビ坐礁ニヨリ破壊シタル場合ヲ包含スルモノトス

は 坐礁 (Stranding)

坐礁トハ船體ガ岩礁其他ノ堅牢體ニ乗揚ゲ暫時之ヲ引卸スコト困難ナル場合ヲ云フ俗ニ乗揚ト稱スルモノ是ナリ而シテ暗礁ニ乗揚ゲ若クハ之ニ觸レタルノミニテ直ニ浮ビ上リタル時ハ之ヲ觸礁ト稱ス

坐礁ニ自然ノ坐礁及ビ任意ノ坐礁ノ區別アリ前者ハ船長ガ航路ヲ誤リ又ハ暴風雨ノ爲メ進退度ヲ失ヒ岩礁等ニ乗上ゲタル等總ベテ事ノ自然ニ出デタル坐礁ヲ云ヒ後者ハ船舶ノ沈没ヲ免レンガ爲メ或ハ敵船ノ捕獲ヲ避ケンガ爲メ或ハ火災消防ノ手段トシテ故ラニ坐礁ヲ爲サシメタル場合ヲ云フ猶佛國學者中ニハ損害ノ結果ノ多少ニヨリ單純ナル坐礁 (Echouement Simple) ト坐礁破碎 (Echouement avec bris) トニ類別スルモノアリ前者ハ損害輕キ普通ノ坐礁ニシテ後者ハ所謂破船ニ及ビタル場合はナリ海外ニテハ坐礁ヲ一ノ困難ナル事實問題トス例ヘバ港灣ニ於テ滿潮ノ際碇泊セル船舶ガ干潮甚シキガ爲メ船底自ラ岩礁ニ觸ル、ニ至リ爲メニ船腹ニ損所ヲ生ジタルガ如キ場合ハ之ヲ坐礁ト

Art. II. 812-838

看做サズ其他之ニ類スル實例枚舉ニ違アラズ殊ニ英國ニテハ坐礁ニ關シ屢々裁判所ノ判決ヲ仰グコトアリト謂フ

に 膠砂 (Grounding)

膠砂トハ船舶ガ砂地又ハ淺瀬ニ乗揚ゲタル場合ヲ云フ膠砂ハ坐礁ニ比シ船舶ニ及ボス損害少キヲ一般トスレドモ膠砂後暴風雨ノ爲メ船舶埋没ノ不幸ヲ見ルコトアリ現ニ北陸沿岸ノ直江津新潟等ニ於テ膠砂後北風烈シク吹クコトアラバ船舶忽然砂中ニ埋没セラル、實例アリ

ほ 衝突 (Collision)

衝突トハ二艘以上ノ船舶カ水上ニ於テ抵觸シタル事實ヲ言フ船舶ガ棧橋若クハ流水ト衝突シタル場合ハ別種ナリ英國ノ如キハ從來兩者ノ區別不明ナリシヲ以テ船舶ト船舶トノ衝突ノ意ナル時ハ特ニ此旨ヲ記載スル慣習アリ

第一 不可抗力ニ因ル衝突

例ヘバ濃霧咫尺ヲ辨ゼズ信號汽笛ヲ鳴ラシタルモ其效ナク衝突シ或ハ潮流ノ爲メ進退ノ自由ヲ失ヒ船員ノ盡力アリシニ拘ラズ衝突シタルガ如キ是ナリ

不可抗力ニヨリ船舶衝突シタル時ハ船舶所有者ハ完ク天災ト視テ損害ヲ各自負擔スルヲ原則トス尤モ或國ノ如キハ一方ノ運動回轉セル船舶ガ他方ノ靜止碇泊スル船舶ニ衝突シタル時ハ假令其原因不可抗力ニ在ルモ加害船ハ被害船ノ損害額ノ半分ヲ支拂ハサルベカラズトノ規定ヲ設クルモノアリト雖モ不可抗力ニ歸因スル衝突ハ雙方ニ過失ナキモノナレバ各自被リタル損害ヲ負擔スルヲ

膠砂

衝突

Low, M, 199

衝突ノ種類及
責任問題

不可抗力ニヨ
ル衝突

Over, M

一方ノミ過
失アル衝突

MINO,
VOLXII
双方ニ過失アル
衝突

白商三元

獨商七五

以テ其當ヲ得タルモノトス

第二 過失ニ因ル衝突

甲 一方ノミ過失アル場合

イ 損害ヲ受ケタル船舶ニ過失アル時

此場合ハ損害ヲ受ケタル船舶全損害ヲ負擔セザルベカラズ

ロ 一方ノ過失ニヨリ他船ニ衝突シ損害ヲ醸サシメタル時

此場合ハ過失者カ相手方ノ損害ノ一切ヲ負擔セザルベカラズ而シテ相手方ガ全損ニ歸シタル時ト單ニ損害ヲ受ケタル時ト問ハズ其船舶ノ有スル希望利益ヲモ負擔セザルベカラズ例ヘバ相手方ガ備船契約履行ノ爲メ發航港ニ向ケ航行中ナル時ハ備船契約ニヨリ利益ヲモ負擔スルガ如シ

乙 雙方ニ過失アル場合

A 過失ノ輕重ヲ斟酌シ之ニ從ヒ相互ノ損害ヲ合計シタルモノヲ分擔ス

此處分法ハ白耳義、佛蘭西、葡萄牙、瑞典、諾威、ルーマニア及ビ希臘諸國ニ行ハル、モノニシテ或ハ商法中ニ之ヲ規定スルモノアリ或ハ實際上慣例ノ然ルモノアリ即白耳義ノ如キハ商法發布以前ヨリ既に此慣例行ハレタルモノニシテ一八七九年ノ法律ハ更ニ之ヲ規定シタルモノナリ佛國ノ如キ商法中ニハ之ガ規定ナキモ判決例等ハ是認シ葡萄牙ハ一八九〇年新商法第六〇六條ヲ以テ舊商法ノ規定ヲ變更シ獨逸現行商法亦從來ノ規定ヲ打破シ此處分法ヲ採レリ而シテ本邦舊商法及ビ現行商法モ此精神ヲ採リ舊商法第九四二條ノ所謂公平ナル酌量ニ從ヒ割賦ヲ爲ストハ即過失ノ輕重ニ從ヒ其負擔ヲ定ムルノ謂ニ外ナラズ又現行商法第六五〇條ノ雙方ノ過失ノ輕重ヲ決定スルコト能ハザル時ハ其衝突ニ因リテ生ジタル損害ハ各船舶ノ所有者平分シテ之ヲ負擔ストノ規定モ過失ノ輕重

ヲ判定シ得ベキ時ハ勿論舊商法ノ精神ニ據リ割賦ヲ爲シ判定困難ナル場合ニハ平分シテ負擔スベキ主旨ナリ

B 各自損害ヲ負擔ス即何レモ他ヨリ賠償ヲ受クル事能ハズ

此處分法ハ一八七五年迄英國ニ行ハレシモ其後ノ判決例ニテ慣習ノ一變シタルヲ見ル然ルニ之ヲ摸倣セシ米國ハ現今モ猶此方法ヲ襲用シ猶逸モ其舊商法ニ於テ又和蘭、伊太利、西班牙、露西亞、アルゼンチン、ウルグエー、智利、ブエズウエラ、墨西哥、白露諸國モ此方法ヲ採用シ或ハ商法中ニ條文アルモノアリ或ハ慣例ヲ以テ之ヲ是認ス

相互船舶ノ被リタル損害額ヲ合計シ各船舶所有者平等ニ之ヲ分擔ス

此處分法ハ一八七五年以來英國及ビ同殖民地ニ採用セラレシガ米國モ漸ク之ニ倣フ傾向アリ

而シテ此處分法ハ一見其簡單ナレドモ不公平ノ方法ナリトノ非難ヲ免レザルヲ以テ英國ハ一九一〇年ブルツセルニ於ケル國際海上法會議ノ決議ヲ尊崇シ(A)法ヲ採リテ一九一一年 Maritime Conventions Actヲ公布シ其一九一二年ノ判決例 Woodhouse v. Russiaニハ新法律ヲ適用シ兩船ノ過失ノ程度ニ應ジ損害額ヲ按配負擔セシムルコト、ナレリ

D 相互船舶ノ被リタル損害額ヲ合計シ恰モ共同海損ニ於ケルガ如ク相互ノ船價ニ從ヒ分擔ス

此處分法ハ獨リ土耳其及ビ埃及ニ於テ行ハル

右述ブルガ如ク双方ニ過失アル場合ノ損害負擔ニ關スル規定ハ各國甚區々ナリ而シテ前掲四處分法中過失ノ輕重ヲ斟酌シ損害ヲ分擔スル法ハ最條理ニ適合スト雖モ過失ノ程度ヲ公平ニ測定シ遺憾ナカラシメントハ不可能ノ場合多キ上當事者ハ孰レモ其程度些キコトヲ主張シ相讓ラザルノ

結果訴訟ヲ起シ勝ナレバ實際上ノ便宜法トシテ平分說ノ簡單ナルニ如カズ

而シテ一八九五年、九七年ノ兩度ブルツセルニ於テ、一八九九年龍動ニ於テ、一九一〇年ブルツセルニ於テ開會セラレタル國際海上法會議ノ決議セル所ニ依レバ(A)ノ方法即過失ノ輕重ヲ斟酌シ損害ヲ分擔スルヲ以テ最佳良ナモルノトセリ然レドモ此決議ハ未各國ニ普及セラレザルガ故ニ今日ハ各國ノ法律慣習ニ從ヒ決スルノ外途ナシ

第三 不可抗力ニ因ルカ將タ過失ニ因ルカ判定シ得ベカラザル場合

此場合ハ第一ノ場合ニ準シ各船舶所有者損害ヲ負擔セザルベカラズ佛蘭西、智利、和蘭、アルゼンチン等ノ商法ニ據レバ船舶ノ價格ニヨリ分擔セシムル規定アレドモ其他諸國ノ例ニ徵スレバ各自損害ヲ負擔スルガ如シ

衝突ノ慘害ハ海運業ノ未幼稚ナリシ時ハ其程度少カリシモ汽船ノ建造以來航海術進歩セシニ拘ラズ其程度著シク或ハ沈没ノ不幸ヲ見ルコトアリ然ラザルモ人命又ハ貨物ニ損害ヲ與ヘシ例枚舉ニ遑アラズ而シテ衝突ハ極メテ國際的ノ關係ヲ有スルニモ拘ラズ諸國ノ立法例一致セザルコトハ船主及ビ貨主其他海上保險者等ノ迷惑尠カラズ之ガ統一ヲ圖ランガ爲メ國際會議ヲ開キシコト亦一回ナラズト雖モ其議決普ク行ハル、ニ至ラザルコトハ既ニ述ベタルガ如シ

一八九八年漢堡ニ國際仲裁法院(International Court of Arbitration)ヲ開キ船長、機關士、水先人、其他經驗アル海運業者及ビ商人等ヲ評定人(Experts)トシ衝突ニ關スル爭議ヲ決定スルノ機關トセリ今少シク右仲裁法院ノ組織等ニ就キ述ブレバ左ノ如シ

- 一 院長ハ漢堡商業會議所ノ指定スル所ニシテ毎年有資格者ノ内ヨリ四名ノ評定人ヲ撰ビ同港船主及ビ保險者協會ノ同意ヲ要ス

- 一 衝突事件ヲ仲裁法院ノ評定ニ依リテ決セントスル時ハ船主又ハ代人ハ其旨ヲ書面ニテ商業會議所ニ申出テ同法院ノ評定ニハ異存ナク且關係者ヲ拘束スルモノナルコトヲ保證シ同時ニ法院ノ指定ズベキ保證金ハ相違ナク預ケ入ルベキ旨附記セザルベカラズ
- 一 衝突事件ノ詳細ハ洩レナク關係者双方ヨリ又ハ個々別々ニ法院ニ通知セザルベカラズ
- 一 外國人ト雖モ代表者ヲ漢堡ニ有スル時ハ法院ノ評定ヲ仰グコトヲ得ベシ
- 一 關係者ハ自己ノ費用ニテ辯護士ヲ使用シ辯論セシムルコトヲ得
- 一 法院ハ關係者ヨリ保證金ヲ差入レザル迄ハ評定ノ宣告ヲ與ヘザルベシ此保證金ハ評定ノ實行ヲ確認センガ爲メ訴訟費用ノ辨濟ニ充當スベキモノトス
- 一 關係者ガ何等反對ノ申出ヲ爲サル時ハ獨逸法ニ準據シ評定スベシ訴訟費用ハ訴訟物件價格ノ三步ヲ超過セザルベシ

獨逸ニ於ケル有力ナル汽船會社ノ船荷證券ニハ衝突ヨリ起ル賠償金ハ國際仲裁法院ノ議決ニ從フベキ旨ノ條項ヲ挿入スルモノアリ

衝突豫防法

F.P.Nos 820

衝突ト保險

衝突豫防法ニ就キテハ英國ニ於テ制定セラレタル海上衝突豫防規則 (Regulations for preventing Collisions at Sea) ハ萬國殆之ヲ採用セルガ如シ我海上衝突豫防法モ亦之ヲ採用セルナリ

衝突ノ原因ガ不可抗力ニ在リテ孰レノ船舶ニモ過失ナキ時及ビ他船ニ過失アル時ハ海難ト看做サレ船主ハ海上保險者ヨリ填補ヲ受クベシ然レドモ自己ニ過失アリ從テ他方ニ支拂ハザルベカラザル賠償金ハ其加害船舶ノ保險ヲ引受ケタル保險者ニ於テ填補ノ責アリヤ否ヤニ就キテハ各國ノ法典及ビ諸大家ノ說一定セズ今特約アル場合ノ外此賠償金ハ船舶保險者ニ填補ノ責ナシトノ說ニ從ヘバ保險者ハ海上ニ於テ船舶ノ被ルベキ危險ノ填補ヲ爲スコトヲ契約セルノミニシテ他ニ及ボサズ今若假ニ第三者ニ支拂フベキ損害賠償金填補ノ責保險者ニ在リトセンカ衝突ノ場合ニ第三者ニ對スル船主ノ責任ハ其船體及ビ運賃等ヲ以テ限度トスルコトハ多數ノ國ノ法律ノ認ムル所ナリ然

ラバ船主ニ於テハ自己ノ船舶毀滅セルカ或ハ否ラザルモ之ヲ委付セバ其責ヲ免カル、事ヲ得ベキニ此時ニ當リテモ猶委付セザルニ於テハ保險者ハ責ヲ負ハザルベカラザルノ結果ヲ生ズ不條理亦甚シト謂フベシ又海上保險契約ニ在リテハ保險者ノ責任ハ保險證券ニ記載セル金額以外ニ責任ヲ有スルコトナシ又彼ノ火災保險ノ如キ隣家ニ及ボス損害若クハ第三者ニ及ボス損害填補ノ如キハ特約アルニ非ザレバ保險者其責ニ任ゼザルト同ク海上保險ニ在リテモ保險者ハ原則トシテ加害船主ノ相手方ニ支拂フベキ賠償金填補ノ責ナシト云フニ在リ然ルニ反對論者ノ說ニ從ヘバ保險者ガ船員ノ惡行 (Barrelty) ヲ填補スル以上ハ之ニ準ジ加害船自身ニ被ル損害ノミナラズ他船ニ加ヘタル損害モ亦宜シク之ヲ填補スベシ蓋海上保險ニ在テハ保險者ガ填補スベキ損害ハ獨有形的ノ損失損害ノミナラズ共同海損ノ分擔額等ノ無形ノ損失費用モ亦填補スベキモノナリ而シテ保險者ノ責任ハ保險證券ニ於テ契約セル金額ヲ限度トスル論ハ畢竟保險ノ目的物上ノ危險ニ關スル制限ニ過ギズシテ加害者自身ノ損害ト被害船ニ支拂ハルベキ賠償金トハ完ク別物ニシテ海上保險契約ニヨリ保險者ノ負擔スベキ損害ハ被保險物ノ海上ノ危險ヨリ起ルベキ損失若クハ損害ナレバ加害者自身ノ損害ハ勿論被害船ニ支拂ハルベキ損害賠償金モ亦填補セザルベカラズ又火災保險ニ在リテハ保險者ノ引受クベキ危險ハ即火災ニ限ラル、ト雖モ海上保險ハ元來斯ノ如キ單純ナルモノニ非ズ之ヲ同日ニ論ジ被害船主ニ支拂ハルベキ損害賠償金支拂ノ責ナシトスルハ甚當ヲ得ザル所ナリト而シテ獨逸、瑞典、フ、井、ランド國ノ商法ニテハ後說ヲ採用シ明文ヲ掲グルモノアリ佛國白耳義近年ノ判決例亦此說ニ傾ケルガ如シ英國ニテハ其判決例前說ニ從ヒ第三者ヘノ賠償金ハ保險者負擔ノ限ニ非ズトセリ又一八八五年安土阿府ニ開キタル國際商法會議ニ於テハ第三者ニ支拂ハルベキ賠償金ハ條理上船舶保險者ノ負擔ニ歸スベキモノナリトノ點ニ於テハ列席中反對ヲ唱ヘタルモノナ

村 二〇一—二〇八
船主ノ責任
度ト衝突
新商 蓋西
同 蓋西
蓋二

カリシガ、ゴハ保險者ノ側ヨリ見テ不利ナル場合多キガ故特約ナキ限り之ヲ以テ保險者ノ填補スベキモノニ非ズトノ議決ヲ看ルニ至レリ歐米各國實際ニ行ハル、處亦之ト軌ヲ一ニセルガ如シ即船保險ニ在リテハ、Running Down Clauseニテ特約ヲ結ビ衝突ノ際ニ被害船ニ支拂フベキ賠償金ノ十分ノ九、四分ノ三等其大部ヲ保險者ニ於テ負擔セルモノ多シ蓋賠償金ノ全部ヲ保險者ニ於テ支拂フ時ハ船舶ノ衝突ニ際シ被保險者ガ往々注意ヲ缺ク虞アルガ故ニ船主ヲシテ常ニ多少ノ痛痒ヲ感ゼシムル主旨ニ出デタルモノナリ尤モ英國ノ如キ船主ノ責任ニ就キテハ相互組合ヲ設ケ共濟ノ途アル所ニテハ他船ニ支拂フベキ賠償金ニ就キテハ船主直接ニ損失ヲ被ルコトナキ場合アルベシ船主ノ責任限度ニ就キテノ規定モ亦衝突ノ場合ニ適用セラル、ガ故本邦ニテハ海産ヲ委付シテ損害賠償ニ代フルコトヲ得ベシ

衝突ニ因リ生ジタル債權ハ一年ヲ經過シタル時ハ時効ニヨリ消滅ス

以上ハ専ラ船主ノ位置ヨリ衝突ニ關スル説明ヲ下セリ而シテ貨主ノ位置ヨリ云フ時ハ其積荷ヲ搭載セル船舶ノ所有者ニ對シテハ船荷證券若クハ運送契約書ノ除外例ニヨリ衝突ノ原因那邊ニ在ルヲ問ハズ爲メニ生ジタル貨物ノ損害ノ賠償ヲ受クル能ハズ例ヘバ貨物ヲ積載セル甲船ガ乙船ト衝突シ兩船ニ過失アリトセバ貨主ハ甲船舶ノ所有者ニ對シテハ除外例ニヨリテ賠償ヲ受クルコトヲ得ズ然レドモ豫メ何等ノ契約ヲ爲サザリシ乙船ノ船主ヨリハ當然賠償ヲ受クルコトヲ得ベシ尤モ實際ニ於テハ乙船ガ衝突後沈没ノ不幸ヲ見ルニ至リシ時ノ如キ賠償ヲ得ルコト頗困難ナルベシ船長ガ衝突ヲ避クルガ爲メ又衝突ノ害ヲ和ゲンガ爲メ爲シタル處分ハ共同海損トナルコトアリ例ヘバ衝突後淺瀬ニ乗上ゲ沈没ヲ免レタル時ノ如シ

ハ 流水

流水

流水ハ北海道沿岸航海ニ屢々見ル所ニシテ北氷洋ノ氷塊夏季ニ融解シテ遠ク南方ニ漂流シ來レルモノナリ歐洲北部ノ航海ニ於テハ流水ヲ甚シキ危險ノ一ニ數フ是氷塊ノ流レ來ル場合ニハ濃霧多ク之ニ伴ヒ且其塊團ノ大部ハ水面以下ニ在ルガ故航海者ニ取リテハ危險甚シク且潮流ト共ニ流レ來ルモノハ一湯千里堅牢ナル船體ト雖モ忽チ破船ノ不幸ヲ見ルニ至ルコトアレバナリ

ト 火災 (Fire)

火災ヲ原因ニヨリ區別スル時ハ自然ノ發火ト船員ノ不注意ニ由ルモノト乗客ノ過失ニ由ルモノトノ三種アリ出火ノ原因不明ナルモノハ自然ノ發火ト看做ス自然ノ發火トハ例ヘバ落雷ノ爲メ火災ノ起リタル場合ノ如キヲ云フ

チ 爆裂 (Explosion)

火藥其他ノ爆發物破裂シタル場合ハ即爆裂ナリ汽罐ノ破裂モ亦此内ニ包含セラル、場合尠カラズリ 投荷 (Jettison) 投荷トハ正當ノ理由ノ爲メ貨物其他揚貨機等ノ船具ヲ海中ニ投棄スル事實ヲ云ヒ大凡左ノ三ツノ場合トス

- 一 船舶航海中暴風雨ニ遭遇シ將ニ沈没セントスルニ當リ船體ヲ輕カラシメンガ爲メ其他坐礁ノ際船脚ヲ輕クシテ引卸ヲ容易ニセンガ爲メ積荷又ハ船具ノ一部又ハ全部ヲ海中ニ投棄スル場合

右ノ場合ハ普通共同海損ニ屬シ投荷セラレタル貨主ハ共同海損ニ就キ自己ノ負擔額ヲ保險者ヨリ填補セラレベシ
海難ノ爲メ投荷ヲ要スル時ハ甲板積貨物 (Deck cargo) ヲ先ニシ次ニ最廉價ニシテ重キ貨物ヲ選ブコ

火災
Deck cargo
村 一八一—一八四

爆裂
村 一八五

投荷

ト普通ナリ

二 貨物固有ノ性質ニ因リ投荷ヲ爲ス場合

例ヘバ船積當初濕氣ヲ帶ビタル穀物、大蘇 (Temp) 棉花等ガ航海ノ途次熱氣ヲ帶ビ發火シ又ハ發火ノ虞アル時は投荷スルガ如シ貨物固有ノ性質ニ因リ投荷セラレタル貨物ノ所有者ハ船主又ハ保險者ヨリ賠償ヲ受クルコト能ハズ

三 敵船又ハ海賊ノ難ニ罹リ金銀其他ノ貴重品ガ相手方ノ手ニ移ルヲ避ケンガ爲メ投荷ヲ爲ス場合

此場合ニハ投荷セラレタル貨物ノ所有者ハ保險者ヨリ填補ヲ受クベキモ第二ノ場合ト同様共同海損トシテ他ノ貨主及ビ船主ヨリ賠償ヲ受クルコト能ハズ
以上掲ゲタルハ孰レモ不可抗力ニ歸因スル損害ニシテ此等ハ船主當然責ヲ免ルベキコト古來ノ慣習ニシテ各國法律ノ規定スル所トス而シテ若積荷ガ保險ニ附セラレタル時ハ當然保險者ニ於テ負擔スベキ場合ナリ

船艙ノ發汗 (Sweat or Sweating of hold) 及ビ熱氣 (Heat) ハ鐵鋼船ニ甚シク季節、航路、天候等ニヨリ其度ヲ異ニスレドモ寒地ヨリ暖地ニ向ケ航行スル船舶ハ之ヲ感ズルコト最甚シトス又石炭ノ積入、繰替等ノ爲メ炭末 (Coal Dust) 其附近ニ飛散シニ貨物ニ多少ノ汚損ヲ生ズルハ免カレ難キコトニシテ以上列記ノ損害ハ孰レモ不可抗力ニ準ジ船主其責ニ任ゼザルヲ原則トス尤モ此等ノ損害ニシテ船主ノ過失又ハ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失ニヨリテ生ジタル場合ハ船主其責ヲ免カル、コトヲ得ザレドモ貨主ニ於テ之ヲ立證スルハ至難ノ事ニ屬スルガ故ニ多クノ船荷證券ニハ是等ノ損害ニ付キ豫メ除外例ヲ挿入シ置キ後日損害起レバ船主船長ニ於テ之ヲ發汗、熱氣、炭末ノ汚損ニ原因スルモノナ

ルコトヲ證明スレバ足レリトス

第二 戰爭又ハ官ノ處分ニ因ルモノ

交戰國警備艦ノ爲メニ拿捕セラレ或ハ捕獲 (Seizure) 封鎖 (Blockade) 強留 (Arrest) 抑止 (Restraint) セラル、ニ因リテ生ズル損害ハ總ベテ戰爭ニ因ル危險ニ基クモノナリ又官ノ處分トハ平時ニ於テモ起ルベキモノニシテ就中檢疫ノ爲メ船舶ノ航行差止及ビ積荷ノ消毒又ハ輸入差止等ヲ云フ此等ノ危險ハ保險者モ亦特約ナキ時ハ通常其責ヲ免ル、モノトス(海港檢疫法、同施行細則、船舶檢疫規)

第三 自然ノ消耗又ハ其物ノ性質若クハ瑕瑾ニ因ルモノ

自然ノ消耗 (Vice propre) 又ハ其物固有ノ性質若クハ瑕瑾ニ因ル損害トハ例ヘバ蒸發性貨物ノ減量、氷ノ融解、穀物類ノ蒸損、果實類ノ酸酵、生魚類ノ腐敗、酒類ノ變質、蠟類ノ變形其他量目ヲ以テ賣買スル商品ノ目耗リ (Tare) 等ヲ云フ

普通ノ漏損、毀損 (Ordinary leakage and Breakage) モ亦此種ノ損失ニ屬ス例ヘバ玻璃又ハ陶磁器運送ノ途次毀損シ酒類其他液體ガ減量シタル場合ノ如シ又家畜類ノ病死ノ如キ亦自然ノ消耗ト看做サル尤モ海難ノ爲メ家畜類死亡スル時ハ此限ニ非ズ

蟲喰、鼠喰ニ因ル損害モ通常自然ノ消耗中ニ包含セラル蟲喰ハ木船時代ニ於テハ屢々見シ所ニシテ特ニ熱帶地方ニ甚シク蟲類ハ船底ニ孔ヲ穿チ爲メニ海水侵入スルコト屢々ナリ斯ク蟲類ノ船底ヲ襲フハ恰モ海難ト同ジク不可抗力ニ原因スルモノナレバ蟲喰ハ不可抗力ニ準スベシトノ説ヲ唱フル學者アリト雖モ造船術ノ進歩ニ從ヒ船側及ビ船底ノ蟲害ニ罹ル虞アル部分ハ之ヲ覆フニ特ニ蟲害ヲ防グニ足ル金屬板ヲ以テスル所謂被覆船アリ又否ラザルモ鐵船或ハ鋼船漸次増加シテ以來蟲害ハ實際ニ看ルコト少キニ至レリ故ニ若金屬板ヲ用ウル等ノ注意ヲ怠リシガ故ニ蟲害ヲ受ケタル

船艙ノ發汗及熱氣

炭末ノ汚損

Leg. II. 384-371

戰爭又ハ官ノ處分ニ因ル危險

村 三六

漏損及毀損

村 一六〇

虫喰

鼠喰

場合ノ如キハ是ヲ其物ノ瑕瑾ニ準ズルハ至當ナリ唯海難ノ直接ノ結果即他ノ海難ノ爲メニ船底ヲ覆ヘル金屬ノ一部ガ剥脱セラレ爲ニ蟲害ヲ被リタルガ如キハ特ニ海難ト看做スハ至當ナルベシ然レドモ是寧ロ例外ニ屬シ一般ノ場合ニ就キテ謂ヘバ蟲害ハ海難ト看做サレズ
鼠喰ハ船體ニ損害ヲ及ボスコト稀ニシテ寧ロ積荷ニ及ボス損害ナリ船中ニ鼠ノ棲息スルコトハ時トシテ夥シク海上規則(Consulat de la Mer)其他古代ノ法律中ニハ船長ノ義務トシテ猫ヲ船中ニ飼養スベク規定セシ位ナリ然レドモ小形ノ木造時代ト比較セバ今日鐵鋼船ノ巨大ナルモノニハ鼠ノ棲息スルコト割合ニ少ナク且艙口ノ閉鎖十分ナレバ鼠害ヲ受クルコト甚稀ナリ故ニ實際上鼠喰ハ稀ニ之ヲ見ルニ過ギス若偶々積荷ノ鼠害ニ罹ル者アルモ海難ト認ムルコトナク所謂自然ノ消耗ニ準ジ貨主ノ負擔ニ歸スル外ナシ

新商
同 六九
六九

船荷證券ノ條

自然ノ消耗等ニ就キテハ船主其責ヲ免ルベキヲ至當トス尤モ不可抗力ニ歸因セザル損害ハ當然船主ニ於テ負擔スベシトノ說アレドモ是甚酷ニシテ自然ノ消耗ノ如キハ損害ノ性質毫モ船主ノ責ニ歸スベカラザルモノトス故ニ我商法ニモ明ニ之ヲ規定セリ
普通船荷證券ニ掲ケラル、條項ノ内自然ノ消耗等ニ關スルモノハ左ノ如シ

- 一 酒、醬油ノ如キ液體其他漏レ易キ貨物ニ對シテハ
"not responsible for leakage."
- 一 陶磁器ノ如キ破損シ易キ貨物ニ對シテハ
"not responsible for breakage."
- 一 生魚、果實等腐敗變質シ易キ貨物ニ對シテハ
"Perishable goods at owners' risk."
- 一 鐵類其他諸ナ生ズル炭アル貨物ニ對シテハ

"not accountable for rust."

一家畜其他動物ノ斃死ニ對シテハ
"not accountable for mortality."

一 材木類ニ對シテハ

"not accountable for split ends decay or breakage" or "not responsible for chafage, splitting, or discoloration."

一 小蒸汽其他機械類ニ對シテハ

"Owners' risk of damage."

自然ノ消耗ト
保險
村 一五二五五

En. 1391
Parl. D. II.
339

而シテ自然ノ消耗ニ因リ生ジタル損害ハ保險者ニ於テモ亦填補ノ責ナキガ故結局貨主ハ自身ニテ損害ヲ負擔セザルベカラズ然ルニ自然ノ消耗ト雖モ海難ノ直接ノ結果ナルカ又ハ貨物ノ自然ノ消耗ニ因リ起リタルモノナル時ハ特ニ除外例ヲ設ケタル場合ノ外保險者ニ於テ普通填補ノ責ニ任ズベキモノトス而シテ損害ガ果シテ自然ノ消耗ニ因ルモノナリヤ否ヤニ就キテノ立證ノ責任ハ保險者ニ在ルカ將タ貨主ニ在ルカハ問題ナリ從前ハ豫メ自然ニ消耗シ易キ貨物ヲ積送リタル時ハ運送中損害アルコトヲ推定シタルガ故ニ其損害ヲ以テ自然ノ消耗ニ因ルモノニ非ズト主張スル者アレバ之ガ反證ヲ舉グル必要アリタリ然レドモ近年學說一變シ自然ノ消耗又ハ貨物固有ノ性質ヨリ來レル損害タルコトヲ證明スル責ハ一切保險者ニ在ルモノトシ保險者若之ヲ證明スルコト能ハザレバ其損害ハ海難ニ因リテ生ジタルモノト推定スルコト、ナレリ之ヲ以テ保險者ハ立證ノ責任ヲ免レンコトヲ努ムル結果生魚、果實ノ如キハ全損ニ歸シタル場合ノ外一部ノ損害ニ就キテハ填補ノ責ニ任ゼズトシ或ハ漏損毀損ニ就キテハ一切填補ノ責ニ任ゼズトシ其他損害ノ原因ヲ立證スルニ困難ナルモノハ豫メ保險證券ニ絶對的ニ之ガ規定ヲ設クルモノ多シ

第四 船體、機關又ハ屬具ニ潜在セル欠缺

船體等ニ潜在
セル缺點

【第九章】 運送契約—船荷證券及ビ備船契約ノ特別條項 ● 第二節 除外例

五〇〇

潜在セル瑕瑾又ハ欠缺トハ相當ノ注意ヲ以テ検査スルモ之ヲ發見スルコト能ハザル缺點ヲ言フ凡
船主ハ船體機關又ハ屬具ニ缺點ナキヤ否ヤヲ検査シ完全ナリト認ムルニ非ザレバ航海ヲ爲サシム
ベカラズト雖モ元來船舶ノ如キ極メテ複雑ナル機器ヲ具フルモノニ在リテハ技術上相當ノ注意ヲ
爲スモ尙且發航以前ニ之ヲ發見スルコト能ハザル缺點ノ潜在スルナキヲ保セズ斯ノ如キ場合ハ除
外例トシテ所謂之ヲ人力ノ及バザル所ト看做シ船主其責ヲ免カル、コトヲ特約スルナリ蓋我商法
ニハ船主ノ特約ヲ以テスルモ船舶ガ航海ニ堪ヘザルニヨリテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ヲ免カル
ルコトヲ得ズト規定セルガ故ニ一見船主ハ何等特約ヲ爲サレバ如何ナル場合ニモ不適航ヨリ生
ズル責任ヲ免カレ難キニ似タレドモ尙クモ缺點ノ潜在シテ相當ノ注意ヲ爲スモ尙且發見シ得ザリ
シガ爲メニ生ジ來レルモノ、如キハ殆人力ヲ以テ之ヲ豫防スルコト能ハザルモノナルヲ以テ此場
合ニ限り除外例トセルナリ海外ニ行ハル、船荷證券ニモ之ニ類スル條項アリ例ヘバ北獨逸口イド
會社船荷證券ノ條項ニハ

"owners to be responsible to shippers for any damage arising from defects of the ship, except in cases where such defects could not be discovered during the usual careful inspection of the ship....."

トアリ又ビー、オー會社船荷證券ノ條項モ大同小異ニテ左ノ如シ

"..... defects, latent or otherwise in hull, tackle, boilers, or machinery, or their appurtenances....."

第五 第三者ノ行爲ニ因ルモノ

第三者ノ行爲ニ因ル損害モ亦船主其責ヲ免ル、コトヲ得ベシ例ヘバ海賊船ノ襲撃ヲ被リ又第三者
ノ行爲ニ因リ衝突或ハ火災ノ厄ニ遭ヒ或ハ盜難ニ罹リタル場合ノ如キ是ナリ是等ハ船主又ハ其代
人ガ十分ノ注意ヲ爲セシニ拘ラズ暴力強迫ニ原由セル損害ナレバ不可抗力ニ準スベキモノタルハ

第三者ノ行爲
ニ因ル損害

H.H.105

第三者ノ行爲
ト保險

Des. VI.310
311

村 一全

船員ノ行爲ニ
ヨル危險

新商五三

船員ノ悪行

明ナリ然レドモ船員ノ不注意ニヨリ竊盜 (Thieves)ニ罹リタル場合ノ如キハ船主其責ヲ負フベキコト
勿論ナリ而シテ沿革上船客船中人足、船員等正當ニ船舶ニ在ル者ノ竊盜ニ就キテハ船主其責ニ任ゼ
シモ船主ハ次第二除外例ノ範圍ヲ廣メ「船舶ノ内外ナ間ハズ海陸ニ論ナク何種ノ竊盜」"Thieves of what-
ever kind, whether on board or not, or by land or sea"ニ就キテモ之ヲ負擔セザル旨特約スルニ至レリ斯ノ如キ
專横ナル特約ヲ爲スト雖モ船主ノ雇人タル人足ガ貨物ヲ竊取シタル時ノ如キハ船員ニ過失怠慢ナ
キ時ト雖モ船主其責ニ任ゼザルベカラズ

英國ノ如キハ第三者ノ行爲ニ因ル損害ハ所謂海難 (Perils of the Sea)ト區別シ「其他總々トノ危險」(And of
all other perils)中ニ包含スト雖モ寧ろ之ヲ火災ニヨル危險ト共ニ海難ナル名稱ノ下ニ包括スルノ至當
ナルニ如カズ故ニ保險者ハ豫メ特ニ契約セザレバ此種ノ危險ヲ填補スベキモノナレドモ此等ノ或
モノニ就キテハ特ニ除外例ヲ設ケテ豫メ填補ノ責任ナキ旨ヲ契約スルコトアリ盜難ノ如キハ本邦
保險證券ニ從ヘバ保險者其責ヲ免ル、ト雖モ海外ニ於テハ特ニ盜難危險 (Robber risk)ナルモノヲ設
ケ保險料ノ割合ヲ高メテ之ヲ負擔スルコトアリ

第六 船員ノ行爲ニ因ルモノ

此種ノ損害中船員ノ過失ニ因ル損害ニ就キテハ既ニ述べタルガ如ク條理上船主其責ヲ負フベキモ
ノニシテ本邦商法ノ規定スル所ニ從ヘバ船舶所有者ハ特約ヲ爲シタル時ト雖モ自己ノ過失、船員其
他ノ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失又ハ船舶ガ航海ニ堪ヘザルニヨリテ生ジタル損害ヲ賠償ス
ル責ヲ免ル、コトヲ得ズトアリ然レドモ今日多數ノ國ニ於テハ船主ハ特約ヲ以テ責ヲ免ル、コト
ノ規定アリ

船員其他ノ使用人ノ惡意ニ因リテ生ジタル損害ハ所謂船員ノ悪行 (Barratry or Barratry)ニシテ船長海

【第九章】 運送契約—船荷證券及ビ備船契約ノ特別條項 ● 第二節 除外例

五〇一

員等ガ自己ノ利益ノ爲メニ故意ニ積荷ニ損害ヲ加ヘタル場合等ヲ云フ
“Barratry”ニ就キテハ學說區々ニシテ船員其他ノ使用人ガ故意ニ釀シタル損害ノミニ限ラル、コト
ナク又文字ノ上ヨリ言フモ必シモ之ニ當ラザルナリ

抑 “Barratry” ナル語ハ元來詐欺ヲ意味スルモノニシテ往古ノ學說ニ據レバ船員ニ惡意アリ若クハ
詐欺ヲ爲シタル場合ニ非ザレバ船員ノ惡行ト認メザリシモノニシテ現今英國ニ於ケル學者ノ解釋
モ亦其範圍甚狹ク船員ニ詐欺又ハ惡意換言スレバ明ニ不法ノ行爲又ハ刑事上ノ怠慢 (Negligence

Art. II 775
P. E. 24

Valr. VI. 72
Em. I. 366

C. A. G. 55-56

村 一光

過失ニ就キ

Valr. I. 381

ノ注意ヲ缺キシガ爲メ損害ヲ釀セル時ハ即重過失ト看做サレザルベカラズ而シテ重過失即重大ナ
ル過失ナル語ハ本邦現行商法ニ於テ始メテ用キラレタル所ニシテ如何ナル程度ノモノガ果シテ重
大ナル過失ナリヤ本邦判決例ノ如キ未ダ之ニ則ルベキモノナシト雖モ按ズルニ重過失ナル語ハ羅
甸語ノ Culpa lata 佛語ノ Faute lourde 又ハ Faute grave 獨逸語ノ Grobes fahrlässigkeit 英語ノ Gross negligence

等ノ語ニ相當スルモノナルベシ尤モ此等諸國ニ於テ過失ノ解釋ニ付キ多少其根據ヲ異ニスルモノ
アリ從テ學者ノ解釋若クハ判決例ニ徴スレバ其詳細ノ點ニ就キテハ必シモ一様ナラズト雖モ之ヲ
概言セバ常識ヲ有シ其局ニ當レル者ノ普通ノ注意ヲ標準トシテ之ヲ缺キタル時ハ之ヲ以テ重大ナ
ル過失ト稱スルガ如シ而シテ何ヲ以テ普通ノ注意ト云フヤハ又一問題ナリ、コハ不可抗力ヲ論ズル
ニ當リ詳述セルガ如ク到底具體的ニ論ズルコト能ハザルモノニシテ必ズ抽象的ニ觀察ヲ下サヤ
ルベカラズ換言セバ其局ニ當レル者ノ智識ヲ以テ論ズルハ不可ナリ宜ク普通ノ能力ヲ有スル者ヲ

重大ナル過失

以テ標準トシ土地慣習等其他諸般ノ情況ヲ參酌シテ決定スルノ外ナカルベシ然リ而シテ實際ニ於
テ其標準ヲ定ムルハ普通船長ノ探ルベキ注意ヲ以テ基礎ト爲スベキナリ今重大ナル過失ニ就キ二
三ノ例ヲ掲グレバ船長ガ航海中船橋ニ在リテ睡眠ヲ貪リシガ爲メニ遭難セシ時ノ如キ或ハ陸揚港
ニ到着スルヤ否ヤ船長其他ノ責任者ガ船舶ヲ離レテ之ガ監督ヲ怠リシガ爲メ損害ヲ釀セル時ノ如
キ或ハ石油ノ如キ發火シ易キ物品ヲ機關室ノ傍ニ積付ケタルガ爲メニ火災ヲ惹起シタルガ如シキ
或ハ船長ガ所定ノ船舶ニ乗組マズシテ窃ニ其免狀ヲ劣等ナル船員ニ貸與シ自己ノ名義ヲ以テ船舶
線縦ノ任ニ當ラシメタル爲メ遭難セシ時ノ如キ其他貨幣ノ如キハ他ノ貨物ト區別シ貴重品室 (Treasure
uneroom) 乃至郵便室 (Mail room) ニ保管シ其開閉ニ注意セザルベカラザルニ拘ラズ戸締リ粗漏ナリシガ
爲メ船員ノ竊取スル所トナリタル場合 (Chartered Bank v. North German Lloyd s. s. Co.) 或ハ濃霧中船舶交通

ノ類繁ナル海峡ヲ汽笛信號ヲ怠リ全速力ヲ以テ進行シ他船ト衝突シテ損害ヲ醸シタルガ如キ或ハ濃霧中暗礁多キ場所ヲ全速力ニテ進行シ坐礁セシメタル時ノ如キ若クハ海員ガ艙内ニテ喫煙シ爲メニ火災ヲ惹起シタルガ如キ場合皆適例ナリ尤モ過失ノ十中八九ハ輕過失ニ屬スル場合多ク諸種ノ海難中船長海員ノ過失ニ因ルモノ、多數ハ輕過失ニシテ重大ナル過失ノ如キハ比較的稀ナリトス

重大ナル過失ト技術上ノ過失

船長ノ惡行ガ時ニ含まレザル

重大ナル過失ハ之ヲ技術上ノ過失ト區別セザルベカラズ何トナレバ技術上ノ過失ハ常識アル船長ノ普通ノ注意ヲ以テスルモ猶之ナキヲ保セズ例ヘバ海底其他ノ測量ヲ誤リ又ハ船體ニ些少ノ破損若クハ故障アリシモ其航海ニハ別段ノ差支ナキモノト信ジテ出帆シ途次之ガ爲メニ損害ヲ被リタル場合ノ如キ又他船ノ舷燈ト燈臺トヲ誤認シタルガ爲メ損害ヲ醸シタルガ如キ所謂單純ナル見込違ハ之ヲ重大ナル過失ト認ムベカラズ之ヲ要スルニ重大ナル過失ハ通俗的ニ之ヲ言フ時ハ不注意ノ極點ニシテ殆故意ニ損害ヲ醸セルモノト相去ルコト遠カラズ然レドモ重大ナル過失ト故意若クハ惡意トハ必ズシモ同義ナリト言フベカラズ何トナレバ普通ノ場合ニ於テハ殆其區別ヲ立ツルコト困難ナルガ故ニ事實ニ於テハ甚シク相接近シ判然タル區別ヲ存ゼザルガ如シト雖モ故意ト過失トノ間ニハ自ラ區別ノ存スルナリ蓋過失ハ元來故意ニ醸セルモノニ非レバナリ
船長ノ權限ハ廣大ナルモノニシテ船舶航海中一方ニ於テハ船主ノ代理人ナルト同時ニ他方ニ於テハ貨主ノ代理人タル場合アリ例ヘバ航海ノ途次船舶遭難シ積荷損害ヲ被リタル時ハ船長ハ及ブ限リ貨主ノ利益トナル方法ヲ講ゼザルベカラズ斯ノ如ク船主ノ代理人タル位置ヲ離レ貨主ノ代理人トシテ船長ノ働ケル行爲ニ就キ惡行アル場合ニハ之ヲ船員ノ惡行中ニ包含スルヲ得ズ何トナレバ此場合ハ船長ハ貨主ノ代理人 (Quasi-agent) ト看做スコトヲ得レバナリ

水先案内ノ過失

船員ノ過失ニ就キ立證ノ責任

新商 五六

Val. 1. 383

海員ノ行爲ニ就キ船長ノ責任 新商 五六

水先案内ノ過失ニ由リ船主又ハ第三者ニ損害ヲ與ヘタル時該水先案内ガ船員ノ一部ナル時ハ船員ノ過失ト看做サル、モ特ニ水先案内料ヲ支拂ヒテ雇入レタル者ナル時ハ普通ノ海難ト看做サル
船長其他ノ使用人ノ過失ニ就キ立證ノ責任ハ法律上之ヲ船長ニ負擔セシムルモノトス即現行商法ニハ
船長ハ其職務ヲ行フニ就キ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非ザレハ船舶所有者、備船者荷送人其他ノ利害關係人ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ免ル、コトヲ得ズ
船長ハ船舶所有者ノ指圖ニ從ヒタル時ト雖モ船舶所有者以外ノ者ニ對シテハ前項ニ定メタル責任ヲ免ル、コトヲ得ズ
トアリ蓋船長ニ斯ノ如キ責任ヲ負ハシメタル所以ハ船舶ガ航海ヲ爲スニ當リテハ遠ク陸地ヲ離レ從テ船主、荷送主、備船者其他ノ利害關係人等一切航海ヲ監督セザルモノニ在リテハ損害ガ船員ノ重大ナル過失ニ因ルモノナリトノ推定ヲ下スコトヲ得ル時ト雖モ舉證ヲナスコト非常ニ困難ナリ然ルニ船長ハ常ニ船中ニ在ルガ故立證ヲ爲スハ比較的容易ナルガ故ニ船長ガ其職務ヲ行フニ付キ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明シ得ザル時ハ是所謂重大ナル過失ト看做サルベキモノニシテ當然損害賠償ノ責ニ任ゼザルベカラズ
船長モ間々船主ノ指圖ヲ受ケテ職務ヲ行フコトナキニ非ズ此場合ト雖モ船長ハ猶自己ノ信ズル所ニ從ヒ職務ヲ執行スルコトヲ得ベキガ故從テ生ゼシメタル損害ニ就キテモ船主以外ノ利害關係人ニハ賠償ノ責任アルコト勿論ナリ
又現行商法ハ規定シテ曰ク
海員ガ其職務ヲ行フニ當リ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於テ船長ハ監督ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非ザレハ損害賠償ノ責ヲ免ル、コトヲ得ズ

【第九章】 運送契約—船荷證券及ビ備船契約ノ特別條項 ● 第二節 除外例

船員ノ悪行ト
保險
佛商 三三三
獨商 八三三
和商 八三三
伊商 八三三
白商 八三三
VALLEY
備船契約ノ場
合ニ使用セラ
ル船荷證券
ノ除外例

ト蓋一方ヨリ見ル時ハ船長ニ斯ノ如キ重大ナル責任ヲ負ハシムルハ稍酷ナルガ如シト雖モ他方ニ於テ船主荷送主備船者其他陸上ニ在ル利害關係人ノ位地ヲ窺フ時ハ止ムヲ得ザル規定ナリ本邦ニ行ハル、保險證券ニ於テハ船員ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因ル危險ハ之ヲ擔保セズ從テ貨主ハ船主ニ賠償ヲ請求スルコトヲ得ベシ海外ニテハ所謂 "Barratry" ニ就キテハ白耳義獨逸和蘭等ヲ除キ各國ノ法律ニハ豫メ契約アル場合ノ外保險者ハ填補ノ責ニ任ゼザル旨ノ規定アルモノ多シト雖モ實際各國ニ行ハル、保險證券ニハ通常之ヲ擔保スルモノトス

一切ノ條項ハ何年何月何日附ノ運送契約書ニ從フ

"All condition to be observed as per C/P dated....."

トノ句中ニ一括セラル、コト普通ナルガ如シト雖モ第三者ニ對シテハ船荷證券ハ運送契約ノ證明トナルガ故ニ重キヲ船荷證券ニ置カザルベカラズ故ニ備船契約ノ場合トテモ積荷ヲ他人ニ賣却スルカ又ハ備船者ガ更ニ他人ノ貨物ヲ運送スル時ハ普通書式ノ船荷證券ヲ使用スルコトハ前章既ニ説キタル所ナリ而シテ船主ノ位置ヨリ言フ時ハ萬一ノ場合ヲ豫想シ除外例ヲ船荷證券ニ再記スルノ安全ナルニ如カズ若之ヲ再記スルコト能ハザル時ハ前ニ掲ゲタルガ如キ曖昧ナル句ニ代フルニ運賃及ビ除外例ヲ包含スル一切ノ條項ハ何年何月何日附ノ運送契約書ニ從フ

"Freight and all conditions, including negligence clause, as per C/P dated....."

ト詳記スルヲ便トス

斯ノ如ク除外例ヲ設ケタル以上ハ船主ハ積荷ノ損害ニ就キ毫モ責ナキガ如シト雖モ既ニ述べタルガ如ク船内積付ノ方法ヲ誤リ又ハ船舶ノ不適航ヨリ起ル損害又ハ貨物ノ引渡不足即荷不足等ニ就

F.P.Nos. 855

除外例ハ船主ノ責任一切ヲ免除セズ

キテハ依然トシテ責アルコト勿論ナリ然レドモ今日船荷證券ノ多數ハ此等ニ就キ何等定ムル所ナキヲ以テ或ハ除外例中ニ包含セラル、モノト認メラル、虞アリ是ニ於テカ一八九三年ノ龍動會議ニ於テハ左ノ如ク議決セリ

船主ハ貨物ノ船積又ハ積付ニ就キ適當ナル熟練又ハ注意ヲ缺キタルガ爲メニ生セシメタル損害ノ責ヲ負フベシ

尤モ北獨逸汽船會社用船荷證券ニハ其條項ノ劈頭ニ左ノ如キ句アリ

船主ハ船舶ノ缺點(普通検査ニヨリ發見シ得ラレザル缺點ヲ除ク)積付、保管、荷扱、引渡ニ就キ船員又ハ使用人ノ過失、怠慢ヨリ生ズル損害ニ付キ出貨主ニ責ヲ負フ此責任ニ反對ノ條項並ニ除外例等ハ總ベテ無効タルベシ

"Owners to be responsible to shippers for any damage arising from defects of the ship, except in cases where such defects could not be discovered during the usual careful inspection of the ship, also for faults or neglect of their servants as to proper stowage, custody, handling and delivery of the cargo. All agreements or clauses to the contrary to be null and void."

然レドモ實際ノ慣習ヲ看ルニ寧ロ甚シキモノアリ例ヘバ東洋地方ニ於テ支那人ノ苦情ヲ防クガ爲メ船積當初ノ模様如何ニ拘ラズ恰モ損害アリシカノ如ク船荷證券面ニ "Wet and loose" ナル護膜版ヲ捺シ陸揚港ニ於テ漏損毀損等アルモ除外例ヲ楯トシテ荷受主ヲ瞞着スルモノアリ本邦ニ於テモ北陸、北海道地方ヨリ船積スル米穀肥料ノ如キハ其船荷證券面ノ摘要欄内ニ或ハ「雨天積込」夜中積込「又ハ」元地濡等ト記入スルモノアルコト既ニ述べタルガ如シ是孰レモ荷受主ヨリ苦情ヲ申出サル、豫防手段ニ外ナラザルヲ以テ如上ノ記事アルニ拘ラズ陸揚港ニ到着シタル貨物ガ毫モ異狀ナキコト尠カラズト云フ

第三節 其他ノ條項

實際ノ慣習

本節ニ於テハ船荷證券並ニ運送契約書中除外例以外ノ條項ニ就キ説明セントス

第一 航路外航行條項 (Deviation Clause) 船舶ノ都合ニヨリ出帆ヲ延期シ積荷ヲ取殘シ又ハ船舶ヲ變更スベキ條項並ニ豫定外寄港ノ條項

航路外航行條項
止ムヲ得ザル
航海ノ變更
村モハハ

航路外航行トハ通常止ムヲ得ザルニ出デタル航路又ハ航海ノ變更ヲ云フ而シテ止ムヲ得ザルニ出デタル航路ノ變更トハ航海中船舶暴風雨ニ遭遇シ其難ヲ避ケントスル場合又ハ他船ノ救助ニ赴カントシテ航路ヲ變更シタル場合等ヲ云フ而シテ英國ニ於テ救助ニ關シテハ人命救助ニ限り止ムヲ得ザルニ出デタル航路ノ變更ト認ムルモ人命以外例ヘバ船舶又ハ積荷ノ救助ノ爲メ航路外ニ航行スルガ如キハ止ムヲ得ザル航路ノ變更トハ認メズ其他ノ諸國ニ於テモ此點ニ就キ慣習大同小異ナリ然レドモ船舶ノ遭難ニ當リテハ相互ニ救助ヲ爲スハ船員ノ德義ニ屬スルガ故ニ歐洲大陸一般ノ傾向ハ之ヲ獎勵シ獨リ人命ノミナラズ或ハ人命ノ必要品ヲ救助スルガ如キ場合其他猶一層進歩セル所ニテハ總ベテ救助ニ赴クガ爲メ航路ヲ變更スル場合ハ止ムヲ得ザル航路ノ變更ト認ムルモノアリ止ムヲ得ザル航路ノ變更ト認メラル、場合ハ右述ベタル所ノ外必要品ノ缺乏ヲ補ハントスル場合又ハ船員ガ病痾ニ罹リタル等ヨリ航海ニ差支ヲ生ジタル時更ニ船員雇入ノ爲ニ航路外ニ寄港シタル場合其他流水ヲ避ケンガ爲メ又ハ敵船ノ捕拿ヲ免レンガ爲メ航路外ニ航行シタル場合ヲモ包含ス彼ノ貨物積取ノ爲メ航路外ニ航行スルガ如キハ之ヲ止ムヲ得ザルモノト認メズ

止ムヲ得ザルニ出デタル航海ノ變更トハ例ヘバ某船舶歐洲ヨリ日本ニ向ケ出帆シタル後日露戰爭破裂シタルガ爲ニ地中海附近ニ到ラバ露國警備艦ニ捕獲セラル、虞アルガ如キ場合ニ完ク航海ヲ中止シテ更ニ他ノ航海ニ從事スルガ如キ或ハ到達港ガ封鎖セラレ又結氷シタルガ爲メ入港スルコト能ハザル時他ノ航海ニ就クガ如キ是ナリ

我國ニ使用セラル、船荷證券ノ條項トシテ記載セル所左ノ如シ

本船ハ生命財產及ビ船舶ノ救助避難若クハ必要品積込其他止ムヲ得ザル事由ノ爲メ航路外ニ出テ若クハ航海ノ順序ヲ變更スルコトアルベシ

任意ノ航路外航行

航路外航行ノ條項ト雖モ間々任意ノ場合ヲ包含スルモノアリ

本船ハ時宜ニヨリ水先人ヲ使用シ又使用セザルコトアルベシ又他船ノ救助曳船又ハ如何ナル目的ニ出テタルトナ間ハズ航路外ニ航行シ又ハ位置ノ如何チ間ハズ豫定外ノ港ニ寄港スルコトヲ得

“The ships are to be at liberty to sail with or without pilots and to tow and assist vessels in all situations and also to deviate from the voyage for and purpose or to touch and stay at other ports either in or out of the way.”

又エム、エム會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

當會社船ハ如何ナル港灣河ニ出入スルモ又水先人ヲ使用スルトセザルト又時ト場所トヲ論セス他船ノ曳船、救助、其他ノ理由ノ爲メ航路外ニ航行スルモ任意タルベシ

“The Co's ships are at liberty to enter any ports, bays, roads or rivers, to sail with or without pilots, deviate from their usual course, and to tow or assist vessel in any situation and in all circumstances.”

北獨逸汽船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

本船ハ普通ノ航路ナルト否トナ間ハズ其目的ヲ間ハズ中間港ニ寄港スルコトヲ得又水先人ヲ使用セザルコトアルベシ又難破船ノ曳船、救助、生命財產ノ救助ノ爲メ航路外ニ航行スルコトアルベシ修繕ノ爲メ避難港ニ入港シタル時ハ他船ヲ以テ貨物ヲ陸揚港ニ送達スルコトアルベシ但接續中解船ノ危險ハ出貨主ノ負擔トス

“Ship to be at liberty to call at intermediate ports, in or out of the customary route, for any purposes, to sail without pilots, to tow and assist vessels in distress and to deviate for the purpose of saving life or property; also at liberty in case the ship shall put into a port of refuge for repairs, to tranship the goods to their destination by other vessels, and with liberty to convey goods to and from the ship at shippers' risk.”

又日本郵船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

生命財產救助ノ爲メ航路外ニ航行スルモ將又尋常ノ航路ノ内外ヲ問ハズ其順序ヲ論セズ貨物ノ船積陸揚船客ノ乗船下船石炭其他必需品ノ買入ノ爲メ豫定外廣告外ノ港ニ出入スルモ水先人ヲ使用セザルモ又難破船ヲ曳船救助スルモ差支ナシ

“..... with liberty to deviate for the purpose of saving life or property, to call at any port or ports in or out of the customary or advertised route, in any order, to discharge and receive goods and passengers and to take in coal and other necessary supplies at any port or ports, to sail without pilots, and to tow and assist vessels in distress.....”

又黑海並ニアリフ海運送契約書ノ如キハ左ノ如キ專横ナル航路外航行條項ヲ挿入セリ

船長ハ陸揚港ニ向ケ本船出帆ノ前後ヲ問ハズ貨物又ハ船客ノ船積陸揚ハ勿論其他目的ノ如何ヲ問ハズ一回又ハ數回航路ノ順序ニ論ナク豫定航路ノ内外ヲ問ハズ如何ナル港ニ向ケ進行シ又ハ碇泊スルモ差支ナシ此等ノ港場所並ニ航行ハ豫期シタル航海ノ内ニ含マルトモノト看做サルベシ本條船長ノ有スル特權ハ本契約書ニ在ル文言(印刷セラレタルト加記セラレタルト)ニヨリ毫モ左右セラレハコトナシ

“with liberty to the master either before or after proceeding towards the port of discharge to proceed to, and stay at, any ports or places whatsoever (although in a contrary direction to, or out of, or beyond the route to the said port of discharge) once or oftener, in any order backwards or forwards, for loading or discharging cargo or passengers, or for any purpose whatever, and all such ports, places, and sailing shall be deemed included within the intended voyage. This liability is not to be considered as restricted by any word in this contract, whether written or printed.”

要スルニ航路外航行トハ止ムヲ得ザルニ出デタルモノト否ラザルモノトアリ前者ハ別ニ船荷證券ニ記載スル所ナキモ海上ノ危険トシテ通常船主ハ其責ヲ免レ之ヲ海上保險ニ附センカ保險者之ヲ負擔スルモ後者ニ在リテハ船主特約ヲ以テ其責ヲ免ル、モノニシテ貨主ハ豫メ保險者ト特約スルニ非ザレバ之ガ填補ヲ受クルノ途ナシ

英國ノ慣習

F.P.Nos.705

W.H. 383-384
R.H. 99

Leg. B. 129

ード、エツシヤ(Lord Esher)ハ論ジテ曰ク

凡航路ノ指定ハ運送契約中最重要ナル部分ノ一ニシテ航路ノ記載ヲ契約ノ要素ト認メザルニ於テハ是商事ヲ無視スルモノト謂ハザルベカラズ蓋甲地ヨリ乙地ニ運送ヲ爲スベキ契約ハ如何ナル迂迴セル航路ヲ探ルモ其時間如何ニ多キチ要スルモ兎モ角乙地迄運送スレバ契約ノ履行ヲナシタルモノト思フハ甚シキ間違ニシテ必ズ普通一般ノ航路ニ依ラザルベカラズ蓋荷送主ハ普通航路ニ要スル時間ヲ豫想シテ運送ヲ委託スルモノニシテ船主モ亦多クハ航海ノ長短ニヨリ運賃ノ多少ヲ約束スルモノナリ尤モ甲地ヨリ乙地迄ノ航路ハ必シモ一直線ノモノニ非ズ時々風雨潮流其他ノ事情ニヨリ變化スベキモ要スルニ普通各船ノ探ルベキ航路ハ慣習上一定セルモノナレバ若シテ離レテ任意航路外ノ航行ヲ許ストモ積載セル積荷ハ著シキ危険ニ曝サル、コトアリ之ヲ極端ニ曲解セバ世界到ル所ニ寄港スルモ妨ケナキコト、ナル豈斯ノ如キ理アラント放ニ航路外航行ノ自由ヲ船主ニ與フル條項アルモ此條項ハ普通ノ航路内ニ於テ任意ニ寄港碇泊スルモ妨ケナキコトト解スルヲ至當トス又航路ノ内外ヲ問ハズ順序ニ論ナク(In any order)石炭搭載貨物積入其他目的ノ如何ヲ問ハズ寄港碇泊スルモ妨ケナキ專横ナル條項アルモ普通ノ航路以內ニ於テ地理學上ノ順序(Geographical order)ヲ撰バザルベカラズ若航路以外ニ出テタルガ爲メ貨物全損トナリ又ハ航海運送シ貨物ニ損傷ヲ生セシメタル時ハ船主其責ニ任セザルベカラズ

船主ハ豫メ出帆期日ヲ定ムルモ不可抗力其他止ムヲ得ザル時ハ之ヲ延期スルコトアリ不可抗力ニヨリ延期スル時ハ元來止ムヲ得ザルモノナレドモ船主ノ都合ニヨリ延期スル時ハ貨主ノ位置ヨリ云ヘバ市場相場ノ變動其他ノ爲メ損害ヲ被ルコトナシトセズ然ルニ船主ニ於テ船艙其他ノ理由ニテ出帆期日ヲ變動セシガ爲メ生ゼル損害ニ就キ責ヲ負フハ到底出來難キコトナレバ豫メ船荷證券ニ特約ヲ爲シ概左ノ如キ規定ヲ存ス

船艙ノ都合ニ
ヨリ出帆ヲ延
期スベキ條項

當會社ハ便宜出帆ノ日時又ハ航路ヲ變更スルコトアルベシ此變更ニヨリ生ジタル損害ハ當會社之ヲ賠償セズ

然レドモ出帆期日ヲ變更スルコトハ船主ノ信用ニ關スルコト重大ナレバ妄ニ之ヲ爲サバ爾ヲ普通トス

新聞紙ニ廣告セル出帆日ハ之ヲ以テ船主ヲ束縛スルモノト爲スハ誤ニシテ海外ニ於テモ此種ノ廣告ハ一片ノ豫告ニ過ギズ從テ新聞紙ニ廣告セル出帆期日ニ相違アル時ハ特約ナキ時ト雖モ船主其責ヲ負フニ及バザルハ勿論ナリ

積荷ヲ取殘シ又ハ船舶ヲ變更スベキ場合ハ其損害積荷ニ就キ起ルモノニシテ例ヘバ天候不良其他不可抗力ノ爲メ積荷ノ一部ヲ取殘シ他船又ハ次回ノ本船ニテ廻漕シ又ハ航海ノ途中ニ於テ止ムヲ得ザル事情起リシガ爲メ其航海ヲ續行スル能ハザルニ至リタル時他船ニ積替ヘ到達港ニ送り届クル等はナリ本邦ニ於ケル船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

當會社ハ便宜荷送人又ハ荷受人ノ危険ヲ以テ運送品ヲ他ノ船舶ニ積移シ又ハ一時陸揚若クハ舢舨取ノ上更ニ船積ヲ爲シ運送スルコトアルヘシ

ビーオー會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

當會社ハ上記ノ貨物ヲ本會社ノ他船又ハ社外船ニテ陸揚港ニ送附スルコトアルベシ陸揚接續庫入再積込ノ費用ハ當會社ニ於テ負擔スルモ完ク貨主ノ危険ヲ以テ爲スモノトス

“The Co. are to be at liberty to carry the said goods to their port of destination by the above or other steamer or steamers ship or ships either belonging to the Co. or to other persons proceeding either directly or indirectly to such port and in so doing to carry the goods beyond their port of destination and to tranship or land and store the goods either on shore or afloat and reship and forward the same at the Co's expense but at merchant's risk.”

日本郵船會社船英文船荷證券ノ條項ハ殆右ト同意義ナリ即左ノ如シ

“The Co. reserves the right of forwarding the goods to their destination by any other vessel belonging either to this or any other Co. or individual, subject to all conditions which may be exacted by the Cos. or individuals who may complete the transit, the risk of transhipment, landing, storing and reshipment to be borne by the shippers, consignees or owners of the good, but the expense to be defrayed by the Co.”

貨物積付ノ不良ニ由リ往々持越(over-earriage)ヲ爲スコトアリ若持越ノ爲メ貨物ニ損失損害ヲ生ゼシメタル時ハ當然船主其責ヲ免ル、コトヲ得ザルカ爲メ豫メ船荷證券ニ持越貨物ニ就キ責ニ任ゼザル條項ヲ挿入ス

上記ノ貨物が到達港ニテ發見セラレザル時ハ發見次第早便ニテ當會社ノ危険ト費用トヲ以テ陸揚港ニ送附スベシ但持越貨物ノ損失損害ニ就キ當會社責ヲ負ハズ

“In case any part of the goods herein specified cannot be found during the ships' stay at the port of the goods' destination, the goods are, when found, to be forwarded to their destination by first steamer at the Co's risk and expense, but free of liability for any loss, depreciation or damage arising from overcarriage or from return carriage.”

航路ノ内外ヲ問ハズ途中豫定セザル港ニ寄港スルガ如キ場合ニモ猶止ムヲ得ザルニ出デタル時ト否ラザル時トアリ止ムヲ得ザルニ出デタル寄港ハ之ヲ避難港ヘノ入港ト云フ

避難港ヘノ入港ヲ更ニ詳別シテ二トス一ハ既ニ事實ニ現ハレタル危険ヲ避クルガ爲メ二ハ未事實ニ現ハレザルモ必起ルベキ危険ヲ未然ニ避ケントスル場合はナリ暴風雨ニ遭遇シ船舶進退ノ自由ヲ失ヒ或ハ大損害ヲ被リ將ニ沈没ノ不幸ニ陥ラントスル時或ハ假修繕ヲ行フガ爲メ附近ノ港ニ避難スルハ前者ニ屬シ暴風雨ノ警戒アリ天候漸ク不穩ノ兆ヲ呈スルニ際シ附近ノ港ニ入港シテ危険ノ遠ザカルヲ待ツガ如キハ後者ニ屬ス

止ムヲ得ザルニ出デタル航路航海並ニ船舶ノ變更又ハ避難港ヘノ入港ニ就キテハ船主當然其責ヲ免ルベキハ既ニ述べタルガ如シ然ルニ船舶ノ都合上航路航海並ニ船舶ヲ變更シ又ハ寄港スルニ就

積荷ヲ取殘シ又ハ船舶ヲ變更スベキ條項

持越貨物ニ就キテノ條項

避難港ヘ入港ノ條項

キテハ之ヲ船長ノ自由ニ放任スルコト不條理ナリトノ嫌アレドモ一方ヨリ言フ時ハ帆船時代ト異ナリ今日汽船ノ航海ニハ積荷ノ都合ニヨリテハ長航海ノ内或ハ航路ヲ變更シ又ハ豫定ノ港以外ニ寄港スル權ヲ與ヘザル時ハ船長ノ不便亦甚シトス是近來ノ船荷證券ニハ止ムヲ得ザルニ出デザルモノト雖モ船主其責ヲ免ルベキ條項ヲ附スルニ至リシ所以ナリ

第二 水先案内ノ使用ヲ船主ノ自由ニ放任スル條項

抑水先案内ハ船舶ガ不慣ノ港ニ出入スルニ際シ必要ナルモノニシテ定期航船ニシテ船長ガ十分港ノ水理ニ通ズル時ハ必要ナキモノトス例ヘバ龍動又ハ安土阿府ノ如キ河ヲ廻リテ始メテ到達シ得ベキ港ニ在リテハ船長ニシテ水理ニ精通セザレバ往々淺瀬ニ乗揚グル虞アリ然レドモ十數年定期航海船ニ乗込メル船長ノ如キハ水先案内ニ比スレバ一層水理ニ精通スル者モアルベシ故ニ水先案内ノ使用ニ付キ船主ニ自由ヲ與フルハ寧ロ當然トス本邦ニ使用セラル、船荷證券ニハ

本船ハ時宜ニヨリ水先人ヲ使用シ又ハ使用セザルコトアルベシ

トアリ海外ノ船荷證券ニモ殆之ニ類スル條項アリ(航路外航行條項ノ部參照)

水先案内ノ使用ヲ船主ニ放任スルノ條項ハ實際ニ於テ左程船主ノ利益トナラズ蓋法律ニヨリ出入港ニ水先人ヲ必ズ使用セザルベカラザル所謂強制水先法ノ施行地ニ於テ水先人ヲ使用スルコトハ即船舶ガ航海ニ堪フルコトノ保證ノ一トモ看ルベケレバ船長ハ船荷證券ノ條項ヲ楯トシ水先人ヲ使用セザリシガ爲メ貨物ニ生ゼシメタル損害ニ就キ貨主ニ對スル責ヲ免カル、コト能ハズ何トナレバ是法律ニ違反セルコトヲ契約セルモノニシテ社會ノ公安ヲ害スルモノト謂フベク斯ノ如キ場合ニ於ケル船體及ビ貨物ノ保險者ハ假令其損失損害ガ船長以下ノ不熟練ニ直接原因セザル時ト雖モ直ニ賠償ノ責任ヲ免カルベシ又強制水先ノ制ヲ敷カザル港ニ出入スル場合ニ在リテモ水路甚危

水先案内ノ使用ヲ船主ノ自由ニ放任スル條項

R.H.101

強制水先

甲板積貨物ニ關スル條項

Leg. B. 208

險ナル時ハ水先人ヲ使用スルコト世間一般ノ慣習ナル場合ニ之ヲ使用セザリシガ爲メ貨物ニ損害ヲ及ボシタル時ハ船荷證券ノ條項ニヨリ船長ハ自己ノ過失怠慢ノ責ヲ免カル、コトヲ得ベキヤ否ヤハ事實問題トナルベシ

第三 甲板積貨物ニ關スル條項

貨物ノ種類ニヨリテハ艙内ニ積入ル、ヲ不便トスル材木家畜其他ノ動物野菜盆栽其他ノ植物等アリ又他ノ貨物ニ損害ヲ及ボス虞アル酸類其他ノ危險物アリ是等ノ貨物ヲ荷受スル時ハ豫メ特約ノ上、甲板積ト爲スコトアリ又何等特約ヲ爲サルモ商慣習上甲板積ト爲スコトモアリ而シテ甲板積貨物ハ船長ニ於テ注意ヲ缺カザリシ時ト雖モ或ハ波浪ノ奪フ所トナル等損害ヲ免レズ特ニ海難ヲ避クルガ爲ニ投荷ノ必要アル場合ハ第一ニ海中ニ投ゼラル、モノハ即甲板積貨物トス故ニ此種ノ投荷ヨリ生ズル損害ニ就キハ船主豫メ特約ヲ爲シ其責ニ任ゼザルモノトス本邦ニ使用セラル、船荷證券ニモ左ノ條項アリ

甲板ニ積載シタル運送品ハ荷受人又ハ荷受人ノ危險ヲ以テ運送スルモノトス

ビ、オー其他外國汽船會社ノ船荷證券ニモ亦同様ノ條項アリ

本邦ノ慣習ニ從ヘバ海上保險者ハ特約ヲ以テ割増保險料ノ支拂ヲ受クレバ甲板積貨物ノ投荷ニ限リ其損害ヲ擔保スト雖モ一般ニ波濤ニ奪ヒ去ラル、等ノ危險ハ其責ニ任ゼザルコト普通ナリ然ルニ海外ニ於テハ斯ノ如キ特約ヲ以テスル時ハ保險者ハ一切甲板上ノ危險ヲ擔保スルガ如シ尤モ「甲板積」トシテ保險セラレズ且普通甲板積ト爲スベカラザル貨物ヲ甲板積トシテ船主ト特約シタル時ノ危險ハ一切保險者之ヲ擔保セズ

今甲板積貨物ガ航海中喪失シタル時ハ何人ガ責ヲ負フベキヤニ付キ左ニ説ク所アラン

甲板積貨物喪失時ノ責任者

M.N.O.
Vol.
XIII 55-58

甲板積貨物ト保險

一 何等ノ商慣習モナク又船荷證券ニ一般印刷シタル條項ノ外ニ "on Deck" 又ハ "on Deck at owners' risk" 其他之ニ類似ノ取除ヲ爲サザルシ時ハ假令荷送人ト口頭ニテ甲板積ト爲ス特約ヲ爲シタリトスルモ法律上積内ニ積入レラレタルモノト看做サレ船主ハ一般甲板積貨物ノ條項ヲ備トシ得ズ

一 何等商慣習ハナキモ荷送人ト相談ノ上甲板積ト爲シタル時ハ波瀾ノ奪フ所トナリ又ハ海難ニ罹リ投荷ヲ爲シタル時ハ豫メ保險者ト特約ヲ爲シタル時ノ外貨主其損失ヲ負擔セザルベカラズ

一 商慣習ニヨリ甲板積トナシ投荷セラレタル時ハ普通共同海損ト看做サレザレドモ或地方ニ於ケル材木其他ノ運送ニ於テハ他ノ貨主ガ甲板積ト爲スコトヲ承認セバ其投荷ハ共同海損ト看做ス慣習アリ尤モ船荷證券ニ除外アルカ又ハ共同海損ハヨークアントウアーフ規定ニヨリ精算セラレベキ時ハ共同海損トシテ他ノ貨主及ビ船主ヨリ損害賠償ヲ受クルコト能ハズ

第四 船主ノ危險ヲ擔保セザル條項

船主ノ危險ハ本邦ニ行ハル、船荷證券ニ於テハ之ヲ船主ノ負擔トセズ蓋理論トシテ貨物ハ本船ニテ受取り本船ニテ引渡スヲ原則トスルガ故ニ通常船積港ニテ貨物ヲ船主ヨリ本船ニ仕向ケ又到達港ニ於テ右貨物ヲ船主ニ積卸スハ實ニ荷送主又ハ荷受主ノ危險ト費用トヲ以テ爲スモノト解釋スルヲ妥當トスレバナリ然レドモ實際ノ取扱上貨物ノ引渡ハ陸地ニ於テ之ヲ爲シ所謂荷捌所ニ於テ荷捌スルガ故ニ船主ノ貨銀ハ運賃ニ込メ計算スルコトアリ斯ノ如キ場合ニハ船主ノ危險モ本船同様船主ニ於テ負擔スルコト、ナルベシ

船主ノ危險ハ本邦ニ行ハル、保險證券ニヨレバ特別ノ契約アル場合ノ外一切之ヲ擔保スルコトナシ海外ニ於テハ完ク之ニ反シ其保險證券ニ之ヲ擔保スル旨ノ規約存ス

第五 荷造ノ不完全等ヨリ生ズル損害ニ就キテノ條項

荷造ノ不完全ヨリ生ズル損害ハ畢竟貨主ノ不注意ヨリ來ルモノナレバ船主其責ニ任ゼザルハ勿論ナリ荷造ノ不完全ニ就キ困難ナル問題ハ極端ニ之ヲ言フ時ハ本邦ニ於ケル商品ノ如キハ殆完全ト認ムベキ荷造ナキコト是ナリ是ハ要スルニ和船時代ニ近距離ヲ航海セシ際ノ荷造ヲ今日ニ至ル迄因襲スルノ結果タラズンバアルベカラズ彼數千噸ノ汽船ニ貨物ノ積込積卸ヲ爲ス時ハ揚貨機ヲ用ウルガ爲メ荷造ノ不完全ナルニヨリ損害ヲ醸スハ常ニ目撃スル所トス又荷造ノ不完全ヨリ延テ拔荷ノ弊ヲ増スハ爭ハレザル事實トス

荷造ノ不完全ヨリ生ズル損害ハ船主其責ナキコト固ヨリ明白ナルモ孰レモ荷造ノ不完全ガ直接ノ原因タルヲ要シ其他ノ場合ニハ船主又ハ保險者其責ヲ負フベキモノトス例ヘバ直接船員ノ重大ナル過失ニヨリテ生ゼシ損害ニシテ荷造ノ不完全ハ間接ノ原因ニ過ギザル時ノ如キ是ナリ本邦ニ行ハル、船荷證券ノ條項ニモ

當會社ハ荷造ノ不完全其他荷造人ノ過失ニ因リテ生ジタル損害ニ付キ賠償ノ責ニ任ゼズ

ミルク其他罐詰物ニシテ其荷造生木ノ箱入ナル時ハ箱ニ含メル水分又假令生木ニ非ザルモ船積前雪霜等ニ曝サレタル水分ガ箱内ニテ蒸發シ從テ罐ニ汚點(Stain)ヲ生ズルノミナラズ甚シキハ品質劣等トナリ賣買ニ堪ヘザル(Unmarketable)コトアリ斯ノ如キ辨金豫防策トシテ船荷證券ニ

引渡ノ際箱ノ變色セルト否トナ問ハズ中味ノ状態ニ付キ船主其責ヲ負ハズ

"Ship not responsible for condition of contents, whether caused by discoloration upon delivery or not."

等專横ナル條項ヲ附記スルコトアリ

又バケツ (Buckets) 等別ニ外部ヲ防護スル荷造ナキモノハ揚卸並ニ航海中損傷ヲ來スモ其責ニ任ゼザル旨ヲ特ニ船荷證券ニ附記スルハ寧ロ至當トス即

上記ノ貨物ハ外部ヲ防護スル荷造ナキガ故當社其損傷ノ責ヲ負ハズ
"unprotected, steamer n/r for damage (lent)."

此他カルカツタヨリ輸出スルガンニー(Gunny)ノ船荷證券ニハ

帶金ガ潰裂スルモ俵裝ヲ切解スルモ其責ニ任ゼズ荷送人ノ保證通り内部ニ更ニターボーリンヲ以テ防護セザリシ時ハ擦傷又ハ汚點ヲ生ズルモ其責ニ任ゼズ

"Not accountable for bands bursting or cutting the bales: bales guaranteed by shippers to be covered with an inner tarpaulin, if packed otherwise, steamer not accountable for chafes, nor for stain however incurred."

等詳細荷造ニ就キ嚴重ナル條項アリ

第六 荷印其他ノ不良ニ因ル損害ニ就キテノ條項

荷印等ノ不良ニ因ル損害ノ如キモ船主並ニ保險者其責ニ任ゼザルヲ至當トス既ニ船積引渡手續ノ章ニ詳述シタルガ如ク積荷ニ荷印其他ノ必要ナルハ贅言ヲ待タザル所ナレドモ我沿岸航海ノ實況ヲ觀ルニ或ハ完ク之ヲ附セザルモノアリ或ハ之ヲ附スルモ甚疎雑ナルガ爲メ貨物混合シ種々ノ損害ヲ釀スコトアリ此種ノ損害ハ船主其責ニ任ゼザルコトヲ船荷證券ニ於テ特約スルハ各國ノ例トス

荷印若クハ明細ノ荷札ナク又ハ荷受人不分明ナル時ハ荷物ノ渡シ違ヒ、引渡遲延、紛失、毀損アルモ當社責ニ任ゼズ

ビー、オー會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

貨物ニハ必明瞭ナル荷印、員數、陸揚港ノ名ヲ附セザルベカラズ否ラザレバ當社ハ引渡遲延、渡シ違ヒニ付キ其責ニ任ゼズ

"All goods must be distinctly marked with the marks, numbers and port of destination, otherwise the Co. will not be responsible for detention or mis-delivery."

荷印其他ノ不良ニ就キテノ條項

エム、エム會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

陸揚港ノ名ハ荷印及ビ員數ト共ニ各個ニ明記スルヲ要ス當社ハ荷造ノ不良ヨリ生ズル損害並ニ荷印宛名ノ書違ヒ又ハ書落シヨリ生ズル引渡遲延、渡シ違ヒニ付キ其責ニ任ゼズ代理店ニ於テ荷受シタル貨物ト雖モ荷造必シモ其好ナルモノト認定セラレザルベシ貨幣貴重品ハ俵裝ト爲ス時ハ縫ヒ目ヲ内ニシ各縫ヒ目ニ封印ヲ要ス若又箱入ト爲ス時ハ交セ目ニ穴ヲ穿テ紐ヲ周圍ニ廻ハシ其上ニ封印スルベシ封印ヲ施シタル時ハ船荷證券ニモ同一ノ封印ヲ捺スベシ

"The port of delivery must be distinctly marked on every package, in addition to the usual shipping marks and numbers. The Co. shall not be held responsible for damage arising from insufficient packing, nor for delays or wrong deliveries, caused by errors or omission in marking and addressing the packages. The acceptance of packages by the agents must not be taken as an admission of the solidity of the packing. "Specie and valuables must be packed either in strong bags with seams inside, and sealed on each seam, or in boxes sealed over tape in countersunk holes, in both cases the B/L must bear the same seal."

北獨逸汽船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

荷印ノ不良、貨物ノ品名、重量ノ不正ナル表示ニヨリ罰金ニ處セラレ又ハ損害ヲ受ケタル時ハ貨主ニ於テ之ヲ負擔スベシ
"Shippers and consignees to be responsible for all fines or damages which the ship or cargo may incur or suffer by reason of incorrect or insufficient marking of packages or description of their weight or contents."

又或船荷證券ニハ

各個ニ長サ二吋以上ノ文字ニテ陸揚港ノ名ヲ記サレハ引渡ノ正確ヲ保證セズ
"The shipowner will not be responsible for correct delivery unless each package is marked by the shipper with the name of port of delivery in letters not less than two inches in length."

等嚴重ナル條項アルモノアリ寄港地多キ時ハ十分積付ニ留意スルモ猶揚達ヲ爲スコト此カラズ是陸揚港名ヲ貨物ノ上ニ明記スル必要アル所以ナリ

荷印其他ノ不良ニ因ル損害ニ就キテノ條項ヲ以テ船主ガ貨物ノ損害、遲延ノ責ニ任ゼザラント欲セバ宜シク之ヲ立證セザルベカラズ然レドモ船荷證券ガ轉々シテ第三者ノ手ニ在ル時ハ之ヲ立證スルコト甚困難ナル場合アリ又荷印抹殺ガ積付ノ不注意ニ由ル等ノ場合モ右ノ條項ヲ楯トシテ之ヲ免ル、コト能ハズ又某船荷證券ニハ左ノ如キ條項ヲ存スルモノアリ

荷送主ノ船積前每個商品ニ明瞭正確ニシテ必要ナル荷印、員數又ハ宛名ヲ附セザル時ハ其喪失又ハ引渡違ヒニ付キ責ヲ負フコトナシ

"The ship shall not be responsible for correct delivery or loss unless each package is distinctly, correctly, and permanently marked by the merchant before shipment with the mark and number or address."

斯ノ如キ條項アリシガ爲メ荷印ノ紛ラハシキ結果船荷證券ノ被裏書人 (Endorsee) 即未着貨物ノ買受人 (Assignee) ハ往々不慮ノ損害ヲ蒙ルコトアリ一例ヲ舉グレバ某商人澳洲ヨリ英國ニ向ク羊肉一、〇七六個ヲ輸入シ其人所持ノ船荷證券ニハ 622X 印ノモノ六〇八個 722X 印ノモノ四六八個トアリシヲ以テ本船入港ノ上船荷證券通リ引渡ヲ請求セシ所 722X 印四六八個ハ引渡濟トナリタレドモ殘額六〇八個ノ内一〇一個ノ荷印ハ 522X 印ナリシガ爲メ引取方ヲ拒絕シ遂ニ法庭ヲ煩ハスニ至リ結局買受人ノ敗訴トナレリ今其判決ニヨレバ 622X 印ハ 622X 印ノモノニ比シ品質價格ニ差等ナキガ故コトハ荷印ノ紛ラハシキヨリ輸出地ニテ 622X 印ノ代リニ積出サレタルモノト推定スベシ元來船荷證券ニ明白ニ 622X 印ノモノ六〇八個ト署名シタル以上ハ未着商品ノ買受人ハ法理上毫モ 522X 印ノモノヲ代品トシテ受取ル義務ナシト雖モ船荷證券ニハ荷印不完全ノ爲メニ生ズル損失損害ニ就キ船主責ヲ負ハザルコトヲ記載シアルガ爲メ結局 522X 印一〇一個ハ荷印不完全ノモノト認メ得ベク從テ船主ハ船荷證券記載ノ荷印ノモノヲ引渡ス責ヲシト云フニ在リ (Parsons v. New Zealand Shipping Co.)

又海外ニテハ大口ノ貨物ニ對シテハ時間ノ節約上一々船積ノ際ニ荷印員數等ヲ吟味セズ唯個數ヲ當リ一方ニ船荷證券ニ

カウンターマーク、員數ニ付キ當社其責ヲ負ハズ

F. P. Nos. 629

A. W. 70

"n/r for countermarks and numbers."

ナル條項ヲ加ヘ又其甚シキモノハ

荷印、カウンターマーク、員數ニ付キ當社其責ヲ負ハズ

"n/r for marks, countermarks and numbers."

等ノ條項ヲ附加スルモノアリ

第七 品名ヲ偽リテ船積シタル貨物並ニ危害品船積ニ就キテノ條項

品名ヲ偽リテ貨物ヲ船積シタルガ爲メ生ジタル損害ニ就キテハ船主其責ニ任ゼザルコト勿論ニシテ或場合ニハ貨主ニ損害賠償ヲ請求シ得ベシ例ヘバ彼危害品ノ如キ船中ニ於テ特別ノ取扱ヲ要スルモノハ運賃ノ割合モ亦高キモノナレバ若貨主ガ此種ノ貨物ヲ普通品トシテ船積シタル時ハソレガ爲メニ貨物自身ノ被レル損害ヲ負擔セザルハ勿論他ノ貨物ニ及ボセル損害ニ就キテモ特ニ該貨主ニ損害賠償ヲ請求シ得ベシ

危害品ノ船積ニ就キテハ第八章ニ於テ述べタルガ如ク貨物ノ外部並ニ出荷申込書ニ品名ヲ明記シ船主ノ承諾ヲ得テ始メテ船積スベキモノニシテ若此手續ヲ怠ル時ハ危害物品船積規則ニ觸レ罰金ニ處セラルベシ既ニ船積シタル後之ヲ發見セバ船長ハ何時一テモ之ヲ海外ニ放棄スルコトヲ得ベシ要スルニ品名ヲ偽リテ船積シタル貨物並ニ危害品ニ就キテハ船主其責ニ任ゼザルハ固ヨリ至當トス此等ノ條項トシテ本邦ニ使用セラル、船荷證券ノ條項ヲ掲グレバ左ノ如シ

荷送人ガ種類、記號、價格其他本證券記載ノ事項ト異ナリタル運送品ヲ船積シタル時ハ當會社ハ之ニ因リテ生ジタル一切ノ費用及ビ損害ヲ賠償セシムベシ
危険物、危害品、腐敗シ易キ物其他船舶又ハ他ノ運送品ニ損害ヲ生ズル虞アル物ハ其種類及ビ性質ヲ明告スルニ非ザレバ當會社ハ發見次第之ヲ陸揚シ又ハ之ヲ船外ニ放棄スルコトアルベシ船積港又

【第九章】 運送契約—船荷證券及ビ備船契約ノ特別條項 ● 第三節 其他ノ條項

品名ヲ偽リテ船積シタル貨物ニ就キテノ條項

危害品船積ニ就キテノ條項

新商 五三

ハ陸揚港ノ法令ニ違反シテ船積シタル運送品ニ付キ亦同シ
前項ノ場合ニ於テ當會社ハ荷送人ヲシテ一切ノ費用及ビ損害ヲ賠償セシムベシ

ビー、オー會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

危害品ヲ船積セントスル貨主ハ法令ノ定ムル所ニ遵フヲ要ス否ラザレバ罰金ニ處セララルベシ

“Shippers are cautioned against shipping goods of a dangerous or damaging nature as by so doing they become responsible for all consequential damage and render themselves liable to penalties imposed by State.”

エム、エム會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

危害品ヲ船積セントスル貨主ハ其旨書面ニテ申出テ且通告書ニ署名セザル時ハ一切ノ結果ニ付キ責任ヲ有ス船長ハ當時ノ事情ニヨリテ危害品ヲ引受クルモ謝絶スルモ任意タルベシ

“Any person or persons shipping goods of a combustible, explosive, or inflammable nature, without giving a written notice to the Co. and signing a proper declaration besides the B/L, will be liable for all damages resulting from such shipments. The Captain is at liberty to accept or refuse such articles according to circumstances.”

又北獨逸汽船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

出貨主ガ假令代理人ナル時モ又情ヲ知ラザル時モ危害品船積ニ就キ船主ト特約ヲ爲スカ又ハ貨物ノ性質ヲ明告セザル時ハ船積並ニ他ノ貨物ニ及ボセル結果ニ就キ責任ヲ負フベシ斯ノ如キ貨物ハ何等ノ賠償ヲ爲スコトナク船外ニ放棄スルコトヲ得ベシ

“Shippers accountable for any loss or damage to ship or cargo caused by inflammable, explosive, or other dangerous goods, shipped without special agreement and without full disclosure of their nature, whether such Shipper shall have been aware of it or not, and whether such shipper be principal or agent: such goods may be thrown overboard or destroyed by the master or owner of the ship at any time without compensation.”

何ヲ以テ危害品ト爲スカハ各國ノ法律又ハ慣習ニヨリ區々一定セズ本邦ノ如キハ油紙モ猶危險物中ニ包含セラル二十年前途ハ外國船ハ我油紙ニ就キ別段ノ注意ヲ爲サバリシガ嘗テビー、オー會社

船ノ紅海ヲ過グルヤ船中火災ヲ生ジ發火ノ原因ヲ探索セシニ日本ヨリ輸出セル商品ノ上包ナル油紙ニ在リシコト判然シ爾來同社ハ率先シテ油紙ヲ危害品ニ數エシヨリ其他ノ外國汽船會社モ亦之ニ倣フニ至レリ

腐敗シ易キ物品モ亦危害品同様ノ取扱ヲ受クベキガ故周到ノ注意ヲ爲サルベカラズ是腐敗ニ由リ他品ニ損害ヲ與フル虞アレバナリ

第八 貴重品ニ就キテノ條項

貴重品ノ船積及ビ船主ノ責任ニ就キ本邦ニテ使用セル證券ノ條項ハ左ノ如シ

金銀、珠玉、貨幣、有價證券、印紙類、美術品、精巧ナル機械其他ノ高價品ハ其種類及ビ價格ヲ明告スルニ非ザレバ當會社ハ如何ナル事由ニヨリテ生ジタル損害ト雖モ賠償ノ責ニ任セズ

ビー、オー會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

船荷證券ニ價格ヲ明記セザル貨幣、有價證券、金銀塊、寶玉、寶石其他ノ貨物ハ一個ニ付キ百磅以上ノ責任ヲ負ハズ

“Not accountable for money, documents gold silver, bullion, jewellery or precious stones nor for any other goods the value of which exceeds £100 for any one package unless the value be expressed on the B/L.”

北獨逸汽船會社ノ船荷證券ニハ價額明記ナキ貴重品ハ一個ニ付キ二千馬克又ハ一デシメートル立方ニ付キ四馬克以上ノ責任ヲ負ハズ又日本郵船會社ノ船荷證券ニハ同様一個ニ付キ三百圓ヲ限度トセル條項アリ

貴重品ハ多ク郵便船ニ船積セラル、モノニシテ普通品ト區別シ貴重品室 (Treasure room) ニ船積ヲ爲ス等其取扱ニ於テモ甚叮嚀ナリ故ニ若價額ヲ明記セザル時ハ普通品ト看做シ損害賠償ヲ爲スベキハ勿論當ヲ得タルモノニシテ前ニ掲グルガ如ク各國ニ行ハル、船荷證券ノ多數ハ斯ノ如キ場合ニ

貴重品ニ就キテノ條項

若損失ヲ被ルコトアルモ船主ハ或價格ヲ限リ責ヲ負フベキ條項ヲ挿入スルナリ而シテ獨貴重品ニ止マラズ普通品ニテモ若原價ヲ明告セザル時ハ一個當リ幾許又容積若クハ重量何程ニ付キ幾許ヲ以テ船主責任ノ限度ト爲ス旨ノ規定船荷證券ニ在リ蓋容積若クハ重量ニ付キ運賃ヲ計算スル時ハ其額價格取(Average)ニ比シ小ナル時ハ貨物不足又ハ損傷ニヨリ生ズル船主ノ責任ハ比較的多額トナルガ故ニ斯ノ如キ條項ヲ看ルニ至リシナリ

英商 五三
新商 三六
同 六元

貴重品引渡方
法ニ就キテノ
條項

貴重品ノ運賃ハ價格ニヨリ定ムベキモノナレバ其價格ヲ明記セザル時ハ船主ノ損失亦些少ニ非ザルナリ此ヲ以テ我商法ハ荷送主ガ貴重品ノ種類及ビ價格ヲ明告シタル時ニ非ザレバ船主ハ損害賠償ノ責任ニ任ゼズ唯普通貨物ニ相當スル損害ヲ限リ賠償ノ責任ニ任ズベキ旨ノ規定アリ
貴重品ハ多ク本船渡ト爲スヲ船主ノ便ト爲セドモ間々小荷物(Parcel)同様陸揚地ノ支店又ハ代理店ニ陸揚ノ上引渡ヲ爲スコトアリ又銀行ト特約シ貨主ノ危険ヲ以テ之ヲ陸揚シ引渡ハ銀行ヲシテ代理セシムルコトアリ例ヘバ「ビー・オー」會社船荷證券ノ條項ニヨレバ

龍動引渡ノ正貨ハ英國ノ港ニテ陸揚ノ上貨主ノ危険ヲ以テ英國銀行ニ送附スベシ但正貨ガ本船ノ揚貨機ヲ離レタル時ヲ以テ船主ノ責任完了ス
“Specie deliverable in London will be handed at a port in England, and conveyed to the Bank of England at the Co's expense but at the Merchant's risk. All liability of the Co. is to cease so soon as the specie is free from the ship's tackle.”

又エム・エム會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

正貨、貴重品ノ責任ハ甲板ニ取入レラレタル時ヲ以テ始マリ甲板ヨリ取出サレタル時ヲ以テ終了ス
“For Specie and valuables, the responsibility of the captain begins and ends on the deck of the ship.”

第九

檢疫規則其他法律命令施行ノ爲メニ生ズル危険、損害及ビ費用ニ就キ責任ニ任ゼザルノ條項及ビ到達港ガ氷結、封鎖又ハ敵手等ノ妨害アル時ハ貨主ノ危険及ビ費用ヲ以テ相當ト認ムル場所ニ荷卸ヲ爲シ爾後船主其責任ニ任ゼザル條項

檢疫規則其他
法律命令施行
ノ爲メニ生ズル
損害並ニ到達
港ガ氷結、封鎖
又ハ敵手等ノ
妨害アル時ノ
條項

惡疫流行地ヨリ輸入セル特種ノ貨物ニ付キテハ其筋ノ檢疫規則ニ基キ船庫、船檢疫所ニ積移シ消毒ヲ爲サレバ本船ノ入港又ハ貨物ノ陸揚ヲ許可セラレザルコトアリ又檢疫施行地ガ中間港ナル時ハ消毒ノ爲メ積移サレタル貨物ハ未引渡濟ノモノニ非ザルガ故ニ何等ノ特約ナキ時ハ船主ハ次船又ハ他船ヲ以テ陸揚港ニ送附セザルベカラズ是檢疫規則施行ニ由リ貨物積卸ノ必要アル時ハ貨物ニ及ボス損害及ビ費用ニ付キ船主其責任ニ任ゼザル條項ヲ船荷證券ニ規定スルハ勿論本船ニテ之ヲ運送シ得ザル時ハ船主ノ責任ハ積移ヲ以テ終了スル旨ノ規定ハ止ムヲ得ザル所ナリ又結氷、封鎖、戰爭等ノ事由ニテ陸揚港ニ入港協ヒ難キ時ハ荷送人又ハ荷受人ノ費用ト危険トヲ以テ最安全ト認ムル最近ノ港ニ運送品ヲ陸揚スルノ規定モ同様必要ナリ猶此等ノ場合ニ船主ノ責任ハ運送品ノ陸揚ヲ以テ終了スルノ特約ハ船主ニ利便ナルベシ

A. W. 91-53

共同海損精算
ノ條項

第十 共同海損精算ノ條項 (Average Clause)

共同海損生ズル時ハ孰レノ國ノ法律慣習ニ從フベキカヲ豫メ約スルモノ即此條項ナリ抑共同海損ハ後章ニ詳述スルガ如ク各國ノ法律慣習未一致セザルヲ以テ船主ト貨主トハ大ニ利害ヲ異ニスル場合アリ何トナレバ或損害ノ如キハ甲國ノ法律慣習ニ從ヘバ共同海損トシ船主ト貨主トガ共同シテ之ヲ負擔スベキモノト爲スモ乙國ノ法律慣習ニ從ヘバ單獨海損トシ船主之ヲ負擔スベキモノト

爲スコトアルガ故ナリ從テ共同海損ノ精算ニ就キテハ苦情絶エズ由テ豫メ船荷證券ニ此條項ヲ設ケヨーク、アントウアーフ規定ニ從ヒ共同海損ヲ精算スベキ旨記載スルヲ便トス本邦ニ於ケル船荷證券ニモ同様ノ規定アリ海外ニ行ハル、分ニハ海損精算地ヲモ規定スルモノアリ試ニ北獨逸汽船會社船荷證券ノ條項ヲ左ニ示セバ

共同海損ハ一八九〇年ノヨーク、アントウアーフ規定ニヨリ船主ノ選擇ニ任セ漢堡又ハブレメンニテ精算セラレベシ貨主ハ船長ノ指圖ニヨリ海損契約書ニ調印スルカ又ハ相當ノ保證金ヲ供託スベシ

“General average to be adjusted according to York Antwerp Rules 1890, at Hamburg or Bremen at owner's option and Average bond to be

signed with values declared therein, or sufficient security to be given, as required by the master.”

小海損

英國ニ行ハル、船荷證券ニハ共同海損精算ノ條項ノ外ニ Primage and average as customary. ナル條項アリ句中所謂 Average ハ海損ノ義ニ非ズシテ彼小海損 (Petty average) ヲ指スモノナリ小海損トハ船舶入港ノ際支拂フベキ燈臺稅、曳船料、水先案内料等ノ費用ヲ云ヒ此等ハ船舶ト積荷トニテ分擔シ其割合ハ船舶三分ノ二積荷三分ノ一ヲ負擔セシ慣習アリシモ今ヤ此慣習ハ頗レ徒ニ死句トシテ存スルニ過ギズ又 Primage モ第三章ニ於テ述ベシガ如ク昔ハ船長ガ自家ノ所得トシテ收入セシモノナレドモ現今普ク行ハレズ

第十一 貨物ノ種類品質、數量、狀態及ビ價格ニ就キ船主責ヲ免ル、條項

抑貨物ハ荷造ノ儘ニテ受取り其包ノ内部ヲ一々改ムルモノニ非ザレバ船主ハ包中物品ノ種類、品質、數量及ビ價格ニ就キ責ヲ免ルベキハ蓋至當ナリ今英國ニ於ケル船荷證券ヲ觀ルニ貨物ノ重量及ビ中味ハ未詳ナリ (Weight and contents unknown) 又ハ一層精細ニ貨物ノ重量、中味、容積、價格及ビ品質ハ未詳ナリ (“Weight, contents, measure, value and quality of said goods unknown”) ナル句アリ斯ノ如キ句ヲ設ケシハ蓋船荷證券ノ冒頭ニ完全ナル貨物トシテ船積セラレタリ (“Shipped in good order and condition”) ナル句アルガ故

貨物ノ種類品質等ニ就キテノ條項

運賃ニ關スル條項

ニ貨物ニ缺點アル時ハ恰モ船主其責ヲ負フヤノ疑アルガ爲メナリ尤モ該句ハ深意アルニ非ズシテ唯慣習ニ基ク文章ノ飾ニ過ギザレバ或船荷證券ノ如キハ「外見上完全ナル貨物トシテ船積セラレタリ」 (“Shipped in apparent good order and condition”) ト記シ船主ノ責任ヲ輕クスル者アリ本邦ニ行ハル、船荷證券ニモ「包裝シタル運送品ノ種類品質形狀數量又ハ價格ニ付キテハ當會社其責ニ任セズ」トノ條項アリ

第十二 運賃ニ關スル條項

本邦ニ行ハル、船荷證券ニハ前拂運賃ニ關シ左ノ條項アリ

當會社ハ如何ナル場合ニテモ既ニ受取りタル運送貨ヲ返還スルコトナシ

ビー、オー會社船荷證券ノ條項ハ次ノ如シ

運賃ハ船積減失ノ有無ニ拘ラズ支拂ハルベシ

“Freight to be considered as earned ship lost or not lost.”

エム、エム會社船荷證券ニモ亦之ニ類スル句アリ

本證券ニ認メタル運賃ハ假令本船難破スルコトアルモ支拂ハルベシ

“Freight on all merchandise and valuables stated on this B/L is due and payable to the Co. even in case of shipwreck.”

然ルニ北獨逸汽船會社船荷證券ノ條項ニヨレバ前拂運賃ニ就キテノミ規定セリ即左ノ如シ

向拂運賃及ビ費用ハ荷物引渡ト同時ニ船積稅關ニ入港届ヲ爲シタル日ノ一覽拂銀行手形ノ最高率ニヨリ船荷證券所記ノ貨幣ヲ換算シ正金ニテ支拂フベシ別ニ割引ヲ許サズ前拂運賃ハ船荷證券ノ喪失セルト否トナ問ハズ返却スルコトナシ

“Freight and charges, if payable at port of destination, to be paid on delivery in cash, without discount, and in the currency stipulated in the

“B/L at the highest rate of exchange for banker's bills at sight current on the day of the ship's entry at the custom house. Prepaid freight

cannot be reclaimed, ship or goods lost or not lost.”

既ニ説キタルガ如ク運賃ハ元來貨物ヲ陸揚港ニ送り届クル賃錢ナレバ若陸揚港ニ送り届クルコト能ハザレバ運賃ヲ收ムルコトヲ得ザルヲ原則トス本邦其他歐洲大陸諸國ニ於テハ Pro rata Freight 即運送ノ距離ニ應ジ運賃ヲ收ムルコトヲ得ベキモ此場合トテモ契約ノ運賃全額ヲ收ムルコト能ハザルナリ我商法ノ規定ニヨレバ積荷全減ノ場合ニハ運賃ヲ收ムルヲ許サズト雖モ多數ノ國ニテハ船荷證券ニ記載セル特約條項ニヨリ假令貨物ガ喪失損害其他情況ヲ變ズルモ既收ノ運賃ハ一切償還セザルヲ常トス然レドモ向拂運賃ハ積荷喪失スルモ猶船主之ヲ收ムルコトヲ得ベキヤ否ヤハ問題ナリ海外ニ於ケル多數ノ船荷證券ニハ之ニ關シ特約ヲ爲スガ故船主ノ位置ヨリ言フ時ハ好都合ナレドモ實際上積荷喪失シ荷受主ニ引渡スコト能ハザル分ニ對シ猶運賃ヲ收メントスルハ困難ナリ尤モ完ク喪失セシニ非ズシテ單ニ損害若クハ情態ヲ變更セシ貨物ニ就キテハ減額セザルコト勿論トス法律家ノ間ニハ喪失セシ貨物ニ對シ猶運賃ノ全額ヲ請求スルコトハ果シテ當ヲ得タルモノナリヤ否ヤニ就キ議論アリ英國ノ如キハ契約ノ自由ヲ尊崇スルガ故多クハ之ヲ是認スルモ其他ノ諸國ニテハ除外例ト同様此種ノ條項ハ公安ヲ害シ且不條理ナルモノトシテ無効トスルモノ多シ船主ハ又向拂運賃ヲ海上保險ニ附スルコトヲ得ルガ故荷物喪失ノ爲メ假令荷受主ヨリ之ヲ收ムルコト能ハザルモ痛痒ヲ感ゼザルベシ

本邦ニ行ハル、船荷證券ニハ原價欄アリ貨物ノ價格ヲ記入セシメ他日辨金起リタル時ノ標準トナスコトハ既ニ述ベタル所ノ如シ海外ニハ別ニ此種ノ欄ナキモ船荷證券署名前貨物ノ原價ヲ書面ニ認メシメ運賃ノ計算其他辨金處分ノ用ニ供スルコトナキニ非ズ例ヘバビ、オー會社船荷證券ノ條項ヲ示セバ左ノ如シ

"A written declaration of the value of goods must be delivered by the shippers to the Co. with the B/L and an untrue declaration shall release

"the Co. from all responsibility and shall entitle the Co. to charge double freight on the real value."

第十三 引渡ノ際貨物ノ重量又ハ容積ヲ再測定シ運賃ヲ更正スルノ條項

凡貨物ノ運賃ハ條理上引渡ノ現狀ニ於テ其重量又ハ容積ニ從ヒ支拂フヲ常トスルハ運賃ノ章ニ於テ述ベタル所ノ如シ然レドモ船主ハ自己ノ利益上船積當初ノ重量又ハ容積ニ從ヒ運賃ヲ計算シ前取リト爲スニ努ムル傾アリ而シテ貨物ノ性質ニ依リテハ運送中重量又ハ容積ヲ増減スルモノアルガ故船積ノ際測定セシ重量又ハ容積ハ必シモ正確ノモノニ非ズ況ヤ積荷主ヲ信用シ別ニ本船ニテ測定セズ所謂 Shippers' measurement or weight 準ジ運賃ヲ計算セシ時ニ於テヤ此ニ於テカ狡猾ナル船主ハ船荷證券ニ「運賃ハ假令前拂ノ時ト雖モ引渡ノ際更ニ重量又ハ容積ヲ計リ之ニヨリ運賃ヲ變更スルコトアルベシ」等ノ條項ヲ挿入スルモノアリ又甚シキハ「虚偽ノ申出アルコトヲ發見シタル時ハ二倍ノ運賃ヲ徴收スベシ」云々ノ句ヲ以テスルモノアリ

第十四 貨物差押ノ條項

荷受主ハ運賃向拂ノ契約ナラバ其全額其他附隨ノ諸費用立替金並ニ共同海損救助費用ノ負擔額ノ支拂ト同時ニ貨物ノ引渡ヲ受クベキモノナレバ若以上ノ支拂ナキ時ハ船長ハ貨物ヲ留置スルコトヲ得ベシ是各國法律慣習ノ認ムル所ナリ故ニ特約條項トシテ此等ノ規定ヲ爲サバモ猶船主ニ此權アルコト明カナリ

本邦ニ行ハル、船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

當會社ハ本證券ニ定メタル運送賃立替金其他荷受人ノ負擔スベキ金額ノ支拂ヲ受クルニ非ザレバ運送品ノ引渡ヲ爲サバモノトス

北獨逸汽船會社船荷證券ノ條項ハ左ノ如シ

引渡ノ際貨物ノ重量又ハ容積ヲ再測定スル條項

貨物差押ノ條項

新商六六

當會社ハ運貨、デツドフレイト、日敷超過増拂金、運送費、輸出地迄運送費用、貯金其他荷受主ノ負擔スベキ諸費用並ニ損害賠償及共同海損負擔額ニ對シ貨物ノ上ニ留置權ヲ有ス又運貨ノ支拂ナキ貨物ヲ競賣ニ附シ運貨ニ足ラザル時ハ其差額ハ荷受主又ハ荷送主ニ請求スルコトヲ得

“Ship to have a lien on all goods for payment of freight and charges, including dead freight, demurrage, forwarding charges, charges for cartages to port of shipment, and the fines, damages and expenses mentioned and for general average claims, and to be entitled to recover from the shipper and/or consignee the difference between the amount of freight stipulated in the B/L and the proceeds of goods, should the freight not be paid otherwise.”

第十五 貨物引渡ノ條項

貨物引渡ノ條項ハ國ノ慣習ニヨリ又船會社ノ事情ニヨリテ相違アリ本邦ニテ使用セラル、船荷證券ノ條項ヲ示セバ左ノ如シ

當會社ハ本船渡ノ運送品ト雖モ便宜運送人又ハ荷受人ノ危険及ビ費用ヲ以テ解舟、庫船、當會社指定ノ倉庫又ハ税關倉庫ニ於テ其引渡ヲ爲スコトアルベシ

英國ニ行ハル、船荷證券ニハ「到達港ニ於テ積荷ガ揚貨機ヲ離ル、時ヲ以テ引渡ヲ終了ス」(“In all cases their liability is to cease as soon as the goods are free of ships' tackles”)トノ條項アリ即所謂本船渡ニシテ積荷ガ

本船ノ揚貨機ヲ離ル、時ハ以後ノ危険ト費用トハ荷受主ニ移ルモノトス尤モ船長ハ斯ノ如キ條項ヲ楯トシ引渡ニ就キ不注意不深切ナルベカラズ宜シク港ノ慣習ニ遵ヒ揚貨機ヨリ貨物ヲ安全ニ引取ル様ニ扱フハ至當ノ義務ナルベシ實例些カラザル事ナルガ揚貨機ニテ船側ヲ傳ヒ引卸ノ際貨物スリングヨリ滑リ落ち爲メニ損失損害ヲ生シメタル時ハ船主其責任ニ任ゼザルベカラズ

現今沿岸小航海ヲ爲ス船舶其他帆船等ヲ除キ多クノ場合ハ所謂本船渡トセズシテ船主ノ荷捌所又ハ倉庫會社ノ倉庫等ニ貨物ヲ陸揚ノ上荷印毎ニ撰リ分ケ(Parcels)引渡ヲ了スルモノトス蓋寄港地多

キ大汽船ハ搭載貨物ノ種類數量多キ上ニ寄港地毎ニ積付ヲ按配セザルベカラズ故ニ數十口乃至數百口ニ分タル、個々ノ商品ニ付キ一々荷主解舟ノ來着ヲ待チ引渡ヲ爲スコトハ限リアル停泊時間ニ於テハ不可能ノ場合多クアリト謂ハザルベカラズ尤モ港ノ慣習上材木類器械類、麥粉、穀物、鉛、石炭、コークス其他ノ礦物類、動植物類、甲板貨物、金銀貨幣其他ノ貴重品、危險物、腐敗シ易キ物品、酒油類等ハ或ハ引渡ノ便宜ニ因リ或ハ大口ナルニヨリ或ハ之ヲ陸揚セバ盜難、腐敗等ノ損害ヲ生ズベキ危險アルニ因リ或ハ港則ニ基キ本船渡ヲ爲ス事アリ此種ノ船荷證券ニハ

本船陸揚港ニ着次第直ニ引取ラレベシ否ラザレバ荷受主ノ危険ト費用トヲ以テ陸揚スベシ
“To be taken delivery of immediately upon arrival, failing which the goods will be discharged on account and under risk of the consignees.”

等ノ特別條項ヲ挿入スルコトアルモ寧ろ港ノ慣習ニ一任スルニ如カズ又エム、エム會社ノ如キハ貨物引渡ハ陸揚港ニ於ケル本船ニ於テ爲スモ將タ解舟等ニ積移シ陸地ニ於テ之ヲ爲スモ完ク船長ノ隨意タリ但陸揚費用及ビ本船ヲ離レタル以後ノ危険ハ荷受主ニ於テ負擔スベシトノ條項ヲ設ク又北獨逸汽船會社ノ船荷證券ニハ荷受主ハ遲滞ナク本船ヨリ貨物ヲ引取ルベシ否ラザレバ荷受主ノ危険ト費用トヲ以テ陸揚又ハ積移サルベシ孰レノ場合ヲ問ハズ貨物ガ本船ノ揚貨機ヲ離レタル時又ハ代理店ノ保管ヲ離レタル以後ハ船主其責任ニ任ゼザルベシトノ條項アリ

第十六 接續ニ關スル條項

貨物ノ引渡地迄契約船舶ノ直航セザル運送契約即通シ船荷證券ノ發行セラル、場合ハ接續港ニ於テ他ノ汽船乃至鐵道ニテ貨物接續ノ必要アリ現今鐵道ノ運賃率ノ汽船ノソレニ比シ高價ナル現代ニテハ多少迂廻其他便船ノ日取ニテ時日ヲ要スルモ雙方ノ便宜アル時ハ汽船便ヲ選ブハ自然ノ慣

習ナリ而シテ通シ船荷證券ニハ接續費用並ニ接續中並ニ其以後ノ危險等ニ付キ詳細ノ條項ヲ網羅スルコト極メテ必要ナリトス接續費用ハ概シテ甲船主ノ負擔ニ屬シ接續中ノ危險ハ貨主ノ負擔タルコト又接續後ハ接續船ノ船荷證券ニヨリ支配セラル、旨規定スルヲ多シトス尤モビー、オー汽船會社船荷證券ニハ通シ船荷證券ノ除外例並ニ條項ハ乙船ニモ適用セラルベシトアリ
エム、エム會社船荷證券ノ條項中接續ニ關スル分左ノ如シ

本船出帆前ト雖モ當會社ノ他船又ハ社外船ニ接續スルコトアルベシ乙船ニ船腹ナキ時ハ當會社ノ費用ニテ庫入ヲ爲スベシ但庫入中ノ危險ハ貨主ノ負擔トス
當會社船寄港地以外仕向ケノ貨物ハ貨主ノ費用ト危險トナテテ接續スベシ(船荷證券ニ單ニ引渡地ノミナ記載セル時トモ)當會社ハ乙船ヘ引渡後ハ其責ニ任ゼズ

“The captain is at liberty to tranship goods at all times, even before starting on board another vessel of the Co., or even any other vessel, and does not guarantee that there will be sufficient room on board the vessel on which the goods are transhipped. In case there should be no room and until the m'd's, special valubles are transhipped, they will be conveyed to stores and store at the Co's expense, but at the owners' risk.”
“The forwarding of goods to places where the Co's steamers do not call at will be done through their agents, at the expense and risk of the consignees, even in case the B/L mentions only the place of ultimate delivery. The Co's responsibility will end as soon as the goods are delivered to the forwarding agents.”

接續荷物が陸揚港ニ到着シタル時ハ船主又ハ代人ハ受荷主ニ其旨通知シ船荷證券所持者ヲシテ貨物ノ引取ヲ爲サシムベシ若何等ノ通告ナキガ爲メ受荷主ニ於テ接續船名ヲ知ラズ引取方遅延シ是ガ爲メ貨物ニ損害ヲ被リ又ハ其節沒收セラル、ニ至リタル時ハ船主責ニ任ズベキナリ右ハ船主ノ船舶ガ陸揚港ニ寄港セザル時ノミニ止マラズ船舶ニ故障ヲ生ジタル時又ハ其他ノ事情ニヨリ貨物ヲ乙船ニ接續シタル場合ニモ適用セラルベキコト勿論トス
未捌荷物ニシテ税關倉庫ニ倉入ヲ爲スノ止ムヲ得ザルニ出デタル時ハ其倉敷料ハ巨額ニ上ルコト

Leg B 430

國旗ノ法律ニ從フベキ條項

アリ斯ノ如キ不當ノ費用ハ畢竟スルニ船主ノ不注意ヨリ出デタルモノナレバ船主之ヲ負擔セザルベカラズ而シテ船舶ガ陸揚港ニ寄港セザル場合ハ船主ノ費用ヲ以テ接續ヲ爲サルベカラズ此場合ハ成ルベク廉キ運賃ヲ唱フル乙船ヲ求ムルハ船主ノ人情ナレドモ然リトテ徒ニ貨物ヲ接續港ニ留メ置キ貨物ノ季節ヲ失フニ至ラシメタル場合ハ船主ニ於テ運送契約ヲ無視シタルノ譏ヲ免ル、コト能ハズ近來船舶供給ノ過大ト共ニ競争漸ク激甚ヲ加フルニ至リ斯ノ如キ專横ナル行爲ハ船主ノ爲メ採ラザル所トス況ヤ接續港ニ於ケル倉敷料陸揚船積諸費用ハ貨物ヲ留メ置ケバ置ク程増加スルニ於テヲヤ

第十七 運送契約ハ國旗ノ法律ニ從フベキ條項

運送契約當事者ノ權利義務ニ就キ船荷證券又ハ運送契約書ニ豫メ規定ナキ時ハ當事者ノ意思ヲ推定シ何地ノ法律ニ據リテ之ヲ決スベキヤヲ定メザルベカラズ而シテ契約成立地ノ法律ハ普通ノ場合ニ當事者ヲ拘束スルモノト推定セラル、ハ當然ナリト雖モ備船者ト他國ノ船主ガ雙方執レニモ屬セザル國ニ於テ運送契約ノ締結ヲ爲シタル場合ニハ契約ノ履行ハ數部ニ分チテ考フル事ヲ得ベシ即

- 1 本船ガ船積港ニ到着スル迄
- 2 船積港ニテ貨物ノ船積
- 3 陸揚港ニ航行中避難、修繕、冒險貸借等ノ爲メニスル寄港
- 4 陸揚港ニテ貨物ノ引渡

而シテ船積港寄港地陸揚港ハ當事者雙方ノ所屬國タラザルガ如キ複雑ナル場合ニ當事者ノ權利義務ヲ決定スルモノハ國旗ノ法律即船籍所在國ノ法律(Law of the nation of the ship)ナラザルベカラズ

又一般ニ外國船ニ貨物ノ船積ヲ爲スモノハ特別ノ約定ヲ爲サザリシ以上ハ該船舶所屬國ノ法律ニ從フベキモノト認メラル、モノナリ此他船舶并ニ貨物ヲ抵當トシテ冒險貸借ヲ爲ス時ノ如キモ冒險貸借契約ハ該船舶所屬國ノ法律ニ據リ決セラルベシ
今左ニ海外ニ於ケル重要ノ判決例ヲ引用センニ

- 1 獨逸商某獨逸船舶ノ船長(獨逸人)トコンスタンチノーブルニ於テ某船ヲシテタグンロク(Tigani-Fog)ニテ船積ヲ爲サシメフアルマウス(Falmouth)ヲ經テ英國又ハハイブル、漢堡間ノ歐洲大陸ノ安全ナル港ニテ引渡ヲ爲スベキ運送契約ヲ取結ビ其運送契約書ハ獨逸文並ニ英文兩語ニテ認メラレタル時ノ如キハ國旗ノ法律ニヨリ運送契約ノ履行ヲナスベシ
- 2 一米國商ホストンニ於テ同地ヨリリヴァールニ向ケ家畜運送ノ爲メ某英國船ヲ備入レ其運送契約書ニ船長、海員ノ過失ニ原因スル損害ハ船主其責ニ任セザル條項アリシ所汽船ハ船長ノ過失ニヨリ北ウエールス海岸ニテ難破シタリ斯ノ如キ場合ニ於ケル船主ノ責任如何ト尋メルニ米國マサチューセツツ洲ノ法律ニヨル時ハ上記ノ條項ハ無効ノモノト認メラル、モ英國ニテハ契約ノ自由ヲ尊重シ之ヲ有效ト認ム其判決例ニ依レバ如斯運送契約ハ原則トシテ契約成立地ノ法律(Lex Loci Contractus)ノ法律ヲ適用セズ國旗ノ法律ニ從フベキモノニシテ加フルニ運送契約書全般ヨリ推定スルモ當事者ハ英國法ニ從フベキコトヲ默約セルモノト認メラレ船主ノ勝訴トナレリ
- 3 在新嘉坡ノ一英商ガ某獨逸船ニテ胡椒ヲ英國ニ向ケ輸出セシ所本船航海ノ途中暴風雨ニ遭遇シ止ムナクケープタウンニ避難シ船長ハ検査人ノ意見ニ從ヒ損傷貨物ノ一部ヲ公賣ニ處セリ斯ノ如キ場合ニハ國旗ノ法律即獨逸法ニ從ヒ船長ノ行爲ノ當不當ヲ決スベキモノニシテ避難港ニ於テ利害關係者ニ最有利ナル方法ヲ以テ荷物ヲ處置シタル上ハ假令積荷主ニ通知ヲ與ヘザルモ損傷貨物ヲ公賣ニ附スルハ不當ニ非ザルナリ

運送契約ハ國際的ナルガ故ニ當事者ノ權利義務ニ就キ複雜ナル場合起ランコトヲ豫想シ船荷證券

又ハ運送契約書ニ國旗ノ法律ニ從フベキ旨ノ條項ヲ挿入スルモノアリ例ヘバ
日本郵船會社ノ船荷證券ニハ

“Contract wherever made, to be construed and governed by Japanese Law.”

北獨逸ロイド會社ノ船荷證券ニハ

“All questions arising between the parties in connection with this B/L to be decided according to German Law.”

ノ條項アリ

以上ハ船荷證券及ビ運送契約書ニ記載セル條項ノ大要ヲ説明シタルニ過ギズ此他格段ナル航海又ハ一地方ニ限レル船荷證券及ビ運送契約書等ノ條項中特記ニ値スルモノアレドモ煩雜ニ涉ルノ嫌アレバ之ヲ省略スベシ

第十章 船員ノ權利義務

船員ト船主トノ關係

稀ニシテ多クハ技術者即船員ニ據ラザルベカラズ

古昔ハ暫ク措キ現今船主ガ自己所有ノ船舶ヲ以テ海運業ヲ營ムニ就キテハ自ラ之ヲ運轉スル者甚稀ニシテ多クハ技術者即船員ニ據ラザルベカラズ

船員ヲ分チテ船長及ビ海員トス此等ハ各特別ナル職務ヲ有スルモノナリ扱船員ト船主トノ關係ハ概括的ニ之ヲ言フ時ハ雇人ト被雇人トノ關係ニ過ギザルガ如クナレドモ船長ノ如キハ雇人タルト同時ニ代理人ヲ兼ね而カモ其保有スル義務ノ重要ナルト共ニ附與セラレタル權利ノ廣大ナルコトハ如何ナル代理人ト雖モ船長ノ右ニ出ヅルモノ尠カルベシ

凡船長ハ普通ノ代理人ト異リ委任セラレタル船舶ト共ニ長ク遠洋ニ航海シ完ク船主ノ管轄ヲ脱シ其事業モ亦冒險的ナルガ故航海中ハ船舶ニ關スル全權ヲ掌握スルモノナリ例ヘバ船中ノ統御權及ビ船内ノ犯罪ニ就キ警察權ヲ有スルガ如キ是ナリ然リ而シテ船長ノ此至大ナル權利ハ即至重ナル義務ヨリ來ルモノニシテ例ヘバ委託セラレタル船舶旅客積荷等生命財産ニ就キテハ人力ノ及ブ限リ之ヲ保全スル等ノ責任ニ對シ他方ニハ前ニ述ベタルガ如キ一切ノ權利ヲ附與セラレタルモノナリ

船長ガ發航ノ前後ニ爲スベキ重要ナル職務ニシテ特ニ船主、備船者荷送主及ビ旅客全般ニ責任アルモノヲ擧グレバ左ノ如シ

- 一 船長ハ發航前船舶ノ航海ニ堪フルヤ否ヤ其他航海ニ必要ナル準備ノ整頓セルヤ否ヤヲ檢査セザルベカラズ

一般利害關係者ニ對スル船長ノ義務
Val. I. 223
舊商 三三

船員ノ權利義務

新商 三三
舊商 三三
船員ト去ルコトヲ得ザル義務
De. II. 236

獨商 新 四八
舊 五七
Val. I. 223
新商 三三
舊商 三三

運滞ナク發航シ決定ノ航路ヲ進行スル義務

船長ノ此職務ハ最重要ナルモノニシテ舊商法ノ規定スル所ハ一層詳細ナリ即船舶ノ航海ニ堪フルコト、船舶ノ機裝海員ノ具備、糧食ノ準備並ニ積荷ノ配置ノ適當ナルコト、必要ナル底荷ヲ具備スルコト、過大ナル積荷ヲ爲サバルコト及ビ過分ナル旅客ヲ搭載セザル事ニ就キ注意ヲ爲スベキ旨ノ規定アリ此他船舶國籍證書ノ如キモ航海ニ缺クベカラザルモノナレバ船長ハ篤ト檢査セザルベカラズ

二 船長ハ已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外貨物ノ積積及ビ旅客ノ乗込ノ時ヨリ貨物ノ陸揚及ビ旅客ノ上陸ノ時迄其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ズ

蓋船舶ガ陸地ニ近キタル時ハ暗礁淺瀬等ノ危險特ニ多キガ故ニ私事ノ爲メ船長ハ船舶ノ指揮ヲ他人ニ委ネ上陸スル時ハ危險甚シトス但船長ガ航海中死亡シタル時又ハ官ノ命令其他止ムヲ得ザルニ由リ之ヲ指揮スルコト能ハザルニ至リタル時ハ運航ニ從事スル海員ハ其職掌ノ順位ニ據リ船長ノ職務ヲ行フ

- 三 船長ハ航海ノ準備ヲ終リタル時ハ運滞ナク發航ヲ爲シ且必要ナル場合ヲ除クノ外豫定ノ航路ヲ變更セズシテ到達港ニ航行スルコトヲ要ス

運送契約書ニ何等發航期日ヲ約定セザリシ時ハ船長ハ發航準備ノ整頓セルヲ待チ外國貿易船ハ稅關ノ出港免許ヲ受ケ運滞ナク (With despatch and within a reasonable time) 發航ヲ爲サバルベカラズ然レドモ暴風雨又ハ其兆候アル時ハ安ニ發航ヲ爲サバルモ亦船長ノ一義務トス

凡船積ニ着手前航海ニ必要ナル一切ノ準備ヲ爲スベキヲ一般ノ慣習トスルガ故ニ例ヘバ船積終了ノ上始メテ屬具、消耗品及ビ食用品ノ積入ヲ怠リシコトヲ悟リ之ガ積入ニ着手シタル爲メ船舶ガ港内ニ氷結セラレ翌春融氷ノ頃迄徒ニ停滯シ爲メニ備船者又ハ荷送主ニ損害ヲ生ゼシメタル時ノ如キハ船主固ヨリ其責ニ任ゼザルベカラズ

新商 三三

英國ノ法律ニハ人命ヲ救助スル目的ヲ以テ航路外ニ航行スル時ハ正當ナル原因ニ出デタルモノト爲セドモ單ニ財産ヲ救助スル目的ヲ以テ航路外ニ航行スル時ハ其責ヲ免ル、コト能ハザルモノト規定セリ我商法ニハ何等ノ規定ナキモ船員法第二十一條ニ據レバ人命ヲ救助スルハ寧ロ船長ノ義務ニ屬スルガ如シ

四 船舶ガ港灣ヲ出入スル時、狹隘ナル水路ヲ通過スル時其他危險ノ生ズル虞アル時ハ船長ハ甲板ニ在ラザルベカラズ

凡船舶港灣ヲ出入スル時ハ船舶幅帳ノ爲メ衝突ノ危險尠カラズ其他瀬戸内海ノ如キ狹隘ナル水路ヲ航行スル時、夜間陸地ノ近傍ヲ航行スル時、濃霧其他天候不良ナル時、速力ヲ増減スル時、針路ヲ變更スル時等ニハ孰レモ危險之ニ伴フモノナレバ看守其他當直員ヲ備フル時ト雖モ船長ハ甲板ニ在リ大汽船ニテハ船橋 (Bridge) ニ在リテ其職務ヲ盡サルベカラズ航海中濃霧降雪其他天候暗黒針路不明ナル時其他岩礁、淺瀬、陸地ノ近傍、測量未済ノ港又ハ船舶出入稀ナル港ニ出入スル時ハ特ニ機關ノ運轉ヲ緩メ必要ナル時ハ水深ヲ測量シ又ハ端艇ヲ先導トスベキハ當ヲ得タル處置ト言フベシ

五 船舶ニ急迫ノ危險ガ生ジタル時ハ船長ハ人命、船舶及ビ積荷ヲ保護スルガ爲メ必要ナル手段ヲ盡シ且旅客海員其他總テ船中ニ在ル者ヲ去ラシメタル後ニ非ザレバ指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ズ

六 船舶ガ衝突シタル時ハ船長ハ互ニ人命ヲ救フガ爲メ必要ナル手段ヲ盡シ且船舶ノ名稱、船籍港、發航港及ビ到達港ヲ告グルコトヲ要ス但自己ノ指揮スル船舶ニ急迫ノ危險アル時ハ此限ニ非ズ

七 船長ガ航海中救助ヲ求ムル船舶ヲ認メタル時ハ人命ヲ救フコトヲ要ス但自己ノ船舶ノ危險アル時ハ此限ニ非ズ

船 三

在外公使又ハ領事ノ命ニ服スル船員ノ義務

船主ニ對スル義務

重要ナル事項及計算ノ報告ヲ爲スベキ義務

新商 五三

自己ノ計算ニテ貨物ヲ積入レザル義務

舊商 八四

自己ノ選任セテノ代理人ニ就キテノ義務

八 外國ニ駐在スル日本ノ公使、領事又ハ貿易事務官ガ法令ノ定ムル所ニ從ヒ日本臣民ヲ本國ニ送還スベキコトヲ命ジタル時ハ船長ハ正當ノ理由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

次ニ特ニ船主ニ對スル船長ノ義務ヲ擧グレバ左ノ如シ

一 船長ハ船主ニ對シ航海ニ關スル重要ナル事項ヲ遲滞ナク報告スルコトヲ要ス又每航海ノ終ニハ遲滞ナク航海ニ關スル計算書ヲ作り船主ノ承諾ヲ求メ又船主ノ請求アル時ハ何時ニテモ計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

蓋船長ハ船主ノ代理人ナルヲ以テ航海ニ關スル重要事項ヲ報告スベキハ勿論至當ナル義務ニシテ船主ハ此報告ニ據リテ其事務ノ狀況ヲ知り心ヲ安ズルノミナラズ又適當ナル指揮命令ヲ與フベキ場合尠シトセズ其報告スベキ事項ハ固ヨリ習慣ニヨリ定マルベキモノナレドモ最普通ニシテ亦最重要ナルハ航海日誌及ビ機關日誌、海難報告書等トス

二 船長ハ船主ノ承諾ナク自己ノ計算ニテ貨物ヲ船舶ニ積入ル、コトヲ得ズ若之ニ違フ時ハ船主ハ其運賃ト貨物ヨリ生ズル利益トヲ自己ノ有ニ歸スルコトヲ得ベシ

船長ガ自己ノ計算ニテ貨物ヲ積入レザル義務ハ獨船長ニノミ止マラズ海員モ亦負擔スル所トス蓋古昔ニ在テハ船長若クハ海員ニ一定ノ給料ヲ與フルコトナク自己又ハ他人ノ計算ニテ幾分ノ貨物ヲ積載シ到達港ニ於テ自由ニ之ヲ賣却スルコトヲ許シ其利益金ヲ給料ニ充ツル慣習アリシモ近世ニ至リテハ商業上ノ進歩ト共ニ船員ニ一定ノ給料ヲ與フルコト、ナリ從テ上述ノ如キ義務ヲ生ゼシナリ

三 船長ガ止ムヲ得ザル事由例ヘバ疾病等ノ爲メ船舶ヲ指揮スルコト能ハザル時ハ他人ヲ選

舊商 五〇

行政上船長ノ義務

書類備付ノ義務

任シテ自己ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得レドモ此場合ニ船長ハ其選任ニ就キ船主ニ對シ責ニ任ゼザルベカラズ

行政上ノ規定ニヨル船長ノ義務ニ就キテモ若之ヲ怠リタルガ爲メ船主、備船者、荷送主旅客ニ對シ損害ヲ被ラシメタル時ハ亦責ニ任ゼザルベカラズ左ニ行政的義務ノ重要ナルモノヲ列舉セントス

甲 船長ハ左ニ掲グル書類ヲ船中ニ備ヘ置クコトヲ要ス

イ 船舶國籍證書

ロ 海員名簿

ハ 船具目錄

ニ 航海日誌

ホ 旅客名簿

ヘ 運送契約及ビ積荷ニ關スル書類

ト 税關ヨリ交付シタル書類

新商 五三

船施 二六

船施 二二六

以上ノ書類ハ政府ノ取締即行政上必要ナルモノニシテ或ハ船舶ノ國籍ヲ證明スルガ爲メ或ハ積荷ノ種類、旅客ノ姓名等ヲ調査スルガ爲メ或ハ船長ガ果シテ職務ヲ盡シタリヤ否ヤヲ調査スルガ爲メ或ハ船舶ニ脱稅其他違法ノ所爲アリヤ否ヤヲ検査スルガ爲メ必要ナルモノアレバ船舶ガ航海ノ準備ヲ終リタリヤ否ヤヲ定ムルニ就キテモ亦主トシテ此等書類ノ備付アルト否トニヨリ認定スルモノトス然レドモ此等ノ書類ハ如何ナル航路如何ナル種類ノ船舶ニモ備ヘザルベカラザルモノニ非ズハ、ニ、ホノ書類ハ特ニ命令ニヨリ外國ニ航行セザル船舶ニ之ヲ備付ケザルモノナリ此他猶以上ノ書類ノ外檢疫規則施行ノ際ハ檢疫證書又戰時ナラバ航海免狀ヲ備付ケル必要アリ（明治三十二年五月廿六日通信省令第一九號及ビ）

書類ヲ管海官廳ニ提出スル義務
船 二四
管海官廳ニ報告ヲ爲ス義務

乙 船長ハ管海官廳ノ命令ニ依リ同上ノ書類ヲ提出スルコトヲ要ス

丙 船長ハ管海官廳ニ諸種ノ報告ヲ爲ス義務アリ

重要ナル報告ハ到達報告及ビ遭難報告トス船員法第十三條ニ依レバ日本ト外國トノ間ニ於テ航海ヲ爲ス船舶ガ外國ノ港ニ入港シ又ハ日本ニ到着シタル時ハ船長ハ二十四時間以内ニ其港ノ管海官廳ニ航海日誌ヲ提出シテ其檢閲ヲ受クルヲ要ス又外國ノ港ノ間ニ於テ航海ヲ爲ス船舶ガ入港シタル時亦同ジ但船舶入港ノ時ヨリ十二時間内ニ發航スル場合ニハ之ヲ適用セズトアリ又舊商法第八六七條ニモ略同様ノ規定アリ又豫定セザル港ニ寄港シタル時ハ船長ハ其港ノ管海官廳若其港ニ管海官廳ナキ時ハ船長ハ爾後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ出頭シテ報告ヲ爲サザルベカラズ此等ノ報告ヲ爲サシムル必要ハ船長ガ其責任ヲ盡シタリヤ否ヤヲ檢シ航海日誌ノ檢閲上報告ト違フ所ナキヤ否ヤヲ檢シ又船舶ノ保險者、債權者、所有者並ニ貨主等ノ利害關係人ニ便利ヲ與フルニ在リ又船長ガ航路ヲ變更シ、船舶ヲ去リ、人命若クハ船舶ヲ救ヒ、又ハ衝突其他ノ海難起リタル時、其他船舶ガ捕獲セラレタル時ハ爾後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ出頭シテ報告ヲ爲スコトヲ要ス是即遭難報告ニシテ舊商法第八七〇條ノ規定スル所ト大同小異ナリ

諸種ノ報告ハ之ヲ報告書トシ管海官廳ノ認證ヲ申請スルコトヲ得ベシ

丁 船中ニ於テ死亡シタル者アル時ハ船長ハ其船中ニ在ル遺產ヲ保管シ爾後最初ニ到着シタル港ノ管海官廳ニ其旨ヲ届ケ出ルヲ要ス旅客ノ死亡セル時ハ船長ハ其相續人ノ最利益ニ適スル方法ニヨリテ其船中ニ在ル手荷物ノ處分ヲ爲スヲ要ス海員ガ船中ニ於テ死亡セル時亦同ジ

戊 船長ガ船舶ニ乗込ム時ハ船員手帖ヲ管海官廳ニ提出シテ就職ノ認證ヲ申請スルコトヲ得

旅客及海員死亡ノ時ニ於ケル義務
新商 六六
船 二七
同 三三
船施 三三

退職ノ時ニ於ケル義務

レドモ認證ヲ得タル船長ガ一旦其指揮ヲ退キタル時ハ遲滞ナク退職ノ認證ヲ申請スルコトヲ要ス

己 海員取締ニ關スル義務

船長ハ海員ノ雇入期間中其船員手帖ヲ保管シ海員若脱船セル時ハ遲滞ナク管海官廳ニ其船員手帖ヲ返還セザルベカラズ又海員名簿ガ滅失又ハ毀損セル時ハ更ニ新調ノ上管海官廳ニ提出シテ公認ヲ申請セザルベカラズ

以上ハ船長ノ重要ナル職務ナリ果シテ然ラバ船長ハ如何ナル程度迄注意ヲ爲サバ此責任ヲ盡シ得ベキカ換言スレバ右ノ職務ニ就キ如何ニセバ利害關係人ニ對シ損害賠償ノ責ヲ免ル、カト云フニ現行商法ニ從ヘバ船長ハ其職務ヲ行フニ付キ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非ザレバ船主、傭船者荷送主其他ノ利害關係人ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ免カル、コトヲ得ズ又假令船主ノ指圖ニ從ヒタル時ト雖モ船主以外ノ者ニ對シテハ同前ノ責任ヲ免カル、コトヲ得ズトアリ又海員ガ其職務ヲ行フニ當リ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於テ船長ハ監督ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非ザレバ損害賠償ノ責ヲ免ル、コトヲ得ズトノ規定アリ

故ニ船主ガ某港ノ封鎖セラレ居ルコトヲ知ラズシテ船長ニ命ジ入港セシメタルガ如キ又ハ貨主ガ船長ニ或貨物ノ運送ヲ托シタルニ船長ガ中途ニシテ該貨物ノ陸揚港ガ封鎖セラレ居ルコトヲ知り又ハ右貨物ノ戰時禁制品ト爲リタル場合ニ於テ若船長ガ封鎖ヲ破リ又ハ禁制品ヲ輸送スル時ハ是ヨリ生ズル損害ニ付キ其責任ヲ免ル、コト能ハザルナリ

立證ノ責任ヲ船長ニ負ハシムル所以ハ船長ハ海上ニ於テハ遠ク船主ノ監督ヲ離レ居ルガ故ニ若普通ノ原則ニ從ヒ其注意ヲ怠リシコトヲ主張スル者ニ立證ノ責ヲ負ハシムルコト、セバ其申立ノ成

立ヲ見ルコト頗困難ナルヲ以テ特ニ船長ヲシテ十分注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明セシムル必要アリ

斯テ如何ナル程度ヲ以テスレバ注意ヲ怠ラザリシモノト爲スカハ固ヨリ事實問題ニ屬ス勿論以上列記セルモノ、中ニハ注意ヲ怠リシコト明白ナルモノアリト雖モ又中ニハ判明ナラザルモノ多シ而シテ注意ヲ怠ラザリシニ拘ラズ猶損害ノ起ル場合トハ多ク不可抗力ニ歸因スル時ナリ例ヘバ火災ノ爲メニ損害ヲ被レリトセンカ火災其物ハ原因ニモ種々アリ從テ直ニ之ヲ以テ不可抗力ト爲スコトヲ得ザルヲ以テ船長ハ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明センニハ火災ノ原因ノ那邊ニ在リシカラ證明スルヲ要ス而シテ原因ガ不可抗力ニ在ル場合ニ於テ船長ハ始メテ其責ヲ免カルベシ不可抗力ノ實例ハ枚擧ニ遑アラズ通例航海中ノ眞ノ出來事ハ不可抗力ニ屬スルモノナリ

ドクルシー (de Courcy) 氏ノ如キハ船長ノ睡眠中ノ出來事ヲ以テ不可抗力ニ因ルモノトセリ蓋睡眠ナルモノハ人生ニ必要ナル休息ニシテ何人モ之ヲ缺クコト能ハザルモノナレバ其間ニ起リタル出來事ハ之ヲ以テ直ニ注意ヲ怠リタルモノト爲スハ酷ナリト云フニ在リ是一應道理アル説ナレドモ睡眠ヲ以テ直ニ不可抗力ナリトセバ種々ノ弊害ヲ生ズルガ故ニ到底一ノ事實問題ト爲サルベカラズ

船長ノ有スル權利ノ重要ナルモノハ次ノ如シ

- 一 船長ハ海員ヲ指揮監督シ其他總ベテ船内ニ在ル者ニ對シ其職務ヲ行フニ必要ナル命令ヲ下スコトヲ得

蓋船長ハ船舶ノ主宰者ニシテ貴重ナル人命ト財産トヲ保管スルガ故ニ海員ヲ指揮監督スルハ勿論總テ船中ニ在ル者ニ對シ其職務ヲ行フニ必要ナル命令ヲ下スコトヲ得ベシ例ヘバ海員ガ規律ヲ紊

ス時ハ所爲ノ輕重ニ從ヒ懲戒ヲ爲シ又海員若クハ旅客ガ船舶又ハ船中ニ在ル者ノ人身ニ危害ヲ及ボスベキ行爲ヲ敢テセントスル時ハ必要ナル期間内其海員又ハ旅客ノ身體ヲ拘束シ又海員ガ指定ノ時ニ船舶ニ乗込マザル時或ハ船長ノ許可ヲ得ズシテ船舶ヲ去リタル時ハ其乗船ヲ強制シ又海員及ビ旅客ガ兇器或ハ爆發若クハ發火シ易キ物劇藥其他ノ危險物又ハ酒類ヲ所持スル時ハ必要ト認ムル限リ船長ハ其物ニ就キ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得ベシ

二 船長ハ左ノ場合ニ海員ノ雇止ヲ爲スコトヲ得ベシ

- 甲 發航前海員ガ其職務ニ不當ナルコトヲ認メタル時
- 乙 海員ガ著シク其職務ヲ怠リ又ハ其職務ニ關シ重大ナル過失アリタル時
- 丙 海員ガ禁錮以上ノ刑ヲ受ケタル時
- 丁 海員ガ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケ其職務ニ堪ヘザルニ至リタル時
- 戊 不可抗力ニヨリ發航又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハザルニ至リタル時

三 船籍港外ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限

ヲ有シ船籍港ニ於テハ特ニ船主ヨリ委任ヲ受ケタル場合ヲ除キ海員ノ雇入及ビ雇止ノミヲ爲ス權限ヲ有ス

船長ノ權限ヲ規定スルニ付キ其主義トスル所ハ國ニヨリ異ナレドモ大凡之ヲ三大別スルコトヲ得即

第一 船長ノ權限ヲ船主所在地ナルト否トニヨリ區別スル法

船主ノ所在地ニ於テハ船長ハ其承諾ヲ經タル後一切ノ行爲ヲ爲ス權ヲ有ス然レドモ船主所在地以外ニ於テハ其承諾ヲ經ザルモ猶一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ベシ佛蘭西、白耳義、和蘭、伊太利、西班牙等諸國ノ法律ハ皆此主義ヲ採用ス

第二 船長ノ權限ヲ船籍港ナルト否トニヨリ區別スル法

船長ハ船籍港以外ニ於テハ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スルモ船籍港ニ於テハ特ニ船主ヨリ委任ヲ受ケタル場合ノ外此權限ヲ有セズ獨逸、瑞典、諾威、噠馬、ブ井、ランド及ビ我邦ノ法律ハ此主義ヲ採ル

第三 船長ノ權限ヲ行爲ノ種類ニヨリテ區別スル法

船長ハ船主ノ所在地ナルト否トヲ問ハズ通常ノ行爲ハ一切爲シ得ベキモ重要ナル行爲ハ船主ノ承諾ヲ經ルヲ要ス英米兩國ノ法律ハ此精神ヲ採用ス

以上三法ヲ比較スルニ船主ノ所在地ハ常ニ變動シ易ク且第三者ハ之ヲ知ルコト難キガ故ニ第一法ハ理由ニ乏シキガ如シ又第三法ハ行爲ノ重要ナルト否トヲ定ムル程度ニ於テ困難アルノミナラズ其重要ナル行爲ハ必船主ノ承諾ヲ經ルコト、爲ス時ハ大ニ不便ヲ感ズルコトアリ然ルニ第二法ノ標準トスル船籍港ハ一定シテ變動スベキモノニ非ザルガ故ニ第三者モ之ヲ知ルコト容易ナリト謂ハザルベカラズ、サレバ三法中第二法ハ最理由ニ富メルモノカ

主要ノ寄港地ニハ船主ノ支店又ハ代理店アルヲ常トスルガ故ニ船長ハ是等ノ支店又ハ代理店ノ指圖ニ從ヒ行動スルヲ可トスベキモ其指圖ニシテ不法不正ナルコト明白ナル時ハ必シモ之ニ從フヲ要セズ例ヘバ代理店ガ出荷主ト結托シ貨物積入前ノ時日ヲ船荷證券ニ記載シテ船長ニ署名セシムル時船長ガ其情ヲ知リナガラ之ニ盲從セシガ爲メ後日荷受主ト船主トノ間ニ爭議生ゼンカ船長其責ニ任ゼザルベカラザルガ如シ慎マザルベカラズ

然レドモ寄港地ニ支店又ハ代理店ナキ場合ハ船長ニ於テ自船ニ關係セル一切ノ業務ヲ處理シ得ベキコト勿論ナリ就中交通不便ナル避難港等ニ入港シタル時ノ如キハ對船主關係ノミニ止マラズ賃借人、備船者、貨主、船舶貨物及ビ運賃ノ保險者等一般利害關係人ノ代理人トナリ慎重機敏事ヲ處セザ

伊商 四九
西商 六二〇

Lyc. II. 354
Vart. I.
476-459
D. No. II. 296
309
311

H. H. 4, 5

船員雇止ノ權
同船 三三
三三

新商 五二
船籍港ノ内外
ニ於ケル船長
ノ權利
船長ノ權限規
定ノ主義

佛商 三三
白商 三三
和商 三三

ルベカラズ

船長ガ至大ノ代理權ヲ有スルコト右ノ如シ是所謂法定代理權ナルガ故此代理權ニ制限ヲ加フル時ハ情ヲ知ラザル第三者ニ不利益ヲ加フルコト尠カラズ故ニ前述ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

四 船長ハ航海ヲ繼續スルガ爲メ必要ナル時ハ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得

例ヘバ食用品又ハ石炭等ニ不足ヲ告ゲタル時公益上隨意ニ積荷ヲ處分スルガ如シ

五 船長ハ船舶ノ修繕救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スルガ爲メ船舶ヲ抵當トシテ借財ヲ起シ又ハ積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコトヲ得

積荷ノ處分ヲ爲スニハ利害關係人ニ最利益ヲ與フル方法ニ依ラザルベカラズ而シテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル時ノ損害賠償額ハ積荷ノ到達スベカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ニ據リ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支出スルコトヲ要セザル費用ヲ控除スベシ

船長ガ航海繼續ノ爲メ船籍港外ニ於テ電信其他ノ便ニヨリ船主ノ指揮ヲ受クルコト能ハズ其他船主若クハ自己ノ信用ニヨリ借財ヲ起スコト能ハザル時ハ止ムヲ得ズ船舶又ハ貨物ヲ抵當トシテ金錢ノ借入ヲ爲スコトアリ之ヲ冒險貸借ト稱シ貨物ノミヲ抵當トスル時ハレスボンデンシア (Responsentia) ト云ヒ船舶又ハ船舶貨物運賃ヲ抵當トスル時ハ之ヲボットムリー (Bottomry) ト稱ス

冒險貸借ハ運輸金融機關ノ進歩セル今日ノ時世ニハ殆其用ナキヲ以テ我現行商法ニモ之ガ規定ヲ省ケリト雖モ海外諸國ニテハ時々之ガ締結ヲ見ルコトアリ故ニ左ニ其要旨ヲ述ベントス

冒險貸借ハ普通貸借ト異ナリ債權者ハ船舶ガ安全ニ航海ヲ終了セザル時ハ債務及ビ利子ノ辨濟ヲ求ムルコト能ハズ若海難ニ遭遇シタルガ爲メ船舶毀損シ貨物喪失シタル時ハ正味ノ價格ニ就キテ

新商 五七

積荷ヲ航海ノ用ニ供スル權

船舶及ビ積荷ノ處分權

新商 五六
同 五五
冒險貸借

新商 五六
同 五五
冒險貸借

冒險貸借ト普通貸借トノ相違

新商 五五

新商 五五

新商 五五

新商 五五

冒險貸借證書

新商 五九

ノミ債權ヲ主張スルコトヲ得ベク猶共同海損救助費用ハ正味ノ價格ヨリ控除セザルベカラズト雖モ共同海損ノ分擔額ハ債權者ノ利益トナルベシ是所謂冒險ナル字ノ由テ起レル所以ニシテ債權者ハ債權ニ付キ海上保險ヲ附スルヲ通常トス又船舶ガ不可抗力其他止ムヲ得ザル場合ヲ除キ航路外ニ航行スル時ハ契約ノ要項ニ變更アリタルモノナレバ假令船舶喪失スルモ猶債權者ハ規定金額ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得

冒險貸借ハ前述ノ如ク極メテ冒險的ノ貸借ナレバ其利子モ方外ニ高キヲ至當トス從テ彼利息制限法ノ適用ヲ受ケザルヲ例トス但當事者ノ間ニ何等約スル所ナクンバ商行為ノ通則ニ從ヒ六分ノ利息ヲ得ルニ止マルベシ而シテ普通貸借ニ在リテハ抵當ハ債權ヲ鞏固ニスルガ爲メナレバ抵當物ノ毀損喪失アルモ債權者ガ債務者ニ對スル請求權ニサシテ影響ナシト雖モ冒險貸借ニ在リテハ債權者ハ抵當物ノ危險ヲ負擔スルヲ以テ之ガ毀損喪失ハ請求權ヲ減縮スベキガ故勢重キヲ抵當ニ置カザルベカラズ從テ抵當物ノ價格ハ貸借金額ト同額以上ナルヲ原則トス英國ニ於テハ *Johnson v. Shipin* ノ判決ニヨリ冒險貸借債權者ハ船長ニ對シ債務ノ辨濟ヲ求メ若クハ抵當物ニ對シ抵當權ヲ

行フ權アリト雖モ船主ニ對シテハ特約ヲ爲シタル場合ノ外辨濟ヲ請求スル權ナシ是此原則ニ一層ノ理由ヲ與フル者ナリ我現行商法ニヨレバ船長ノ行為ハ船主ヲ拘束スルモノニシテ船主ハ唯僅ニ船長ノ行為ニ對シ海產ヲ委付シテ責ヲ免ル、コトヲ得ベシ

冒險貸借ノ證書ヲ冒險貸借證書 (Bottomry Bond) ト云ヒ冒險貸借ノ事實目的、船名、航路、抵當物及ビ其價格其他利子及ビ辨濟期限等ヲ記載ス此證書ハ遞送ノ便ヲ計リ多ク二通以上ヲ作成シ且債權者ノ請求ニ從ヒ指圖式ト爲スコトアリ指圖式ノ冒險貸借證書ハ裏書ヲ以テ轉々シ特約ナキ時ハ讓渡人ハ元金ノ支拂ニ付キテノミ擔保ノ責ニ任ズ

冒險貸借ノ辨

新商 六〇
舊商 九六
〇一、三〇、三二

冒險貸借證書ノ所有者ハ船舶、屬具及ビ向拂運賃ノ上ニ先取特權ヲ有スレドモ同一ノ物ヲ數回冒險貸借ノ抵當ト爲シタル時ハ無事ニ航海ヲ終了セシムルニ最大效果アリシモノト認メ後ノ債權ハ前ノ債權ニ先ツモノナリ

船長ガ船主ノ特別委任ヲ受ケテ爲シタル行爲ニ就キテハ船主ハ無限ノ責任ヲ負ハザルベカラズト雖モ其委任ナキニ拘ラズ安ニ費用ヲ支出シ債務ヲ負擔スル時ハ船主ノ迷惑尠カラズ由テ斯ノ如キ場合ハ船主ハ航海ノ終ニ於テ海產ヲ船長ニ委付シテ其責ヲ免ル、コトヲ得

新商 五九
船舶ヲ賣買ニ
附スル權利

六 船籍港外ニ於テ船舶ガ修繕スルコト能ハザルニ至リタル時ハ船長ハ管海官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ競賣ニ附スルコトヲ得

新商 五〇
同 五〇

船舶ハ通常價格甚貴キガ故船主ノ特別委任ナキ以上ハ船舶ノ賣却權ヲ船長ニ認メザルヲ原則トス然レドモ船籍港外ニ於テ船舶ガ最早修繕スルコト能ハザル程ノ大破損ヲ生ジタル時ハ船長ニ於テ之ヲ賣却スルノ外如何トモ爲スコト能ハザルベシ是此特權ヲ與ヘタル所以ナリ

甲 船舶ガ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハズ且修繕ヲ爲スベキ地ニ到ルコト能ハザル時

乙 修繕費ガ船舶ノ價額ノ四分ノ三ヲ超ユル時

凡船長ノ有スル權利ハ至大ナリト雖モ非常ノ場合ニ非ズンバ船舶ヲ賣却スルコト能ハズ必ヤ事爰ニ出ヅルノ前靜思深慮セザルベカラズ而シテ船舶ノ賣却ハ善意ニ出デタルコト及ビ利害關係人ニ最利益ヲ與フルモノナルコトヲ要スルハ問フ迄モナク緊急切迫ノ必要ナクンバアルベカラズ而シテ果シテ緊急切迫ノ必要アリシヤ否ヤヲ認定スルハ至難ノ事實問題ナリト雖モ要スルニ

P.L.Nos. 720

イ 航海ヲ繼續シ得ザル消極的ノ理由

ロ 直ニ船舶ヲ賣却セザルベカラザル積極的ノ理由

ヲ缺クベカラズ而シテ積極的ノ理由ハ難破船ヲ保有センニハ時々刻々莫大ノ費用ヲ要スルカ又ハ次第ニ船舶ノ衰頹ヲ來スガ故寧ロ之ヲ賣却スルヲ船主ノ利益トスルモノナラザルベカラズ而シテ船舶ヲ保險ニ附シアル時ハ船長ハ船主ノ利益ハ勿論保險者ノ利益ヲモ眼中ニ置カザルベカラズ又消極的ノ理由ハ當事ノ事情ヲ參酌シ到底修繕不可能ナルカ、ヨシ修繕シ得ベキモ其修繕費ガ格外ニ高キ等ハ要スルニ事實ノ問題ニ屬ス

領事其他ロイド検査人ハ船舶ノ賣却ヲ命令シ又ハ之ニ同意スルノ權能ナシト雖モ船長ガ是等ノ人其他救助人、船舶又ハ貨物ノ利害關係者ニ相談ヲ爲シ置カザル時ハ後日賣却ハ必要ナリシモノト認メラレザルコトアリ

正當ノ理由ナ
ク又ハ意ニ反
シ解任セラレ
タル時ノ權利

七 正當ノ理由ナク又ハ其意ニ反シ解任セラレタル時ノ權利

船主ハ何時ニテモ船長ヲ解任スルコトヲ得ベキモ船長ニシテ正當ノ理由ナク解任セラレタル時ハ船主ニ對シ右解任ヨリ生ジタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ベシ

又船長ガ船舶共有者ナル時ハ自ラ船長ヲ兼ルガ故ニ共有者ノ一人トナリタル次第ナレバ此意ニ反シテ解任セラレタル時ハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルベキコトヲ請求シ得ベシ尤モ此請求ヲ爲サンニハ遲滯ナク他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ通知ヲ發セザルベカラズ海員トハ總テ船長以下ノ乗組員ニシテ航海ニ必要ナル職務ヲ分擔セシメンガ爲メ船主ヨリ雇入れラレタル者トス海員ノ名稱及ビ事務分掌ハ概ネ左ニ表示スルガ如シ

海員ノ意義
ニ

甲板部海員

甲板部海員
 船舶ノ操縦ニ關スルコト
 屬具、備品、消耗品ニ關スルコト
 郵便物及ビ貨物ニ關スルコト
 氣象、旗章及ビ信號ニ關スルコト
 海圖、水路誌及ビ航海日誌ニ關スルコト

役員
 一等運轉士 (First or Chief Officer)
 二等運轉士 (Second Officer)
 三等運轉士 (Third Officer)
 水夫長 (Boat Swain)
 水夫 (Seaman)
 大工 (Carpenter)
 舵取 (Quarter Master)
 甲板庫番 (Deck Store Keeper)
 點燈方 (Lamp Trimmer)
 荷物方 (Tallyman)

機關部海員

機關部海員
 機關ノ運轉ニ關スルコト
 燃料、石炭、屬具、備品及ビ消耗品ニ關スルコト
 機械類ノ保存及ビ整備
 機關室日誌ニ關スルコト

役員
 機關長 (Chief Engineer)
 一等機關士 (First Engineer)
 二等機關士 (Second Engineer)
 三等機關士 (Third Engineer)
 火夫長 (Chief Fireman)
 火夫 (Fireman)
 油差 (Oiler)
 石炭夫 (Coal Passer)
 機關庫番 (Engine Store Keeper)
 小汽罐番 (Donkeyman)

事務部海員

事務部海員
 會計ニ關スルコト
 旅客ニ關スルコト
 食用品一切ノ事務
 屬具、備品及ビ消耗品ニ關スルコト
 庶務ニ關スルコト

役員
 事務長 (Purser)
 事務員 (Freight Clerk)
 司厨長 (Chief Steward)
 司厨 (Steward)
 料理人 (Cook)
 船僕 (Boy)
 洗濯人 (Washerman)
 洗髮人 (Barber)

衛生部海員

衛生部海員
 醫務ニ關スルコト
 備品及ビ消耗品ニ關スルコト
 衛生ニ關スルコト

役員
 醫員 (Doctor)
 看護員 (Nurse)

見習及ビ生徒ハ當該部ニ附屬シ業務ヲ練習ス

船舶職員

海員ノ權利

給料請求權

右ニ示シタルハ一般遠洋航船ノ海員ノ事務分掌ヲ示シタルモノナレバ船舶ノ構造及ビ航路ニ應ジ多少ノ相違ナキ能ハズ而シテ船員中船長、一等運轉士、二等運轉士、機關長、一等機關士ヲ船舶職員ト稱シ我法律ノ規定ニ從ヘバ一定ノ試験ヲ要シ且船舶ノ種類ニヨリ其乗組人員ヲ定ム(船舶職員法海員)海員ノ雇入及ビ雇止ニ就テハ船員法第二十五條乃至第三十六條及ビ同施行細則第四章ニ規定セラレタリ今爰ニ其權利義務ニ就キテ述ベントス

甲 給料請求ノ權利

凡給料請求ノ權利ハ獨海員ノミニ止マラズ船長モ亦之ヲ有スルナリ古昔ハ船員皆無給ナリシコト既ニ述ベタルガ如シ其後有給トナリシモ尙給料ハ運賃ヨリ生ズルモノトシ運賃ヲ得ルコト能ハザ

ル時ハ給料ヲ支拂フニ及バズトセリ所謂運賃ハ給料ノ母ナリ(Freight is the mother of wages)トハ是ナリ故ニ船舶ガ難破ノ爲メ運賃ヲ得ルコト能ハザル時ノ如キ海員ハ毫モ勞務ニ對スル給料ヲ受取ルコト能ハザリキ然ルニ今ヤ各國ノ法律ハ此慣習ヲ廢シ雇傭契約ノ原則トシテ運賃ノ收支如何ニ拘ラズ給料ヲ支拂フベキモノト爲スニ至レリ

給料ハ豫メ契約ニヨリ日割又ハ一航海ニ付キ定ムルモノトス若一航海ニ付キ之ヲ定メタル時ハ航海日數ヲ延長シ又ハ不可抗力ニ因ラズシテ航海里程ヲ延長シタル時ハ海員ハ其割合ニ應ジテ給料ノ増額ヲ請求シ得ベシ又之ト反對ニ航海ノ日數又ハ里程ヲ短縮シタル時ハ給料ノ全額ヲ請求スル權アリ

新商 五九

海員ガ職務執行ノ爲メ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル時ハ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ベク原因ノ不行跡其他重大ナル過失ニ非ザル時ト雖モ服從シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得ベシ又海員ガ就役後死亡シタル時ハ死亡ノ日迄ノ給料ヲ受クベシ

舊商 八三

新商 五二
同 五三

戰爭其他不可抗力ニヨリ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハザル時又ハ何等海員自己ニ過失ナクシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘザルガ爲メ船長ノ雇止ニ遭フ時其他船舶ガ日本ノ國籍ヲ喪失シタル時海員自己ノ過失ニ因ラズシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘザルニ至リタル時又船長ヨリ虐待ヲ受ケタル時海員ガ雇止ヲ請求スル場合ハ孰レモ雇止ノ日迄ノ給料ヲ請求スルコトヲ得ベシ然レドモ職務負傷其他過失ナク疾病ニ罹リタル時ノ如キハ寧ロ商法第五七八條ノ規定ニ準ジ三ヶ月ヲ限リ雇止ノ後ト雖モ其給料ヲ支給スルハ海員保護ノ主旨ニ適フモノナルベシ

新商 五二

發航前海員ガ其職務ニ不適任ナルコトヲ認メタル時又海員ガ著シク其職務ヲ怠リ又ハ重大ナル職

新商 五七

務上ノ過失アル時ニ船長ノ雇止ニ遭フ時ハ服役期間ニ對スル給料ノ請求權アリ
船舶ガ沈没シタル時修繕スルコト能ハザルニ至リタル時又ハ捕獲セラレタル時ハ雇傭契約終了ス

新商 五三
英商 二六

此場合ニハ海員ハ契約終了ノ日迄ノ給料ヲ請求シ得ベシ
海員ハ正當ノ理由ナクシテ雇止セラレタル時ハ服役中ノ給料ハ勿論尙一ヶ月分ノ給料ヲ請求スルコトヲ得ベク雇入港外ニ於テ雇止セラレタル時ハ雇入港迄歸航スルニ必要ナル期間ニ對シ給料ヲ請求スルコトヲ得ベシ

新商 六六
同 六六

船員ガ給料ノ支拂ヲ受ケザル時ハ契約ニヨリ立替タル金前貸金解雇ノ爲メノ辨償金又外國ニ於テ解雇セラレタル時ハ歸國旅費ニ付キ船舶屬具及ビ未收運賃ノ上ニ先取特權ヲ有シ即船舶債權者ノ一人タルコトヲ得ベキモノニシテ若他ノ先取特權ト競合スル場合ニハ船舶債權者ノ先取特權者トシテ他ノ先取特權者ニ先ツコトヲ得

新商 五七
同 五七

海員ガ船主ニ給料請求ノ權アル上述ノ如シ然レドモ給料ノ如キハ長期其請求ヲ爲サズ又其支拂ヲ怠ルベキ性質ノモノニ非ザレバ從テ之ヲ支拂フモ其受取證ハ長ク保存スルモノニ非ズ故ニ給料請求權ハ一年ヲ經過スル時ハ時効ニヨリ消滅ス船長ノ給料請求權ニ於ケル短期時効亦是ト同ジ

雇入港へ送還
ヲ受クル權利

乙 雇入港へ送還ヲ受クル權利

商法第五八一條第三項ノ場合ニ海員ガ船長ヨリ雇止セラレタル時同第五八三條ノ規定ニヨリ海員ガ雇止ヲ請求シタル時同第五八七條ノ規定ニヨリ海員ノ雇傭契約ガ終了シタル時又第五八二條ノ規定ニヨリ正當ノ理由ナクシテ雇入港外ニ於テ船長ノ雇止ヲ受ケタル時ハ孰レモ雇入港迄ノ送還ヲ請求スルコトヲ得ベク或ハ雇入港迄ノ送還ニ代ヘテ費用ヲ請求スルコトヲ得ベシ

丙 其他諸費用請求ノ權

諸費用請求ノ

新商 五七
同 五八
同 五九

海員服役中ノ食料ハ船主ノ負擔スベキモノニシテ海員ノ權利ト看ルモ差支ナシ海員ガ服役中不行跡其他重大ナル過失ニ由ラズシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル時ハ三個月ヲ超エザル期間内ノ保護及ビ看護ノ費用ハ船主ノ負擔ニ屬ス又船員ガ就役ノ際死亡セル時ハ葬式費用ハ船主ノ負擔タリ

丁 雇止ヲ受クル權利

左ノ場合ニ海員ハ其雇止ヲ請求スル權利アリ

雇止請求權

新商 五三
船施 三三

- イ 船舶ガ日本ノ國籍ヲ喪失シタル時
- ロ 自己ノ過失ニ由ラズシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘザルニ至リタル時
- ハ 船長ヨリ虐待ヲ受ケタル時

次ニ海員ノ重要ナル義務ヲ舉グレバ左ノ如シ

海員ノ義務
船長ノ命ニヨ
リ船舶ヲ出入
スベキ義務

新商 五五
同 五六
同 五七

- 甲 海員ハ其雇入手續終リタル時ハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乗込ミタル後其許可ヲ受クルニ非ザレバ乗込ミタル船舶ヲ去ルコトヲ得ズ
 - 乙 海員ハ船内ノ規律ヲ紊スベカラズ
- 海員ハ船舶航海前及ビ航海終了後ト雖モ船長ノ許可ナクンバ船舶ヲ去ルコトヲ得ズ是妄ニ海員ニ上陸ヲ許ス時ハ船舶ノ事務ニ差支ヲ生ズルカ故ナリ而シテ普通海員ニ離船ヲ許ス時ハ其歸船時刻ヲ指定シ各部ノ役員及ビ船員ヲ例ヘバ半數以內離船セシメ機關長ト一等機關士ト又事務長ト首席事務員ト同時ニ離船セシメザル等便宜ノ處置ニ出デザルベカラズ
- 海員ガ船長ノ許可ヲ得ズシテ船舶ヲ去リ又ハ定時刻迄ニ歸船セザル時ハ船長ハ規律ヲ紊スモノトシテ之ヲ懲戒スルコトヲ得ベク去リテ歸ラザル時ハ乗船ヲ強制シ得ベシ

船内ノ規律ヲ守ルベキ義務

如何ナル場合ガ果シテ船内ノ規律ヲ紊スモノナルカト云フニ船員法第三六條ニ依レバ大要左ノ如シ

船 五三

- イ 上長ニ對シ尊敬從順ナラザル時
- ロ 職務ヲ怠リ又ハ他ノ海員ノ職務ヲ妨害シタル時
- ハ 罵詈喧嘩シ酩酊人事不省ニ至レル時其他船中ノ風紀秩序ニ違反スル行為ヲ爲シタル時例ヘバ賭博其他旅客ニ對シ無禮ノ行為ヲ爲シ又ハ船内秘密ニ屬スルコトヲ洩洩シタルガ如キ是ナリ
- ニ 船長ノ許可ヲ得ズシテ指定ノ場所外ニテ點火焚火喫煙シ酒類ヲ所持シ又ハ妄ニ端艇ヲ使用シタル時
- ホ 食用品又ハ飲料ヲ濫費シタル時

以上諸項ヲ犯ス時ハ船長ノ懲戒處分ヲ受クベキモノナリ懲戒處分ハ罪ノ輕重ニヨリ監禁、上陸禁止、加役、減給ノ四等アリ

雇止請求權ノ制限

新商 五六

丙 雇入期間ノ定メナキ海員ハ特約アル場合ノ外船舶ガ安全ニ碇泊シ且積荷ノ陸揚及ビ乗客ノ上陸ヲ終リタル後ニ非ザレバ雇止ヲ請求スルコトヲ得ズ

新商 五五

新商 五五

海員ノ雇入當時雇入期間ヲ定ムルニ當リ必一年ヲ超過スルコトヲ得ズ若一年ヨリ長キ期間ヲ定ムル時ハ之ヲ一年ニ短縮スベキ旨法律ノ規定アリ又雇入期間中ハ假令船主變更スルモ毫モ問フ所ニ非ズ海員ハ依然海員ナリ蓋海員ノ雇入契約ハ舊船主ト海員トノ關係ナレバ航海中船主ノ變更セル時ハ海員ト新船主トノ間ニハ何等ノ契約關係存ゼザルガ故海員ハ新船主ノ爲メニ航海ノ職務ニ服從スル義務ナシトセンカ航海業ノ不振ヲ來ス虞アルベシ之ト同一ノ理由ニヨリ雇入期間ノ定メナキ時ハ航海ノ全部又ハ一部終了シテ船舶ガ安全ニ碇泊シ其貨物ノ陸揚及ビ旅客ノ上陸終リタル後始メテ雇止ノ請求ヲ爲スコトヲ得ベシ

海員ハ船長ノ命令ニシテ合法 (Lawful) ナル限り之ニ違背スベカラズ陸揚港ニ於テハ稀ニ同盟罷工ノ爲メ荷役ニ要スル人足ヲ得難キ場合ニ船長ハ下級海員ニ人足賃ニ相當スル給料ノ割増ヲ與ヘ荷役ニ従事セシムルコトアリ斯ノ如キ場合ニモ海員ハ其命ニ違背スルコト能ハズ

第十一章 海難救助

義 救援救助ノ字

Valr. V. 81

獨 舊 三
新 七 三
七 〇
七 〇

Bad. IV. 292
Lyc. II. 163
Ja. II. 642

M.N.O.
Vol. XIX. 25

海難救助ハ所謂救援ト救助トヲ一括總稱セルモノニシテ我舊商法ニハ救援ト救助トノ區別ヲ立テザリシガ新商法ニ於テハ明ニ此兩語ニ區別ヲ立テ、使用セシガ近時改正即現行商法ニ於テハ亦一括シテ救助ト呼ブニ至レリ

凡船舶積荷等ヲ海上ノ危險ヨリ救ヒ出シタル場合ニ救援救助等ノ區別ヲ立ツルハ各國一樣ナラズ英國ニテハ此兩者ヲ一括シテサルヴェヂ (Salvage) ト云ヒ佛蘭西及ビ白耳義ニ於テモ之ガ區別ヲ爲スコトナシト雖モ實際學者間ニ使用セラル、語ニハ自ラ二様ノ別アリアツシスタンス (Assurance) ソーヴァーージュ (Sovereignty) 是ナリ又獨逸ノ如キハ法典中明ニ之ヲ區別シテヒュルフスライツング (Hülfsleistung) 及ビベルゲンゲ (Beruhung) ト稱ス

然ラバ救援ト救助トハ其意義上如何ナル差異アリヤト問フニ救援トハ目的物ノ損害未甚シカラザルモ終ニハ非常ナル損失ニ及バントスル趨勢アル時例ヘバ船舶暴風雨等ノ危險ニ切迫シ將ニ破船ノ厄ニ陥ラントスルヲ救フガ如キ場合ヲ云ヒ救助トハ目的物ノ損害既ニ甚シク例ヘバ破船ニ及ビ或ハ既ニ放棄セラレタル船舶ヲ救ヒ出スガ如キ場合ヲ云フ而シテ從來ハ救助ナル文字ヲ以テ雙方ノ場合ニ適用シタリシガ今日ニ於テハ最早救援ト救助トノ間ニ區別ヲ設ケザルベカラズ尤モ一九〇〇年巴里ニ開カレタル萬國海上法會議 (International Maritime Conference) ニ於テハ斯ノ如キ曖昧ナル文字ノ區別ヲ廢センコトヲ議決セリ

救助ニ公法上ノモノト私法上ノモノトアリ順次左ニ述ブベシ

水 一四

水取 四

市町村長ノ權

船長ノ意思ニ反シテ救助ヲ爲スコトヲ得ル場合

水取 二五

本邦ニ於ケル海難ノ救助ニ關スル特別法ノ規定ヲ觀ルニ凡船舶ノ遭難ニ際シ船長ガ特ニ之ヲ危險ヨリ救ヒ出サントスル場合ハ格別普通遭難船舶ヲ危險ヨリ救ヒ出ス職務ハ最初ニ遭難ヲ認知シタル市町村長ニ屬ス然リ而シテ遭難船舶アルコトヲ發見シタル者ハ遲滞ナク最寄ニ在ル市町村長若クハ警察官吏ニ報告スベク警察官吏ニシテ此報告ニ接シタル時ハ之ヲ市町村長ニ通知シ市町村長ハ遭難船ノ現場ニ臨ミ救助ニ必要ナル處分ヲ爲スベキモノトス尤モ警察官吏ト雖モ市町村長ニ通知ヲ爲サバ足レリト爲ス譯ニ非ズシテ必要アラバ市町村長ヲ助ケ又市町村長ノ現場ニ在ラザル時ハ代リテ其職務ヲ施行セザルベカラズ

遭難船舶ガ外國ノ國籍ニ屬スルモノナル時ハ遭難認知後市町村長ハ遲滞ナク船舶ノ國籍及ビ名稱遭難ノ事由場所及ビ月日ヲ地方官廳ニ通知セザルベカラズ

斯ノ如ク市町村長ハ遭難船舶ノ救助ニ關シ重大ナル義務ヲ負フ代リニ此義務ノ實行ヲ容易ナラシメンガ爲メ他方ニハ特ニ至大ノ權能ヲ附與セラル、モノトス今其重要ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

救助ハ人命ヲ先ニシ逐次郵便物船内書類其他ノ物品ニ及ボスベキヲ順序トスルハ勿論何人ト雖モ船長ノ意思ニ反シテ救助ヲ爲スコト能ハザルヲ原則トス換言スレバ船長ガ反對ノ意思ヲ表ハセルニ拘ラズ遭難船舶ノ救助ニ從事シタル者ハ後ニ至リ救助料ノ支給ヲ受クルコト能ハザルナリ然ルニ一ノ例外ハ船舶遭難ノ場合ニ市町村長ガ船長ノ人命ヲ保護スル手段ヲ不十分ナリト認メ又ハ船長ニ惡意アリト認メタル時ハ假令船長ノ意思ニ反スルモ之ガ救助ノ處分ヲ爲スコトヲ得從テ市町村長ノ指揮ニ從ヒ救助ニ從事シタル者ハ相當ノ報酬即救助料ノ支給ヲ受クベシ市町村長ニ此特權ヲ與ヘタルハ人命保護ノ必要上蓋至當ノ事ナルベシ

人ヲ招集シ物ヲ徵用シ所有ノ地ヲ使用スルノ權

水取 六三

退去拘束等ノ處分權

水 七三

押收物件ノ搜索差押ノ權

水 八

書類ノ提出ヲ命ジ船中ニ在リタル者ヲ訊問スル權並ニ物件公賣權

水取 一〇二

市町村長ハ救助ニ必要ナル人ヲ招集シ或ハ船舶車馬其他ノ物件ヲ徵用シ或ハ他人ノ所有地ヲ使用スルコトヲ得ベシ斯ノ如クシテ招集セラレタル人ハ市町村長ノ指揮ニ從ヒ救助ニ從事スル義務ヲ有スルノミナラズ若正當ノ理由ナクシテ招集ニ應ゼズ又ハ船舶車馬等ノ徵用或ハ所有地ノ使用ヲ拒ミタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラルベシ

次ニ市町村長ハ船舶ノ救助ニ必要ナリト認ムル者又ハ救助ニ妨害ヲ爲シタル者又ハ救助ニ際シ不正ノ行爲ヲ爲シタル者ヲ退去セシムル權ヲ有スルノミナラズ斯ノ如キ場合ニ暴行ヲ爲シタル者アル時ハ其身體ヲ拘束スルコトヲ得ルハ勿論退去拘束等ノ處分ヲ爲サントスルニ當リテハ或ハ他人ノ助力ヲ必要トスルヲ以テ同時ニ他人ニ助力ヲ命ズルコトヲ得ベシ而シテ正當ノ理由ナクシテ助力ヲ拒ミタル者ノ制裁ハ前顯ノ罰金ニ處セラル、ニ在リ

又船舶ノ遭難ニ際シテハ救助ノ混雜中往々遭難物件ヲ押收シテ之ヲ隠匿スル者ヲ生ズルハ古來ノ弊風ナリ故ニ市町村長ハ遭難物件ヲ隠匿シタル者アリト認ムル時ハ其物件ヲ搜索スルコトヲ得ベク又之ヲ發見シタル時ハ之ガ差押ヲ爲ス權ヲ有ス蓋弊風排除ノ爲メ必要ナルコト、謂フベシ

此他市町村長ハ船長ガ提出スル海難報告書ニ認證ヲ與フルガ爲メ船内書類ノ提出ヲ命ジ又ハ船員旅客其他遭難當時船中ニ在リタル者ヲ呼出シ訊問ヲ爲スコトヲ得又救ヒ上ゲタル物件ノ性質上持久ノ困難、價額ノ減少、保管ノ危險及ビ保管費用ノ嵩大等ノ虞アル場合ハ之ヲ公賣シテ其手取金ヲ保管スルコトヲ得ベシ但斯ノ如キ場合ニ當リ遭難船舶ノ船長ガ其地ニ在ル時ハ市町村長ハ相當ノ期間ヲ定メ右期間内ニ自己ガ相當ト認ムル擔保ヲ供シテ物件ノ引渡ヲ請求セザル時ハ之ヲ公賣ニ附スベキ旨船長ニ通知セザルベカラズ尤モ遭難船舶ノ所在地ガ船籍港ナル時ハ此通知ハ船主ニ宛テ、之ヲ爲シ斯テ定メタル期間内ニ船主又ハ船長ヨリ物件ノ引渡ヲ請求セザル時ハ初メテ市町村長

水 二七
救助料ノ金額
ヲ定ムル權

ハ公賣ノ處分權ヲ得ルモノナリ而シテ此處分權ハ船主又ハ船長ガ救助料ノ納付ヲ怠リタル場合ニ其保管ニ係ル擔保物件又ハ救ヒ上ゲラレタル物件ニ對シテモ亦準用セラルベシ
市町村長ハ又命令ノ規定ニヨリ救助料ノ金額ヲ定ムルコトヲ得ベシ尤モ此費用ハ絶對的ニ市町村長ノ手加減ニ委ネラル、モノニ非ズシテ凡救助料ナルモノハ

水 二五
水取 二二

一 救助ニ關係シタル者ノ勞務ニ對スル報酬
二 救助ニ必要ナル人夫ノ招集、土地ノ使用又ハ物件ノ徵用ニ對スル補償
三 救ヒ上ゲタル物件ノ運搬保管又ハ公賣ニ要シタル費用
等ヨリ成立スルコトハ明ナレドモ此等ノ賃錢、費用ノ標準ニ付キテハ法文ニ何等ノ規定アルヲ見ズ蓋運搬、保管、公賣等ノ費用及ビ土地物件ノ使用料等ハ其標準ヲ定ムルコト比較的容易ナレドモ救助ニ從事シタル者ノ報酬ノ如キハ其標準ヲ定ムルコト困難ニシテ結局事實問題ニ屬シ大凡左ノ諸點ヲ斟酌セザルベカラズ

H.H.159
救助後ニ於ケル市町村長ノ任務

市町村長ハ船及物件ヲ保管

管セザルベカラズ

水 二九
水取 二五

市町村長ハ救助物件ヲ所有者又ハ船長ニ交付セザルベカラズ

水 二六
救助料ノ請求
水取 二〇

水 二四
水取 二〇
市町村長ハ救

件ヲ保管セザルベカラズ但其内ニ郵便物アル時ハ遲滞ナク最近ノ郵便局ニ引渡スベキハ勿論ナリ尤モ前ニ述べタルガ如ク救ヒ上ゲタル物件中腐敗變質等ニヨリ久キニ耐ヘ難キ物又ハ長期之ヲ貯フル時ハ著シク其價格ヲ減ズル虞アル物或ハ爆發物、燃焼シ易キ物等保管上ノ危險アル物又ハ保管ノ費用ガ其物件ノ價格ヲ超過シ然ラザルモ其價格ニ比シ不相應ナル保管費用ヲ要スル物等ハ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ公買ニ付シ代金ヲ保管シ得ベシ
市町村長ハ救ヒ上ゲタル物件又ハ公賣ノ所得ナル金錢ニ對シ救助料ヲ納付セシメ之ヲ所有者又ハ船長ニ引渡シ又假令救助料ヲ納付セザルモ市町村長ノ相當ト認ムル擔保ヲ供シタル時ハ其全部若クハ一部ヲ引渡スベシ但其物件ガ船員ノ所持品、船員及ビ旅客ノ食用品、運賃ヲ支拂ハズシテ船中ニ携帯セル旅客ノ手荷物又ハ公賣ノ所得ガ公賣費用ヲ償フニ足ラザルコトヲ市町村長ニ於テ認定シタル時ハ救助料又ハ擔保ヲ供スルニ及バズシテ引渡スコトヲ得ベシ
市町村長ガ救助ヲ指揮シタル場合ニ救助ニ盡力シタル者ハ假令其招集ヲ待タザリシ時ト雖モ相當ノ報酬ヲ收メ得ルヲ原則トス此原則ニ亦例外アリ即

- 一 救助セラレタル船舶ノ所有者又ハ其船員
- 二 故意、懈怠又ハ過失ニ由リ遭難ヲ惹起シタル者
- 三 船長ノ意思ニ反シテ救助ヲ爲シタル者
- 四 救助ニ際シ妨害ヲ爲シ又ハ不正ノ行爲ヲ爲シタル者
- 五 遭難物件ヲ持去リ又ハ其引渡ヲ拒ミタル者

等ハ報酬ノ請求權ナシ又本來請求權ヲ有スル者ト雖モ市町村長ガ指定シタル期間内ニ其金額申立ノ手續ヲ爲サザリシ者ハ救助料ノ支給ヲ受クルコト能ハザルナリ
次ニ市町村長ハ救助料ノ申立ヲ調査シテ其金額ヲ定メ一定ノ期間内ニ之ヲ納付スベキ旨ヲ船長ニ

船主又ハ貨主
ハ市町村長ノ
許可ヲ得ル物
トナシ得ベシ
水取 九六
救助料ノ支附
及物件ノ還附

告知セザルベカラズ尤モ遭難船舶ノ所在地ガ船籍港ナル場合又ハ否ラザルモ船長不在ナル時ハ船主ニ向ケ同様ノ告知ヲ爲シ斯クテ其期間内ニ船主又ハ船長ヨリ救助料ヲ納付セザル時ハ保管セル物件ノ公賣所得ガ公賣費用ヲ償フテ十分ナリト認メラル、限り之ヲ公賣ニ附シ其所得ヲ保管スルモノトス

船主又ハ貨主
ハ市町村長ノ
許可ヲ得ル物
トナシ得ベシ
水取 九六
救助料ノ支附
及物件ノ還附

救助セラレタル船舶又ハ積荷ノ所有者ハ市町村長ノ認可ヲ受ケ且市町村長ガ必要ト認メタル者ハ其立會ヲ待チテ此等ノ物件ヲ賣却シ抵當ト爲シ或ハ質入スルコトヲ得然レドモ斯ノ如キ處分ヨリ得タル金銭ハ一旦市町村長ノ保管ニ屬セザルベカラザルコト明ナリ

水取 一八、二〇
救助料ヲ奏セザリシ場合

前述ノ如ク市町村長ノ保管スル金銭ハ物件ノ性質ニ基キ又ハ救助料ノ意納ニ由ル公賣ノ所得金、所有者ガ賣却抵當質入等ニ供セル所得金其他救ヒ上ゲラレタル現金及ビ船主若クハ船長ヨリ納付シタル救助料等ヨリ成リ市町村長ハ之ヲ以テ其定メタル救助料ヲ差引キ不足アラバ國庫ヨリ之ガ補給ノ手續ヲ爲シ又剩餘ヲ生ズレバ之ヲ船主又ハ船長ニ還附シ以テ救助ノ事務ヲ終了スルナリ但此還附ニ際シ金銭ノ外猶保管ニ係ル物件ノ存在スルコトアラバ同時ニ之ヲ船長又ハ船主ニ引渡スベキコト勿論ナリ

水取 二、三
英商 五、四、五、六

以上ハ救助其效ヲ奏シ船舶又ハ積荷ノ雙方若クハ一方ガ救上ゲラレタル場合ニ就キテ述ベタリ然ルニ救助其效ヲ奏セズ市町村長ノ盡力完ク水泡ニ歸シタル場合ハ救助料ノ出所ニ苦ムベシ蓋理論上ニ於テハ救助其效ヲ奏セザレバ之ニ對シテ報酬ヲ受クルコト能ハザルヲ原則トスレドモ斯ノ如クナレバ海運事業ノ發達ヲ沮害スルコト尠カラズ本邦法律ガ特ニ此場合ノ費用ヲ國庫ノ負擔ト定メタルハ斯業獎勵ノ爲メ適當ナル處置ト謂フベシ

水取 二、三
英商 五、四、五、六

右ニ述べタル所ハ水難救護法中遭難船舶ニ就キテ説明シタルモノニシテ勿論所謂救援及ビ救助ノ雙方ヲ含ムモノナレドモ就中救援ノ場合多ク救助ノ場合ハ寧ロ漂流物及ビ沈没品ニ關スル特別法ノ規定ヲ適用セラル、コト多シ

漂流物及沈没品
拾得者
水取 二、三
英商 五、四、五、六

海難物ガ漂流シ或ハ沈没セル場合ニ之ヲ拾得シタル者ハ直ニ其物件ヲ市町村長ニ引渡シ市町村長ハ之ヲ保管ス又漂流物若クハ沈没品ノ場合ニ於テモ前述シタル一般ノ被救物件ト同ク其性質上變質、減損、保管ノ危険及ビ保管費用ノ嵩大トナル虞アル場合ニハ市町村長ハ之ヲ公賣ニ附シ所得金ヲ保管スルコトヲ得ベシ斯クテ漂流物又ハ沈没品ノ所有者ガ拾得ノ日ヨリ三日以内ニ分明トナリタル時ハ市町村長ハ其所有者ヲシテ漂流物ニ在リテハ物件價格ノ十分ノ一、沈没品ニ在リテハ價格ノ三分ノ一ニ相當スル金額ヲ納付セシメ直ニ之ヲ所有者ニ引渡スコトヲ得蓋十分ノ一若クハ三分ノ一ノ金額ハ拾得者ノ報酬ニ供スルニ在リ

所有者知レザル時
水取 二、三
英商 五、四、五、六

拾得ノ日ヨリ三日以内ニ所有者分明ナラザル時ハ拾得セラレタル物件ヲ所有者ニ引渡スベキ旨ヲ公告シ公告ノ日ヨリ一個年以内ニ所有者分明トナリタル時ハ右ニ述べタル拾得者ヘノ報酬額ノ外公告、保管及ビ公賣又ハ評價シタル時ハ其費用ヲモ合計シテ納付セシメ其物件ヲ所有者ニ引渡スベキモ若右期間内ニ所有者ガ物件ノ引渡ヲ請求セザルカ或ハ其期間満了前ト雖モ引渡ヲ請求セザル意思ヲ表示シタル時ハ市町村長ハ更ニ或期間ヲ定メ右期間内ニ引渡ヲ受クベキコトヲ拾得者ニ告知ス斯ノ如キ告知ヲ受ケタル拾得者ハ該期間内ニ公告、保管及公賣又ハ評價ヲ爲シタル時ハ其費用ヲ市町村長ニ納付シテ拾得シタル物件ノ所有權ヲ取得スルコトヲ得ベシ若又拾得者ガ市町村長ノ定メタル期間内ニ物件ノ引渡ヲ請求セザル時ハ市町村長ハ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ公賣ニ附シ取得

水取 二、三
英商 五、四、五、六

金中ヨリ右諸費用ヲ控除シ殘餘アラバ國庫ノ所得トシ不足アラバ國庫ヨリ補給ス

報酬額
水取 二、三
英商 五、四、五、六

漂流物及ビ沈没品ノ拾得者ガ其價格ノ十分ノ一又ハ三分ノ一ノ報酬ヲ收メ得ベキハ前ニ述べタル

水 三

警察官吏が漂流物及び沈没品を取除く場合

水 二〇元

所ナリ而シテ報酬額ノ標準ハ如何ニシテ定ムルカ、是ハ一ニ市町村長ノ認定スルニ屬ス但鑑定人ヲシテ之ヲ評價セシムルコトハ固ヨリ妨ナシ
次ニ警察官吏ガ航路、投錨地又ハ建造物ニ障害ヲ爲スベシト認メタル漂流物又ハ沈没品ヲ取除キタル場合ニ於テハ警察官吏ハ其物件ヲ市町村長ニ引渡シ市町村長ノ保管ニ歸セシ後ノ處分ニ付キテハ私人ニ拾得セラレタル場合トモ異ル所ナシ唯私人ノ拾得シタル場合ノ如ク引渡ヲ受クルニ際シ報酬ヲ要セザレバ從テ評價費用ヲ要スルコトナシ然レドモ取除、保管及ビ公告ノ費用ハ之ヲ所有者ノ負擔タラシムルコトヲ得ベシ
漂流物及ビ沈没品ニ就キテハ市町村長ハ地方長官ニ、地方長官ハ遞信大臣ニ毎年一回其摘要ヲ表ニ作リ差出スモノトス

軍艦ニ救助セラレタル場合

水難救護法ハ要スルニ水難救護ノ場合ニ於ケル市町村長ノ權利義務、被救物件、漂流物及ビ沈没品ノ處分及ビ救助料等ニ就キ規定シタルモノニシテ此種ノ法律ヲ實施スルハ實ニ焦眉ノ急務ナリシナリ蓋舊幕ノ當時ヨリ各沿岸ニハ浦役場ナルモノヲ設ケ遭難船ニ關スル事務ヲ取扱ヒ來リシモ從來ノ經驗ニ照ラシ大ニ迂遠ナルモノアリ然ルニ市町村長ニ一種ノ特權ヲ與ヘ之ヲ其任務トナシタルハ迅速ノ處分ヲ爲シ得ル點ニ於テ適當ナルモノミナラズ從來最恐ル、所ハ俗ニ所謂入費倒レト稱スルコトニシテ救助其效ヲ奏セザル時ハ費用ノ出所ナキニ窮シ其結果自ラ進ミテ救助ノ事ニ當ルモノ尠カリシモ此等ノ費用ヲ國庫ヨリ補給スルニ於テハ海運社界ヲ益スルコト尠カラザルベシ
船舶ガ遭難セル場合ニ其筋ニ救助ノ爲メ軍艦ノ派遣ヲ請願スルコトアリ是ハ孰レノ國ニモ目撃スル所ニシテ自國ノ船舶ガ遭難セル場合ニ之ヲ救助スルハ平時ニ於ケル軍艦ノ任務トス而シテ獨自國ノ船舶ノミナラズ己レノ領海内ニ於テ遭難セル外國船ヲモ救助スルコトアリ斯ノ如ク軍艦ノ爲

船員ニ救助セラレタル場合

メニ救助セラレタル時ハ多數ノ國ニテハ別段之ガ爲ニ救助料ヲ支出スルニ及バザルヲ常トス然レドモ獨逸ノ如キハ一八八一年ノ法令ニヨリ實費ヲ國庫ニ上納スベキコトヲ規定シ英米兩國ノ如キモ原則トシテ救助セル軍艦ノ艦長ハ相當ノ救助費ヲ請求シ得ベキ規定アリ
船員ガ自己ノ乗組メル船舶ノ遭難シタル場合ニ之ヲ救助シタル時ハ報酬ヲ收メ得ベキヤ否ヤト云フニ多數ノ國ニ於テハ之ヲ以テ船員當然ノ職務ト爲シ別ニ之ニ對シ救助料ヲ支出スルヲ要セズトセリ然ルニ我國ノ如キハ海員獎勵ノ目的ヲ以テ船員ガ自己ノ乗組メル船舶ノ危難ニ罹レルモノヲ救ヒタル時ハ盡シタル努力ニ對シ報酬ヲ要求スルコトヲ得ルモノトセリ

第三者ノ救助

救助ハ獨生命財産ノ保護者トシテ市町村長ノ指揮ニ依ル場合ノミナラズ遭難者ガ故ラニ第三者ニ依頼シテ救助ニ從事セシムル私法上ノ救助アリ是所謂英國ノ *Employed or Engaged Salvage* ニ該當スルモノニシテ海外諸國ニ於テハ遭難船舶ノ船體並ニ積荷ノ救助ヲ專業トスル組合又ハ會社アリテ常ニ蒸汽唧筒、潜水器其他救助ニ必要ナル器具及ビ之ヲ目的トスル船舶等ヲ備付ケ一朝海難起ルニ際シテハ之ニ依頼セバ直ニ現場ニ出張シ救助ニ盡カスルコトアリ此種ノ救助ハ結果ノ如何ニ拘ラズ最初ニ契約セル金額ヲ支拂フベキハ當然ナリト雖モ遭難ニ際シテハ事情切迫シ居ルガ故ニ被救助者ハ不本意ニモ救助者ノ申出デタル金額ニ服従スルニ至リ從テ不當ノ契約ノ行ハル、コト多キガ故ニ各國ノ法律ハ此場合ヲ豫想シ假令最初契約ヲ以テ救助料ヲ定メタル時ト雖モ其額不當ニ失スルコトアル時ハ之ヲ正當ノ額迄減額スルコトヲ得ル旨規定スルモノアリ是被救助者ヲ保護スルモノニシテ固ヨリ當然ナリ一九〇〇年巴里ニ開カレタル萬國海上法會議ニ於テモ同様ノ議決ヲ見ルニ至レリ

救助船長ノ心得

船舶航海ノ途次遭難船舶ニ遭遇シ救助ノ依頼アリタル時ハ救助船々長ハ救助ノ依頼ニ應ズル前左

M.N.Q.
Vol. XIV, 25
新商法ノ

ノ諸點ニ留意セザルベカラズ

- 一 救助ニ就キ船主ヨリ格段ナル命令ヲ受ケタルコトナキヤ否ヤ
- 二 運送契約書、船荷證券中規定ノ曳船、航路外航行等ノ條項其他 Cancellation date 等
- 三 石炭庫所在ノ石炭量並ニ積荷ノ種類
- 四 汽機並ニ船具ノ力並ニ條件
- 五 遭難船舶ノ價格、十分ノ救助料ヲ收メ得ベキヤ否ヤ

依頼ニ應ジ救助ニ従事スル場合ト雖モ豫メ依頼者ト行爲者トノ間ニ於テ若救助効ヲ奏セバ若干金或ハ救助セラレタル物ノ幾分ヲ受クベキモ萬一效ヲ奏セザル時ハ毫モ報酬ヲ受ケザルベシトノ契約ヲ締結スルコトアリ所謂 "no cure no pay" or "no valuable service no pay" トハ即是ナリ

遭難船舶ヲ其儘救助スル場合ニハ船中ノ積荷モ亦自然救助セラレ、ハ勿論ナレドモ或ハダイナマイトヲ使用シテ之ヲ破壊シタル上單ニ鐵片トシテ取り收メ或ハ其他ノ方法ニヨリ船體ヲ所謂「潰シ」トシテ救ヒ出スコトアリ斯ノ如キ場合ニ積荷ガ猶船中ニ在リ然カモ已ニ保險者ニ委付セラレ保險者ハ之ヲ公賣ニ附シテ權利ヲ移轉シタリトセバ其積荷ノ買受人ハ積荷ノミヲ救助セントシ兩者ノ間ニ利害相衝突シ紛議ヲ生ズルコト間々アレドモ別ニ適用スベキ法律ノ規定ナク從テ船舶積荷ノ孰レヲ先ニ救助スベキカ一定セズ然レバ此等ノ權利者ハ宜シク豫メ約束ヲ結ビテ双方ノ便宜ヲ謀リ救助ヲ業トスル者ニ托シテ其判斷ニ一任シ船舶ト積荷トノ間ハズ何レニシテモ容易ニ助ケラレ且其價值アルヲ救助スベキハ當然ナリトス

右ニ述べタル場合ノ處分ハ所謂事實問題ニ屬シ當時ノ事情ニヨリ變更アルヲ免レズト雖モ若本邦現時ニ於ケルガ如ク當事者双方ノ間ニ衝突ヲ生ジタル時ハ船體ヲ救助センガ爲ニ積荷ニ損害ヲ及ボセル者ニ對シテハ損害賠償ヲ要求スルコトヲ得ベク又積荷ヲ救助センガ爲ニ船舶ニ損害ヲ及ボ

救助料ノ負擔

シタル時ハ同ジ理由ニヨリ一方ニ賠償ノ責アルハ勿論ナリ海外ニ於テハ慣習上第三者ノ手ニ委スル準備ノ整頓スルガ故ニ此邊ノ要鈔ナシ

救助料ハ船舶及ビ積荷ハ勿論運賃モ亦之ヲ負擔スルヲ一般ノ原則トス然ルニ佛國ニ於テハ運賃ハ負擔ヲ免ルベシトノ説ヲ爲ス者アリテ曰ク運賃ガ救助料ヲ分擔スルニ付キテハ法律ニ明文ナキノミナラズ且航海中遭難シタル時ト雖モ航路相當額運賃即 *Pro rata freight* ヲ收ムルコトヲ得ベキガ故ニ船主ハ運賃ニ對シテ救助料ヲ分擔スルニ及バスト然レドモ法律ニ明文ナキ以上ハ一般ノ原則ニ從ヒ利益ヲ受ケタル者皆之ヲ分擔スルヲ至當トス

船主ノ責ニ歸スベキ海難ニ罹リタル場合ノ救助

船長又ハ海員ノ過失ニ原因スル遭難アル時ハ其行爲者ハ自己ノ過失ニ就キ責任ヲ負フベキハ勿論ナリト雖モ元來船長及ビ海員ハ資産ニ富マザルモノ多キヲ以テ結局其船主ハ荷主ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ負ハザルベカラザルニ至ルベシ然レドモ船員ノ過失ニ由ル遭難ニ付キテハ船荷證券中ノ除外例ニヨリ船主其責ヲ免レ又除外例中法律ノ規定ニテ是認セラレザルモノモ船主ハ其責任ニ對シ船舶及ビ運賃ヲ委付シ之ヲ免ルコトヲ得ベキモノアリ斯ノ如キ場合ニ船主ガ積荷ヲ救助シタルニヨリ生ジタル費用ハ之ヲ荷主ヨリ要求スルコトヲ得ズトノ英國ノ慣例ハ條理上頗公平ヲ得タルモノトス然レドモ他ノ方面ヨリ觀察セバ若船員ノ過失ニ原因スル遭難生ジタル場合ニ船主ガ積荷ノ救助ニ着手スルモ其費用ヲ要求スル途ナシトセバ自然之ガ救助ニ努メザル弊風ヲ生ズベキガ故ニ一方ニ救助者トシテ救助料ヲ要求スルコトヲ許シ他方ニハ損害賠償者トシテ賠償スベキ分ニ對シテハ船舶ト運賃トヲ委付シテ其責ヲ免ルベキ分若クハ船荷證券ノ除外例ヲ適用シテ其責ニ任セザル分等彼是ノ區別ヲ立ツルハ最其宜シキヲ得タルモノナルベシ

救助ヲ船長ノ當然ナル職務トナス國アリ或ハ否ラザルモノアリ蓋海上ニ於テ他ノ船舶ガ危險ニ切

義務ト爲ス説

M.N.O.
Vol. XIV 24

救助被救助
船同船主
屬スル場合ニ

迫シ居ルニ當リ之ガ救助ニ盡力スベキハ敢テ法律ノ明文ヲ俟タズトモ徳義上當ニ然ラザルベカラズ故ニ一般ノ場合ニ救助ヲ以テ船長ノ當然ナル職務ト爲サザル諸國ニテモ衝突ノ場合將ニ沈没セントスル船舶ニ在リテハ人命ハ勿論爲シ得ベクバ其積荷ヲモ救助スルヲ以テ船長ノ義務ナリト規定スルモノ尠ナカラズ一八八八年ブルツセルニ開カレタル國際商法會議ニ於テモ衝突ノ場合ニ於ケル救助ニ付キテハ各國ガ些クトモ法律ヲ以テ義務的ニ制裁ヲ爲サンコトヲ希望スル旨ノ議決ヲ爲セリ又降テ一九〇〇年巴里ニ開カレタル萬國海上法會議ニ於テモ衝突ノ場合ニハ相互ニ救助スルヲ以テ船長ノ義務トナシ若船長ニシテ此義務ヲ怠ル時ハ即刑事上ノ罪人ト認メ別ニ民法上ノ過失者トシテ船主ヲ拘束スルコトナカルベシトノ議決アリタリ然レドモ衝突以外ノ場合ニ於テモ船長ニ救助ノ義務アリヤ否ヤニ就キ佛國並ニ白耳義ノ委員ハ衝突ノ場合ニ準スベシト唱ヘシモ英國並ニ獨逸ノ委員ハ之ニ反對シ結局議決ニ至ラザリキ

救助船及ビ被救助船ガ同一船主ニ屬スル時ハ救助船主ハ被救助船ニ積載セラレタル貨物ノ所有者ヨリ恰モ被救助船ガ他ノ船主ニ屬セシ時ノ如ク救助料ヲ請求シ得ベキヲ原則トスレドモ異論ナキニ非ズ其論據トスル所ハ救助船主ハ被救助船ニ積載セラレタル貨物ヲ被救助船ニテ陸揚港迄運送スルノ義務アリ而シテ若救助船ガ被救助船ニ救助ヲ與ヘザリシモノト想像スレバ船主ハ此義務ヲ履行セザルニ至ルベキガ故ニ斯ノ如キ救助ハ全然救助船主ノ利益ノミヲ目的トシタルモノト謂フベシ且ヤ船體船具機關汽罐ニ故障ヲ生ジ航海ヲ續行シ得ベカラザル時ハ之ヲ航海不適ト看做シ救助船主ハ全然之ガ責任ヲ負ヒ救助料ヲ請求シ得ベカラザルナリト云フニ在リ然レドモ船體船具汽機汽罐ニ潜在セル欠缺ニ付キ責ヲ免ル、條項ハ多クノ船荷證券ニ明記シアルガ故ニ船主ニ於テ被救助船ガ發航ノ際航海ニ堪ヘシコトノ確證ヲ舉ゲ得ベキニ於テハ之ヲ航海不適ナリト云フ立證ノ

Leg. B. 355

偶然ニ救助ヲ
受ケタル場合

救助ニ準ズハ
キ行爲

責任ハ即被救助船ニ積載セラレタル貨物所有者ニ在ルコト明ニシテ此立證ヤ甚困難ナリ又被救助船ニ積載シタル貨物ト雖モ代船ヲ以テ陸揚港ニ仕向ケタリトテ敢テ運送契約ノ履行ニ支障ナシトス然レバ救助被救助兩船ガ同一船主ニ屬スル時ト雖モ船主ハ被救助船ニ積載セラレタル貨物所有者ヨリ救助料ヲ請求シ得ベシ此點ニ關シ日本郵船會社ノ使用セル船荷證券中左ノ條項アリ

"In the event of any vessel belonging to the Co. rendering service to the vessel carrying the goods enumerated in this B/L, entitling the assisting vessel to the salvage reward or remuneration for such services, such reward or remuneration shall be treated in the same manner as if the assisting vessel belonged to another Co. or person."

偶然ニ救助ヲ受ケタル場合 (Voluntary Salvage) トハ當初救助ニ着手スルニ當リ別段ニ其報酬ヲ定メザリシ場合ニシテ通常示談ニテ之ヲ決スルモノナレドモ若爭ノ起リタル時ハ裁判官ガ認メテ以テ至當トナス所ノ費用ハ被救助者ニ於テ支拂ハザルベカラズ

- 一 船長ガ船舶ノ位置ヲ知ラザル場合ニ注意ヲ與ヘタル時
- 二 火災ニ罹リタル船舶ノ消防ノ爲メ消防船 (Floating Fire Engine) ノ使用ヲ許シタル時
- 三 海難ノ爲メ錨 (Anchor) 及ビ錨綱 (Chain) ヲ失ヒタル船舶ニ之等ヲ供給シタル時
- 四 遭難船舶ノ依頼ヲ陸地ニ傳送シタル場合
- 五 危険ニ類シタル船舶ノ見張リヲ爲シタル時

而シテ例ヘバ遭難船舶ノ救助ノ依頼ヲ陸地ニ傳送シタル場合ニ天候俄ニ靜マリ最早救助ノ必要ナキニ至リタル時其他自己ノ救助ヲ好マズ他ノ船舶ヲシテ代リテ救助セシムルニ至リタル時ハ前ノ救助人ハ當然勞力ト費用トノ報酬ヲ受クベシ尤モ前既ニ述べタルガ如ク船長ノ意志ニ反シテ爲シ

H.H. 163-4

船長ノ意志ニ反シテ爲シタル救助
M.N.O.
Vol. XIV, 25
生命救助

タル救助ハ假令效ヲ奏スルモ救助料ヲ請求シ得ザルヲ原則トシ但船長ガ酩酊人事不省ノ場合等ハ此限ニ非ズ

生命救助ニ關スル問題ハ

甲 救助者ノ勞務ニ對シ法律上救助賃ヲ與フベキヤ否ヤ

乙 若救助賃ヲ與フベキモノトセバ其負擔者及ビ負擔額如何

右ノ二點ニ就キ各國ノ法律ヲ窺フニ

英國ニテハ一八五四年發布ノ舊商船法ニ據レバ英國ノ領海内ニテ難破セル船舶ヲ救助シタル時ハ生命ヲ救助シタル救助料ハ救助料ヲ請求シ得ベシトノ規定アリ降テ一八九四年發布ノ現行商船法ニ據ル時ハ英國領海内ノ英國船舶ハ外國船舶其他執レノ場所ナルヲ問ハズ英國船ヨリ生命ヲ救助シタル時ハ救助セラレタル船主又ハ荷主ハ相當ノ救助料ヲ負擔スベシトノ規定アリ且救助料ノ負擔者ハ物ニシテ人ニ非ザルガ故ニ船舶ハ全損ニ歸シ貨物ノミ救助セラレタル時ハ貨主ノミ其現存セラル價格ヲ標準トシ之ヲ負擔シ生命被救助者ハ何等分擔ノ責ナシトス而シテ生命救助者ハ救助料ニ就キ財産救助者ヨリモ優先權ヲ有シ被救助船舶又ハ貨物ガ生命救助料ヲ支拂フニ不十分ナル時ハ商務省ノ見込ヲ以テ海商資金 (Mercantile Marine Fund) ヨリ不定額ヲ填補ス(海商資金ノ收入分子ニ就キテハ英商六六七條以下生命救助費ニ支出ノ事ハ同六七七條(一)參照)

英商
六六七
七〇

獨逸
七〇

獨逸商法ニ據レバ人ハ權利ノ目的物ニ非ザルガ故ニ生命ヲ救助スルモ其賠償トシテ法律上ノ義務ヲ生ゼズトノ理由ノ下ニ單純ナル生命ノ救助者ハ救助料ヲ請求シ能ハザルヲ原則トシ例外トシテ多數ノ者ガ救助者トシテ參與シ船舶貨物ノ全部又ハ一部ヲ救助シ救助料請求權ヲ發生シタル時ハ生命救助者モ救助料ノ分配ニ參加シ得ベシトシ生命救助料ノ負擔者ハ英國ニ於ケルガ如ク物之ヲ

新商
六五
六六

負擔スルヲ以テ被救助財産ノ價格以上ニ出ルコトナク且財産救助者ニ分配セラルベキ救助料ノ内ヨリ支出分配セラルベシ我改正商法モ此主義ヲ採用セリ

學說

其他ノ諸國ハ私法上ノ生命救助ニ關シ何等規定ナク(和蘭、佛蘭西、日本等)又ハ規定アルモ生命救助料ノ請求權ヲ否認セリ(露西亞、瑞典、葡萄牙)

生命救助ニ關スル立法例ハ右ノ如シ而シテ之ニ關スル學者ノ說如何ト問フニ第一項救助者ノ勞務ニ對シ法律上救助料ヲ與フベキヤ否ヤニ就キテハ從前ハ完ク道德問題ニ委シ法律ノ關涉スベキ限リニ非ズトセシモ近年ハ法律上強迫的ニ被救助財産中ヨリ又ハ被救助者ヲシテ直接救助者ニ救助料ヲ負擔セシメ斯クテ勞務ニ對スル報酬ノ道ヲ開キ進デ危險ヲ冒シテ迄モ生命救助ヲ獎勵スベシトノ論甚高シサレバ一九〇〇年巴里ニ開カレタル萬國海上法會議ニ於テモ多數ノ意見ハ法律上救助者ニ救助料ヲ支給スベキ說ニ傾キ唯被救助者ヲシテ救助料ヲ負擔セシムルコトハ異議アリ左ノ議決ヲ見ルニ至レリ

生命被救助者ハ救助料負擔ノ責ナキモ生命救助者ハ財産救助ニ對スル報酬ノ分配ヲ受クルコトヲ得

又以テ世論ノ向フ所ヲ窺フニ足ルベシ

次ニ第二項救助料ノ負擔者如何ハ救助者ト被救助者トノ間ニ契約ノ存スル時ハ何等問題ヲ生ゼザルモ當事者間ニ何等契約ナキ時ハ救助料ノ負擔者ト負擔額トニ就キテハ種々ノ說アリ

第一說 被救助者ヲシテ負擔セシムベシトノ說

即救助ニヨリ利益ヲ得タル被救助者ハ勞働ニ對スル當然ノ報酬トシテ救助料ヲ負擔スベク其負擔者ハ宜シク本人ノ貧富ニ應ズベシト云フニ在リ一應ノ理由ハスレドモ之ニ對スル非難ハ貧富ノ差

等ヲ附スルハ非道德的ナリ(1)執行ニ困難ナリ(2)又共同海損分擔ノ場合ニ生命ハ海損ヲ分擔セザルガ故ニ此原則ト背馳シ不權衡ナリ(3)ト云フニ在ルガ如シ

第二說 船主ヲシテ負擔セシムベシトノ說

船主ハ旅客運賃ノ中ニ生命救助料ノ如キ危險負擔ノ報酬ヲ含有セシムルコトヲ得ルガ故ニ救助料ハ當然船主之ヲ負擔スベシトノ說ナルガ事實上船主ガ旅客運賃ヲ制定スルニ當リ生命救助料ヲ見込メルヲ聞カズ旅客運賃ハ使用船舶ノ設備競争船ノ有無、航路ノ長短等ニヨリ素ヨリ一定セズ且生命救助料ハ往々巨額ニ上ルコトモアレバ一概ニ船主ノミ之ヲ負擔スルハ甚酷ナリ又生命救助料ガ旅客運賃ノ内ニ包含セラル、モノトスレバ貨物救助料モ積荷ノ運賃ノ中ニ包含ストシ船主悉皆之ヲ負擔スベシトノ愚論ヲモ認メザルヲ得ザルニ至ルベシ

第三說 船主ト荷主トヲシテ負擔セシムベシトノ說

是ハ英國及ビ獨逸(例外トシテ)ニ於ケル現行法規ノ精神ト一致スルモノニシテ英國ニ於テハ旅客ト荷主トノ間ニ何等法律關係ナキニ荷主ガ生命救助料ヲ負擔スル事アルベキ法規ヲ制定セシ理由如何ト尋ヌルニ船舶船員、旅客及ビ積荷ハ各特種ノ事情ヲ有スレドモ一個ノ組合團體(One component firm)ヲ構成スルモノナレバ團體トシテハ成ルベク救助者ニ満足ヲ與フベキ報酬ヲ給シ救助ヲ獎勵シ海運ヲ發達セシムルノ途ヲ講ゼザルベカラズ此目的ヲ達スルニ付キ最利害關係深キ者ハ船主及ビ荷主ナレバ時トシテハ船舶ノミ保存セラレ時トシテハ積荷ノミ保存セラル、コトアリト雖モ救助料ハ兩者之ヲ負擔セザルベカラズ更ニ切論スレバ組合團體ニ共同ノ危險アリ第三者來リテ之ヲ救助シタリトセンニ第三者ノ内ニモ始ヨリ特ニ船體、積荷、旅客、船員ノ内其一若クハ二三ヲ限定シ救助ニ努ムル者アリト雖モ各救助者全體舉テ一個ノ海難ノ救助ニ盡カシタルモノト認メ之ニ對スル報酬

Cur. Sec. 331

救助セラレタ
ル船舶ノ旅客
ハ救助費ヲ負
擔スベキヤ
M.N.Q.
Vol. XVI, 25
救助船ニ積荷
ヲ爲セル貨主
ハ救助費ノ一
部ヲ請求シ得
ベキカ

モ亦團體全部ガ一括シテ負擔スルヲ至當トス故ニ船體ハ滅失シ積荷ト人命トノミ救助セラレタル時ハ生命ハ直接ニ救助料ヲ負擔セザルガ故ニ荷主ノミ生命救助料ヲ負擔スル次第ナリ而シテ生命救助ヲ獎勵スルノ主義ヨリ生命救助者ハ財產救助者ヨリ優先權ヲ保有シ被救助財產ノ價格救助料ニ足ラザル時ハ不足分ハ海商資金ヲ以テ補填スルコト既ニ述ベタルガ如シ

救助セラレタル船舶ノ旅客ハ救助料ヲ負擔スル責アリヤト問フニ分擔ノ標準ヲ定ムルコト能ハザルガ故ニ之ヲ負擔セザルヲ例トス
救助船ニ積荷ヲ爲セル貨主ハ救助料ノ一部ヲ要求スル權利アリヤ否ヤト尋ヌルニ現今各國ノ慣例ニ從ヘバ要求ノ權利ナキモノ、如シ其理由トスル所ハ船長ガ他ノ船舶ヲ救助シタルガ爲メニ受クル所ノモノハ要スルニ勞力ニ對スル報酬ニシテ勞力ヲ提供セザル者ハ之ガ分配ヲ受クル權利ナシト云フニ在リ或論者ハ救助料ノ取得權ヲ有スル者ハ唯船長ト海員トニ限ルコトヲ主張スルモノサヘアリ尤モ船主ハ自己ノ船舶ヲ危險ニ曝スノミナラズ航海ノ遲延ヲ來ス等ノ損害少ナカラザルガ故ニ之ニ對シ救助料ノ一部ヲ分與スルハ當然ノ事ニ屬スレドモ貨主ニ在リテハ之ト同一ノ論法ヲ以テ推スコト能ハズ成程貨物モ特殊ノ危險ニ曝サル、ニハ相違ナキモ之ガ爲メニ損害ヲ被ルコトアラバ船主ニ對シ賠償請求ノ途アリ直接ニ第三者タル被救助者ニ請求シ得ベキモノニ非ズ實際ニ於テハ船主ハ船荷證券ノ特約條項ニヨリ所謂航路外航行ニ就キ責ヲ免ル、コト多キモ之ハ船主ト貨主トノ間ノ特約ニ過ギザレバ之ガ爲メニ救助料ノ請求權ヲ發生スルノ理ハ毫モナシトス尤モ右ノ反對說モナキニハ非ズ一九〇〇年巴里ニ開カレタル萬國海上法會議ニ於テハハーブルノ辯護士ド、グランドメイザン(De Grandmaison)ハ救助船ニ積載セラレタル積荷モ救助料ノ幾分ヲ取得スルコトハ當然ナリトノ說ヲ議題トシ其理由ニ曰ク積荷ハ船舶ト同様危險ニ曝サル、ノミナラズ救助ノ爲

メ航海ノ遅延ニ基キ貨主ハ商機ヲ逸シテ意外ノ損失ヲ招ク場合モ起ルガ故ニ必ズト主張スルニハアラネドモ些クモ積荷ニ救助料ヲ分與スルコトヲ得トノ但書ヲ附センコトヲ望ム旨ヲ縷々述ベタレドモ種々ノ反對説續出シ中ニハカ、ル問題ハ未ダ曾テ想像サレタルコトナシトノ極端論サヘ顯ハレ且會期ノ終リナリシヲ以テ議長ノ計ヒニヨリ次會迄委員ニ附托シテ調査セシムルコト、ナレリ之ヲ要スルニ救助料ガ勞力ニ對スル報酬ナリトセバ之ヲ積荷ニ分與スルコトハ少シク其當ヲ得ザルモノ、如キモ救助ノ爲メニ船舶ガ危険ニ曝サレ從テ積荷モ亦危険ニ曝サル、コトハ事實ナルガ故船舶ノ得タル救助料ノ幾分ヲ割キテ積荷ニ分與スルコトハ公平ニ近キ方法ナランカ世論ハ貨主ノ位地ヨリ考フレバ甚不利益ナルガ如シト雖モ貨主ハ海上保險者ニ請求ヲ爲ス途アリ然ラバ海上保險者ハ不利利益ナル位地ニ在ルカト云フニ被保險者ハ斯カル危険ヲ見込ミテ保險料ノ割合ヲ定ムルガ故毫モ不利益ヲ被ルコトナシ

救助料ノ分配

救助料ノ分配 (Apportionment) ニ就キテハ不平ノ聲絶エズ就中裁判所ニテ之ヲ制定シタル時トス汽船ガ救助ヲ爲シタル時ノ如キハ海員中運轉士其他水夫ノ如キハ危険ニ曝サル、程度高キニ拘ラズ救助料ノ分配比較的船主ニ厚シトシ又各自ノ給料額ニ比例シ分配セラル、ヲ不滿ニ思フ輩些カラズ今歐洲各國ニ行ハル、救助料ノ分配法ヲ窺フニ救助船ガ汽船ニシテ専ラ汽力ニ依リテ救助ヲナシタル時ハ救助料ノ四分ノ三ヲ船主ニ與フルヲ普通トス蓋救助ヲ爲スニ就キテハ船主ノ所有ニ係ル船舶ハ損傷ヲ生ゼン又船舶ハ甚シキ危険ニ曝サル、ヲ恒トスルガ故ニ積載セル積荷ノ所有者ニ對スル責任モ著シク増加スルヲ免レズ其他消費セル石炭及ビ各種ノ經費モ計算ニ加ヘザルベカラズ然レバ四分ノ三ノ分配ニ與ルモ差引キ餘リ利得トナラザルコトアラン次ニ殘餘四分ノ一ノ三分ノ一ヲ船長ニ與ヘ殘リ三分ノ二ハ各海員ノ給料額ニ應ジ分配スルヲ至當トス蓋各海員ノ勞力及ビ危

M.N.Q.
Vol.X.
97-100
XI.
102-104
H.H.
103-103
新商法三ノ七
八九一〇

救助料ノ債權

獨商舊 七五五
葡商新 七五三
其他略之 六六三

新商 六五二ノ二
六八〇
六八五
六八六
六八七
六八八
六八九
六九〇
六九一
六九二
六九三
六九四
六九五
六九六
六九七
六九八
六九九
七〇〇
國際的救助

險ニ曝サレタル程度ヲ數字ニテ割出スコトハ到底不可能ノコトニ屬スルガ故各自其職ニ全力ヲ盡セルモノト看做シ給料額ニ比例スルハ止ムヲ得ザルナリ尤モ一二ノ者特別ナル技倆ヲ表ハシ特種ノ危険ニ曝サレタルコト明ナレバ裁判所ハ之ニ特別ノ報酬ヲ與ヘ又ハ給料ニ割當テタル倍額ヲ分配ス又裁判所ニ於テ救助料ヲ分配セズ船長自ラ之ニ當ル時ハ裁判所ニ於ケルガ如ク各種ノ事實ヲ探究スルコト能ハザレバ給料比例法ヲ採ラザル時ハ分配ノ上ニ依估最負ヲ生ジ到底各人ノ満足ヲ買ヒ難シトス右ハ普通ニ行ハル、分配方法ナリト雖モ船長又ハ海員ノ特別ノ熟練技能ニ重キヲ置カザルベカラザル時ハ救助料ノ三分ノ二ヲ船主ニ、三分ノ一ヲ船長及ビ海員ニ分配スルコトモアリ又或判決例ニヨル時ハ事務部、衛生部ノ海員ハ救助ニ就キ特別ノ勞務ヲ盡サルヲ理由トシ給料比例額ノ半額ヲ分配セシコトアリ救助料ノ分配ニ就キテハ我改正商法ニハ特ニ干涉の規定ヲ爲シ後日利害關係者間ニ紛争ノ起生セザランコトニ留意セリ

救助料ノ債權ニ付キテハ共同海損ト同ク物之ヲ分擔スルヲ原則トス故ニ救助セラレタル物ヲ委付スルニヨリ其所有者ハ救助料ノ負擔ヲ免カル、モノナリ然レドモ所有者ノ依頼ニヨリ救助セラレタル時ハ是亦情況ヲ變ジ人之ヲ負擔ス換言セバ如何ナル場合ニ於テモ所有者ハ其支出セラレタル有益ナリシ費用ノ分擔ヲ免カル、コトヲ得ザルナリ

救助料ノ債權者ハ船舶、屬具及ビ未收運賃ノ上ニ先取特權ヲ有シ此先取特權ハ救助ヲ爲シタル時ヨリ一年ヲ經過セバ消滅ス

國際間ニ於ケル遭難船舶及ビ貨物ノ取扱ハ十六世紀頃ニ至リ舊時ノ掠奪主義ヨリ面目ヲ一新シ列國ハ友誼及ビ道德上互ニ遭難船舶及ビ貨物ヲ保護スル義務アルコトヲ認メ近年ハ多ク條約中ニ之ヲ規定スルニ至レリ (日英、通商航海條約第二十三條、日露同第十一條、日獨同第十) (六條、日丁同第十八條、日瑞同第十八條、日諸國同第十六條參照)

第十二章 共同海損

第一節 總論

共同海損ノ定義ニ原理
新商六四一

我商法ハ共同海損(General Average)ノ定義ヲ下シテ曰ク

船長ガ船舶及ビ積荷ヲシテ共同ノ危険ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニヨリテ生ジタル損害及ビ費用ハ之ヲ共同海損トス

抑共同海損ノ原理ハ學說未ダ一定セズト雖モ其夙ク稱ヘラル、トコロニ據レバ公平(Fairness)ト所謂不當利得必シモ民法ノ不當利得ニアラズトニ基クモノニシテ何人ト雖モ故ナクシテ他人ヨリ恩惠ヲ蒙ルコト能ハズ若他人ヲ犧牲ニ供シ自己ノミ利益ヲ得バ必キ之ニ應ズベキ報酬ヲ與フルハ實ニ德義上公平ヲ得タルモノニシテ若何等之ニ報酬ヲ與ヘザルトキハ不當利得ニ相當スルモノニシテ利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還セザルベカラズ

共同海損ノ原理ハ公平ニ基クモノナリトノ舊說ニ對シ異論ナキニシモアラズ即獨逸學者ハ運送契約ノ締結ニ附隨シ共同海損分擔ノ約束ハ同時ニ當事者間ニ默約セラル、モノナレバ後日之ガ分擔ヲ行フハ畢竟契約ニ基クモノナリト唱ヘ沿革上ロード海法當時投荷ヲ爲スニハ必船長ハ上乘リト協議ヲ爲シ此慣習ガ中世紀末迄繼續セシコトヲ引用シ其證左トセリ英國學者中ニモ船長ガ危急ノ場合ニ適宜ノ處分ヲ行フハ運送契約締結ニ當リ既ニ當事者間ニ是認セラレタル所ナレバ之ガ爲メ生ゼシメタル損失損害ハ各自分擔ノ責アリト主張スル者些カラズ之ガ當然ノ結果トシテ避難港ニ於テ船主ノ支出ニ係ル共同海損トナルベキ費用ノ如キ其航海繼續中船舶及ビ積荷ガ全滅ニ歸シタ

村三三

共同海損ノ沿革

ル時ハ他ノ諸國ニテハ右ノ費用ヲ船主ノ單獨負擔タラシムレドモ英國ニテハ共同海損ノ債務ハ物之ヲ負擔スル原則アルニ拘ラズ此場合ノ費用ハ特ニ積荷ノ關係者ニ於テモ其費用支出ノ當時存ゼシ積荷ノ價額ニヨリ分擔ノ責ヲ免レズトノ說普ク尊バル

又共同海損ノ主旨ハ不當利得ノ觀念ニ發シタルコト疑ヲ容レズト雖モ民法ノ所謂不當利得ト共同海損ニ於ケル不當利得トノ說ハ同一ナルヲ得ズ即民法ノ不當利得說ニ從ヘバ犧牲トナリシモノ、損失ハ其利益ニ浴シタル他ノ關係者ニ於テ全然返還スルヲ要スレドモ共同海損ノ計算ニハ種々ノ變遷ヲ經テ今日ハ犧牲トナリシモノモ全ク負擔ヲ免ル、コトヲ得ズ他ノ損失ヲ免レタル者ト同様負擔ノ義務アリ、サレバ共同海損分擔ノ結果ヲ見レバ受益者ガ其恩惠ヲ受ケタル限度ニ於テ理想的ニ補償スルニ至ラザルコトアリ是諸國ニ於テ此制度ガ民法ノ不當利得ノ原則ヲ多少變更セル特種ノ慣例ニ基キ別ニ商法中ニ規定セラル、ニ至リシ次第ナリ

共同海損ノ起原ハ漢トシテ知ルニ由ナキモ其原理ハ蓋洋ノ東西ヲ問ハズ古ヨリ行ハレタル所ニシテ最古ノ例ヲ投荷トス投荷トハ船舶暴風雨等ニ遭遇シタル時危険ヲ免レンガ爲メ其他坐礁等ニ際シ船體ヲ引卸スガ爲メ積荷ヲ海中ニ投ズルノ謂ナリ歐洲諸國往古ノ慣習ニ徵スルニ船舶ニハ貨主ノ總代必便乗シ船長ハ緩急ノ場合ニ之ガ處置ヲ右總代ニ謀リシコト第一章ニ於テ述ベシガ如シ例ヘバ暴風雨ニ際シ船舶並ニ他ノ積荷ヲ救ハンガ爲メ相談ノ上投荷ヲ爲スガ如シ而シテ右投荷ノ結果ニヨリテ共同ノ危険ヲ免レシメタル時船主及ビ貨主ハ果シテ投荷ノ損害ヲ分擔スル義務ヲ有スルモノナリヤ否ヤニ就キ往々苦情ヲ生ズベキガ故是等ノ事實ヲ調査センガ爲メニモ總代ノ便乗ヲ必要トセシナリ然ルニ航海術ノ進歩ト社會ノ複雜トハ到底斯ル迂遠ナル因習ヲ循守スルヲ許サズ今ヤ船長ハ一方ニ船主、他方ニハ貨主ノ代人トシテ船舶並ニ積荷ノ利益ヲ圖ルベキモノトナリ船長

村商 三四
三五

平均勘定

ハ航海中貨主等ノ最利益ニ適スル方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲ス義務アルト共ニ貨主モ亦船長ガ善意ヲ以テ積荷ヲ處分セルトキハ自然其責ニ任ゼザルベカラズ
我徳川時代ニモ平均勘定トテ航海中危急ノ場合ニ投荷ヲ爲シタルトキハ無事ナル積荷ノ貨主ハ犠牲ニ供セラレタル積荷ノ貨主ニ賠償スル慣習アリキ

投荷ハ共同安全ノ爲メニ犠牲ニ供セラレタル最適當ナル例トシテ古ハ之ヲ以テ唯一ノ共同海損トシ之ガ分擔ニ對シ異議ヲ唱フル者殆無カリシト云フ然レドモ海運機關ノ複雑ト共ニ共同海損ハ獨投荷ノ場合ノミニ限ラル、コトナク或ハ船舶ガ沈没ノ不幸ヲ見ントスルニ當リ故意ニ坐礁シ又ハ船中火災ヲ生ジタルガ爲メ之ヲ消防セントシテ注水シタルガ爲メ生ジタル損失損害並ニ費用等要スルニ船長ガ船舶及ビ積荷ニ切迫セル共同ノ危険ヲ救フガ爲メ特ニ釀シタルモノタル以上ハ皆共同海損ト爲スニ至レリ

上述ノ如ク共同海損ハ久シキ以前ヨリ各國ニ行ハレタルニ拘ラズ法律及ビ慣習區々タルノ結果甲國ニテハ共同海損ト認ムルモ乙國ニテハ之ヲ認メザルモノアリ又今日理論トシテ共同海損ト認ムベキモノト雖モ便宜上之ヲ單獨海損トシテ取扱フモノアリ共同海損ノ研究ヲシテ彌困難ナラシムルニ至レリ

當事者ノ會合

サレバ萬國劃一ノ規定ヲ設ケ之ニヨリ共同海損ヲ精算セントスルハ實ニ當事者ノ宿望ナリシカバ一八六〇年グラスゴーニ、一八六二年龍動ニ、一八六四年ヨーク(York)ニ各國ノ海損精算人(Average Adjuster)船主、保險者、法律家等會合ヲ爲シ遂ニヨーク規定(York Rule)ヲ制定セリ降リテ一八七七年安土阿府ニ會合シテ始メテヨーク、アントウアーブ規定ヲ編ムニ至リ稍見ルベキモノアリ然レドモ猶不完全ナルヲ免レザリシカバ一八九〇年リヴァプールニ會合シ先ニ制定シタルヨーク、アントウアーブ

規定ニ修正ヲ加ヘ名ケテ新ヨーク、アントウアーブ規定(New York Antwerp Rule)又ハ一八九〇年ノヨーク、アントウアーブ規定(Y. A. R. of 1890)ト云フ

ヨーク、アントウアーブ規定

一九〇三年ノアントウアーブ規定

一八九〇年後世界海運社界ノ面目大ニ改進シ殆舊時ノ觀ニ非ザルガ故ニ二十年前ニ議決セル事項ハ今日ノ時勢ニ適合セザルモノアリ處々改正ノ要アルヲ認メ竟ニ一九〇三年アントウアーブニ於ケル會議ニモ種々ノ修正必要論現ハレシガ深慮熟議ヲ必要トシ多大ノ決議事項ヲ齎サズ唯僅ニ船長ニ過失アリシ場合ニモ共同海損ハ成立ヲ妨ゲザルノ件ニ關シ一規定ヲ決議ス一九〇三年ノアントウアーブ規定(Antwerp Rules of 1903)即是ナリ從來佛國及ビ佛法系ニ屬スル諸國ニテハ船長ニ過失アリシ場合ハ共同海損ヲ構成スルコト能ハズトセルガ如ク其他各國ノ法律慣習一様ナラザレドモ佛法主義ハ今日一般ニ唱ヘラル、學說ニ反スルヲ以テ會議ノ結果前述ノ如キ畫一ノ規定ヲ議決遂行スルコト、ナリシナリ

ヨーク、アントウアーブ規定ハ各國ニ於ケル法律並ニ慣習ノ相違點ニ就キ統一ヲ計リシ迄ナレバ共同海損ニ關スル總テノ場合ヲ網羅セルモノニ非ズ從テ此規定以外ニ共同海損ノ場合ナシト思惟スルガ如キハ誤謬ナリ又本規定ハ政府ノ發布セル法律ニモ非ズ且或一國ノ慣例ノミニ則リタルモノニモ非ザルガ故ニ特約ナキ時ハ何人モ之ガ拘束ヲ受クル事ナク各其國々ノ法律又ハ慣習ニヨリ共同海損ノ處置ヲ爲スベキコト勿論ナリ然レドモ一八七九年英國ニ於ケル船主及ビ保險者ガ卒先シ